

平成30年度

事業年報

Activity Report 2018



けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会
Ibaraki Health Service Association

ま え が き

当協会の事業運営につきましては、平素より格別のご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、平成 30 年度に実施いたしました各種健診・検査事業の実績を事業年報として編集し、発刊する運びとなりました。本年報は、地域、職域、学校及び母子保健などに大きく分けて掲載し、それぞれ実施主体や性・年齢階級別に実績を集計するとともに、過去のデータを経年で示しております。併せて、当協会が実施する事業活動へのご理解をより一層深めていただくため、平成 30 年度に行った研究の成果、普及啓発事業などについても掲載しております。

健診・検査事業におきましては、各市町村と協力体制を築き、受診機会の拡大や個別通知による受診勧奨、また未受診者健診の実施など受診率向上対策に取り組んだ結果、概ね所期の目標を達成することができました。これらの実績を集計し、公衆衛生の向上を目的として各関係機関へ報告させていただくとともに、データの分析を行い、医学的基礎資料とするべく各種学会や研修会において発表させていただくことといたします。

これらの健診・検査の実施にあたっては、健診機器や検診車等の整備・更新を行うとともに、各種検査の判定や診断を行う専門医による各種の研究委員会の開催をはじめとして、第三者による各種認証の取得や、技術スタッフの最新技術の取得に向けた外部研修及び関係学会への積極的な参加等により、健診精度の維持向上に努めております。平成 30 年度においては、上部団体である予防医学事業中央会とともに「第 53 回全国予防医学技術研究会議」を本県で開催し、県民の皆様へ高品質な健診サービスを提供できるよう技術スタッフの質の向上に努めました。

また、予防医学運動の一環として、各種キャンペーンに参加し、疾病予防に対する正しい知識の普及と、健診受診率向上のための幅広い広報活動を実施いたしました。

今後も、当協会の設立理念に基づき、県民の健康づくりを支援するため、ますます多様化する社会情勢や受診者のニーズに柔軟に対応し、積極的に事業運営に取り組んで参りますので、各方面の皆様に本年報をご高覧いただき、当協会が実施いたします事業活動へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

公益財団法人 茨城県総合健診協会
会 長 永 田 博 司

目 次

1 はじめに

1-1	協会概要	1
1-2	平成 30 年度事業概要	2
1-3	品質方針・個人情報保護方針	3
1-4	協会の沿革と法令等の移り変わり	5
1-5	役員名簿	10
1-6	トピックス	11
表 1-1-1	年度別健診検査実績	12

2 結核健診

2-1	結核定期健康診断等	15
2-1-1	概要	15
2-1-2	実施状況	15
2-1-3	検査方法	15
図 2-1-1	胸部X線検査実績の年度推移	15
表 2-1-1	IGRA検査の判定区分等	16
表 2-1-2	年度別健診実績(胸部X線検査)	17
表 2-1-3	健診実績(保健所別)	17
表 2-1-4	住民健診(市町村別)実績	18
表 2-1-5	事業所(保健所別)実績	20
表 2-1-6	学校(区分別)実績	21
表 2-1-7	学校(保健所別)実績	21
表 2-1-8	市町村教職員結核・肺がん検診(市町村別)実績	22
表 2-1-9	年度別IGRA検査実績(結核患者接触者及び医療従事者)	24
表 2-1-10	保健所別IGRA検査実績(県受託分)	24

3 地域保健

3-1	特定健康診査等	25
3-1-1	概要	25
3-1-2	実施状況	25
図 3-1-1	特定健康診査等区分別実績の年度推移	25
表 3-1-1	実施項目	25
表 3-1-2	年度別健診実績	26
表 3-1-3	特定健康診査等実績(総計)	27
表 3-1-4	市町村別総合判定内訳	28
表 3-1-5	市町村別メタボリックシンドローム判定・保健指導レベル内訳〔特定健康診査〕	32
表 3-1-6	健診区分別実績〔特定健康診査(国保)〕	36
表 3-1-7	健診区分別実績〔特定健康診査(被用者保険)〕	37
表 3-1-8	健診区分別実績(高齢者健康診査)	38
表 3-1-9	健診区分別実績(生活習慣病予防健診)	39
3-2	肝炎ウイルス検診	41
3-2-1	概要	41
3-2-2	実施状況	41
図 3-2-1	肝炎ウイルス検診実績の年度推移	41
3-2-3	検査方法	41
表 3-2-1	検査の判定基準	41
表 3-2-2	年度別検診実績	42
表 3-2-3	検診実績	42
表 3-2-4	性・年齢階級別実績	43
表 3-2-5	市町村別実績	44

3-3	二次予防事業対象者把握事業	45
3-3-1	概要	45
3-3-2	実施状況	45
図 3-3-1	二次予防事業対象者の割合	45
表 3-3-1	事業実績	45
表 3-3-2	性・年齢階級別実績	46
表 3-3-3	市町村別実績	47
3-4	肺がん検診	49
3-4-1	概要	49
3-4-2	実施状況	49
図 3-4-1	肺がん(X線検査)検診実績と発見がん数の年度推移	49
3-4-3	各検査方法	49
表 3-4-1	胸部X線検査の判定区分と指導区分	50
表 3-4-2	喀痰細胞診検査の判定区分と指導区分	50
表 3-4-3	胸部CT検査の判定区分と指導区分	50
表 3-4-4	年度別検診実績(胸部X線検査)	51
表 3-4-5	年度別検診実績(喀痰細胞診検査)	51
表 3-4-6	年度別検診実績(胸部CT検査)	52
表 3-4-7	検診実績	52
表 3-4-8	胸部X線検査(性・年齢階級別)実績	53
表 3-4-9	喀痰細胞診検査(性・年齢階級別)実績	54
表 3-4-10	胸部X線検査・喀痰細胞診検査(市町村別)実績	55
表 3-4-11	胸部CT検査(性・年齢階級別)実績	59
3-5	胃がん検診	61
3-5-1	概要	61
3-5-2	実施状況	61
図 3-5-1	胃がん検診実績と発見がん数の年度推移	61
3-5-3	各検査方法	61
表 3-5-1	X線検査判定区分等	62
表 3-5-2	ペプシノゲン検査判定基準	62
表 3-5-3	胃がんリスク検診(ABC 検診)判定基準	62
表 3-5-4	年度別検診実績(X線検査)	63
表 3-5-5	年度別検診実績(ペプシノゲン検査)	63
表 3-5-6	年度別検診実績(胃がんリスク検診)	63
表 3-5-7	検診実績	64
表 3-5-8	X線検査(性・年齢階級別)実績	65
表 3-5-9	X線検査(市町村別)実績	66
表 3-5-10	ペプシノゲン検査(性・年齢階級別)実績	68
表 3-5-11	胃がんリスク検診(ABC 検診)(性・年齢階級別)実績	69
3-6	大腸がん検診	71
3-6-1	概要	71
3-6-2	実施状況	71
図 3-6-1	大腸がん検診実績と発見がん数の年度推移	71
3-6-3	検査方法	71
表 3-6-1	年度別検診実績	72
表 3-6-2	検診実績	72
表 3-6-3	要精密検査者の状況	72
表 3-6-4	性・年齢階級別実績	73
表 3-6-5	市町村別実績	74
3-7	乳がん検診	77
3-7-1	概要	77
3-7-2	実施状況	77
図 3-7-1	乳房X線年齢別検診実績と発見がん数	77
3-7-3	各検査方法	77
表 3-7-1	マンモグラフィ及び超音波画像読影判定区分等	78

表 3-7-2	年度別検診実績(乳房X線).....	79
表 3-7-3	年度別検診実績(乳房超音波).....	79
表 3-7-4	検診実績.....	80
表 3-7-5	検診方法別実績.....	80
表 3-7-6	年齢階級別・検診方法別実績.....	81
表 3-7-7	市町村別・検診方法別実績.....	82

3-8 子宮がん検診	87
3-8-1 概要.....	87
3-8-2 実施状況.....	87
図 3-8-1 子宮頸がん検診年齢別受診者数と発見がん数.....	87
3-8-3 検査方法.....	88
表 3-8-1 年度別検診実績(集団).....	89
表 3-8-2 年度別検診実績(医療機関).....	90
表 3-8-3 検診実績.....	90
表 3-8-4 発見 CIN3 と AIS.....	90
表 3-8-5 発見子宮がんの内訳.....	91
表 3-8-6 受託検査実績.....	91
表 3-8-7 年齢階級別・検診方法別実績.....	92
表 3-8-8 市町村別・検診方法別実績.....	94
表 3-8-9 HPV検査実績.....	110

3-9 腹部超音波検診	111
3-9-1 概要.....	111
3-9-2 実施状況.....	111
図 3-9-1 腹部超音波検診実績と発見がん数の年度推移.....	111
3-9-3 検査方法.....	111
表 3-9-1 判定区分等.....	111
表 3-9-2 年度別検診実績.....	111
表 3-9-3 性・年齢階級別実績.....	112
表 3-9-4 市町村別実績.....	114
表 3-9-5 検診実績.....	116

3-10 前立腺がん検診	117
3-10-1 概要.....	117
3-10-2 実施状況.....	117
図 3-10-1 前立腺がん検診実績と発見がん数の年度推移.....	117
3-10-3 検査方法.....	117
表 3-10-1 判定基準.....	117
表 3-10-2 年度別検診実績.....	118
表 3-10-3 検診実績.....	118
表 3-10-4 年齢階級別実績.....	119
表 3-10-5 市町村別実績.....	120

3-11 骨粗鬆症検診	123
3-11-1 概要.....	123
3-11-2 実施状況.....	123
図 3-11-1 骨粗鬆症検診要精密検査率と骨量平均値.....	123
3-11-3 検査方法.....	123
表 3-11-1 判定区分等.....	123
表 3-11-2 年度別検診実績.....	124
表 3-11-3 検診実績.....	124
表 3-11-4 年齢階級別実績.....	125
表 3-11-5 市町村別実績.....	126

4 職域保健（その他の健診含む）

4-1 定期健康診断等	129
4-1-1 概要.....	129
4-1-2 実施状況.....	129

図 4-1-1	定期健康診断項目別実施内訳	129
表 4-1-1	健康診断項目	129
表 4-1-2	健診実績	130
表 4-1-3	検査項目別実績	131
4-2	特殊健康診断	133
4-2-1	概要	133
図 4-2-1	特殊健康診断受診者数に対する有所見者の割合	133
4-2-2	実施根拠と検査項目	133
表 4-2-1	健診実績	135
4-3	各種がん検診等	137
4-3-1	概要	137
4-3-2	実施状況	137
図 4-3-1	各種がん検診等実績数	137
4-3-3	胃がんリスク検診(ABC 検診)	137
表 4-3-1	胃がんリスク検診(ABC 検診)判定基準	137
表 4-3-2	各種がん検診等実績数	138
表 4-3-3	年度別実績	139
表 4-3-4	肺がん検診 胸部X線検査(性・年齢階級別)実績	140
表 4-3-5	肺がん検診 喀痰細胞診検査(性・年齢階級別)実績	141
表 4-3-6	肺がん検診 胸部CT検査(性・年齢階級別)実績	142
表 4-3-7	胃がん検診 X線検査(性・年齢階級別)実績	143
表 4-3-8	胃がんリスク検診(ABC検診)(性・年齢階級別)実績	144
表 4-3-9	大腸がん検診(性・年齢階級別)実績	145
表 4-3-10	乳がん検診(検診方法別・年齢階級別)実績	146
表 4-3-11	子宮頸がん検診(年齢階級別)実績	147
表 4-3-12	腹部超音波検診(性・年齢階級別)実績	148
表 4-3-13	前立腺がん検診(年齢階級別)実績	150
表 4-3-14	骨粗鬆症検診(年齢階級別)実績	151
4-4	総合健康診断(人間ドック)	153
4-4-1	概要	153
4-4-2	実施状況	153
図 4-4-1	総合健康診断受診者に対する判定結果の割合	153
表 4-4-1	検査項目	153
表 4-4-2	健診実績	154
表 4-4-3	各種がん検診実績数	154
表 4-4-4	検査項目別実績	155
4-5	特定保健指導	157
4-5-1	概要	157
4-5-2	実施状況	157
図 4-5-1	特定保健指導支援別男女比(全体)	157
4-5-3	支援の方法	157
表 4-5-1	特定保健指導の実績	158
表 4-5-2	初回面接時と3か月以降の体重の変化	159
表 4-5-3	初回面接時と3か月以降の腹囲の変化	159
4-6	腸内病原細菌検査	161
4-6-1	概要	161
4-6-2	実施状況	161
図 4-6-1	腸内病原細菌検査実績の年度推移	161
4-6-3	検査方法	161
表 4-6-1	年度別実績(赤痢・サルモネラ菌)	162
表 4-6-2	年度別実績(腸管出血性大腸菌O157)	162
表 4-6-3	年度別実績(腸管出血性大腸菌O157・O26・O111)	163
表 4-6-4	検査実績(保健所別)	164

5 学校保健

5-1 尿検査	165
5-1-1 概要	165
5-1-2 実施状況	165
図 5-1-1 尿二次検査陽性者の結果内訳	165
5-1-3 検査方法(腎臓病・糖尿病スクリーニング)	165
表 5-1-1 年度別検査実績	166
表 5-1-2 検査実績(学校区分別)	168
表 5-1-3 市町村別実績	170
表 5-1-4 幼児・児童・生徒実績(市町村教育委員会を除く)	173
表 5-1-5 教職員実績	173
5-2 心臓病検診	175
5-2-1 概要	175
5-2-2 実施状況	175
図 5-2-1 心臓病検診検査方法別実績	175
5-2-3 検査方法等	176
表 5-2-1 年度別一次検診実績	177
表 5-2-2 心臓病一次スクリーニング検診	178
表 5-2-3 心臓病二次スクリーニング検診	178
表 5-2-4 心電・心音図検査	178
表 5-2-5 心電図検査	179
表 5-2-6 市町村別実績(一次・二次スクリーニング検診)(小学校)	180
表 5-2-7 市町村別実績(一次・二次スクリーニング検診)(中学校)	182
表 5-2-8 国・私立学校実績(心電・心音図検査)	184
表 5-2-9 国・私立学校実績(心電図検査)	185
表 5-2-10 心臓病検診所見内訳(一次スクリーニング検診)	186
表 5-2-11 心臓病検診所見内訳(心電・心音図検査)	187
表 5-2-12 心臓病検診所見内訳(心電図検査)	188
5-3 貧血検査	189
5-3-1 概要	189
5-3-2 実施状況	189
図 5-3-1 貧血検査結果の割合	189
5-3-3 検査方法	189
表 5-3-1 判定基準	189
表 5-3-2 年度別検査実績	190
表 5-3-3 検査実績(学校区分別)	191
表 5-3-4 ヘリコバクター・ピロリ菌検査実績	191
5-4 小児生活習慣病予防健診	193
5-4-1 概要	193
5-4-2 実施状況	193
図 5-4-1 小児生活習慣病予防健診区分別総合判定有所見者の割合	193
5-4-3 検査方法	194
表 5-4-1 総合判定と指導区分等	194
表 5-4-2 項目別判定基準	195
表 5-4-3 判定評価内容	195
表 5-4-4 年度別健診実績	196
表 5-4-5 健診実績(総合判定別)	197
表 5-4-6 健診実績(検査項目別)	197
表 5-4-7 市町村別実績(項目別有所見者内訳)(小学校)	198
表 5-4-8 市町村別実績(項目別有所見者内訳)(中学校)	200
表 5-4-9 市町村別実績(総合判定内訳)(小学校)	203
表 5-4-10 市町村別実績(総合判定内訳)(中学校)	205
表 5-4-11 市町村別実績(項目別平均値)(小学校)	208
表 5-4-12 市町村別実績(項目別平均値)(中学校)	209

6 母子保健

6-1 先天性代謝異常等検査	211
6-1-1 概要	211
6-1-2 実施状況	211
図 6-1-1 先天性代謝異常等検査初回受付実績の年度推移	211
6-1-3 検査方法	211
表 6-1-1 先天性代謝異常等検査項目一覧	212
表 6-1-2 年度別検査実績	213
表 6-1-3 検査実績(検査項目別)	214
表 6-1-4 精密検査結果	216

7 研究会・学会への発表

7-1 研究会・学会への発表	217
7-1-1 緊急心電図疑いに該当した場合の取り扱いについて	218
7-1-2 健診技術習得チェックリストの改訂について	220
7-1-3 マンモグラフィ検診における局所的非対称性陰影の検討	222
7-1-4 第3期特定健診対応のための取り組み	224
7-1-5 第3期特定健診における血圧測定の実施方法の変更について	226
7-1-6 眼底検査の撮影法変更に伴う実施状況について	228
7-1-7 無影灯を搭載した子宮頸がん検診車の検討	230
7-1-8 大腸がん検診におけるカットオフ値の妥当性に関する検討	232
7-1-9 大腸がん検診受診率向上への取り組みについて	234
7-1-10 胃がん検診における技師チェック(0次読影)に関する検討	236
7-1-11 茨城県におけるダンデムマススクリーニングの5年間の実施状況	238
7-1-12 A市における子宮頸がんHPV併用検診1年目の実績について	240
7-1-13 リアルタイムPCR法を用いたHPV簡易ジェノタイプ検査の検討結果について	242
7-1-14 ラテックス免疫比濁法によるペプシノゲン検査試薬の検討	244
7-1-15 繰り返し検診で発見された乳がん2症例	246
7-1-16 特定保健指導6か月間プログラムの変更による効果の比較検討	248
7-1-17 受診者アンケートによる業務改善の取り組み	250
7-1-18 小児生活習慣病予防健診10年間の動向	252

8 普及啓発事業

8-1 普及啓発活動	255
------------	-----

9 協会案内

9-1 各種研究委員会	259
9-1-1 平成30年度研究委員会開催事項	259
9-1-2 研究委員会委員名簿	260
9-2 平成30年度各種研修会・講習会・学会参加状況	266
9-3 組織図	269
9-4 案内図	270

数表について

- ・ 百分率(%)は、原則として小数点第二位で四捨五入している。ただし、第二位で差異が読み取れない個所については、小数点第三位で四捨五入している。
- ・ 数字が、【0】の場合は【-】にて表記している。
- ・ がん検診追跡調査結果については、令和2年3月末現在集計値。

1 はじめに



1－1 協会概要

■ 設立趣旨

（公財）茨城県総合健診協会は、県民を対象に、疾病予防及び健康の保持増進に関する正しい知識の普及啓発と調査研究、並びに結核・がん・循環器疾患等の疾病予防を目的とする健康診断をより効果的に行うため、結核予防会、日本対がん協会、予防医学事業中央会の各茨城県支部を統合し、昭和56年に設立した団体である。

■ 経営理念

県民の健康づくりを総合的に支援することで、県民の豊かで活力ある生活に貢献します。

■ スローガン

Do our best with smile 「受診者の立場に立って健診を、まずは明るい笑顔から」

■ ネーミング 「けんこうリンク」

安心できる健康診断をとおして、健康で充実した日常生活へ“つながる”。また、お客様と当協会が健康に関する課題の共有によって日常的に“つながっている”という意味を込めて、同意の英語である「リンク」を用い、「けんこうリンク」と名付けた。

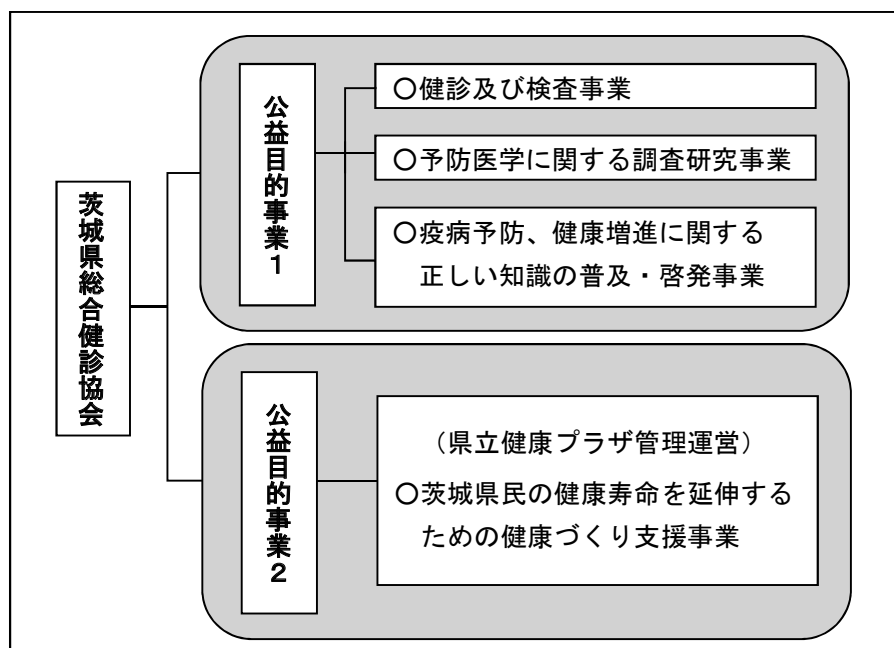
けんこうリンク

■ シンボルマーク 「ハートの聴診器」

「聴診器」を図形化している。聴診器は、お客様と当協会をつなげるアイコンでもある。さらにハートで優しさを添え、心と体を軽くする安心感を表現している。



■ 事業内容



1－2 平成30年度事業概要

当協会の事業目的である、茨城県民に対する疾病の予防・健康の保持増進、並びに健康寿命を延伸するための健康づくり支援を推進するため、各種事業を展開した。

当期の主な事業の概要は、以下のとおりである。

◇ 公益目的事業 1

1 健診・検査事業

① 地域保健

特定健康診査は、市町村国保加入者が減少している影響から前年度実績を下回った。一方、高齢者健診は、高齢化の進展に伴い対象者数が年々増加しており前年度実績を上回った。

がん検診については、前年度実績を上回ったのが肺がん、大腸がん、乳がん（マンモ）、前立腺がん検診であった。肺がん検診は、特定健診と同時実施のため、高齢者健診等の受診者数が増加したことに連動したもので、他のがん検診は市町村による個別受診勧奨の拡大など、積極的な対策を講じた結果増加した。

また、胃がんリスク検診（層別化検査）は、3市が新たに実施したことから前年度実績を大きく上回った。

② 職域保健

定期健康診断及び特殊健診は、一部事業所の従業員増加や新規受託等により、前年度実績を上回った。

がん検診については、一部事業所において大腸がん検診を追加したことなどにより、地域同様に増加した。

③ 学校保健

計画どおりの実施ではあったが、少子化の影響による児童、生徒数の減少等もあって全体実績は前年度を下回った。そうした中、中学生を対象にしたピロリ菌抗体及び貧血検査は増加した。特に、ピロリ菌抗体検査は1町が新たに実施したことで増加した。

2 予防医学に関する調査研究事業

厚生労働省研究班をはじめとする行政、大学並びに上部団体が行う調査研究への協力を幅広く行った。また、学会等へ参加し解析したデータ結果を基に学術的な発表を行うなど、予防医学発展に寄与した。

3 疾病予防、健康増進に関する正しい知識の普及・啓発事業

① 普及啓発活動

健康教材の無料貸し出し、市町村の保健推進員等の視察研修受入れ及び県が主催する催事へ講師を派遣したほか、各地域における行事等の参加や県が設置する各種委員会に参画した。

② 教育活動

保健教育への寄与並びに社会への関心を高め、職業観などを養うことを支援するため、中学生及び高校生の職場体験実習を受け入れた。

◇ 公益目的事業 2

県立健康プラザの管理運営を行い、健康づくりの情報発信基地として幅広い事業を展開した。

- シルバーリハビリ体操指導士の養成事業を推進し累計養成数は8,700人を突破した。
- 地域における健康づくりの実践を促進するため、保健所や市町村の健康づくり指導者等を対象とした専門的な研修を開催した。

1-3 品質方針・個人情報保護方針

品質方針

けんこうリンク（公益財団法人茨城県総合健診協会）は、皆様に安心と信頼していただける健診機関を目指して以下の方針を定め、取り組んでまいります。

- 1 私たちは、疾病予防のための健診を通じて、県民の健康の保持増進に貢献します。
- 2 私たちは、常に明るく、誠実に、思いやりのある優しい心を持って、安心・安全かつ信頼される健診サービスの提供に努めます。
- 3 私たちは、健診サービスに関係する皆様の要望を的確に把握し、一人ひとりが創意工夫と改善に取り組むことにより、満足度の向上に努めます。
- 4 私たちは、健診サービスに関係する各種法令や指針、規格等を順守するとともに、顧客要求事項を満たします。



公益財団法人茨城県総合健診協会
会 長 永田 博司
制定日 平成16年9月1日
改定日 令和2年6月19日

個人情報保護方針

公益財団法人茨城県総合健診協会は、皆様に安心して各種健診・検査をお受けいただくため、社会的責務である個人情報の保護を事業運営上の最重要事項と位置づけ、全職員が個人情報保護の重要性を認識し適切に管理するため以下の方針を定め、個人情報の保護を推進いたします。

1 個人情報の取得・利用・提供

当協会では、各種健診・検査事業、普及啓発事業を行うにあたり、個人情報の取得、利用及び提供に関し、あらかじめ取得・利用の目的を明らかにし、目的達成のための必要な範囲を超える利用や不正な情報取得をいたしません。

また、法令に基づく場合などの正当な理由がある場合を除き、ご本人の同意なしに第三者への提供をいたしません。

2 個人情報に関する法令・国が定める指針等の遵守

当協会は、事業運営で取り扱う全ての個人情報について、個人情報に関する法令、国が定める指針及び関連するその他の規範を遵守いたします。

3 個人情報の安全対策及び教育の徹底

個人情報の漏洩、滅失又はき損などのリスクに対処するため、物理的安全措置を講じるとともに、職員に対する教育の徹底を行い、厳正な個人情報保護の管理体制を整備し、安全性・正確性の確保を図ります。

また、定期的に安全措置に関する見直しを行い、不具合な点が発覚した場合やお客様からの要望等により改善が必要とされた時には、速やかな是正対策を講じてまいります。

4 個人情報に関する苦情及び相談への対応

個人情報の取り扱いに関しての苦情・相談につきましては、所定の窓口においてお客様の視点に立ち、迅速かつ誠意をもって対応いたします。

また、お客様ご本人から情報の開示・訂正・削除等の要請があった際には、事業の適正な実施に支障をきたすなどの特別な理由のない限り、合理的な範囲でこれに対応いたします。

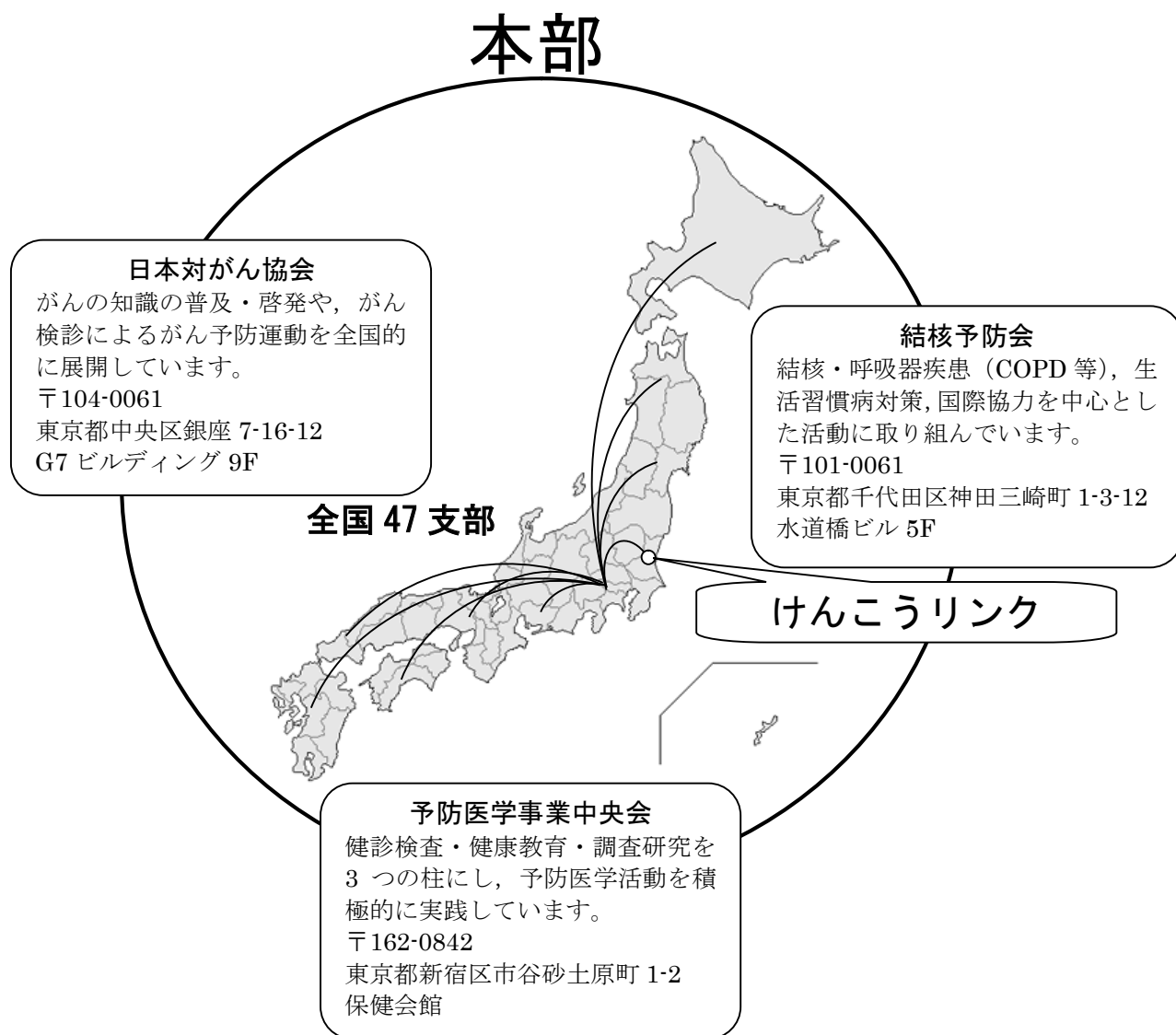
5 個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善

個人情報の取り扱いにつきましては、内部規定に基づくマネジメントシステムを策定し、お取り扱いいたします。また、定期的に内部監査を実施し、個人情報の管理体制について検証及び見直しを行うとともに、法令の改正や社会情勢の変化等に適合した継続的な業務改善への取り組みを実施いたします。

公益財団法人茨城県総合健診協会
会 長 永田 博司
制定日 平成17年6月1日
改定日 令和2年6月19日

■ 全国的組織（広域ネットワーク）

当協会は、結核予防会・日本対がん協会・予防医学事業中央会の三つの団体の支部です。
各都道府県の支部が連携をとって全国的に活動を行っています。



■ 個人情報管理

皆様に安心して各種健診・検査をお受けいただくため、社会的責務である個人情報の保護を事業運営上の最重要事項と位置づけ、全職員が個人情報保護の重要性を認識し適切に管理するための方針を定め、個人情報の保護を推進いたします。

プライバシーマーク【(一財)日本情報経済社会推進協会】

個人情報を適正に扱っている団体を認定し、プライバシーマークの使用を許諾する制度です。

当協会は、平成17年に県内の保健医療分野で初めてプライバシーマークを取得しました。



1-4 協会の沿革と法令等の移り変わり

(1) 統合前

年	結核予防会	日本対がん協会	予防医学事業中央会	法令等の移り変わり
S15	結核予防会茨城県支部設立			
S26				結核予防法改正 大正8年に制定された旧法から、感染・発病・進展を阻止する手段が体系的に組み立てられる状態となったことから全面改正された。
S30				結核予防法改正 胸部X線間接撮影の対象が30歳以上から学童以上に拡大された。
S33			茨城県寄生虫予防協会設立	学校保健法施行 戦前の省令等は多くが失効し、学校における保健管理の推進が伸び悩んでいた。それらを打破し学校教育の法体系・制度上に確立した画期的な法律となった。
S34	けいりんA24号にて結核健診事業開始			電離放射線障害防止規則施行
S35			日本寄生虫予防会茨城県支部となる	有機溶剤中毒予防規則施行
S36				高圧作業安全衛生規則施行
S37		茨城県対ガン協会設立同年胃がん検診開始		
S39			蟯虫検査開始	
S41			腸内細菌検査開始	
S42			尿検査開始 貧血検査開始	鉛中毒予防規則施行
S43		子宮がん検診開始		四アルキル鉛中毒予防規則施行
S45			予防医学事業中央会茨城県支部となる	
S46				特定化学物質等障害予防規則施行
S47			循環器健診開始	労働安全衛生法施行 労働基準法の一部から独自の法として制定された。 定期健康診断・特殊健康診断について規定 学校保健法施行令・施行規則改正 健診の内容等について大幅に改正された。

年	結核予防会	日本対がん協会	予防医学事業中央会	法令等の移り変わり
S49				結核予防法改正 胸部X線間接撮影の対象を小中学生全員から小1、中2とした。小4及び中1・3年はツ反強陽性者かハイリスク者を対象とした。
S50			寄生虫から疾病予防全般へ業務が移行（予防医学の基礎確立） 官公庁の職員に成人病健診開始	
S51			（財）茨城県予防医学協会として法人格を取得	通達で循環器健診が国の補助事業となる（特定項目のみ）
S52		子宮がん施設検診開始	先天性代謝異常検査開始	学校保健法改正 結核健診の実施主体を都道府県から市町村へ移行した。これに伴い費用も一般財源化された。

(2) 統合後

年	事業	沿革	その他	法令等の移り変わり
S55	（財）結核予防会茨城県支部、（財）茨城県対がん協会、（財）茨城県予防医学協会及び（財）茨城県寄生虫予防協会解散。全ての事業を（財）茨城県総合健診協会が継承する。			
S56	（財）茨城県総合健診協会として事業開始			
S58	老人保健法による一般健康診査、胃、子宮がん検診事業開始			老人保健法施行 一般健康診査、がん検診（胃・子宮）が法に基づく事業となった。
S60	県単独補助事業により全国に先駆け全県下を対象とした肺がん検診開始			VDT作業のための労働衛生上の指針施行
S61		本部にもれ者受入のためクリニック設備完成		結核予防法改正 健診が一般財源化される。 老人保健法改正 検診項目の一部が改正される。
S63	県実施要領に基づく、胃、肺、乳がん検診開始 大腸がん検診開始			老人保健法改正 基本健康診査が導入される。

年	事業	沿革	その他	法令等の移り変わり
H元	県の実施要領に基づく、子宮がん検診開始			労働安全衛生規則改正 貧血・肝機能・血中脂質・心電図検査が追加 有機溶剤中毒予防規則改正 鉛中毒予防規則改正
H2				学校保健法施行規則改正 貧血・肝機能・血中脂質・心電図検査が追加
H4	老人保健法に基づく一般健康診査が、基本健康診査に全面移行		ガン征圧全国大会を主催	厚生省保健医療局通知 小中学生の胸部X線間接撮影が原則廃止となる。
H5	県から「がん精密検査追跡調査事業」受託	会長に橋本昌氏就任 県西地区事務所を八千代町に開所 健康科学センター開設		
H6	骨粗鬆症検診開始	県南地区事務所（石岡市）、鹿行地区事務所（現潮来市）開所		学校保健法施行規則改正 小4～6年生の寄生虫卵検査を省略することが可能となる。
H7	マンモグラフィ検診開始			
H8	0157検査開始			
H9	健康管理オンラインシステム導入 前立腺検診開始 ヘモグロビンA1c検査を追加実施			
H10	精神病院入院患者の結核検診、結核精密検査を受託			老人保健法改正 がん検診が一般財源化される。
H11	東海村臨界事故に伴う緊急健康診断を実施		「結核緊急事態宣言」発せられる	労働安全衛生規則改正 検査項目にHDL-C、血糖が追加 学校保健法施行規則改正 検査項目にHDL-Cが追加
H12	腹部超音波検診を開始			茨城県がん検診実施指針策定（胃・子宮・肺・大腸）
H13	乳房超音波検診開始 肝炎ウイルス検査開始	県南及び鹿行地区事務所を統合し、土浦市に県南センター開所 県西地区事務所を県西センターと改称		茨城県乳がん検診実施指針策定

年	事業	沿革	その他	法令等の移り変わり
H14	ペプシノゲン検診開始 健康度評価事業開始			「VDT作業のための労働衛生上の指針」から「VDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン」に改正（通達） 健康増進法施行
H15				結核予防法改正 小中学生の結核健診方法が変更となる。 健康増進法改正
H16	胸部らせんCTによる肺がん検診開始			厚労省がん検診実施指針改正 健康増進事業実施者に対する健康診査の実施等に関する指針策定
H17		県西センターを筑西市に新築移転		結核予防法改正：結核健診対象者が変更となる。
H18	介護予防スクリーニング健診開始			労働安全衛生法改正 特殊健康診断の労働者本人への通知が義務化 介護保険法改正 要介護状態の軽減・悪化防止の為に地域支援事業を創設
H19		・会長に山口巖氏就任 ・名誉会長に橋本昌氏就任		結核予防法が感染症法と統合
H20	特定健康診査・特定保健指導開始 QFT検査を受託	特例民法法人となる	日本対がん協会創立50周年	従来の「老人保健法」に代わる「高齢者の医療の確保に関する法律」施行 後期高齢者制度の開始 公益法人制度改革関連三法施行 民法改正
H21			茨城よろこびの会創立25周年	学校保健法が学校保健安全法へ改題 労働安全衛生法改正 胸部X線検査対象者の見直し
H22			日本対がん協会、結核予防会が公益財団法人へ移行	地域支援事業実施要綱改正 改正じん肺法施行規則改正
H23	二次予防事業対象者把握事業開始	創立30周年		肝炎対策の推進に関する基本的な指針策定 従来の「女性特有のがん検診推進事業」が「がん検診推進事業」へ改題し、大腸がん検診が新たに対象として加わる
H24	胃がんリスク（ABC）判定開始	・公益財団法人に移行 ・ネーミングの制定及びシンボルマーク刷新	予防医学事業中央会が公益財団法人へ移行	茨城県肺がん検診実施指針改正 茨城県乳がん検診実施指針改正 茨城県子宮がん検診実施指針改正
H25	「HPV（ヒトパピローマウイルス）検査」及び「婦人科病理組織診断」業務開始	本部施設内健診利用施設の改装	日本対がん協会 関東甲信越グループ連絡協議会を開催	茨城県胃がん検診実施指針改正 茨城県大腸がん検診実施指針改正 茨城県乳がん検診実施指針改正 茨城県子宮がん検診実施指針改正 がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針改正（子宮がん検診関係）

年	事業	沿革	その他	法令等の移り変わり
H26		・会長に金子道夫氏就任 ・会議棟を新設	第59回予防医学事業推進全国大会を開催	茨城県肺がん検診実施指針改正 がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針改正（肺がん検診関係） 労働安全衛生法施行令, 労働安全衛生規則, 特定化学物質障害予防規則の改正（クロロホルム等の追加）
H27	NT-proBNP検査開始 茨城県がん検診受診率向上モデル事業を受託	会議棟を増設（読影室設置）	結核予防会関東甲信越支部ブロック会議を開催	茨城県がん検診実施指針改正（胃・大腸・乳・子宮頸がん） がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針改正（胃がん検診関係） 労働安全衛生法改正（ストレスチェック新設） 学校保健安全法改正（H28年度から寄生虫検査廃止）
H28	健診予約センターの開設 ストレッチャー付き胸部X線検診開始 ストレスチェック開始	本部施設内健診利用施設の改装		茨城県乳がん検診実施指針改正（視触診検査の廃止） がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針改正（胃がん検診関係）
H29	中学生を対象としたヘリコバクター・ピロリ菌検査を開始		・予防医学事業推進関東甲信越地区会議を開催 ・休憩時間を含めた勤務時間内禁煙の規則化	茨城県がん検診実施指針改正 （胃：対象年齢及び受診間隔の改正，内視鏡検査の導入，5がん共通：事業評価の改正（国の「事業評価のためのチェックリスト」の改正に伴う））
H30			・第53回全国予防医学技術研究会議を開催	茨城県乳がん検診実施指針改正（対象年齢の改正）
H31 (R元)	健診Web予約サービスを開始			茨城県がん検診実施指針改正（胃・肺・大腸） 「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」の制定（平成14年4月5日付け基発第0405001号「VDT作業における労働衛生管理のためのガイドラインについて」は廃止）

1－5 役員名簿

令和2年9月1日現在

評 議 員	木 庭 愛 土 井 幹 雄 緒 方 剛 瀧ヶ崎 孝 子 大和田 一 雄 真 家 栄 子 今 関 裕 夫 富 田 雅 人 菊 池 勉	茨城県保健福祉部長 水戸市保健所長 茨城県土浦保健所長 茨城県地域女性団体連絡会副会長 弁護士 茨城県食生活改善推進員協議会長 茨城県市長会・町村会常務理事兼事務局長 茨城県市町村職員共済組合事務局長 茨城県国民健康保険団体連合会事務局長
会 長	永 田 博 司	前茨城県立医療大学長
副 会 長	大 田 仁 史 鈴 木 邦 彦	茨城県立健康プラザ管理者(元茨城県立医療大学付属病院長) 茨城県医師会長
専 務 理 事	櫛 田 浩 司	前茨城県農林水産部長
常 務 理 事	加 藤 勝 義 富 沢 巧 治	協会 事務局長 協会 診療所長
理 事	櫻 井 よ う 子 石 渡 勇	茨城県地域女性団体連絡会長 茨城県産婦人科医会監事
監 事	椎 名 操 大 川 雅 弘	元茨城県生活環境部長 税理士

1-6 トピックス

■ 平成 30 年度の精度管理調査事業結果

精度管理調査事業名称	実施機関	分野	評価
総合精度管理事業	全国労働衛生団体連合会	胸部X線	A(優)
		胃部X線	A(優)
		臨床検査	A(優)
臨床検査精度管理評価事業	日本医師会	臨床検査	100/100 点
臨床検査精度管理評価事業	日本臨床衛生検査技師会	臨床検査	A
臨床検査精度管理評価事業	茨城県臨床検査技師会	細胞検査	A

■ 第三者機関による認定等の取得状況

名 称	認定・認証機関	認定条件
品質マネジメント(QMS)認証 (ISO9001)	日本適合性認定協会 (JAB)	品質管理体制及び運用が適正であること
プライバシーマーク (JISQ15001)	医療情報システム開発 センター(MEDIS-DC)	個人情報管理体制及び運用が 適正であること
CDC 脂質標準化プログラム認証	国立循環器病研究センター	脂質検査の検査値が、国際標 準に合致していること
マンモグラフィ検診施設 画像認定	日本乳がん検診 精度管理中央機構	良いマンモグラフィ検診を確 保するために、撮影設備・施 設・線量等が一定基準を満た していること
日本消化器がん検診学会 認定指導施設	日本消化器がん検診学会	指導医 1 名、認定医 1 名が勤 務し、指導医のもとに十分な 指導体制がとれていること
日本臨床細胞学会認定施設	日本臨床細胞学会	施設、スタッフ（細胞診専門 医、検査士）並びに学会等の 参加状況等が一定の基準を満 たしていること
労働衛生サービス機能評価 認定施設	全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価委員会	施設、スタッフ（医師・技師・ 看護師等）、データ管理、精度 管理等が一定基準を満たして いること

表1-1-1 年度別健診検査実績

項目 年度	結核 健診	地域保健				職域保健			学校保健					がん検診		
		健康 診査	健康度 評価	生活機能 評価	二次 予防	定期健康 診断	特殊健康 診断	総合健康 診断	尿検査	寄生虫 卵検査	心臓病 検診	貧血 検査	小児生活習慣 病健診	肺がん		
														X線	喀痰	C T
昭和 56	458,825	141,373	—	—	—	26,233	683	—	359,701	241,032	24,804	26,828	—	—	—	—
57	462,608	147,929	—	—	—	26,733	781	—	358,495	233,691	25,130	30,542	—	—	—	—
58	447,279	196,464	—	—	—	30,204	1,435	—	337,226	221,895	28,964	31,519	—	—	—	—
59	448,409	209,821	—	—	—	33,421	1,561	—	357,947	222,196	30,545	31,363	—	—	—	—
60	464,943	241,719	—	—	—	31,444	2,504	—	362,533	218,628	30,305	34,717	—	230,462	4,233	—
61	501,616	250,475	—	—	—	35,097	2,796	—	368,739	213,934	30,360	38,581	—	290,128	5,621	—
62	498,668	278,579	—	—	—	36,821	2,299	—	364,882	208,948	30,181	40,337	—	299,050	6,614	—
昭和 63	485,643	264,318	—	—	—	40,236	3,922	—	363,557	213,439	30,778	43,635	—	276,422	9,220	—
平成 元	486,413	343,657	—	—	—	43,688	4,743	—	377,823	226,111	36,070	50,182	—	269,592	11,154	—
2	478,199	265,531	—	—	—	58,058	4,495	321	366,651	229,035	38,290	47,974	—	284,615	12,534	—
3	471,626	264,907	—	—	—	61,912	5,144	299	366,837	242,246	37,120	55,728	8,032	276,221	11,240	—
4	430,587	253,600	—	—	—	61,931	5,222	253	351,212	232,893	35,704	49,828	8,807	260,979	11,291	—
5	397,825	259,442	—	—	—	62,097	5,548	398	342,439	227,665	35,735	50,170	12,155	271,978	13,454	—
6	436,639	248,993	—	—	—	66,780	5,341	393	335,899	220,480	35,340	44,920	13,083	252,916	11,913	—
7	429,731	227,568	—	—	—	95,073	5,593	586	333,083	192,546	35,755	43,903	12,916	249,897	11,900	—
8	391,825	226,278	—	—	—	76,168	5,816	694	325,216	152,053	34,850	43,303	13,411	235,636	11,815	—
9	422,775	233,071	—	—	—	77,951	6,144	587	315,753	141,977	32,946	38,201	20,117	244,704	9,193	—
10	426,024	234,748	—	—	—	75,789	8,542	508	308,011	138,377	32,345	32,535	15,140	246,176	13,958	—
11	422,329	238,883	—	—	—	73,287	9,184	761	301,146	133,064	32,475	29,010	14,195	246,678	14,941	—
12	420,282	242,320	—	—	—	66,733	8,025	835	295,708	131,180	31,982	28,343	14,161	250,441	14,728	—
13	413,831	245,751	—	—	—	66,686	7,832	786	254,753	128,508	46,552	27,153	13,717	252,092	14,436	—
14	394,548	252,654	1,253	—	—	63,502	9,974	753	209,479	123,539	30,816	25,648	13,901	260,314	13,791	—
15	393,220	256,383	13,456	—	—	40,750	11,299	707	207,048	122,874	31,037	24,450	12,599	262,788	10,409	—
16	386,559	256,184	18,722	—	—	39,443	14,155	618	204,603	119,100	30,717	25,638	14,549	260,743	9,551	960
17	370,606	255,650	13,807	—	—	38,012	15,996	1,259	201,622	112,299	29,716	21,040	15,851	255,039	8,865	943
18	355,181	257,027	17,081	109,619	—	40,767	17,663	663	206,917	107,279	29,886	19,622	12,453	246,978	8,878	1,608
19	347,567	254,041	13,622	111,373	—	40,677	19,381	687	212,633	103,942	31,327	3,215	14,793	244,355	8,818	1,608
20	299,732	201,936	—	100,648	—	45,123	22,636	685	191,567	88,393	30,284	3,195	14,334	211,714	7,767	1,608
21	306,059	206,345	—	99,811	—	49,275	24,025	703	218,600	92,669	30,090	2,752	14,467	215,104	7,051	1,326
22	310,274	208,049	—	101,911	—	49,164	23,915	746	197,139	80,626	29,566	2,875	14,510	216,127	7,002	963
23	302,134	203,595	—	7,377	87,016	45,938	24,899	691	189,038	78,168	29,202	3,024	14,305	210,527	6,252	887
24	298,423	205,148	—	—	53,600	42,018	22,731	699	186,084	76,630	28,560	2,945	13,936	211,171	6,085	939
25	304,423	211,897	—	—	28,077	45,814	25,780	605	184,282	75,846	29,728	2,940	12,949	214,223	5,978	750
26	305,897	213,005	—	—	37,567	46,015	26,149	602	181,355	77,169	29,385	2,875	12,764	214,626	6,009	651
27	306,062	215,398	—	—	16,507	46,764	27,617	614	180,192	74,873	28,711	2,779	11,941	223,522	6,002	731
28	304,901	214,647	—	—	9,864	47,550	27,773	630	178,213	6,230	29,989	2,828	11,690	221,774	4,681	537
29	294,739	210,459	—	—	1,051	48,496	27,952	544	176,473	—	29,113	2,645	11,228	217,574	4,273	337
30	295,299	211,691	—	—	1,034	48,990	27,251	557	173,983	—	28,564	2,701	9,531	227,944	4,100	337

項目 年度	がん検診										その他の健診				母子 保健
	胃がん			大腸がん	乳がん			子宮頸がん	腹部 超音波	前立腺 がん	IGRA 検査	肝炎 ウイルス 検診	骨粗鬆 症検診	腸内病 原細菌 検査	先天性代 謝異常等 検査
	X線	リスク (ABC)	ヘプシノゲン		視触診	X線	超音波								
昭和 56	76,718	—	—	—	—	—	—	68,563	—	—	—	—	—	46,748	32,052
57	79,268	—	—	—	—	—	—	73,251	—	—	—	—	—	56,614	33,434
58	80,263	—	—	—	—	—	—	79,166	—	—	—	—	—	74,321	33,300
59	88,565	—	—	—	—	—	—	86,256	—	—	—	—	—	82,757	33,700
60	92,863	—	—	—	—	—	—	92,515	—	—	—	—	—	105,833	32,821
61	101,993	—	—	—	—	—	—	94,038	—	—	—	—	—	97,067	30,178
62	102,775	—	—	—	—	—	—	93,566	—	—	—	—	—	99,636	30,775
昭和 63	96,346	—	—	5,250	4,846	—	—	92,609	—	—	—	—	—	124,962	29,735
平成 元	96,258	—	—	18,886	18,930	—	—	88,723	—	—	—	—	—	130,115	28,772
2	100,755	—	—	35,743	26,756	—	—	92,178	—	—	—	—	—	137,463	28,277
3	100,523	—	—	53,396	31,187	—	—	96,961	—	—	—	—	—	153,396	28,446
4	99,842	—	—	66,378	34,380	—	—	93,644	—	—	—	—	—	171,506	28,745
5	102,910	—	—	79,149	40,484	—	—	97,576	—	—	—	—	—	179,851	28,715
6	103,582	—	—	88,997	30,473	415	—	96,560	—	—	—	—	2,799	208,238	29,493
7	102,741	—	—	97,479	31,813	3,990	—	92,759	—	—	—	—	21,957	206,046	27,517
8	99,436	—	—	101,155	32,541	5,659	—	92,135	—	—	—	—	22,771	241,772	28,519
9	101,629	—	—	106,689	31,118	7,544	—	89,374	—	542	—	—	20,000	221,799	28,527
10	105,757	—	—	117,306	33,819	8,195	—	80,183	—	5,047	—	—	23,322	223,962	28,798
11	103,328	—	—	116,506	30,337	13,630	—	79,356	251	10,783	—	—	20,586	216,719	28,897
12	103,823	—	—	120,062	30,211	13,880	—	78,866	6,165	16,890	—	—	20,290	212,252	28,799
13	104,256	—	—	124,886	31,594	16,415	1,433	84,868	11,512	21,114	—	6,582	20,762	208,457	28,637
14	102,952	—	2,358	126,744	24,077	17,632	8,637	79,649	13,135	22,498	—	37,521	22,258	203,514	27,924
15	107,623	—	3,582	131,111	22,581	20,454	14,499	80,434	15,344	33,403	—	38,213	23,236	196,271	27,649
16	104,924	—	4,443	129,103	13,729	22,649	19,162	76,616	16,592	37,843	—	31,781	39,184	184,207	26,743
17	105,705	—	2,919	132,180	11,249	22,766	20,001	78,918	18,282	34,652	—	25,774	18,979	167,679	25,618
18	105,566	—	2,965	136,515	10,140	25,528	21,652	82,370	19,089	43,403	—	28,135	17,956	152,330	25,931
19	103,941	—	2,140	140,701	10,191	27,692	24,345	83,846	18,253	43,171	—	11,620	14,976	140,752	25,786
20	94,609	—	2,161	128,790	7,258	28,599	27,523	83,406	17,399	39,057	907	8,767	13,685	134,820	25,794
21	97,626	—	1,138	135,110	8,406	35,535	29,972	91,160	19,106	42,213	1,117	12,530	14,144	127,442	25,292
22	96,026	—	1,535	138,032	8,568	34,211	30,935	94,906	17,174	46,227	1,751	11,523	11,965	123,945	24,995
23	93,029	—	848	148,709	7,737	35,030	32,259	96,936	17,061	47,973	1,756	18,963	13,819	118,687	23,685
24	92,110	1,335	1,104	152,983	6,312	34,686	31,413	95,190	15,698	48,612	1,395	22,010	13,807	121,726	23,703
25	93,628	1,834	343	160,620	4,412	35,960	31,807	92,158	15,233	49,791	1,233	21,041	13,540	118,756	23,345
26	91,469	2,760	773	163,141	2,668	33,754	32,135	99,877	16,024	52,244	1,434	24,201	14,889	115,915	23,239
27	91,542	2,397	372	174,561	126	33,844	33,212	95,595	15,506	53,658	2,205	23,399	15,222	103,995	22,878
28	84,568	3,112	806	170,778	—	33,636	34,268	95,902	15,990	54,177	2,530	22,136	14,649	103,462	21,937
29	76,103	4,202	327	168,045	—	33,264	34,909	95,794	15,257	53,171	2,642	16,581	14,838	104,727	21,202
30	73,841	8,305	143	170,079	—	33,282	34,672	94,183	14,911	54,062	2,892	16,225	14,250	104,202	20,041

2 結核健診



2-1 結核定期健康診断等

2-1-1 概要

結核とは結核菌（*Mycobacterium tuberculosis*）に感染することで引き起こされる感染症である。特に肺が冒される肺結核が全体の8割を占めることから、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年10月2日法律第114号）に基づき、早期発見のために胸部X線検査による結核定期健康診断が行われている。

もはや過去の病気とみられる向きもあるが、日本国内で約18,000人の新規患者が発生し、年間約2,000名が亡くなるという恐ろしい感染症で、日本は先進諸国の中でも罹患率が高く、中まん延国の位置づけである。

茨城県内においても、しばしば医療機関や老人保健施設を中心に集団感染が発生しており、高齢化の進展、HIV感染者の増加、高まん延国からの外国人渡航者の増加など、結核感染及び発病のリスクが高まってきているため、集団感染防止のための結核健診は以前にも増して重要である。

当協会は結核予防会茨城県支部として、結核罹患者の早期発見及び集団感染を未然に防止することと、発見患者の治療成績の向上に寄与することを目的に、老人保健施設等で寝たきりの方などのハイリスクグループもX線検査が受診できるよう、平成28年度からストレッチャー対応型胸部検診車を整備した。

「結核に関する特定感染症予防指針」において、2020年までに、日本を低まん延状態（結核罹患率を人口10万人対10以下）にする目標が設定された。

2-1-2 実施状況

胸部X線検査

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、65歳以上の一般住民（市町村が必要と認めた場合は65歳未満の住民も実施）、事業所の業務従事者並びに施設の業務従事者及び入居者、学校の教職員・生徒・学生に対し結核定期健康診断を実施した。健診実績は295,299人（一般住民192,853人、事業所77,357人、学校25,089人）であった。

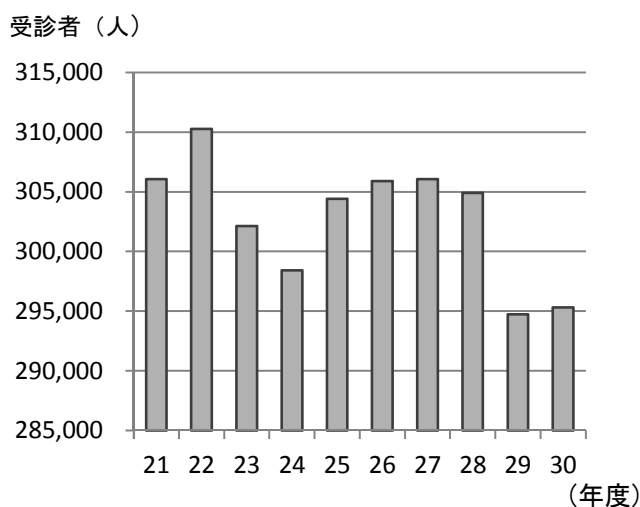


図2-1-1 胸部X線検査実績の年度推移

2-1-3 検査方法

胸部X線検査

胸部X線検査とは、体に直接X線を透過させて写し出す検査で、肺や筋肉、脂肪などX線が通りやすいところは黒く、骨のように通りにくいところは白く写し出されるため、濃淡をもった画像となる。腫瘍や炎症があると、病変部が白い影として写し出される。

なお、撮影された画像には肺のほか、心臓や縦隔なども一緒に写し出されるため、様々な情報を得ることができる。

結核菌特異的インターフェロン - γ 産生能検査（I G R A）

結核患者接触者と医療従事者に対して、平成30年度は2,892人実施した。そのうち県委託分（結核にかかっていると疑うに足りる正当な理由があり、保健所から依頼があった者）は1,790人、一般扱い分は1,102人であった。判定の内訳は、陰性2,580人（89.2%）、陽性149人（5.2%）、判定保留160人（5.5%）、判定不可3人（0.1%）であった。

検査は、全血インターフェロン - γ 応答測定法的一种で、血液中のTリンパ球と特異蛋白（E S A T - 6, C F P - 10及びT B 7.7の3種類のT B抗原）を反応させ、インターフェロン - γ の有無をクオンティフェロンT Bゴールドの試薬キットを用いて測定する。結核菌に感染したことのない人では、Tリンパ球が反応しないため陰性となる。一方、感染のある人ではインターフェロン - γ を産生するため陽性と判定される。

表2-1-1 I G R A検査の判定区分等

測定値M (I U/mL)	測定値A (I U/mL)	結果	解釈
不問	0.35以上	陽性	結核感染を疑う
0.5以上	0.1以上 0.35未満	判定保留	感染リスクの度合いを考慮し、総合的に判断する
	0.1未満	陰性	結核感染していない
0.5未満	0.35未満	判定不可	免疫不全等が考えられるので、判定を行わない

測定値M (I U/mL) = I F N - γ M^{注1)} - I F N - γ N^{注3)}

測定値A (I U/mL) = I F N - γ A^{注2)} - I F N - γ N^{注3)}

注1) I F N - γ M : 陽性コントロール血漿のI F N - γ 濃度 (I U/mL)

注2) I F N - γ A : T B抗原血漿のI F N - γ 濃度 (I U/mL)

注3) I F N - γ N : 陰性コントロール血漿のI F N - γ 濃度 (I U/mL)

表2-1-2 年度別健診実績(胸部X線検査)

単位：人

年 度	総 数		一 般 住 民		事 業 所		学 校	
	一 次 健 診	精密検査	一 次 健 診	精密検査	一 次 健 診	精密検査	一 次 健 診	精密検査
20	299,732	62	192,837	-	74,399	9	32,496	53
21	306,059	30	192,015	-	76,521	1	37,523	29
22	310,274	44	196,626	-	80,960	1	32,688	43
23	302,134	15	189,864	-	79,749	1	32,521	14
24	298,423	10	191,158	-	75,787	1	31,478	9
25	304,423	27	194,920	-	78,324	1	31,179	26
26	305,897	-	195,348	-	78,846	-	31,703	-
27	306,062	-	198,278	-	79,215	-	28,569	-
28	304,901	-	196,021	-	79,694	-	29,186	-
29	294,739	-	191,600	-	77,165	-	25,974	-
30	295,299	-	192,853	-	77,357	-	25,089	-

※ 精密検査は結核精密検査実施数

表2-1-3 健診実績(保健所別)

単位：人

	総 数	内 訳			
		一 般 住 民	事 業 所	学 校	
				学 生	教 職 員
合 計	295,299	192,853	77,357	19,927	5,162
水 戸	71,296	32,850	27,930	9,806	710
ひたちなか	20,052	13,568	5,958	215	311
常 陸 大 宮	17,526	14,104	2,879	-	543
日 立	1,474	-	1,174	300	-
鉾 田	13,808	12,604	1,082	-	122
潮 来	21,200	18,066	2,562	-	572
竜 ケ 崎	20,581	16,242	3,866	157	316
土 浦	28,944	18,105	8,168	1,496	1,175
つ く ば	36,397	13,785	14,262	7,953	397
筑 西	22,075	19,045	2,690	-	340
常 総	22,164	18,951	2,916	-	297
古 河	18,331	15,533	2,419	-	379
そ の 他	1,451	-	1,451	-	-

※ その他は人間ドック及び県外事業所の数

表2-1-4 住民健診（市町村別）実績

単位：人（％）

	総 計			39 歳 以 下			40 歳 以 上		
	受 診 者	要 精 密 検 査		受 診 者	要 精 密 検 査		受 診 者	要 精 密 検 査	
合 計	192,853	6,028	(3.1)	4,410	41	(0.9)	188,443	5,987	(3.2)
水戸保健所計	32,850	898	(2.7)	－	－	－	32,850	898	(2.7)
水戸市	10,805	263	(2.4)	－	－	－	10,805	263	(2.4)
笠間市	8,321	264	(3.2)	－	－	－	8,321	264	(3.2)
茨城町	3,850	108	(2.8)	－	－	－	3,850	108	(2.8)
小美玉市	4,702	124	(2.6)	－	－	－	4,702	124	(2.6)
城里町	3,144	82	(2.6)	－	－	－	3,144	82	(2.6)
大洗町	2,028	57	(2.8)	－	－	－	2,028	57	(2.8)
ひたちなか保健所計	13,568	324	(2.4)	－	－	－	13,568	324	(2.4)
ひたちなか市	8,858	231	(2.6)	－	－	－	8,858	231	(2.6)
東海村	4,710	93	(2.0)	－	－	－	4,710	93	(2.0)
常陸大宮保健所計	14,104	330	(2.3)	74	－	(0.0)	14,030	330	(2.4)
那珂市	5,654	138	(2.4)	－	－	－	5,654	138	(2.4)
常陸大宮市	5,870	122	(2.1)	－	－	－	5,870	122	(2.1)
大子町	2,580	70	(2.7)	74	－	(0.0)	2,506	70	(2.8)
鉾田保健所計	12,604	350	(2.8)	625	12	(1.9)	11,979	338	(2.8)
鉾田市	7,761	181	(2.3)	－	－	－	7,761	181	(2.3)
行方市	4,843	169	(3.5)	625	12	(1.9)	4,218	157	(3.7)
潮来保健所計	18,066	853	(4.7)	1,552	24	(1.5)	16,514	829	(5.0)
鹿嶋市	6,043	298	(4.9)	－	－	－	6,043	298	(4.9)
神栖市	8,299	379	(4.6)	1,064	12	(1.1)	7,235	367	(5.1)
潮来市	3,724	176	(4.7)	488	12	(2.5)	3,236	164	(5.1)
竜ヶ崎保健所計	16,242	845	(5.2)	128	1	(0.8)	16,114	844	(5.2)
龍ヶ崎市	4,840	292	(6.0)	－	－	－	4,840	292	(6.0)
稲敷市	3,664	210	(5.7)	1	－	(0.0)	3,663	210	(5.7)
牛久市	6,890	321	(4.7)	127	1	(0.8)	6,763	320	(4.7)
河内町	848	22	(2.6)	－	－	－	848	22	(2.6)
土浦保健所計	18,105	915	(5.1)	156	2	(1.3)	17,949	913	(5.1)
土浦市	4,036	201	(5.0)	－	－	－	4,036	201	(5.0)
石岡市	5,692	302	(5.3)	－	－	－	5,692	302	(5.3)
美浦村	2,019	63	(3.1)	156	2	(1.3)	1,863	61	(3.3)
阿見町	2,872	160	(5.6)	－	－	－	2,872	160	(5.6)
かすみがうら市	3,486	189	(5.4)	－	－	－	3,486	189	(5.4)
つくば保健所計	13,785	446	(3.2)	496	1	(0.2)	13,289	445	(3.3)
つくば市	10,008	366	(3.7)	－	－	－	10,008	366	(3.7)
つくばみらい市	3,777	80	(2.1)	496	1	(0.2)	3,281	79	(2.4)
筑西保健所計	19,045	379	(2.0)	372	－	(0.0)	18,673	379	(2.0)
筑西市	10,230	194	(1.9)	119	－	(0.0)	10,111	194	(1.9)
結城市	4,319	98	(2.3)	252	－	(0.0)	4,067	98	(2.4)
桜川市	4,496	87	(1.9)	1	－	(0.0)	4,495	87	(1.9)

単位：人（％）

	総 計			39 歳 以 下			40 歳 以 上		
	受 診 者	要 精 密 検 査		受 診 者	要 精 密 検 査		受 診 者	要 精 密 検 査	
常 総 保 健 所 計	18,951	376	(2.0)	1,007	1	(0.1)	17,944	375	(2.1)
下 妻 市	4,539	88	(1.9)	317	－	(0.0)	4,222	88	(2.1)
常 総 市	4,774	100	(2.1)	232	1	(0.4)	4,542	99	(2.2)
坂 東 市	7,099	142	(2.0)	458	－	(0.0)	6,641	142	(2.1)
八 千 代 町	2,539	46	(1.8)	－	－	－	2,539	46	(1.8)
古 河 保 健 所 計	15,533	312	(2.0)	－	－	－	15,533	312	(2.0)
古 河 市	10,722	204	(1.9)	－	－	－	10,722	204	(1.9)
五 霞 町	1,095	20	(1.8)	－	－	－	1,095	20	(1.8)
境 町	3,716	88	(2.4)	－	－	－	3,716	88	(2.4)

※ 要精密検査には、判定結果が「D 1・E 1・E 2」の者を集計

表2-1-5 事業所(保健所別)実績

単位：人(%)

	総 数			結 核 健 診			結 核 ・ 肺 が ん 検 診		
	受 診 者	要 精 密 検 査		受 診 者	要 精 密 検 査		受 診 者	要 精 密 検 査	
合 計	77,357	4,435 (5.7)		42,943	4,155 (9.7)		34,414	280 (0.8)	
水 戸	27,930	1,629 (5.8)		14,089	1,552 (11.0)		13,841	77 (0.6)	
ひたちなか	5,958	384 (6.4)		4,297	377 (8.8)		1,661	7 (0.4)	
常 陸 大 宮	2,879	152 (5.3)		1,788	149 (8.3)		1,091	3 (0.3)	
日 立	1,174	62 (5.3)		1,174	62 (5.3)		-	-	-
鉾 田	1,082	68 (6.3)		509	62 (12.2)		573	6 (1.0)	
潮 来	2,562	165 (6.4)		684	115 (16.8)		1,878	50 (2.7)	
竜 ケ 崎	3,866	173 (4.5)		1,925	135 (7.0)		1,941	38 (2.0)	
土 浦	8,168	609 (7.5)		6,204	574 (9.3)		1,964	35 (1.8)	
つ く ば	14,262	630 (4.4)		6,637	587 (8.8)		7,625	43 (0.6)	
筑 西	2,690	182 (6.8)		1,615	173 (10.7)		1,075	9 (0.8)	
常 総	2,916	150 (5.1)		1,619	144 (8.9)		1,297	6 (0.5)	
古 河	2,419	159 (6.6)		1,503	155 (10.3)		916	4 (0.4)	
そ の 他	1,451	72 (5.0)		899	70 (7.8)		552	2 (0.4)	

※ その他は人間ドック及び県外事業所の数

表2-1-6 学校（区分別）実績

単位：人（％）

	総 数	生 徒 ・ 学 生			教 職 員		
		受 診 者	要 精 密 検 査		受 診 者	要 精 密 検 査	
合 計	25,089	19,927	59	(0.3)	5,162	36	(0.7)
私立保育・幼稚園	65	-	-	-	65	11	(16.9)
私立小・中学校	59	47	1	(2.1)	12	1	(8.3)
私立高等学校	3,317	3,317	13	(0.4)	-	-	-
高等専門学校	207	207	-	(0.0)	-	-	-
短大・大学	16,348	16,348	45	(0.3)	-	-	-
盲・聾・養護学校	8	8	-	(0.0)	-	-	-
市町村立学校	5,085	-	-	-	5,085	24	(0.5)

※ 市町村立学校のうち、市町村職員健診として実施している公立幼稚園職員は受診者数に含まない。

表2-1-7 学校（保健所別）実績

単位：人（％）

	総 数	生 徒 ・ 学 生			教 職 員		
		受 診 者	要 精 密 検 査		受 診 者	要 精 密 検 査	
合 計	25,089	19,927	59	(0.3)	5,162	36	(0.7)
水 戸	10,516	9,806	48	(0.5)	710	3	(0.4)
ひ た ち な か	526	215	-	(0.0)	311	9	(2.9)
常 陸 大 宮	543	-	-	-	543	3	(0.6)
日 立	300	300	3	(1.0)	-	-	-
鉾 田	122	-	-	-	122	1	(0.8)
潮 来	572	-	-	-	572	3	(0.5)
竜 ケ 崎	473	157	1	(0.6)	316	4	(1.3)
土 浦	2,671	1,496	2	(0.1)	1,175	9	(0.8)
つ く ば	8,350	7,953	5	(0.1)	397	1	(0.3)
筑 西	340	-	-	-	340	1	(0.3)
常 総	297	-	-	-	297	2	(0.7)
古 河	379	-	-	-	379	-	(0.0)

※ 市町村立学校のうち、市町村職員健診として実施している公立幼稚園職員は受診者数に含まない。

表2-1-8 市町村教職員結核・肺がん検診（市町村別）実績

単位：人（％）

	受診者	要精密検査	
合 計	5,085	24	(0.5)
水 戸 保 健 所 計	700	2	(0.3)
水 戸 市	251	1	(0.4)
笠 間 市	77	1	(1.3)
茨 城 町	119	－	(0.0)
小 美 玉 市	139	－	(0.0)
城 里 町	24	－	(0.0)
大 洗 町	90	－	(0.0)
ひ た ち な か 保 健 所 計	266	－	(0.0)
ひ た ち な か 市	202	－	(0.0)
東 海 村	64	－	(0.0)
常 陸 大 宮 保 健 所 計	543	3	(0.6)
那 珂 市	247	－	(0.0)
常 陸 大 宮 市	164	1	(0.6)
大 子 町	132	2	(1.5)
鉾 田 保 健 所 計	110	－	(0.0)
鉾 田 市	81	－	(0.0)
行 方 市	29	－	(0.0)
潮 来 保 健 所 計	572	3	(0.5)
潮 来 市	120	－	(0.0)
鹿 嶋 市	270	2	(0.7)
神 栖 市	182	1	(0.5)
竜 ヶ 崎 保 健 所 計	306	3	(1.0)
牛 久 市	97	1	(1.0)
河 内 町	18	－	(0.0)
守 谷 市	181	2	(1.1)
利 根 町	10	－	(0.0)

単位：人（％）

	受診者	要精密検査	
土 浦 保 健 所 計	1,175	9	(0.8)
土 浦 市	306	2	(0.7)
石 岡 市	440	3	(0.7)
美 浦 村	108	－	(0.0)
阿 見 町	220	3	(1.4)
か す み が う ら 市	101	1	(1.0)
つ く ば 保 健 所 計	397	1	(0.3)
つ く ば 市	397	1	(0.3)
筑 西 保 健 所 計	340	1	(0.3)
筑 西 市	175	1	(0.6)
結 城 市	85	－	(0.0)
桜 川 市	80	－	(0.0)
常 総 保 健 所 計	297	2	(0.7)
下 妻 市	65	－	(0.0)
常 総 市	85	1	(1.2)
坂 東 市	124	1	(0.8)
八 千 代 町	23	－	(0.0)
古 河 保 健 所 計	379	－	(0.0)
古 河 市	223	－	(0.0)
境 町	46	－	(0.0)
五 霞 町	110	－	(0.0)

※ 市町村立学校のうち、市町村職員健診として実施している公立幼稚園職員は受診者数に含まない。

表2-1-9 年度別 I G R A 検査実績（結核患者接触者及び医療従事者）

単位：人（％）

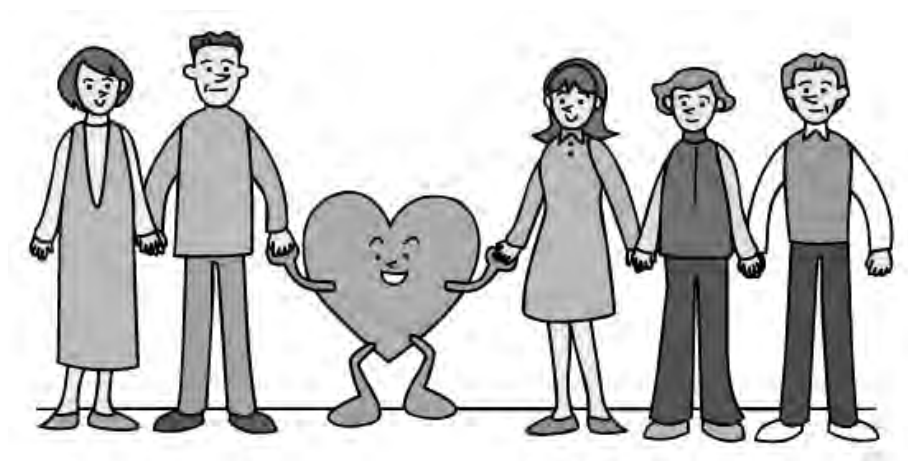
年度	受検者	陰性	陽性	判定保留	判定不可
平成 21	1, 117	978 (87.6)	82 (7.3)	56 (5.0)	1 (0.1)
22	1, 751	1, 440 (82.2)	137 (7.8)	172 (9.8)	2 (0.1)
23	1, 756	1, 355 (77.2)	185 (10.5)	216 (12.3)	－ (0.0)
24	1, 395	1, 221 (87.5)	87 (6.2)	85 (6.1)	2 (0.1)
25	1, 233	1, 090 (88.4)	80 (6.5)	50 (4.1)	13 (1.1)
26	1, 434	1, 249 (87.1)	88 (6.1)	91 (6.3)	6 (0.4)
27	2, 205	2, 014 (91.3)	99 (4.5)	91 (4.1)	1 (0.0)
28	2, 530	2, 275 (89.9)	138 (5.5)	112 (4.4)	5 (0.2)
29	2, 642	2, 412 (91.3)	124 (4.7)	105 (4.0)	1 (0.0)
30	2, 892	2, 580 (89.2)	149 (5.2)	160 (5.5)	3 (0.1)

表2-1-10 保健所別 I G R A 検査実績（県受託分）

単位：人（％）

	受検者	陰性	陽性	判定保留	判定不可
合 計	1, 790	1, 514 (84.6)	146 (8.2)	128 (7.2)	2 (0.1)
水 戸	364	302 (83.0)	42 (11.5)	20 (5.5)	－ (0.0)
ひ た ち な か	43	35 (81.4)	5 (11.6)	3 (7.0)	－ (0.0)
常 陸 大 宮	93	79 (84.9)	5 (5.4)	9 (9.7)	－ (0.0)
日 立	112	95 (84.8)	5 (4.5)	12 (10.7)	－ (0.0)
鉾 田	52	42 (80.8)	6 (11.5)	3 (5.8)	1 (1.9)
潮 来	162	133 (82.1)	14 (8.6)	15 (9.3)	－ (0.0)
竜 ケ 崎	301	272 (90.4)	15 (5.0)	14 (4.7)	－ (0.0)
土 浦	144	118 (81.9)	12 (8.3)	14 (9.7)	－ (0.0)
つ く ば	138	118 (85.5)	10 (7.2)	9 (6.5)	1 (0.7)
筑 西	230	195 (84.8)	15 (6.5)	20 (8.7)	－ (0.0)
常 総	80	61 (76.3)	12 (15.0)	7 (8.8)	－ (0.0)
古 河	71	64 (90.1)	5 (7.0)	2 (2.8)	－ (0.0)

3 地域保健



特 定 健 康 診 査 等



3-1 特定健康診査等

3-1-1 概要

当協会では、特定健康診査等を、特定健康診査（対象：市町村国保被保険者及び被用者保険被扶養者等の40～74歳）、高齢者健康診査（対象：後期高齢者医療広域連合被保険者）、生活習慣病予防健診（対象：健康保険未加入者及び市町村が任意で対象とする者）に区分して実施している。

なお、平成30年度から「第3期特定健康診査・特定保健指導」が始まり、詳細な健診の項目に、血清クレアチニン検査が追加された。

3-1-2 実施状況

平成30年度の特定健康診査等は、県内37市町村で211,691人に実施した。

健診区分別では、特定健康診査144,048人(68.0%)〔うち市町村国保122,091人(84.8%),被用者保険等21,957人(15.2%)〕、高齢者健康診査49,356人(23.3%),生活習慣病予防健診18,287人(8.6%)である。

有所見率(受診項目に基準以上の値又は所見がある者の割合)は特定健康診査で97%超、高齢者健康診査では99%超、若年層が多い生活習慣病予防健診でも78%超であった。

特定健康診査に付加されるメタボリックシンドローム判定で、「予備群該当」又は「該当」いずれかになった者の割合は25.7%,保健指導レベルで「動機づけ支援」又は「積極的支援」のいずれかに該当した者の割合は14.4%であった。

実績年度推移では、前年度比で特定健康診査(市町村国保)・生活習慣病予防健診が減少したが、特定健康診査(被用者保険)・高齢者健康診査においては増加した。

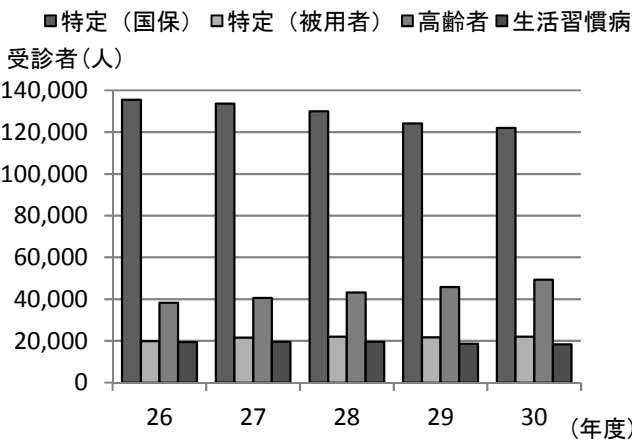


図3-1-1 特定健康診査等区分別実績の年度推移

表3-1-1 実施項目

項 目			特定健康診査	高齢者健康診査	生活習慣病予防健診
基 本 項 目	問 診		●	●	●
	身体計測	身長・体重・BMI	●	●	●
		腹 囲	●		○ (40-74歳)
	血 圧		●	●	●
	血 液	血 中 脂 質	●	●	●
		肝 機 能	●	●	●
		ヘモグロビンA1c	■	■	■
		空腹時血糖	■	■	■
		随時血糖 ^{注1)}	■	■	■
	尿 (蛋 白 ・ 糖)		●	●	●
詳 細 項 目	心 電 図		○		○ (40-74歳)
	眼 底		○		○ (40-74歳)
	貧 血		○		○ (40-74歳)
	血清クレアチニン		○		○ (40-74歳)

※ ●=全員実施 ■=いずれかの項目を実施 ○=該当者のみ実施

※ 注1) やむを得ず空腹時以外に採血を行い、HbA1c (NGSP値) を測定しない場合は、食直後(食事開始時から3.5時間未満)を除き随時血糖により血糖検査を行うことを可とする。

表3-1-2 年度別健診実績

単位：人

年度	総人数	特定健康診査（国保）	特定健康診査（被用者）	高齢者健康診査	生活習慣病予防健診
平成 21	206,345	135,395	14,436	33,290	23,224
22	208,049	137,063	14,329	33,989	22,668
23	203,595	134,306	14,286	33,866	21,137
24	205,148	134,703	14,311	35,206	20,928
25	211,897	136,524	18,345	36,828	20,200
26	213,005	135,538	19,804	38,225	19,438
27	215,398	133,647	21,588	40,637	19,526
28	214,647	130,056	21,968	43,134	19,489
29	210,459	124,215	21,704	45,839	18,701
30	211,691	122,091	21,957	49,356	18,287

表3-1-3 特定健康診査等実績（総計）

単位：人（％）

判 定 内 訳		実 施 数	健 診 区 分					
			特 定 健 康 診 査		高 齢 者 健 康 診 査		生 活 習 慣 病 予 防 健 診	
総 計		211,691	144,048	(68.0)	49,356	(23.3)	18,287	(8.6)
総 合 判 定	異 常 認 め ず	8,595	4,167	(2.9)	486	(1.0)	3,942	(21.6)
	要 指 導	67,804	45,416	(31.5)	13,706	(27.8)	8,682	(47.5)
	要 精 密 検 査	135,292	94,465	(65.6)	35,164	(71.2)	5,663	(31.0)
メタボリックシンドローム	非 該 当	107,064	107,064	(74.3)	-	-	-	-
	予 備 群 該 当	13,051	13,051	(9.1)	-	-	-	-
	該 当	23,931	23,931	(16.6)	-	-	-	-
	判 定 不 能	2	2	(0.0)	-	-	-	-
保 健 指 導 レ ベ ル	なし（情報提供）	123,331	123,331	(85.6)	-	-	-	-
	動 機 づ け 支 援	14,702	14,702	(10.2)	-	-	-	-
	積 極 的 支 援	6,015	6,015	(4.2)	-	-	-	-
	判 定 不 能	-	-	(0.0)	-	-	-	-

（男性）

単位：人（％）

判 定 内 訳		実 施 数	健 診 区 分					
			特 定 健 康 診 査		高 齢 者 健 康 診 査		生 活 習 慣 病 予 防 健 診	
総 計		85,184	54,480	(64.0)	24,502	(28.8)	6,202	(7.3)
総 合 判 定	異 常 認 め ず	2,148	931	(1.7)	280	(1.1)	937	(15.1)
	要 指 導	24,042	14,893	(27.3)	6,543	(26.7)	2,606	(42.0)
	要 精 密 検 査	58,994	38,656	(71.0)	17,679	(72.2)	2,659	(42.9)
メタボリックシンドローム	非 該 当	30,112	30,112	(55.3)	-	-	-	-
	予 備 群 該 当	8,801	8,801	(16.2)	-	-	-	-
	該 当	15,565	15,565	(28.6)	-	-	-	-
	判 定 不 能	2	2	(0.0)	-	-	-	-
保 健 指 導 レ ベ ル	なし（情報提供）	42,604	42,604	(78.2)	-	-	-	-
	動 機 づ け 支 援	4,019	4,019	(7.4)	-	-	-	-
	積 極 的 支 援	7,857	7,857	(14.4)	-	-	-	-
	判 定 不 能	-	-	(0.0)	-	-	-	-

（女性）

単位：人（％）

判 定 内 訳		実 施 数	健 診 区 分					
			特 定 健 康 診 査		高 齢 者 健 康 診 査		生 活 習 慣 病 予 防 健 診	
総 計		126,507	89,568	(70.8)	24,854	(19.6)	12,085	(9.6)
総 合 判 定	異 常 認 め ず	6,447	3,236	(3.6)	206	(0.8)	3,005	(24.9)
	要 指 導	43,762	30,523	(34.1)	7,163	(28.8)	6,076	(50.3)
	要 精 密 検 査	76,298	55,809	(62.3)	17,485	(70.4)	3,004	(24.9)
メタボリックシンドローム	非 該 当	76,952	76,952	(85.9)	-	-	-	-
	予 備 群 該 当	4,250	4,250	(4.7)	-	-	-	-
	該 当	8,366	8,366	(9.3)	-	-	-	-
	判 定 不 能	-	-	(0.0)	-	-	-	-
保 健 指 導 レ ベ ル	なし（情報提供）	80,727	80,727	(90.1)	-	-	-	-
	動 機 づ け 支 援	6,845	6,845	(7.6)	-	-	-	-
	積 極 的 支 援	1,996	1,996	(2.2)	-	-	-	-
	判 定 不 能	-	-	(0.0)	-	-	-	-

※ 特定健康診査には、国民健康保険・被用者保険のほか、国民健康保険組合・全額自己負担実施者（特定健診扱い）を含む。

表3-1-4 市町村別総合判定内訳

	総実施数	特 定 健 康 診 査					
		計	異 常 認 め ず		要 指 導		要 精 密 検 査
総 計	211,691	144,048	4,167	(2.9)	45,416	(31.5)	94,465 (65.6)
水 戸 保 健 所 計	33,302	21,028	446	(2.1)	6,235	(29.7)	14,347 (68.2)
水 戸 市	10,994	6,728	163	(2.4)	1,926	(28.6)	4,639 (69.0)
笠 間 市	8,601	5,338	82	(1.5)	1,559	(29.2)	3,697 (69.3)
茨 城 町	3,927	2,548	59	(2.3)	732	(28.7)	1,757 (69.0)
小 美 玉 市	4,764	3,155	71	(2.3)	987	(31.3)	2,097 (66.5)
城 里 町	2,946	1,997	40	(2.0)	619	(31.0)	1,338 (67.0)
大 洗 町	2,070	1,262	31	(2.5)	412	(32.6)	819 (64.9)
ひ たち な か 保 健 所 計	13,913	7,810	163	(2.1)	2,301	(29.5)	5,346 (68.5)
ひ たち な か 市	9,259	5,504	118	(2.1)	1,646	(29.9)	3,740 (68.0)
東 海 村	4,654	2,306	45	(2.0)	655	(28.4)	1,606 (69.6)
常 陸 大 宮 保 健 所 計	13,857	9,550	223	(2.3)	3,268	(34.2)	6,059 (63.4)
那 珂 市	5,344	3,537	115	(3.3)	1,402	(39.6)	2,020 (57.1)
常 陸 大 宮 市	5,844	4,145	72	(1.7)	1,298	(31.3)	2,775 (66.9)
大 子 町	2,669	1,868	36	(1.9)	568	(30.4)	1,264 (67.7)
鉾 田 保 健 所 計	13,267	8,615	227	(2.6)	2,659	(30.9)	5,729 (66.5)
鉾 田 市	8,838	5,520	146	(2.6)	1,680	(30.4)	3,694 (66.9)
行 方 市	4,429	3,095	81	(2.6)	979	(31.6)	2,035 (65.8)
潮 来 保 健 所 計	18,150	11,749	274	(2.3)	3,562	(30.3)	7,913 (67.4)
鹿 嶋 市	6,780	4,644	87	(1.9)	1,366	(29.4)	3,191 (68.7)
神 栖 市	7,704	4,880	144	(3.0)	1,512	(31.0)	3,224 (66.1)
潮 来 市	3,666	2,225	43	(1.9)	684	(30.7)	1,498 (67.3)
竜 ケ 崎 保 健 所 計	15,548	10,965	242	(2.2)	3,383	(30.9)	7,340 (66.9)
龍 ケ 崎 市	4,587	3,221	78	(2.4)	1,056	(32.8)	2,087 (64.8)
稲 敷 市	3,406	2,489	42	(1.7)	710	(28.5)	1,737 (69.8)
牛 久 市	6,716	4,637	109	(2.4)	1,422	(30.7)	3,106 (67.0)
河 内 町	839	618	13	(2.1)	195	(31.6)	410 (66.3)
土 浦 保 健 所 計	18,178	11,422	191	(1.7)	3,378	(29.6)	7,853 (68.8)
土 浦 市	3,677	2,037	41	(2.0)	655	(32.2)	1,341 (65.8)
石 岡 市	6,078	4,015	66	(1.6)	1,222	(30.4)	2,727 (67.9)
美 浦 村	1,827	1,140	14	(1.2)	309	(27.1)	817 (71.7)
阿 見 町	3,104	1,972	34	(1.7)	524	(26.6)	1,414 (71.7)
か す み が う ら 市	3,492	2,258	36	(1.6)	668	(29.6)	1,554 (68.8)

単位：人（％）

高 齢 者 健 康 診 査				生 活 習 慣 病 予 防 健 診			
計	異 常 認 め ず	要 指 導	要 精 密 検 査	計	異 常 認 め ず	要 指 導	要 精 密 検 査
49,356	486 (1.0)	13,706 (27.8)	35,164 (71.2)	18,287	3,942 (21.6)	8,682 (47.5)	5,663 (31.0)
9,026	124 (1.4)	2,720 (30.1)	6,182 (68.5)	3,248	655 (20.2)	1,535 (47.3)	1,058 (32.6)
3,107	20 (0.6)	692 (22.3)	2,395 (77.1)	1,159	261 (22.5)	556 (48.0)	342 (29.5)
2,538	43 (1.7)	892 (35.1)	1,603 (63.2)	725	121 (16.7)	334 (46.1)	270 (37.2)
897	18 (2.0)	293 (32.7)	586 (65.3)	482	109 (22.6)	229 (47.5)	144 (29.9)
1,204	24 (2.0)	426 (35.4)	754 (62.6)	405	84 (20.7)	191 (47.2)	130 (32.1)
798	18 (2.3)	302 (37.8)	478 (59.9)	151	26 (17.2)	71 (47.0)	54 (35.8)
482	1 (0.2)	115 (23.9)	366 (75.9)	326	54 (16.6)	154 (47.2)	118 (36.2)
4,578	33 (0.7)	1,038 (22.7)	3,507 (76.6)	1,525	318 (20.9)	744 (48.8)	463 (30.4)
2,966	18 (0.6)	694 (23.4)	2,254 (76.0)	789	175 (22.2)	397 (50.3)	217 (27.5)
1,612	15 (0.9)	344 (21.3)	1,253 (77.7)	736	143 (19.4)	347 (47.1)	246 (33.4)
3,709	70 (1.9)	1,476 (39.8)	2,163 (58.3)	598	138 (23.1)	263 (44.0)	197 (32.9)
1,590	42 (2.6)	718 (45.2)	830 (52.2)	217	62 (28.6)	88 (40.6)	67 (30.9)
1,414	16 (1.1)	516 (36.5)	882 (62.4)	285	65 (22.8)	131 (46.0)	89 (31.2)
705	12 (1.7)	242 (34.3)	451 (64.0)	96	11 (11.5)	44 (45.8)	41 (42.7)
2,083	19 (0.9)	547 (26.3)	1,517 (72.8)	2,569	553 (21.5)	1,227 (47.8)	789 (30.7)
1,423	10 (0.7)	315 (22.1)	1,098 (77.2)	1,895	402 (21.2)	923 (48.7)	570 (30.1)
660	9 (1.4)	232 (35.2)	419 (63.5)	674	151 (22.4)	304 (45.1)	219 (32.5)
4,449	53 (1.2)	1,343 (30.2)	3,053 (68.6)	1,952	467 (23.9)	900 (46.1)	585 (30.0)
1,887	18 (1.0)	471 (25.0)	1,398 (74.1)	249	47 (18.9)	122 (49.0)	80 (32.1)
1,686	24 (1.4)	595 (35.3)	1,067 (63.3)	1,138	296 (26.0)	524 (46.0)	318 (27.9)
876	11 (1.3)	277 (31.6)	588 (67.1)	565	124 (21.9)	254 (45.0)	187 (33.1)
3,958	27 (0.7)	1,002 (25.3)	2,929 (74.0)	625	138 (22.1)	285 (45.6)	202 (32.3)
1,152	6 (0.5)	343 (29.8)	803 (69.7)	214	39 (18.2)	98 (45.8)	77 (36.0)
808	4 (0.5)	170 (21.0)	634 (78.5)	109	24 (22.0)	45 (41.3)	40 (36.7)
1,817	17 (0.9)	438 (24.1)	1,362 (75.0)	262	65 (24.8)	124 (47.3)	73 (27.9)
181	－ (0.0)	51 (28.2)	130 (71.8)	40	10 (25.0)	18 (45.0)	12 (30.0)
5,574	35 (0.6)	1,334 (23.9)	4,205 (75.4)	1,182	240 (20.3)	561 (47.5)	381 (32.2)
1,383	7 (0.5)	348 (25.2)	1,028 (74.3)	257	54 (21.0)	129 (50.2)	74 (28.8)
1,722	7 (0.4)	368 (21.4)	1,347 (78.2)	341	66 (19.4)	159 (46.6)	116 (34.0)
503	4 (0.8)	97 (19.3)	402 (79.9)	184	47 (25.5)	93 (50.5)	44 (23.9)
981	6 (0.6)	275 (28.0)	700 (71.4)	151	25 (16.6)	74 (49.0)	52 (34.4)
985	11 (1.1)	246 (25.0)	728 (73.9)	249	48 (19.3)	106 (42.6)	95 (38.2)

	総実施数	特 定 健 康 診 査			
		計	異 常 認 め ず	要 指 導	要 精 密 検 査
つくば保健所計	15,945	9,041	198 (2.2)	2,635 (29.1)	6,208 (68.7)
つくば市	12,461	6,922	156 (2.3)	2,077 (30.0)	4,689 (67.7)
つくばみらい市	3,484	2,119	42 (2.0)	558 (26.3)	1,519 (71.7)
筑西保健所計	16,464	11,401	286 (2.5)	3,686 (32.3)	7,429 (65.2)
筑西市	8,807	6,107	163 (2.7)	2,035 (33.3)	3,909 (64.0)
結城市	3,668	2,564	64 (2.5)	820 (32.0)	1,680 (65.5)
桜川市	3,989	2,730	59 (2.2)	831 (30.4)	1,840 (67.4)
常総保健所計	16,671	11,687	249 (2.1)	3,573 (30.6)	7,865 (67.3)
下妻市	4,491	3,043	65 (2.1)	966 (31.7)	2,012 (66.1)
常総市	3,835	2,774	49 (1.8)	818 (29.5)	1,907 (68.7)
坂東市	6,163	4,277	97 (2.3)	1,318 (30.8)	2,862 (66.9)
八千代町	2,182	1,593	38 (2.4)	471 (29.6)	1,084 (68.0)
古河保健所計	14,436	8,823	197 (2.2)	2,542 (28.8)	6,084 (69.0)
古河市	10,182	6,038	131 (2.2)	1,704 (28.2)	4,203 (69.6)
五霞町	961	664	23 (3.5)	208 (31.3)	433 (65.2)
境町	3,293	2,121	43 (2.0)	630 (29.7)	1,448 (68.3)
被用者保険	21,960	21,957	1,471 (6.7)	8,194 (37.3)	12,292 (56.0)

※ 各市町村の特定健康診査実施数は、国民健康保険加入者のみを対象としている。

※ 被用者保険には、被用者保険被扶養者のほか、国民健康保険組合、全額自己負担実施者、県外後期高齢者医療広域連合加入者及びその他の特例者を含む。

高 齢 者 健 康 診 査				生 活 習 慣 病 予 防 健 診			
計	異 常 認 め ず	要 指 導	要 精 密 検 査	計	異 常 認 め ず	要 指 導	要 精 密 検 査
3,759	23 (0.6)	843 (22.4)	2,893 (77.0)	3,145	772 (24.5)	1,609 (51.2)	764 (24.3)
2,915	12 (0.4)	601 (20.6)	2,302 (79.0)	2,624	638 (24.3)	1,345 (51.3)	641 (24.4)
844	11 (1.3)	242 (28.7)	591 (70.0)	521	134 (25.7)	264 (50.7)	123 (23.6)
3,966	53 (1.3)	1,292 (32.6)	2,621 (66.1)	1,097	259 (23.6)	490 (44.7)	348 (31.7)
2,252	32 (1.4)	760 (33.7)	1,460 (64.8)	448	121 (27.0)	185 (41.3)	142 (31.7)
839	13 (1.5)	276 (32.9)	550 (65.6)	265	69 (26.0)	127 (47.9)	69 (26.0)
875	8 (0.9)	256 (29.3)	611 (69.8)	384	69 (18.0)	178 (46.4)	137 (35.7)
3,626	35 (1.0)	1,152 (31.8)	2,439 (67.3)	1,358	221 (16.3)	632 (46.5)	505 (37.2)
974	7 (0.7)	341 (35.0)	626 (64.3)	474	87 (18.4)	192 (40.5)	195 (41.1)
802	7 (0.9)	249 (31.0)	546 (68.1)	259	37 (14.3)	123 (47.5)	99 (38.2)
1,387	16 (1.2)	413 (29.8)	958 (69.1)	499	77 (15.4)	247 (49.5)	175 (35.1)
463	5 (1.1)	149 (32.2)	309 (66.7)	126	20 (15.9)	70 (55.6)	36 (28.6)
4,625	14 (0.3)	959 (20.7)	3,652 (79.0)	988	181 (18.3)	436 (44.1)	371 (37.6)
3,414	11 (0.3)	676 (19.8)	2,727 (79.9)	730	138 (18.9)	305 (41.8)	287 (39.3)
233	2 (0.9)	62 (26.6)	169 (72.5)	64	9 (14.1)	32 (50.0)	23 (35.9)
978	1 (0.1)	221 (22.6)	756 (77.3)	194	34 (17.5)	99 (51.0)	61 (31.4)
3	－ (0.0)	－ (0.0)	3 (100.0)	－	－	－	－

表3-1-5 市町村別メタボリックシンドローム判定・保健指導レベル内訳
〔特定健康診査〕

	実 施 数	メ タ ボ リ ッ ク シ ン ド ロ ー ム 判 定 内 訳			
		非 該 当	予 備 群 該 当	該 当	判 定 不 能
総 計	144,048	107,064 (74.3)	13,051 (9.1)	23,931 (16.6)	2 (0.0)
水 戸 保 健 所 計	21,028	14,800 (70.4)	2,124 (10.1)	4,104 (19.5)	－ (0.0)
水 戸 市	6,728	4,948 (73.5)	630 (9.4)	1,150 (17.1)	－ (0.0)
笠 間 市	5,338	3,815 (71.5)	485 (9.1)	1,038 (19.4)	－ (0.0)
茨 城 町	2,548	1,698 (66.6)	301 (11.8)	549 (21.5)	－ (0.0)
小 美 玉 市	3,155	2,158 (68.4)	336 (10.6)	661 (21.0)	－ (0.0)
城 里 町	1,997	1,359 (68.1)	214 (10.7)	424 (21.2)	－ (0.0)
大 洗 町	1,262	822 (65.1)	158 (12.5)	282 (22.3)	－ (0.0)
ひたちなか保健所計	7,810	5,748 (73.6)	755 (9.7)	1,307 (16.7)	－ (0.0)
ひ ち な な か 市	5,504	4,106 (74.6)	529 (9.6)	869 (15.8)	－ (0.0)
東 海 村	2,306	1,642 (71.2)	226 (9.8)	438 (19.0)	－ (0.0)
常陸大宮保健所計	9,550	6,889 (72.1)	1,025 (10.7)	1,636 (17.1)	－ (0.0)
那 珂 市	3,537	2,618 (74.0)	402 (11.4)	517 (14.6)	－ (0.0)
常 陸 大 宮 市	4,145	2,943 (71.0)	478 (11.5)	724 (17.5)	－ (0.0)
大 子 町	1,868	1,328 (71.1)	145 (7.8)	395 (21.1)	－ (0.0)
鉾 田 保 健 所 計	8,615	5,819 (67.5)	973 (11.3)	1,823 (21.2)	－ (0.0)
鉾 田 市	5,520	3,681 (66.7)	626 (11.3)	1,213 (22.0)	－ (0.0)
行 方 市	3,095	2,138 (69.1)	347 (11.2)	610 (19.7)	－ (0.0)
潮 来 保 健 所 計	11,749	8,230 (70.0)	1,280 (10.9)	2,239 (19.1)	－ (0.0)
鹿 嶋 市	4,644	3,273 (70.5)	512 (11.0)	859 (18.5)	－ (0.0)
神 栖 市	4,880	3,394 (69.5)	520 (10.7)	966 (19.8)	－ (0.0)
潮 来 市	2,225	1,563 (70.2)	248 (11.1)	414 (18.6)	－ (0.0)
竜ヶ崎保健所計	10,965	8,169 (74.5)	975 (8.9)	1,819 (16.6)	2 (0.0)
龍 ヶ 崎 市	3,221	2,470 (76.7)	248 (7.7)	501 (15.6)	2 (0.1)
稲 敷 市	2,489	1,765 (70.9)	223 (9.0)	501 (20.1)	－ (0.0)
牛 久 市	4,637	3,523 (76.0)	427 (9.2)	687 (14.8)	－ (0.0)
河 内 町	618	411 (66.5)	77 (12.5)	130 (21.0)	－ (0.0)
土 浦 保 健 所 計	11,422	8,403 (73.6)	1,014 (8.9)	2,005 (17.6)	－ (0.0)
土 浦 市	2,037	1,548 (76.0)	175 (8.6)	314 (15.4)	－ (0.0)
石 岡 市	4,015	2,986 (74.4)	354 (8.8)	675 (16.8)	－ (0.0)
美 浦 村	1,140	770 (67.5)	122 (10.7)	248 (21.8)	－ (0.0)
阿 見 町	1,972	1,494 (75.8)	157 (8.0)	321 (16.3)	－ (0.0)
かすみがうら市	2,258	1,605 (71.1)	206 (9.1)	447 (19.8)	－ (0.0)

単位：人（％）

保 健 指 導		レ ベ ル		内 訳
なし（情報提供）	動 機 づ け 支 援	積 極 的 支 援	判 定 不 能	
123,331 (85.6)	14,675 (10.2)	6,015 (4.2)	－ (0.0)	
17,540 (83.4)	2,462 (11.7)	999 (4.8)	－ (0.0)	
5,627 (83.6)	774 (11.5)	327 (4.9)	－ (0.0)	
4,501 (84.3)	611 (11.4)	226 (4.2)	－ (0.0)	
2,061 (80.9)	343 (13.5)	144 (5.7)	－ (0.0)	
2,646 (83.9)	358 (11.3)	124 (3.9)	－ (0.0)	
1,683 (84.3)	219 (11.0)	95 (4.8)	－ (0.0)	
1,022 (81.0)	157 (12.4)	83 (6.6)	－ (0.0)	
6,580 (84.3)	926 (11.9)	304 (3.9)	－ (0.0)	
4,623 (84.0)	670 (12.2)	211 (3.8)	－ (0.0)	
1,957 (84.9)	256 (11.1)	93 (4.0)	－ (0.0)	
8,368 (87.6)	880 (9.2)	302 (3.2)	－ (0.0)	
3,110 (87.9)	319 (9.0)	108 (3.1)	－ (0.0)	
3,647 (88.0)	376 (9.1)	122 (2.9)	－ (0.0)	
1,611 (86.2)	185 (9.9)	72 (3.9)	－ (0.0)	
7,101 (82.4)	920 (10.7)	594 (6.9)	－ (0.0)	
4,536 (82.2)	600 (10.9)	384 (7.0)	－ (0.0)	
2,565 (82.9)	320 (10.3)	210 (6.8)	－ (0.0)	
9,987 (85.0)	1,267 (10.8)	495 (4.2)	－ (0.0)	
3,934 (84.7)	544 (11.7)	166 (3.6)	－ (0.0)	
4,146 (85.0)	499 (10.2)	235 (4.8)	－ (0.0)	
1,907 (85.7)	224 (10.1)	94 (4.2)	－ (0.0)	
9,506 (86.7)	1,133 (10.3)	326 (3.0)	－ (0.0)	
2,829 (87.8)	302 (9.4)	90 (2.8)	－ (0.0)	
2,147 (86.3)	247 (9.9)	95 (3.8)	－ (0.0)	
4,001 (86.3)	522 (11.3)	114 (2.5)	－ (0.0)	
529 (85.6)	62 (10.0)	27 (4.4)	－ (0.0)	
9,872 (86.4)	1,134 (9.9)	416 (3.6)	－ (0.0)	
1,804 (88.6)	171 (8.4)	62 (3.0)	－ (0.0)	
3,450 (85.9)	413 (10.3)	152 (3.8)	－ (0.0)	
958 (84.0)	128 (11.2)	54 (4.7)	－ (0.0)	
1,707 (86.6)	189 (9.6)	76 (3.9)	－ (0.0)	
1,953 (86.5)	233 (10.3)	72 (3.2)	－ (0.0)	

	実 施 数	メ タ ボ リ ッ ク シ ン ド ロ ー ム 判 定 内 訳			
		非 該 当	予 備 群 該 当	該 当	判 定 不 能
つくば保健所計	9,041	6,836 (75.6)	768 (8.5)	1,437 (15.9)	- (0.0)
つくば市	6,922	5,243 (75.7)	584 (8.4)	1,095 (15.8)	- (0.0)
つくばみらい市	2,119	1,593 (75.2)	184 (8.7)	342 (16.1)	- (0.0)
筑西保健所計	11,401	8,394 (73.6)	1,047 (9.2)	1,960 (17.2)	- (0.0)
筑西市	6,107	4,460 (73.0)	559 (9.2)	1,088 (17.8)	- (0.0)
結城市	2,564	1,881 (73.4)	244 (9.5)	439 (17.1)	- (0.0)
桜川市	2,730	2,053 (75.2)	244 (8.9)	433 (15.9)	- (0.0)
常総保健所計	11,687	8,441 (72.2)	1,033 (8.8)	2,213 (18.9)	- (0.0)
下妻市	3,043	2,191 (72.0)	274 (9.0)	578 (19.0)	- (0.0)
常総市	2,774	2,002 (72.2)	248 (8.9)	524 (18.9)	- (0.0)
坂東市	4,277	3,131 (73.2)	377 (8.8)	769 (18.0)	- (0.0)
八千代町	1,593	1,117 (70.1)	134 (8.4)	342 (21.5)	- (0.0)
古河保健所計	8,823	6,424 (72.8)	857 (9.7)	1,542 (17.5)	- (0.0)
古河市	6,038	4,428 (73.3)	577 (9.6)	1,033 (17.1)	- (0.0)
五霞町	664	466 (70.2)	65 (9.8)	133 (20.0)	- (0.0)
境町	2,121	1,530 (72.1)	215 (10.1)	376 (17.7)	- (0.0)
被用者保険	21,957	18,911 (86.1)	1,200 (5.5)	1,846 (8.4)	- (0.0)

※ () 内の％は、各市町村の健診区分の計を100％として計算している。

※ 市町村の特定健康診査実施数は、国民健康保険加入者のみを対象にしている。

※ 被用者保険には、被用者保険被扶養者のほか、国民健康保険組合、全額自己負担実施者及びその他の特例者を含む。

保 健 指 導 レ ベ ル	内 訳
なし(情報提供)	動 機 づ け 支 援
積 極 的 支 援	判 定 不 能
7,773 (86.0)	946 (10.5)
5,970 (86.2)	704 (10.2)
1,803 (85.1)	242 (11.4)
9,813 (86.1)	1,141 (10.0)
5,260 (86.1)	593 (9.7)
2,209 (86.2)	265 (10.3)
2,344 (85.9)	283 (10.4)
10,045 (86.0)	1,112 (9.5)
2,640 (86.8)	277 (9.1)
2,373 (85.5)	290 (10.5)
3,689 (86.3)	392 (9.2)
1,343 (84.3)	153 (9.6)
7,462 (84.6)	971 (11.0)
5,102 (84.5)	681 (11.3)
566 (85.2)	64 (9.6)
1,794 (84.6)	226 (10.7)
19,284 (87.8)	1,783 (8.1)
890 (4.1)	- (0.0)

表3-1-6 健診区分別実績〔特定健康診査（国保）〕

単位：人（％）

		合 計	対 象 年 齢 階 級				
			40～49	50～59	60～64	65～69	70～74
総 計		122,091	11,776	13,318	15,429	36,938	44,630
総合判定	異常認めず	2,696 (2.2)	1,118 (9.5)	456 (3.4)	263 (1.7)	463 (1.3)	396 (0.9)
	要 指 導	37,222 (30.5)	4,564 (38.8)	4,422 (33.2)	4,851 (31.4)	10,803 (29.2)	12,582 (28.2)
	要精密検査	82,173 (67.3)	6,094 (51.7)	8,440 (63.4)	10,315 (66.9)	25,672 (69.5)	31,652 (70.9)
メタボ判定	非 該 当	88,153 (72.2)	9,079 (77.1)	9,738 (73.1)	11,318 (73.4)	26,465 (71.6)	31,553 (70.7)
	予備群該当	11,851 (9.7)	1,449 (12.3)	1,527 (11.5)	1,477 (9.6)	3,412 (9.2)	3,986 (8.9)
	該 当	22,085 (18.1)	1,248 (10.6)	2,053 (15.4)	2,634 (17.1)	7,061 (19.1)	9,089 (20.4)
	判 定 不 能	2 (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	2 (0.0)
保健指導レベル	なし(情報提供)	104,047 (85.2)	8,909 (75.7)	10,465 (78.6)	12,991 (84.2)	31,954 (86.5)	39,728 (89.0)
	動機づけ支援	12,919 (10.6)	1,036 (8.8)	1,058 (7.9)	939 (6.1)	4,984 (13.5)	4,902 (11.0)
	積極的支援	5,125 (4.2)	1,831 (15.5)	1,795 (13.5)	1,499 (9.7)	- (0.0)	- (0.0)
	判 定 不 能	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
腹 囲	実 施 数	122,090	11,776	13,318	15,429	36,938	44,629
	(再掲)省略	1 (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	1 (0.0)
	異 常 者 数	37,932 (31.1)	3,628 (30.8)	4,287 (32.2)	4,595 (29.8)	11,432 (30.9)	13,990 (31.3)
血 圧	実 施 数	122,091	11,776	13,318	15,429	36,938	44,630
	異 常 者 数	53,085 (43.5)	2,641 (22.4)	4,500 (33.8)	6,332 (41.0)	17,243 (46.7)	22,369 (50.1)
	服 薬 中	38,049 (31.2)	582 (4.9)	2,092 (15.7)	4,030 (26.1)	12,549 (34.0)	18,796 (42.1)
脂 質	実 施 数	122,089	11,776	13,318	15,429	36,938	44,628
	異 常 者 数	80,271 (65.7)	7,081 (60.1)	9,353 (70.2)	10,823 (70.1)	24,862 (67.3)	28,152 (63.1)
	服 薬 中	25,038 (20.5)	369 (3.1)	1,340 (10.1)	2,831 (18.3)	8,395 (22.7)	12,103 (27.1)
糖 尿 病	実 施 数	122,089	11,776	13,318	15,429	36,938	44,628
	異 常 者 数	91,735 (75.1)	5,427 (46.1)	8,521 (64.0)	11,616 (75.3)	29,380 (79.5)	36,791 (82.4)
	服 薬 中	9,137 (7.5)	207 (1.8)	538 (4.0)	976 (6.3)	3,053 (8.3)	4,363 (9.8)
肝機能	実 施 数	122,089	11,776	13,318	15,429	36,938	44,628
	異 常 者 数	29,946 (24.5)	3,487 (29.6)	4,045 (30.4)	4,017 (26.0)	8,808 (23.8)	9,589 (21.5)
心電図	実 施 数	120,042	11,550	13,089	15,136	36,334	43,933
	(再掲)詳細該当	39,213 (32.7)	2,712 (23.5)	3,825 (29.2)	4,746 (31.4)	12,367 (34.0)	15,563 (35.4)
眼 底	実 施 数	117,198	11,326	12,865	14,883	35,464	42,660
	(再掲)詳細該当	35,374 (30.2)	1,547 (13.7)	2,969 (23.1)	4,087 (27.5)	11,529 (32.5)	15,242 (35.7)
貧 血	実 施 数	114,705	10,981	12,503	14,519	34,590	42,112
	(再掲)詳細該当	7,314 (6.4)	875 (8.0)	1,314 (10.5)	1,205 (8.3)	2,101 (6.1)	1,819 (4.3)
ア血清クレアチニン	実 施 数	122,089	11,776	13,318	15,429	36,938	44,628
	(再掲)詳細該当	103,303 (84.6)	6,641 (56.4)	10,070 (75.6)	13,143 (85.2)	32,842 (88.9)	40,607 (91.0)

- ※ () 内の％は、各対象の年齢階級の総計を100％として計算している。
- ※ 心電図・眼底・貧血・血清クレアチニンの実施数には、自己負担で実施した数を含む。
- ※ 「異常者数」とは、その項目の判定が”異常”又は”軽度異常”に該当した者の数。
- ※ 「服薬中」とは、問診で該当既往歴が”服薬治療中”の者の数。
- ※ 心電図・眼底・貧血・血清クレアチニンの実施数には、自己負担で実施した数を含む。
- ※ 脂質は、HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪が対象。
- ※ 糖尿病は、ヘモグロビンA1c、血糖、尿糖が対象。
- ※ 肝機能は、AST、ALT、 γ -GTが対象。

表3-1-7 健診区分別実績〔特定健康診査（被用者保険）〕

単位:人(%)

		合 計	対 象 年 齢 階 級				
			40～49	50～59	60～64	65～69	70～74
総 計		21,957	6,614	6,052	3,776	3,326	2,189
総合判定	異常認めず	1,471 (6.7)	1,040 (15.7)	275 (4.5)	85 (2.3)	49 (1.5)	22 (1.0)
	要 指 導	8,194 (37.3)	3,006 (45.4)	2,270 (37.5)	1,244 (32.9)	1,052 (31.6)	622 (28.4)
	要精密検査	12,292 (56.0)	2,568 (38.8)	3,507 (57.9)	2,447 (64.8)	2,225 (66.9)	1,545 (70.6)
メ タ ボ 判 定	非 該 当	18,911 (86.1)	6,074 (91.8)	5,294 (87.5)	3,166 (83.8)	2,690 (80.9)	1,687 (77.1)
	予備群該当	1,200 (5.5)	320 (4.8)	345 (5.7)	212 (5.6)	181 (5.4)	142 (6.5)
	該 当	1,846 (8.4)	220 (3.3)	413 (6.8)	398 (10.5)	455 (13.7)	360 (16.4)
	判 定 不 能	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
保 健 指 導 レ ベ ル	なし(情報提供)	19,284 (87.8)	5,720 (86.5)	5,259 (86.9)	3,352 (88.8)	2,963 (89.1)	1,990 (90.9)
	動機づけ支援	1,783 (8.1)	577 (8.7)	442 (7.3)	202 (5.3)	363 (10.9)	199 (9.1)
	積極的支援	890 (4.1)	317 (4.8)	351 (5.8)	222 (5.9)	- (0.0)	- (0.0)
	判 定 不 能	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
腹 囲	実 施 数	21,957	6,614	6,052	3,776	3,326	2,189
	(再掲)省略	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
	異 常 者 数	3,665 (16.7)	821 (12.4)	937 (15.5)	683 (18.1)	698 (21.0)	526 (24.0)
血 圧	実 施 数	21,557	6,614	6,052	3,376	3,326	2,189
	異 常 者 数	6,889 (32.0)	941 (14.2)	1,728 (28.6)	1,500 (44.4)	1,565 (47.1)	1,155 (52.8)
	服 薬 中	3,546 (16.4)	177 (2.7)	705 (11.6)	780 (23.1)	994 (29.9)	890 (40.7)
脂 質	実 施 数	21,957	6,614	6,052	3,776	3,326	2,189
	異 常 者 数	13,762 (62.7)	3,055 (46.2)	4,224 (69.8)	2,716 (71.9)	2,275 (68.4)	1,492 (68.2)
	服 薬 中	2,911 (13.3)	120 (1.8)	569 (9.4)	707 (18.7)	843 (25.3)	672 (30.7)
糖 尿 病	実 施 数	21,957	6,614	6,052	3,776	3,326	2,189
	異 常 者 数	14,440 (65.8)	3,048 (46.1)	3,986 (65.9)	2,898 (76.7)	2,682 (80.6)	1,826 (83.4)
	服 薬 中	723 (3.3)	52 (0.8)	122 (2.0)	156 (4.1)	197 (5.9)	196 (9.0)
肝 機 能	実 施 数	21,957	6,614	6,052	3,776	3,326	2,189
	異 常 者 数	3,584 (16.3)	656 (9.9)	1,113 (18.4)	768 (20.3)	643 (19.3)	404 (18.5)
心 電 図	実 施 数	17,729	4,787	4,972	3,214	2,856	1,900
	(再掲)詳細該当	5,643 (31.8)	1,182 (24.7)	1,483 (29.8)	1,078 (33.5)	1,101 (38.6)	799 (42.1)
眼 底	実 施 数	17,225	4,590	4,883	3,130	2,766	1,856
	(再掲)詳細該当	3,955 (23.0)	465 (10.1)	945 (19.4)	851 (27.2)	946 (34.2)	748 (40.3)
貧 血	実 施 数	17,359	4,949	4,923	3,077	2,665	1,745
	(再掲)詳細該当	3,095 (17.8)	1,157 (23.4)	1,057 (21.5)	430 (14.0)	319 (12.0)	132 (7.6)
ア 血 清 ク レ ア チ ン	実 施 数	18,304	4,657	5,088	3,415	3,067	2,077
	(再掲)詳細該当	15,850 (86.6)	3,397 (72.9)	4,408 (86.6)	3,168 (92.8)	2,893 (94.3)	1,984 (95.5)

※ () 内の%は、各対象の年齢階級の総計を100%として計算している。

※ 被用者保険には、被用者保険被扶養者のほか、国民健康保険組合、全額自己負担実施者及びその他の特例者を含む。

※ 心電図・眼底・貧血・血清クレアチニンの実施数には、自己負担で実施した数を含む。

※ 「異常者数」とは、その項目の判定が「異常」又は「軽度異常」に該当した者の数。

※ 「服薬中」とは、問診で該当既往歴が「服薬治療中」の者の数。

※ 脂質は、HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪が対象。

※ 糖尿病は、ヘモグロビンA1c、血糖、尿糖が対象。

※ 肝機能は、AST、ALT、 γ -GTが対象。

表3-1-8 健診区分別実績（高齢者健康診査）

単位:人(%)

		合 計	対 象 年 齢 階 級		
			65～69	70～74	75～
総 計		49,356	404	433	48,519
総合判定	異常認めず	486 (1.0)	7 (1.7)	4 (0.9)	475 (1.0)
	要 指 導	13,706 (27.8)	118 (29.2)	135 (31.2)	13,453 (27.7)
	要精密検査	35,164 (71.2)	279 (69.1)	294 (67.9)	34,591 (71.3)
腹 囲	実 施 数	1,383	7	10	1,366
	（再掲）省略	- -	- -	- -	- -
	異 常 者 数	425 (30.7)	4 (57.1)	4 (40.0)	417 (30.5)
血 圧	実 施 数	49,356	404	433	48,519
	異 常 者 数	26,885 (54.5)	150 (37.1)	183 (42.3)	26,552 (54.7)
	服 薬 中	25,882 (52.4)	174 (43.1)	240 (55.4)	25,468 (52.5)
脂 質	実 施 数	49,292	402	432	48,458
	異 常 者 数	27,629 (56.1)	259 (64.4)	243 (56.3)	27,127 (56.0)
	服 薬 中	13,848 (28.1)	87 (21.6)	129 (29.9)	13,632 (28.1)
糖 尿 病	実 施 数	49,293	402	432	48,459
	異 常 者 数	40,687 (82.5)	294 (73.1)	355 (82.2)	40,038 (82.6)
	服 薬 中	5,168 (10.5)	45 (11.2)	52 (12.0)	5,071 (10.5)
肝機能	実 施 数	49,292	402	432	48,458
	異 常 者 数	9,524 (19.3)	117 (29.1)	97 (22.5)	9,310 (19.2)
心電図	実 施 数	37,835	276	296	37,263
眼底	実 施 数	36,618	267	288	36,063
貧血	実 施 数	27,540	282	306	26,952

- ※ （ ）内の％は、各対象の年齢階級の総計を100％として計算している。
- ※ 高齢者健康診査には、県外後期高齢者医療広域連合加入者を含む。
- ※ 心電図・眼底・貧血の実施数には、自己負担で実施した数を含む。
- ※ 「異常者数」とは、その項目の判定が”異常”又は”軽度異常”に該当した者の数。
- ※ 「服薬中」とは、問診で該当既往歴が”服薬治療中”の者の数。
- ※ 脂質は、HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪が対象。
- ※ 糖尿病は、ヘモグロビンA1c、血糖、尿糖が対象。
- ※ 肝機能は、AST、ALT、 γ -GTが対象。

表3-1-9 健診区分別実績（生活習慣病予防健診）

単位:人(%)

		合 計	対 象 年 齢 階 級						
			～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～
総 計		18,287	17,057	236	236	188	238	203	129
総合判定	異常認めず	3,942 (21.6)	3,848 (22.6)	29 (12.3)	23 (9.7)	12 (6.4)	20 (8.4)	5 (2.5)	5 (3.9)
	要 指 導	8,682 (47.5)	8,306 (48.7)	90 (38.1)	77 (32.6)	72 (38.3)	56 (23.5)	51 (25.1)	30 (23.3)
	要精密検査	5,663 (31.0)	4,903 (28.7)	117 (49.6)	136 (57.6)	104 (55.3)	162 (68.1)	147 (72.4)	94 (72.9)
腹 囲	実 施 数	18,287	17,057	236	236	188	238	203	129
	(再掲)省略	- -	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
	異 常 者 数	2,076 (11.4)	1,661 (9.7)	72 (30.5)	93 (39.4)	59 (31.4)	94 (39.5)	94 (46.3)	3 (2.3)
血 圧	実 施 数	18,287	17,057	236	236	188	238	203	129
	異 常 者 数	1,904 (10.4)	1,418 (8.3)	45 (19.1)	83 (35.2)	72 (38.3)	115 (48.3)	103 (50.7)	68 (52.7)
	服 薬 中	463 (2.5)	84 (0.5)	19 (8.1)	53 (22.5)	50 (26.6)	89 (37.4)	103 (50.7)	65 (50.4)
脂 質	実 施 数	18,082	17,043	212	189	147	195	179	117
	異 常 者 数	7,836 (43.3)	7,181 (42.1)	126 (59.4)	119 (63.0)	85 (57.8)	130 (66.7)	115 (64.2)	80 (68.4)
	服 薬 中	311 (1.7)	78 (0.5)	15 (7.1)	31 (16.4)	38 (25.9)	57 (29.2)	55 (30.7)	37 (31.6)
糖 尿 病	実 施 数	18,106	17,044	214	195	154	200	179	120
	異 常 者 数	5,758 (31.8)	5,041 (29.6)	93 (43.5)	115 (59.0)	108 (70.1)	156 (78.0)	147 (82.1)	98 (81.7)
	服 薬 中	160 (0.9)	49 (0.3)	14 (6.5)	18 (9.2)	14 (9.1)	27 (13.5)	28 (15.6)	10 (8.3)
肝 機 能	実 施 数	18,082	17,043	212	189	147	195	179	117
	異 常 者 数	3,146 (17.4)	2,887 (16.9)	47 (22.2)	56 (29.6)	42 (28.6)	58 (29.7)	38 (21.2)	18 (15.4)
心 電 図	実 施 数	10,649	9,698	185	178	136	194	170	88
眼 底	実 施 数	10,373	9,321	195	212	158	220	174	93
貧 血	実 施 数	15,459	14,536	189	171	131	183	161	88

※ () 内の%は、各対象の年齢階級の総計を100%として計算している。

※ 心電図・眼底・貧血の実施数には、自己負担で実施した数を含む。

※ 「異常者数」とは、その項目の判定が”異常”又は”軽度異常”に該当した者の数。

※ 「服薬中」とは、問診で該当既往歴が”服薬治療中”の者の数。

※ 脂質は、HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪が対象。

※ 糖尿病は、ヘモグロビンA1c、血糖、尿糖が対象。

※ 肝機能は、AST、ALT、 γ -GTが対象。

肝 炎 ウ イ ル ス 検 診



3-2 肝炎ウイルス検診

3-2-1 概要

健康増進法の健康増進事業に位置づけられる肝炎ウイルス検診は、肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識の普及と自身の感染状況の確認、必要に応じ医療機関を受診することによる健康障害の回避・症状軽減・進行遅延を目的に実施される。実施対象者は、満40歳以上で当該検診を過去に受けたことがない者となっている。

3-2-2 実施状況

地域住民を対象に、県内37市町村で16,225人（うちC型肝炎ウイルス検査単独1人、B型肝炎ウイルス検査単独3人）に実施した。

C型肝炎ウイルス検査では、受診者16,222人のうち、判定結果が「感染している可能性が高い者」は、45人（0.3%）であった。なお、性・年齢階級別では、70歳以上の男性が「感染している可能性が高い者」が、11人（0.7%）と最も多かった。

B型肝炎ウイルス検査では、受診者16,224人のうち、判定結果が「陽性」は73人（0.4%）であった。性・年齢階級別では、65～69歳の男性が陽性者16人（1.0%）と最も多かった。

なお、市町村における対象者への受診勧奨が一巡し、個別通知等が縮小していることから、実績は29年に大幅に減少した。30年度は29年度と比較して微減であった。

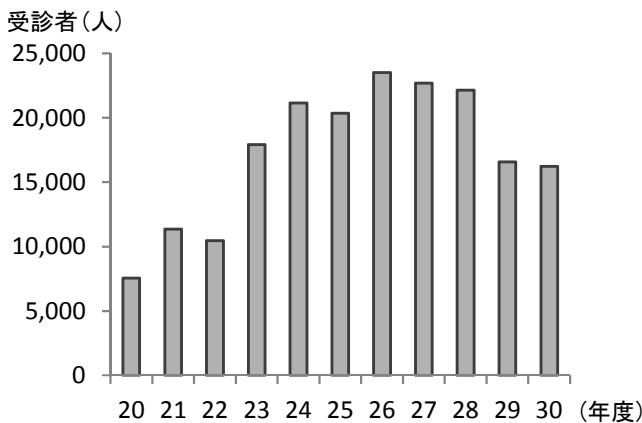


図3-2-1 肝炎ウイルス検診実績の年度推移

3-2-3 検査方法

血液検査により、C型肝炎ウイルス検査ではHCV抗体検査を行い、中力価又は低力価陽性に対してHCV核酸増幅検査を行う。B型肝炎ウイルス検査では、HBs抗原検査を行う。

表3-2-1 検査の判定基準

検査項目	検査結果		判定結果	
C型肝炎ウイルス検査	①	HCV抗体検査「高力価」	現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い	
	②	HCV抗体検査「中力価」または「低力価」かつHCV核酸増幅検査「陽性」		
	③	HCV抗体検査「中力価」または「低力価」かつHCV核酸増幅検査「陰性」	現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い	
	④	HCV抗体検査「陰性」		
B型肝炎ウイルス検査	C. O. I(カットオフインデックス)	1.0以上	陽	性
	C. O. I(カットオフインデックス)	1.0未満	陰	性

表3-2-2 年度別検診実績

単位：人（％）

年度	総受診者	C型肝炎ウイルス検査		B型肝炎ウイルス検査	
		受診者	感染の可能性が高い者	受診者	陽性者
平成 20	7,564	7,561	79 (1.0)	7,557	49 (0.6)
21	11,357	11,350	85 (0.7)	11,342	60 (0.5)
22	10,466	10,462	50 (0.5)	10,457	72 (0.7)
23	17,921	17,913	95 (0.5)	17,909	113 (0.6)
24	21,158	21,151	118 (0.6)	21,144	118 (0.6)
25	20,366	20,365	81 (0.4)	20,363	108 (0.5)
26	23,517	23,516	96 (0.4)	23,513	97 (0.4)
27	22,689	22,687	87 (0.4)	22,687	91 (0.4)
28	22,136	22,135	77 (0.3)	22,133	99 (0.4)
29	16,581	16,579	50 (0.3)	16,579	70 (0.4)
30	16,225	16,222	45 (0.3)	16,224	73 (0.4)

表3-2-3 検診実績

単位：人（％）

年度	総受診者	C型肝炎ウイルス検査		B型肝炎ウイルス検査	
		受診者	感染の可能性が高い者	受診者	陽性者
計	16,225	16,222	45 (0.3)	16,224	73 (0.4)
男	7,420	7,418	30 (0.4)	7,420	47 (0.6)
女	8,805	8,804	15 (0.2)	8,804	26 (0.3)

表3-2-4 性・年齢階級別実績

単位：人（％）

		総受診者	C 型 肝 炎 ウ イ ル ス 検 査							B 型 肝 炎 ウ イ ル ス 検 査		
			受診者	判 定 内 訳				受診者		判 定 内 訳		
				①	②	①+②	③+④			陽 性	陰 性	
合 計	男	7,420	7,418	26	4	30	(0.4)	7,388	7,420	47 (0.6)		7,373
	女	8,805	8,804	12	3	15	(0.2)	8,789	8,804	26 (0.3)		8,778
	計	16,225	16,222	38	7	45	(0.3)	16,177	16,224	73 (0.4)		16,151
満40歳	男	770	770	2	-	2	(0.3)	768	770	- (0.0)		770
	女	1,286	1,286	1	-	1	(0.1)	1,285	1,286	1 (0.1)		1,285
	計	2,056	2,056	3	-	3	(0.1)	2,053	2,056	1 (0.0)		2,055
満40歳 以外	男	6,650	6,648	24	4	28	(0.4)	6,620	6,650	47 (0.7)		6,603
	女	7,519	7,518	11	3	14	(0.2)	7,504	7,518	25 (0.3)		7,493
	計	14,169	14,166	35	7	42	(0.3)	14,124	14,168	72 (0.5)		14,096
～39	男	89	89	-	-	-	(0.0)	89	89	1 (1.1)		88
	女	146	146	-	-	-	(0.0)	146	146	1 (0.7)		145
	計	235	235	-	-	-	(0.0)	235	235	2 (0.9)		233
40～44	男	1,340	1,340	3	-	3	(0.2)	1,337	1,340	3 (0.2)		1,337
	女	2,161	2,161	2	-	2	(0.1)	2,159	2,161	1 (0.0)		2,160
	計	3,501	3,501	5	-	5	(0.1)	3,496	3,501	4 (0.1)		3,497
45～49	男	637	637	-	-	-	(0.0)	637	637	2 (0.3)		635
	女	963	963	1	-	1	(0.1)	962	963	2 (0.2)		961
	計	1,600	1,600	1	-	1	(0.1)	1,599	1,600	4 (0.3)		1,596
50～54	男	610	609	2	-	2	(0.3)	607	610	3 (0.5)		607
	女	854	854	-	1	1	(0.1)	853	854	3 (0.4)		851
	計	1,464	1,463	2	1	3	(0.2)	1,460	1,464	6 (0.4)		1,458
55～59	男	564	564	4	2	6	(1.1)	558	564	2 (0.4)		562
	女	796	796	1	-	1	(0.1)	795	796	7 (0.9)		789
	計	1,360	1,360	5	2	7	(0.5)	1,353	1,360	9 (0.7)		1,351
60～64	男	996	995	5	1	6	(0.6)	989	996	8 (0.8)		988
	女	1,105	1,105	1	1	2	(0.2)	1,103	1,104	4 (0.4)		1,100
	計	2,101	2,100	6	2	8	(0.4)	2,092	2,100	12 (0.6)		2,088
65～69	男	1,564	1,564	2	-	2	(0.1)	1,562	1,564	16 (1.0)		1,548
	女	1,400	1,400	3	1	4	(0.3)	1,396	1,400	6 (0.4)		1,394
	計	2,964	2,964	5	1	6	(0.2)	2,958	2,964	22 (0.7)		2,942
70～	男	1,620	1,620	10	1	11	(0.7)	1,609	1,620	12 (0.7)		1,608
	女	1,380	1,379	4	-	4	(0.3)	1,375	1,380	2 (0.1)		1,378
	計	3,000	2,999	14	1	15	(0.5)	2,984	3,000	14 (0.5)		2,986

※ C型肝炎ウイルス検査の判定（①～④）の内訳については、表3-2-1検査の判定基準を参照

表3-2-5 市町村別実績

単位：人（％）

	総受診者	C 型 肝 炎 ウ イ ル ス 検 査						B 型肝炎ウイルス検査		
		受診者	判 定 内 訳				受診者	判 定 内 訳		
			①	②	①+②	③+④		陽 性	陰 性	
合 計	16,225	16,222	38	7	45 (0.3)	16,177	16,224	73 (0.4)	16,151	
水戸保健所計	2,370	2,369	7	1	8 (0.3)	2,361	2,369	10 (0.4)	2,359	
水戸市	1,041	1,040	3	-	3 (0.3)	1,037	1,040	3 (0.3)	1,037	
笠間市	371	371	2	-	2 (0.5)	369	371	3 (0.8)	368	
茨城町	404	404	1	-	1 (0.2)	403	404	2 (0.5)	402	
小美玉市	229	229	-	1	1 (0.4)	228	229	- (0.0)	229	
城里町	104	104	-	-	- (0.0)	104	104	2 (1.9)	102	
大洗町	221	221	1	-	1 (0.5)	220	221	- (0.0)	221	
ひたちなか保健所計	2,071	2,071	2	-	2 (0.1)	2,069	2,071	9 (0.4)	2,062	
ひたちなか市	1,547	1,547	2	-	2 (0.1)	1,545	1,547	7 (0.5)	1,540	
東海村	524	524	-	-	- (0.0)	524	524	2 (0.4)	522	
常陸大宮保健所計	1,055	1,055	1	-	1 (0.1)	1,054	1,055	4 (0.4)	1,051	
那珂市	470	470	-	-	- (0.0)	470	470	1 (0.2)	469	
常陸大宮市	323	323	-	-	- (0.0)	323	323	1 (0.3)	322	
大子町	262	262	1	-	1 (0.4)	261	262	2 (0.8)	260	
鉾田保健所計	732	730	3	-	3 (0.4)	727	732	3 (0.4)	729	
鉾田市	486	486	2	-	2 (0.4)	484	486	2 (0.4)	484	
行方市	246	244	1	-	1 (0.4)	243	246	1 (0.4)	245	
潮来保健所計	1,228	1,228	4	-	4 (0.3)	1,224	1,228	8 (0.7)	1,220	
鹿嶋市	630	630	2	-	2 (0.3)	628	630	2 (0.3)	628	
神栖市	419	419	1	-	1 (0.2)	418	419	6 (1.4)	413	
潮来市	179	179	1	-	1 (0.6)	178	179	- (0.0)	179	
竜ヶ崎保健所計	2,096	2,096	1	1	2 (0.1)	2,094	2,096	8 (0.4)	2,088	
龍ヶ崎市	1,296	1,296	1	1	2 (0.2)	1,294	1,296	2 (0.2)	1,294	
稲敷市	93	93	-	-	- (0.0)	93	93	- (0.0)	93	
牛久市	648	648	-	-	- (0.0)	648	648	6 (0.9)	642	
河内町	59	59	-	-	- (0.0)	59	59	- (0.0)	59	
土浦保健所計	1,489	1,489	3	-	3 (0.2)	1,486	1,489	9 (0.6)	1,480	
土浦市	272	272	-	-	- (0.0)	272	272	2 (0.7)	270	
石岡市	903	903	2	-	2 (0.2)	901	903	4 (0.4)	899	
美浦村	124	124	1	-	1 (0.8)	123	124	1 (0.8)	123	
阿見町	133	133	-	-	- (0.0)	133	133	- (0.0)	133	
かすみがうら市	57	57	-	-	- (0.0)	57	57	2 (3.5)	55	
つくば保健所計	1,080	1,080	1	1	2 (0.2)	1,078	1,080	7 (0.6)	1,073	
つくば市	826	826	1	1	2 (0.2)	824	826	6 (0.7)	820	
つくばみらい市	254	254	-	-	- (0.0)	254	254	1 (0.4)	253	
筑西保健所計	1,299	1,299	5	-	5 (0.4)	1,294	1,299	6 (0.5)	1,293	
筑西市	515	515	2	-	2 (0.4)	513	515	3 (0.6)	512	
結城市	345	345	2	-	2 (0.6)	343	345	1 (0.3)	344	
桜川市	439	439	1	-	1 (0.2)	438	439	2 (0.5)	437	
常総保健所計	1,362	1,362	6	2	8 (0.6)	1,354	1,362	4 (0.3)	1,358	
下妻市	210	210	-	-	- (0.0)	210	210	- (0.0)	210	
常総市	628	628	3	1	4 (0.6)	624	628	2 (0.3)	626	
坂東市	394	394	3	1	4 (1.0)	390	394	- (0.0)	394	
八千代町	130	130	-	-	- (0.0)	130	130	2 (1.5)	128	
古河保健所計	1,443	1,443	5	2	7 (0.5)	1,436	1,443	5 (0.3)	1,438	
古河市	1,344	1,344	4	2	6 (0.4)	1,338	1,344	5 (0.4)	1,339	
五霞町	54	54	1	-	1 (1.9)	53	54	- (0.0)	54	
境町	45	45	-	-	- (0.0)	45	45	- (0.0)	45	

※ C型肝炎ウイルス検査の判定（①～④）の内訳については、表3-2-1検査の判定基準を参照

二次予防事業対象者把握事業



3-3 二次予防事業対象者把握事業

3-3-1 概要

二次予防事業対象者把握事業は、平成22年8月6日付の介護保険事業の地域支援事業実施要綱改正により、従来の生活機能評価に代わり平成23年度から実施することとなった。

当初の内容は、市町村在住の65歳以上の住民に「介護予防のためのチェックリスト」を配布し、その回答内容により二次予防事業対象者の選定を行うことであった。しかし、その後要綱の改正により、二次予防対象者把握事業は地域支援事業の総合事業に統合され、廃止もしくは自治体が任意で実施することとなった結果、平成30年度は1町の実施となった。

3-3-2 実施状況

実施市町村が年々減少し、平成30年度は1町のみの実施で、実施者数は1,034人となっている。

うち二次予防事業対象者の人数は294人（28.4%）であった。

二次予防事業対象者の選定要因内訳をみると、問診情報10項目以上該当者は58人（5.6%）、運動機能向上該当者は171人（16.5%）、栄養改善該当者は8人（0.8%）、口腔機能向上該当者は175人（16.9%）であった。また、閉じこもり予防・支援該当者は37人（3.6%）、認知症予防・支援該当者は126人（12.2%）、うつ予防・支援該当者は139人（13.4%）となっていた（重複回答があるため、延べ人数）。

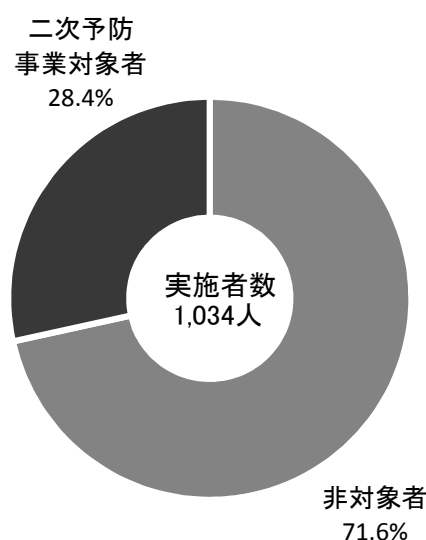


図3-3-1 二次予防事業対象者の割合

表3-3-1 事業実績

単位：人（%）

年 度	実施 者数	業二 対次 象予 者防 数事	二次予防事業対象者選定要因内訳				閉 じ こ も り 予 防 ・ 支 援	認 知 症 予 防 ・ 支 援	う つ 予 防 ・ 支 援
			10 項 目 以 上 該 当	運 動 機 能 向 上	栄 養 改 善	口 腔 機 能 向 上			
平成24	53,600	12,452 (23.2)	2,789 (5.2)	6,835 (12.8)	598 (1.1)	7,675 (14.3)	2,132 (4.0)	6,150 (11.5)	6,499 (12.1)
25	28,077	6,427 (22.9)	1,306 (4.7)	3,472 (12.4)	287 (1.0)	4,003 (14.3)	1,035 (3.7)	3,178 (11.3)	3,330 (11.9)
26	37,567	8,404 (22.4)	1,589 (4.2)	4,402 (11.7)	364 (1.0)	5,237 (13.9)	1,311 (3.5)	4,095 (10.9)	4,433 (11.8)
27	16,507	3,620 (21.9)	669 (4.1)	1,868 (11.3)	148 (0.9)	2,315 (14.0)	547 (3.3)	1,732 (10.5)	1,847 (11.2)
28	9,864	2,077 (21.1)	394 (4.0)	1,154 (11.7)	90 (0.9)	1,229 (12.5)	321 (3.3)	914 (9.3)	915 (9.3)
29	1,051	287 (27.3)	50 (4.8)	186 (17.7)	4 (0.4)	156 (14.8)	56 (5.3)	130 (12.4)	120 (11.4)
30	1,034	294 (28.4)	58 (5.6)	171 (16.5)	8 (0.8)	175 (16.9)	37 (3.6)	126 (12.2)	139 (13.4)

※ 重複回答があるため延べ人数

表3-3-2 性・年齢階級別実績

単位:人(%)

		実施者数	二次予防事業対象者数	二次予防事業対象者選定要因内訳				閉じこもり予防・支援	認知症予防・支援	うつ予防・支援
				10項目以上該当	運動機能向上	栄養改善	口腔機能向上			
合 計	男	491	112 (22.8)	22 (4.5)	50 (10.2)	3 (0.6)	76 (15.5)	11 (2.2)	53 (10.8)	56 (11.4)
	女	542	182 (33.6)	36 (6.6)	121 (22.3)	5 (0.9)	99 (18.3)	26 (4.8)	73 (13.5)	83 (15.3)
	不詳	1	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
	計	1,034	294 (28.4)	58 (5.6)	171 (16.5)	8 (0.8)	175 (16.9)	37 (3.6)	126 (12.2)	139 (13.4)
65～69	男	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	女	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	不詳	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	計	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
70～74	男	181	37 (20.4)	5 (2.8)	16 (8.8)	1 (0.6)	26 (14.4)	2 (1.1)	15 (8.3)	16 (8.8)
	女	184	41 (22.3)	2 (1.1)	17 (9.2)	1 (0.5)	29 (15.8)	2 (1.1)	19 (10.3)	13 (7.1)
	不詳	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	計	365	78 (21.4)	7 (1.9)	33 (9.0)	2 (0.5)	55 (15.1)	4 (1.1)	34 (9.3)	29 (7.9)
75～79	男	173	33 (19.1)	3 (1.7)	12 (6.9)	- (0.0)	24 (13.9)	1 (0.6)	15 (8.7)	13 (7.5)
	女	188	56 (29.8)	9 (4.8)	40 (21.3)	2 (1.1)	31 (16.5)	7 (3.7)	21 (11.2)	24 (12.8)
	不詳	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	計	361	89 (24.7)	12 (3.3)	52 (14.4)	2 (0.6)	55 (15.2)	8 (2.2)	36 (10.0)	37 (10.2)
80～84	男	93	22 (23.7)	8 (8.6)	10 (10.8)	1 (1.1)	14 (15.1)	5 (5.4)	12 (12.9)	16 (17.2)
	女	90	39 (43.3)	5 (5.6)	26 (28.9)	1 (1.1)	18 (20.0)	2 (2.2)	13 (14.4)	20 (22.2)
	不詳	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	計	183	61 (33.3)	13 (7.1)	36 (19.7)	2 (1.1)	32 (17.5)	7 (3.8)	25 (13.7)	36 (19.7)
85～	男	44	20 (45.5)	6 (13.6)	12 (27.3)	1 (2.3)	12 (27.3)	3 (6.8)	11 (25.0)	11 (25.0)
	女	80	46 (57.5)	20 (25.0)	38 (47.5)	1 (1.3)	21 (26.3)	15 (18.8)	20 (25.0)	26 (32.5)
	不詳	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	計	124	66 (53.2)	26 (21.0)	50 (40.3)	2 (1.6)	33 (26.6)	18 (14.5)	31 (25.0)	37 (29.8)
不 詳	男	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	女	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	不詳	1	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
	計	1	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)

表3-3-3 市町村別実績

単位:人(%)

	実 施 者 数	二 次 予 防 事 業 対 象 者 数	二 次 予 防 事 業 対 象 者 選 定 要 因 内 訳				閉 じ こ も り 予 防 ・ 支 援	認 知 症 予 防 ・ 支 援	う つ 予 防 ・ 支 援
			10 項 目 以 上 該 当	運 動 機 能 向 上	栄 養 改 善	口 腔 機 能 向 上			
古河保健所計	1,034	294 (28.4)	58 (5.6)	171 (16.5)	8 (0.8)	175 (16.9)	37 (3.6)	126 (12.2)	139 (13.4)
五 霞 町	1,034	294 (28.4)	58 (5.6)	171 (16.5)	8 (0.8)	175 (16.9)	37 (3.6)	126 (12.2)	139 (13.4)

肺 がん 検 診



3-4 肺がん検診

3-4-1 概要

現在、肺がんは部位別死亡率第一位であり、肺がんと新たに診断される人数は、「茨城県地域がん登録事業報告書」（2013年）によると1年間に10万人あたり86.0人となっている。年齢別にみた罹患率は40歳代後半から増加し始め、高齢になるほど高くなる傾向にある。また、男女別の罹患率では、男性は女性の2倍以上となっている。

肺がんは他の臓器に比べて自覚症状が現れにくく、症状が出る頃には既に進行してしまった状態であることが多い疾患であり、死亡率の高いがんである。しかし、早い段階で発見し、適切に治療すれば負担も小さく治療後のQOL（生活の質）を維持しながら元の生活に戻ることができるとされている。

当協会では、胸部X線検査と喀痰細胞診検査、胸部CT検査を実施している。

3-4-2 実施状況

胸部X線検査は、受診者数188,443人、要精密検査者5,944人(3.2%)、精密検査受診者5,149人(86.6%)、発見がん数は131人(0.07%)であった。

喀痰細胞診検査は、受診者数2,002人、要精密検査者7人(0.3%)、精密検査受診者6人(85.7%)、発見がん数は3人(0.15%)であった。

胸部CT検査は、受診者数192人、要精密検査者7人(3.6%)、精密検査受診者7人(100.0%)であった。

平成29年度における日本対がん協会の全国実績では、要精密検査率2.0%、精密検査受診率78.5%、がん発見率は0.05%であった。

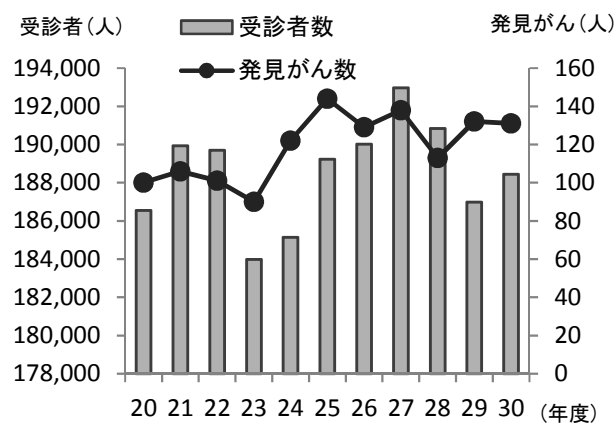


図3-4-1 肺がん（X線検査）検診実績と発見がん数の年度推移

3-4-3 各検査方法

胸部X線検査

主に胸部を目的としたX線検査である。胸部の前面を装置（受光面）に押し付け、背中側から撮影する。この検査では、主に肺の異常を発見することができる。その他に、心臓・大動脈・肺動脈やリンパ節腫大などが発見できる。

喀痰細胞診検査

採取された3日分の痰（蓄痰法）に対し、気管支などの肺門部にできたがん細胞の一部が紛れ出ていないかを顕微鏡で調べる検査である。

なお、肺門部にできるがん(主に扁平上皮がん)は、喀痰細胞診で見つけやすいといわれている。

胸部CT検査

胸部CT検査とは、X線を用いて胸部の断層写真を撮影する（コンピューター断層撮影）検査である。肺・気管・気管支の病変（肺がん、肺炎、肺結核、肺気腫）などの発見に役立つ。また、胸部X線検査では、血管や心臓と重なった腫瘍や小さな腫瘍は見つけることが難しいため、1cm以下のがん発見も可能な胸部CT検査は有効である。

表3-4-1 胸部X線検査の判定区分と指導区分

判定区分	X線所見	指導区分
B	「異常所見を認めない」	定期検診
C	「異常所見等を認めるが、精査を必要としない」明らかな石灰陰影、陳旧性病変などで精査や治療を必要としないと判定できる陰影	
D1	「活動性肺結核」治療を要する肺結核を強く疑う	
D2	「活動性非結核性病変」肺炎、気胸など治療を要する状態	
D3	「循環器疾患」冠状動脈石灰化、大動脈瘤など心大血管異常	
D4	「その他」縦隔腫瘍、胸壁腫瘍など精査を要する状態	肺癌以外の該当疾患に対する精査
E1	「肺癌の疑いを否定しえない」	
E2	「肺癌を強く疑う」孤立性陰影、陳旧性病変に新しい陰影が出現、腫瘤影など、気管支狭窄・閉塞による二次変化、その他肺癌を疑う所見	

表3-4-2 喀痰細胞診検査の判定区分と指導区分

判定区分	細胞診所見	指導区分
A	口腔や上気道の上皮細胞のみ	可能ならば再検
B	正常細胞または軽度核異型細胞	検診受診継続を勧奨
C	軽度と高度の中間の核異型細胞	次年度喀痰検査
D1	高度核異型細胞	ただちに胸部CT検査及び気管支鏡検査
D2	早期がん細胞または悪性の可能性のある少数細胞	
E	悪性細胞	

表3-4-3 胸部CT検査の判定区分と指導区分

判定区分	CT所見	指導区分
B	「異常所見を認めない」	定期検診
C	「異常所見等を認めるが、精査を必要としない」明らかな石灰陰影、陳旧性病変などで精査や治療を必要としないと判定できる陰影	
D1	「活動性肺結核」治療を要する肺結核を強く疑う	
D2	「活動性非結核性病変」肺炎、気胸など治療を要する状態	
D3	「循環器疾患」冠状動脈石灰化、大動脈瘤など心大血管異常	
D4	「その他」縦隔腫瘍、胸壁腫瘍など精査を要する状態	肺癌以外の該当疾患に対する精査
E1	「肺癌の疑いを否定しえない」	
E2	「肺癌を強く疑う」孤立性陰影、陳旧性病変に新しい陰影が出現、腫瘤影など、気管支狭窄・閉塞による二次変化、その他肺癌を疑う所見	
F	「乳房、甲状腺、胃、その他の疾患」	肺癌以外の該当疾患に対する精査

表3-4-4 年度別検診実績(胸部X線検査)

単位：人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 20	186,540	4,924 (2.6)	4,198 (85.3)	100 (0.05)	(2.03)
21	189,933	4,645 (2.4)	3,744 (80.6)	106 (0.06)	(2.28)
22	189,702	5,112 (2.7)	4,319 (84.5)	101 (0.05)	(1.98)
23	183,975	4,835 (2.6)	4,173 (86.3)	90 (0.05)	(1.86)
24	185,146	5,718 (3.1)	4,888 (85.5)	122 (0.07)	(2.13)
25	189,229	6,381 (3.4)	5,584 (87.5)	148 (0.08)	(2.32)
26	190,016	6,911 (3.6)	5,969 (86.4)	134 (0.07)	(1.94)
27	192,965	6,108 (3.2)	5,143 (84.2)	138 (0.07)	(2.26)
28	190,839	4,729 (2.5)	3,956 (83.7)	113 (0.06)	(2.39)
29	186,978	5,297 (2.8)	4,552 (85.9)	132 (0.07)	(2.49)
30	188,443	5,944 (3.2)	5,149 (86.6)	131 (0.07)	(2.20)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-4-5 年度別検診実績(喀痰細胞診検査)

単位：人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 20	3,720	13 (0.3)	11 (84.6)	3 (0.08)	(23.08)
21	3,569	9 (0.3)	8 (88.9)	1 (0.03)	(11.11)
22	3,425	15 (0.4)	12 (80.0)	5 (0.15)	(33.33)
23	3,115	8 (0.3)	6 (75.0)	1 (0.03)	(12.50)
24	3,176	7 (0.2)	7 (100.0)	2 (0.06)	(28.57)
25	3,104	8 (0.3)	7 (87.5)	6 (0.19)	(75.00)
26	3,115	4 (0.1)	4 (100.0)	1 (0.03)	(25.00)
27	2,811	12 (0.4)	11 (91.7)	3 (0.11)	(25.00)
28	2,451	7 (0.3)	7 (100.0)	2 (0.08)	(28.57)
29	2,195	9 (0.4)	9 (100.0)	1 (0.05)	(11.11)
30	2,002	7 (0.3)	6 (85.7)	3 (0.15)	(42.86)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-4-6 年度別検診実績(胸部C T検査)

単位：人(%)

年度	受診者	要精密検査	精検受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 20	588	37 (6.3)	31 (83.8)	2 (0.34)	(5.41)
21	660	45 (6.8)	42 (93.3)	1 (0.15)	(2.22)
22	231	16 (6.9)	13 (81.3)	－ (0.00)	(0.00)
23	221	22 (10.0)	18 (81.8)	－ (0.00)	(0.00)
24	200	13 (6.5)	11 (84.6)	－ (0.00)	(0.00)
25	181	19 (10.5)	17 (89.5)	1 (0.55)	(5.26)
26	198	26 (13.1)	24 (92.3)	1 (0.51)	(3.85)
27	202	22 (10.9)	18 (81.8)	－ (0.00)	(0.00)
28	176	21 (11.9)	18 (85.7)	2 (1.14)	(9.52)
29	166	11 (6.6)	9 (81.8)	－ (0.00)	(0.00)
30	192	7 (3.6)	7 (100.0)	－ (0.00)	(0.00)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-4-7 検診実績

単位：人(%)

	検査法	受診者	要精密検査	精検受診者	発見がん	陽性反応適中度
計	X 線	188,443	5,944 (3.2)	5,149 (86.6)	131 (0.07)	(2.20)
	喀 痰	2,002	7 (0.3)	6 (85.7)	3 (0.15)	(42.86)
	C T	192	7 (3.6)	7 (100.0)	－ (0.00)	(0.00)
男	X 線	78,958	3,048 (3.9)	2,574 (84.4)	69 (0.09)	(2.26)
	喀 痰	1,703	7 (0.4)	6 (85.7)	3 (0.18)	(42.86)
	C T	80	5 (6.3)	5 (100.0)	－ (0.00)	(0.00)
女	X 線	109,485	2,896 (2.6)	2,575 (88.9)	62 (0.06)	(2.14)
	喀 痰	299	－ (0.0)	－	－ (0.00)	－
	C T	112	2 (1.8)	2 (100.0)	－ (0.00)	(0.00)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-4-8 胸部X線検査（性・年齢階級別）実績

単位：人（％）

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳						確定 原発性 肺がん	0期, ⅠA期
					報 告 が ん	そ の 他 の 悪 性 新 生 物	そ の 他 の 新 生 物	新 生 物 以 外 の 疾 患	異 常 な し	検 査 中		
合 計	男	78,958	3,048 (3.9)	2,574 (84.4)	74	19	22	1,228	939	292	69 (0.09)	23
	女	109,485	2,896 (2.6)	2,575 (88.9)	70	11	26	1,066	1,107	295	62 (0.06)	42
	計	188,443	5,944 (3.2)	5,149 (86.6)	144	30	48	2,294	2,046	587	131 (0.07)	65
40～44	男	3,448	41 (1.2)	34 (82.9)	－	－	－	5	21	8	－ (0.00)	－
	女	6,068	59 (1.0)	52 (88.1)	2	－	2	16	29	3	2 (0.03)	－
	計	9,516	100 (1.1)	86 (86.0)	2	－	2	21	50	11	2 (0.02)	－
45～49	男	3,603	57 (1.6)	44 (77.2)	1	－	1	16	22	4	1 (0.03)	1
	女	6,057	74 (1.2)	59 (79.7)	2	－	－	15	34	8	1 (0.02)	1
	計	9,660	131 (1.4)	103 (78.6)	3	－	1	31	56	12	2 (0.02)	2
50～54	男	3,254	62 (1.9)	48 (77.4)	－	－	1	11	31	5	－ (0.00)	－
	女	5,754	64 (1.1)	45 (70.3)	－	－	1	18	18	8	－ (0.00)	－
	計	9,008	126 (1.4)	93 (73.8)	－	－	2	29	49	13	－ (0.00)	－
55～59	男	3,511	77 (2.2)	59 (76.6)	2	－	1	17	37	2	2 (0.06)	1
	女	7,348	131 (1.8)	113 (86.3)	－	－	2	41	56	14	－ (0.00)	－
	計	10,859	208 (1.9)	172 (82.7)	2	－	3	58	93	16	2 (0.02)	1
60～64	男	6,442	183 (2.8)	149 (81.4)	3	1	3	62	61	19	3 (0.05)	－
	女	12,497	275 (2.2)	254 (92.4)	10	－	2	97	108	37	8 (0.06)	5
	計	18,939	458 (2.4)	403 (88.0)	13	1	5	159	169	56	11 (0.06)	5
65～69	男	16,151	538 (3.3)	451 (83.8)	15	1	1	209	176	49	15 (0.09)	5
	女	23,577	592 (2.5)	532 (89.9)	20	4	4	207	233	64	19 (0.08)	14
	計	39,728	1,130 (2.8)	983 (87.0)	35	5	5	416	409	113	34 (0.09)	19
70～74	男	18,133	780 (4.3)	682 (87.4)	23	3	9	331	237	79	22 (0.12)	9
	女	22,941	654 (2.9)	591 (90.4)	13	1	7	247	261	62	12 (0.05)	10
	計	41,074	1,434 (3.5)	1,273 (88.8)	36	4	16	578	498	141	34 (0.08)	19
75～79	男	14,489	674 (4.7)	576 (85.5)	19	6	3	286	189	73	18 (0.12)	4
	女	15,833	580 (3.7)	532 (91.7)	14	2	4	238	209	65	14 (0.09)	9
	計	30,322	1,254 (4.1)	1,108 (88.4)	33	8	7	524	398	138	32 (0.11)	13
80～	男	9,927	636 (6.4)	531 (83.5)	11	8	3	291	165	53	8 (0.08)	3
	女	9,410	467 (5.0)	397 (85.0)	9	4	4	187	159	34	6 (0.06)	3
	計	19,337	1,103 (5.7)	928 (84.1)	20	12	7	478	324	87	14 (0.07)	6

表3-4-9 喀痰細胞診検査（性・年齢階級別）実績

単位：人（％）

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳						確定原発性肺がん	0期, I A期
					報告が ん	その他の 悪性新生物	その他の 新生物	新生物 以外の 疾患	異 常 な し	検 査 中		
合 計	男	1,703	7 (0.4)	6 (85.7)	3	1	-	-	2	-	3 (0.18)	1
	女	299	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	2,002	7 (0.3)	6 (85.7)	3	1	-	-	2	-	3 (0.15)	1
40～44	男	9	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	7	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	16	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
45～49	男	23	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	7	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	30	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
50～54	男	52	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	20	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	72	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
55～59	男	61	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	16	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	77	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
60～64	男	148	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	32	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	180	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
65～69	男	394	2 (0.5)	2 (100.0)	-	1	-	-	1	-	- (0.00)	-
	女	74	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	468	2 (0.4)	2 (100.0)	-	1	-	-	1	-	- (0.00)	-
70～74	男	467	2 (0.4)	2 (100.0)	2	-	-	-	-	-	2 (0.43)	1
	女	64	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	531	2 (0.4)	2 (100.0)	2	-	-	-	-	-	2 (0.38)	1
75～79	男	349	2 (0.6)	1 (50.0)	1	-	-	-	-	-	1 (0.29)	-
	女	54	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	403	2 (0.5)	1 (50.0)	1	-	-	-	-	-	1 (0.25)	-
80～	男	200	1 (0.5)	1 (100.0)	-	-	-	-	1	-	- (0.00)	-
	女	25	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	225	1 (0.4)	1 (100.0)	-	-	-	-	1	-	- (0.00)	-

表3-4-10 胸部X線検査・喀痰細胞診検査（市町村別）実績

単位：人（％）

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳						確定 原発性肺がん	0期, I A期
					報告 がん	その他の 悪性新生物	その他の 新生物	新生物 以外の 疾患	異常 なし	検査 中		
合 計	X線	188,443	5,944 (3.2)	5,149 (86.6)	144	30	48	2,294	2,046	587	131 (0.07)	65
	喀痰	2,002	7 (0.3)	6 (85.7)	3	1	-	-	2	-	3 (0.15)	1
水戸保健所計	X線	32,850	888 (2.7)	770 (86.7)	18	7	7	408	235	95	15 (0.05)	8
	喀痰	319	1 (0.3)	1 (100.0)	1	-	-	-	-	-	1 (0.31)	1
水 戸 市	X線	10,805	260 (2.4)	228 (87.7)	4	1	3	111	82	27	3 (0.03)	1
	喀痰	124	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
笠 間 市	X線	8,321	262 (3.1)	233 (88.9)	6	4	1	131	61	30	5 (0.06)	4
	喀痰	98	1 (1.0)	1 (100.0)	1	-	-	-	-	-	1 (1.02)	1
茨 城 町	X線	3,850	107 (2.8)	89 (83.2)	5	1	-	45	23	15	5 (0.13)	1
	喀痰	33	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
小 美 玉 市	X線	4,702	120 (2.6)	106 (88.3)	1	-	-	51	40	14	1 (0.02)	1
	喀痰	29	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
城 里 町	X線	3,144	82 (2.6)	71 (86.6)	1	1	1	41	20	7	- (0.00)	-
	喀痰	20	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
大 洗 町	X線	2,028	57 (2.8)	43 (75.4)	1	-	2	29	9	2	1 (0.05)	1
	喀痰	15	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
ひたちなか保健所計	X線	13,568	321 (2.4)	274 (85.4)	11	2	3	153	76	29	11 (0.08)	6
	喀痰	101	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
ひたちなか市	X線	8,858	230 (2.6)	191 (83.0)	7	2	2	104	54	22	7 (0.08)	4
	喀痰	68	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
東 海 村	X線	4,710	91 (1.9)	83 (91.2)	4	-	1	49	22	7	4 (0.08)	2
	喀痰	33	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
常陸大宮保健所計	X線	14,030	325 (2.3)	270 (83.1)	10	1	-	127	101	31	10 (0.07)	8
	喀痰	119	1 (0.8)	1 (100.0)	-	1	-	-	-	-	- (0.00)	-
那 珂 市	X線	5,654	136 (2.4)	112 (82.4)	4	-	-	57	36	15	4 (0.07)	3
	喀痰	27	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
常陸大宮市	X線	5,870	120 (2.0)	101 (84.2)	4	1	-	43	44	9	4 (0.07)	4
	喀痰	40	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
大 子 町	X線	2,506	69 (2.8)	57 (82.6)	2	-	-	27	21	7	2 (0.08)	1
	喀痰	52	1 (1.9)	1 (100.0)	-	1	-	-	-	-	- (0.00)	-

単位:人(%)

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳						確定 原発性肺がん	0期, I A期
					報告 がん	その他の 悪性新生物	その他の 新生物	新生物 以外の 疾患	異常 なし	検査 中		
鉾田保健所計	X線	11,979	333 (2.8)	293 (88.0)	4	-	1	123	118	47	4 (0.03)	1
	喀痰	82	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
鉾田 市	X線	7,761	177 (2.3)	155 (87.6)	4	-	1	74	55	21	4 (0.05)	1
	喀痰	51	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
行方 市	X線	4,218	156 (3.7)	138 (88.5)	-	-	-	49	63	26	- (0.00)	-
	喀痰	31	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
潮来保健所計	X線	16,514	824 (5.0)	712 (86.4)	17	2	14	248	366	65	17 (0.10)	10
	喀痰	181	2 (1.1)	2 (100.0)	2	-	-	-	-	-	2 (1.10)	-
鹿嶋 市	X線	6,043	295 (4.9)	256 (86.8)	6	-	7	96	118	29	6 (0.10)	4
	喀痰	48	1 (2.1)	1 (100.0)	1	-	-	-	-	-	1 (2.08)	-
潮来 市	X線	3,236	163 (5.0)	139 (85.3)	1	1	3	44	77	13	1 (0.03)	-
	喀痰	36	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
神栖 市	X線	7,235	366 (5.1)	317 (86.6)	10	1	4	108	171	23	10 (0.14)	6
	喀痰	97	1 (1.0)	1 (100.0)	1	-	-	-	-	-	1 (1.03)	-
竜ヶ崎保健所計	X線	16,114	839 (5.2)	752 (89.6)	17	5	6	286	377	61	12 (0.07)	4
	喀痰	41	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
龍ヶ崎 市	X線	4,840	290 (6.0)	256 (88.3)	5	1	3	74	148	25	4 (0.08)	1
	喀痰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
牛久 市	X線	6,763	317 (4.7)	294 (92.7)	7	2	1	149	122	13	6 (0.09)	2
	喀痰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稲敷 市	X線	3,663	210 (5.7)	183 (87.1)	5	2	1	57	95	23	2 (0.05)	1
	喀痰	22	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
河内 町	X線	848	22 (2.6)	19 (86.4)	-	-	1	6	12	-	- (0.00)	-
	喀痰	19	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
土浦保健所計	X線	17,949	912 (5.1)	783 (85.9)	23	2	8	313	342	95	23 (0.13)	12
	喀痰	180	1 (0.6)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
土浦 市	X線	4,036	201 (5.0)	183 (91.0)	4	-	1	71	83	24	4 (0.10)	2
	喀痰	60	1 (1.7)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
石岡 市	X線	5,692	302 (5.3)	262 (86.8)	9	1	2	116	110	24	9 (0.16)	6
	喀痰	23	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-

単位:人(%)

		受 診 者	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳						確 定 原 発 性 肺 がん	0期, I A期
					報 告 が ん	そ の 他 の 悪 性 新 生 物	そ の 他 の 新 生 物	新 生 物 以 外 の 疾 患	異 常 な し	検 査 中		
美 浦 村	X線	1,863	61 (3.3)	49 (80.3)	1	-	1	16	24	7	1 (0.05)	1
	喀痰	27	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
阿 見 町	X線	2,872	160 (5.6)	141 (88.1)	4	-	2	54	65	16	4 (0.14)	2
	喀痰	47	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
かすみがうら市	X線	3,486	188 (5.4)	148 (78.7)	5	1	2	56	60	24	5 (0.14)	1
	喀痰	23	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
つくば保健所計	X線	13,289	443 (3.3)	379 (85.6)	13	2	3	170	134	57	10 (0.08)	4
	喀痰	198	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
つ く ば 市	X線	10,008	365 (3.6)	310 (84.9)	11	2	2	129	115	51	8 (0.08)	3
	喀痰	75	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
つくばみらい市	X線	3,281	78 (2.4)	69 (88.5)	2	-	1	41	19	6	2 (0.06)	1
	喀痰	123	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
筑西保健所計	X線	18,673	375 (2.0)	339 (90.4)	11	1	2	162	120	43	11 (0.06)	4
	喀痰	123	1 (0.8)	1 (100.0)	-	-	-	-	1	-	- (0.00)	-
筑 西 市	X線	10,111	191 (1.9)	178 (93.2)	6	1	1	86	60	24	6 (0.06)	2
	喀痰	66	1 (1.5)	1 (100.0)	-	-	-	-	1	-	- (0.00)	-
結 城 市	X線	4,067	97 (2.4)	86 (88.7)	5	-	1	40	29	11	5 (0.12)	2
	喀痰	15	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
桜 川 市	X線	4,495	87 (1.9)	75 (86.2)	-	-	-	36	31	8	- (0.00)	-
	喀痰	42	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
常総保健所計	X線	17,944	374 (2.1)	313 (83.7)	11	6	1	166	97	32	9 (0.05)	5
	喀痰	361	1 (0.3)	1 (100.0)	-	-	-	-	1	-	- (0.00)	-
下 妻 市	X線	4,222	88 (2.1)	75 (85.2)	4	3	-	41	19	8	3 (0.07)	2
	喀痰	199	1 (0.5)	1 (100.0)	-	-	-	-	1	-	- (0.00)	-
常 総 市	X線	4,542	99 (2.2)	84 (84.8)	6	1	-	50	18	9	5 (0.11)	3
	喀痰	48	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
坂 東 市	X線	6,641	141 (2.1)	116 (82.3)	1	2	1	59	46	7	1 (0.02)	-
	喀痰	80	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
八 千 代 町	X線	2,539	46 (1.8)	38 (82.6)	-	-	-	16	14	8	- (0.00)	-
	喀痰	34	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-

単位:人(%)

		受 診 者	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳						確定 原発性 肺がん	0期, I A期
					報 告 が ん	そ の 他 の 悪 性 新 生 物	そ の 他 の 新 生 物	新 生 物 以 外 の 疾 患	異 常 な し	検 査 中		
古河保健所計	X線	15,533	310 (2.0)	264 (85.2)	9	2	3	138	80	32	9 (0.06)	3
	喀痰	297	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
古 河 市	X線	10,722	203 (1.9)	181 (89.2)	2	1	2	97	56	23	2 (0.02)	1
	喀痰	244	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
五 霞 町	X線	1,095	20 (1.8)	15 (75.0)	2	-	-	7	4	2	2 (0.18)	-
	喀痰	11	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
境 町	X線	3,716	87 (2.3)	68 (78.2)	5	1	1	34	20	7	5 (0.13)	2
	喀痰	42	- (0.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-

表3-4-11 胸部ＣＴ検査（性・年齢階級別）実績

単位:人(%)

		受診者	要精密検査			精密検査受診者			精 密 検 査 結 果 内 訳						確定 原発性肺がん	0期, I A期
									報 告 が ん	そ の 他 の 悪 性 新 生 物	そ の 他 の 新 生 物	新 生 物 以 外 の 疾 患	異 常 な し	検 査 中		
合 計	男	80	5	(6.3)	5	(100.0)	-	-	1	2	2	-	-	(0.00)	-	
	女	112	2	(1.8)	2	(100.0)	-	-	-	1	-	1	-	(0.00)	-	
	計	192	7	(3.6)	7	(100.0)	-	-	1	3	2	1	-	(0.00)	-	
40～44	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
45～49	男	1	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	1	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
50～54	男	1	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
	女	2	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
	計	3	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
55～59	男	4	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
	女	4	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
	計	8	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
60～64	男	9	1	(11.1)	1	(100.0)	-	-	1	-	-	-	-	(0.00)	-	
	女	17	1	(5.9)	1	(100.0)	-	-	-	1	-	-	-	(0.00)	-	
	計	26	2	(7.7)	2	(100.0)	-	-	1	1	-	-	-	(0.00)	-	
65～69	男	16	2	(12.5)	2	(100.0)	-	-	-	-	2	-	-	(0.00)	-	
	女	25	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
	計	41	2	(4.9)	2	(100.0)	-	-	-	-	2	-	-	(0.00)	-	
70～74	男	16	1	(6.3)	1	(100.0)	-	-	-	1	-	-	-	(0.00)	-	
	女	34	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
	計	50	1	(2.0)	1	(100.0)	-	-	-	1	-	-	-	(0.00)	-	
75～79	男	22	1	(4.5)	1	(100.0)	-	-	-	1	-	-	-	(0.00)	-	
	女	22	1	(4.5)	1	(100.0)	-	-	-	-	-	1	-	(0.00)	-	
	計	44	2	(4.5)	2	(100.0)	-	-	-	1	-	1	-	(0.00)	-	
80～	男	11	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
	女	8	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	
	計	19	-	(0.0)	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-	

胃 がん 検 診



3-5 胃がん検診

3-5-1 概要

胃がんは特に日本人に多いがんで、1998年に肺がんに追い抜かれるまでは部位別死因の第一位であった。現在は第三位となっているが、罹患数は大腸がんに次いで二番目に多いがんである。

胃がんは早期の段階で発見されれば良好な経過が期待できるがんと云われている。

当協会では、バリウムによる胃部X線検査を対策型の巡回検診として実施しているが、平成28年度から国や県の指針が改正となり、胃内視鏡検査も対策型検診として自治体での実施が可能となった。

そのほか、ピロリ菌の有無を調べる検査や胃粘膜の萎縮度を測るペプシノゲン検査、その両方を組み合わせて実施する胃がんリスク検診（ABC検診）を実施している。

3-5-2 実施状況

X線検査の実績は、受診者64,215人に対し、要精密検査者が4,768人(7.4%)、精密検査受診者3,952人(82.9%)、発見がんは95人(0.15%)で、うち72人(75.8%)が早期がんであった。

ペプシノゲン検査の実績は、受診者142人に対し、要精密検査者7人(4.9%)で、精密検査受診者は6人(85.7%)であった。

なお、平成29年度における日本対がん協会の全国実績（X線検査）では、要精密検査率6.3%、精密検査受診率は78.1%、がん発見率0.12%となっている。

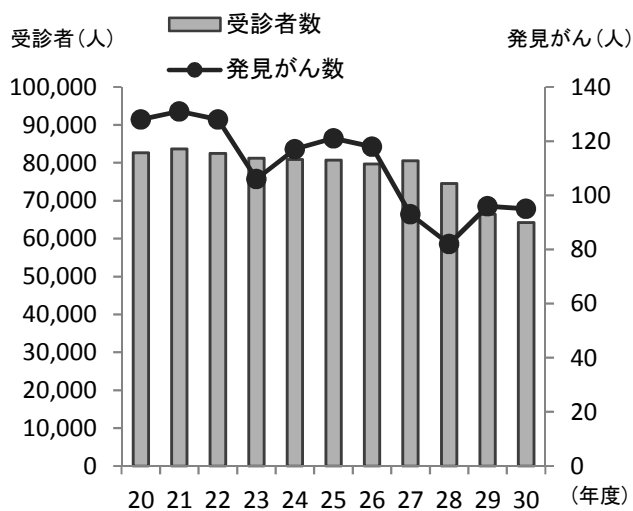


図3-5-1 胃がん検診実績と発見がん数の年度推移

3-5-3 各検査方法

X線検査

造影剤のバリウムと、胃を膨らませる炭酸ガスを発生させる発泡剤を飲んで病変そのものをX線で撮影する検査方法である。発泡剤で胃を風船のように膨らませ、身体を仰向けやうつ伏せなど向きを様々に変えることにより、胃の粘膜にバリウムを付着させて胃粘膜の変化を画像で判断する。

ペプシノゲン検査

血液中のペプシノゲンという物質の量により胃の萎縮性変化を調べるものである。ペプシノゲンのほとんどは胃の中にあるが、一部は血液中に流れ出るため、その流れ出たペプシノゲンの量を測ることで、胃がん発生との関連性がある萎縮性胃炎の進行度を調べるものである。この検査は、早期がんを発見するひとつの手法となっている。

胃がんリスク検診（ABC検診）

「ペプシノゲン検査」と「ヘリコバクター・ピロリ菌検査」の二つの検査結果を組み合わせ、将来胃がんになりやすいかどうか調べる検査である。ヘリコバクター・ピロリ菌は、胃粘膜にすむ菌で幼少期の経口感染などが原因と考えられており、慢性的に持続することで、萎縮性胃炎、胃潰瘍などの病気が起こりやすいとされている。

表3-5-1 X線検査判定区分等

区分	所見	指示
0	読影不能	再撮影又は精密検査
1	異常なし	精密検査不要
2	軽度の異常	精密検査不要(経過観察)
3	病変の存在を疑い, かつ悪性疑い	精密検査
4	病変確実, かつ悪性疑い	必ず精密検査
5	病変確実, かつ悪性確実	至急精密検査

※精検指示の中で悪性を疑う判定は, 5>4>3で強くなる。

表3-5-2 ペプシノゲン検査判定基準

判定基準			指示
(-)	正常範囲	PG I >70ng/mLまたは I / II 比 >3.0	異常認めず
(+)	胃粘膜軽度萎縮	PG I : 70ng/mL以下かつ I / II 比 3.0以下	経過観察
(2+)	胃粘膜中等度萎縮	PG I : 50ng/mL以下かつ I / II 比 3.0以下	要精密検査
(3+)	胃粘膜高度萎縮	PG I : 30ng/mL以下かつ I / II 比 2.0以下	

表3-5-3 胃がんリスク検診（ABC検診）判定基準

		ヘリコバクター・ピロリ菌検査*2	
		(-)	(+)
ペプシノゲン検査 *1	(-)	A (胃粘膜は健康的)	B (胃疾患の軽度危険群)
	(+)	D (胃疾患の高危険群)	C (胃疾患の中等度危険群)
	(2+)		
	(3+)		

(胃疾患 … がん, 潰瘍など)

*1 ペプシノゲン検査判定基準

判 定		判 定 基 準
(-)	異常認めず	PG I >70ng/mLまたは I / II 比 >3.0
(+)	胃粘膜軽度萎縮	PG I 70ng/mL以下かつ I / II 比3.0以下
(2+)	胃粘膜中等度萎縮	PG I 50ng/mL以下かつ I / II 比3.0以下
(3+)	胃粘膜高度萎縮	PG I 30ng/mL以下かつ I / II 比2.0以下

*2 ヘリコバクター・ピロリ菌検査判定基準

判 定		判 定 基 準
(-)	陰性	4.0単位/mL未満
(+)	陽性	4.0単位/mL以上

表3-5-4 年度別検診実績(×線検査)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 20	82,668	12,660 (15.3)	10,576 (83.5)	128 (0.15)	(1.01)
21	83,674	11,946 (14.3)	9,742 (81.6)	131 (0.16)	(1.10)
22	82,460	11,509 (14.0)	9,570 (83.2)	128 (0.16)	(1.11)
23	81,217	10,501 (12.9)	8,767 (83.5)	106 (0.13)	(1.01)
24	80,871	8,689 (10.7)	7,257 (83.5)	117 (0.14)	(1.35)
25	80,746	7,763 (9.6)	6,606 (85.1)	122 (0.15)	(1.57)
26	79,681	7,273 (9.1)	6,157 (84.7)	118 (0.15)	(1.62)
27	80,580	7,065 (8.8)	5,892 (83.4)	93 (0.12)	(1.32)
28	74,543	5,891 (7.9)	4,877 (82.8)	82 (0.11)	(1.39)
29	66,395	5,311 (8.0)	4,457 (83.9)	96 (0.14)	(1.81)
30	64,215	4,768 (7.4)	3,952 (82.9)	95 (0.15)	(1.99)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-5-5 年度別検診実績(ペプシノゲン検査)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 20	929	120 (12.9)	97 (80.8)	－ (0.00)	(0.00)
21	155	17 (11.0)	14 (82.4)	－ (0.00)	(0.00)
22	135	13 (9.6)	9 (69.2)	－ (0.00)	(0.00)
23	64	8 (12.5)	4 (50.0)	－ (0.00)	(0.00)
24	98	8 (8.2)	5 (62.5)	－ (0.00)	(0.00)
25	82	4 (4.9)	2 (50.0)	－ (0.00)	(0.00)
26	122	17 (13.9)	13 (76.5)	－ (0.00)	(0.00)
27	197	21 (10.7)	3 (14.3)	－ (0.00)	(0.00)
28	218	19 (8.7)	14 (73.7)	－ (0.00)	(0.00)
29	161	15 (9.3)	5 (33.3)	－ (0.00)	(0.00)
30	142	7 (4.9)	6 (85.7)	－ (0.00)	(0.00)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-5-6 年度別検診実績(胃がんリスク検診)

単位:人(%)

年度	受診者	判定内訳			
		A群	B群	C群	D群
		胃粘膜は健康的	胃疾患の軽度危険群	胃疾患の中等度危険群	胃疾患の高危険群
平成 26	228	181 (79.4)	29 (12.7)	18 (7.9)	－ (0.0)
27	290	232 (80.0)	36 (12.4)	19 (6.6)	3 (1.0)
28	895	582 (65.0)	141 (15.8)	162 (18.1)	10 (1.1)
29	1,036	683 (65.9)	159 (15.3)	176 (17.0)	18 (1.7)
30	6,157	4,126 (67.0)	977 (15.9)	926 (15.0)	128 (2.1)

表3-5-7 検診実績

単位:人(%)

	検査法	受診者	要精密検査		精密検査受診者		発見がん		陽性反応適中度
計	X 線	64,215	4,768	(7.4)	3,952	(82.9)	95	(0.15)	(1.99)
	ヘプシノゲン	142	7	(4.9)	6	(85.7)	-	(0.00)	(0.00)
	リスク検診	6,157	2,031	(33.0)	追跡調査未実施				
男	X 線	30,454	2,915	(9.6)	2,327	(79.8)	76	(0.25)	(2.61)
	ヘプシノゲン	57	2	(3.5)	2	(100.0)	-	(0.00)	(0.00)
	リスク検診	2,755	966	(35.1)	追跡調査未実施				
女	X 線	33,761	1,853	(5.5)	1,625	(87.7)	19	(0.06)	(1.03)
	ヘプシノゲン	85	5	(5.9)	4	(80.0)	-	(0.00)	(0.00)
	リスク検診	3,402	1,065	(31.3)	追跡調査未実施				

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

※ 胃がんリスク検診の要精密検査は、判定が(B・C・D群)該当者

表3-5-8 X線検査（性・年齢階級別）実績

単位:人(%)

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳							確定胃がん	早期（再掲）
					報告胃がん	胃潰瘍	胃ポリープ	胃炎	十二指腸潰瘍	その他の	異常なし		
合 計	男	30,454	2,915 (9.6)	2,327 (79.8)	86	236	230	1,487	19	171	98	76 (0.25)	57
	女	33,761	1,853 (5.5)	1,625 (87.7)	20	73	248	1,048	17	136	83	19 (0.06)	15
	計	64,215	4,768 (7.4)	3,952 (82.9)	106	309	478	2,535	36	307	181	95 (0.15)	72
～39	男	672	23 (3.4)	12 (52.2)	-	2	-	6	-	1	3	- (0.00)	-
	女	901	16 (1.8)	12 (75.0)	-	-	4	6	-	-	2	- (0.00)	-
	計	1,573	39 (2.5)	24 (61.5)	-	2	4	12	-	1	5	- (0.00)	-
40～44	男	1,899	67 (3.5)	48 (71.6)	-	4	6	28	-	6	4	- (0.00)	-
	女	2,982	59 (2.0)	49 (83.1)	2	1	9	27	2	6	2	2 (0.07)	1
	計	4,881	126 (2.6)	97 (77.0)	2	5	15	55	2	12	6	2 (0.04)	1
45～49	男	1,877	76 (4.0)	54 (71.1)	-	5	7	30	-	8	4	- (0.00)	-
	女	2,858	78 (2.7)	64 (82.1)	2	1	12	36	1	6	6	2 (0.07)	1
	計	4,735	154 (3.3)	118 (76.6)	2	6	19	66	1	14	10	2 (0.04)	1
50～54	男	1,680	92 (5.5)	67 (72.8)	-	9	6	44	2	6	-	- (0.00)	-
	女	2,735	109 (4.0)	95 (87.2)	-	7	14	57	1	10	6	- (0.00)	-
	計	4,415	201 (4.6)	162 (80.6)	-	16	20	101	3	16	6	- (0.00)	-
55～59	男	1,737	147 (8.5)	107 (72.8)	-	10	13	68	3	7	6	- (0.00)	-
	女	3,035	144 (4.7)	125 (86.8)	1	6	22	76	2	13	5	1 (0.03)	1
	計	4,772	291 (6.1)	232 (79.7)	1	16	35	144	5	20	11	1 (0.02)	1
60～64	男	3,014	298 (9.9)	225 (75.5)	5	24	17	155	2	16	6	5 (0.17)	4
	女	4,446	247 (5.6)	216 (87.4)	-	10	39	128	3	23	13	- (0.00)	-
	計	7,460	545 (7.3)	441 (80.9)	5	34	56	283	5	39	19	5 (0.07)	4
65～69	男	6,388	680 (10.6)	525 (77.2)	22	57	57	319	4	41	25	19 (0.30)	14
	女	6,666	436 (6.5)	389 (89.2)	6	22	40	265	4	29	23	5 (0.08)	4
	計	13,054	1,116 (8.5)	914 (81.9)	28	79	97	584	8	70	48	24 (0.18)	18
70～74	男	6,622	734 (11.1)	598 (81.5)	20	72	61	377	6	36	26	19 (0.29)	15
	女	5,872	420 (7.2)	376 (89.5)	6	12	61	254	3	23	17	6 (0.10)	6
	計	12,494	1,154 (9.2)	974 (84.4)	26	84	122	631	9	59	43	25 (0.20)	21
75～79	男	4,397	521 (11.8)	448 (86.0)	18	38	37	299	1	38	17	16 (0.36)	12
	女	3,128	227 (7.3)	204 (89.9)	2	11	30	139	1	16	5	2 (0.06)	1
	計	7,525	748 (9.9)	652 (87.2)	20	49	67	438	2	54	22	18 (0.24)	13
80～	男	2,168	277 (12.8)	243 (87.7)	21	15	26	161	1	12	7	17 (0.78)	12
	女	1,138	117 (10.3)	95 (81.2)	1	3	17	60	-	10	4	1 (0.09)	1
	計	3,306	394 (11.9)	338 (85.8)	22	18	43	221	1	22	11	18 (0.54)	13

表3-5-9 X線検査(市町村別) 実績

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳								確定胃がん	早期（再掲）
				報告が ん	胃潰瘍	胃ポリープ	胃炎	十二指腸潰瘍	その他の	異常なし			
合 計	64,215	4,768 (7.4)	3,952 (82.9)	106	309	478	2,535	36	307	181	95 (0.15)	72	
水戸保健所計	7,118	571 (8.0)	472 (82.7)	9	28	61	311	1	42	20	9 (0.13)	6	
水戸市	1,125	93 (8.3)	79 (84.9)	3	8	16	41	1	6	4	3 (0.27)	2	
笠間市	1,675	125 (7.5)	112 (89.6)	1	8	8	82	－	9	4	1 (0.06)	1	
茨城町	1,006	86 (8.5)	75 (87.2)	－	3	8	44	－	15	5	－ (0.00)	－	
小美玉市	1,938	161 (8.3)	120 (74.5)	－	5	17	87	－	6	5	－ (0.00)	－	
城里町	838	63 (7.5)	52 (82.5)	2	3	8	35	－	3	1	2 (0.24)	1	
大洗町	536	43 (8.0)	34 (79.1)	3	1	4	22	－	3	1	3 (0.56)	2	
ひたちなか保健所計	5,889	470 (8.0)	405 (86.2)	12	32	43	284	－	15	19	9 (0.15)	4	
ひたちなか市	2,682	224 (8.4)	199 (88.8)	6	16	23	135	－	10	9	5 (0.19)	2	
東海村	3,207	246 (7.7)	206 (83.7)	6	16	20	149	－	5	10	4 (0.12)	2	
常陸大宮保健所計	4,433	375 (8.5)	318 (84.8)	4	25	47	188	8	25	21	4 (0.09)	4	
那珂市	1,769	127 (7.2)	108 (85.0)	1	6	12	62	4	17	6	1 (0.06)	1	
常陸大宮市	2,287	215 (9.4)	178 (82.8)	3	15	27	108	4	8	13	3 (0.13)	3	
大子町	377	33 (8.8)	32 (97.0)	－	4	8	18	－	－	2	－ (0.00)	－	
鉾田保健所計	5,299	442 (8.3)	359 (81.2)	10	21	50	210	5	32	31	10 (0.19)	8	
鉾田市	3,641	302 (8.3)	242 (80.1)	5	15	33	139	3	25	22	5 (0.14)	4	
行方市	1,658	140 (8.4)	117 (83.6)	5	6	17	71	2	7	9	5 (0.30)	4	
潮来保健所計	4,835	362 (7.5)	295 (81.5)	9	18	30	200	1	28	9	7 (0.14)	7	
鹿嶋市	1,399	99 (7.1)	86 (86.9)	3	7	9	51	－	11	5	3 (0.21)	3	
潮来市	1,213	114 (9.4)	90 (78.9)	4	5	8	65	－	7	1	4 (0.33)	4	
神栖市	2,223	149 (6.7)	119 (79.9)	2	6	13	84	1	10	3	－ (0.00)	－	
竜ヶ崎保健所計	5,458	421 (7.7)	368 (87.4)	11	30	40	244	4	28	11	10 (0.18)	8	
龍ヶ崎市	1,863	124 (6.7)	112 (90.3)	1	6	15	67	2	17	4	1 (0.05)	1	
牛久市	2,519	213 (8.5)	182 (85.4)	7	13	20	130	1	8	3	6 (0.24)	5	
稲敷市	892	63 (7.1)	56 (88.9)	3	9	4	32	1	3	4	3 (0.34)	2	
河内町	184	21 (11.4)	18 (85.7)	－	2	1	15	－	－	－	－ (0.00)	－	
土浦保健所計	6,412	460 (7.2)	378 (82.2)	13	38	43	237	4	26	17	11 (0.17)	10	
土浦市	2,107	145 (6.9)	126 (86.9)	3	10	8	89	1	9	6	3 (0.14)	3	
石岡市	1,631	120 (7.4)	98 (81.7)	－	14	16	58	－	6	4	－ (0.00)	－	
美浦村	605	46 (7.6)	39 (84.8)	3	6	4	24	1	1	－	1 (0.17)	1	
阿見町	1,231	66 (5.4)	47 (71.2)	2	5	5	29	1	2	3	2 (0.16)	2	
かすみがうら市	838	83 (9.9)	68 (81.9)	5	3	10	37	1	8	4	5 (0.60)	4	

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳								確定胃がん	早期（再掲）
				報告が ん	胃潰瘍	胃ポリープ	胃炎	十二指腸潰瘍	その他の	異常なし			
つくば保健所計	5,643	407 (7.2)	334 (82.1)	11	25	35	223	3	24	13	9 (0.16)	7	
つくば市	4,430	337 (7.6)	268 (79.5)	9	21	31	174	2	21	10	9 (0.20)	7	
つくばみらい市	1,213	70 (5.8)	66 (94.3)	2	4	4	49	1	3	3	－ (0.00)	－	
筑西保健所計	6,989	500 (7.2)	421 (84.2)	13	27	49	284	2	36	10	13 (0.19)	10	
筑西市	3,313	228 (6.9)	192 (84.2)	4	10	20	138	1	14	5	4 (0.12)	3	
結城市	1,886	123 (6.5)	108 (87.8)	4	4	20	67	－	10	3	4 (0.21)	4	
桜川市	1,790	149 (8.3)	121 (81.2)	5	13	9	79	1	12	2	5 (0.28)	3	
常総保健所計	5,288	334 (6.3)	270 (80.8)	4	33	40	152	2	24	15	4 (0.08)	3	
下妻市	1,205	66 (5.5)	55 (83.3)	3	6	6	38	－	1	1	3 (0.25)	2	
常総市	1,628	107 (6.6)	95 (88.8)	－	9	10	55	－	12	9	－ (0.00)	－	
坂東市	1,890	128 (6.8)	93 (72.7)	1	13	20	46	1	7	5	1 (0.05)	1	
八千代町	565	33 (5.8)	27 (81.8)	－	5	4	13	1	4	－	－ (0.00)	－	
古河保健所計	6,851	426 (6.2)	332 (77.9)	10	32	40	202	6	27	15	9 (0.13)	5	
古河市	5,228	346 (6.6)	278 (80.3)	9	29	36	165	6	22	11	8 (0.15)	4	
五霞町	552	17 (3.1)	11 (64.7)	－	－	3	4	－	2	2	－ (0.00)	－	
境町	1,071	63 (5.9)	43 (68.3)	1	3	1	33	－	3	2	1 (0.09)	1	

表3-5-10 ペプシノゲン検査（性・年齢階級別）実績

単位：人（％）

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳							確定胃がん	早期（再掲）
					報告胃がん	胃潰瘍	胃ポリープ	胃炎	十二指腸潰瘍	その他	異常なし		
合 計	男	57	2 (3.5)	2 (100.0)	-	-	1	1	-	-	-	- (0.00)	-
	女	85	5 (5.9)	4 (80.0)	-	-	-	4	-	-	-	- (0.00)	-
	計	142	7 (4.9)	6 (85.7)	-	-	1	5	-	-	-	- (0.00)	-
～39	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40～44	男	11	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	13	1 (7.7)	1 (100.0)	-	-	-	1	-	-	-	- (0.00)	-
	計	24	1 (4.2)	1 (100.0)	-	-	-	1	-	-	-	- (0.00)	-
45～49	男	11	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	13	1 (7.7)	1 (100.0)	-	-	-	1	-	-	-	- (0.00)	-
	計	24	1 (4.2)	1 (100.0)	-	-	-	1	-	-	-	- (0.00)	-
50～54	男	7	1 (14.3)	1 (100.0)	-	-	1	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	9	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	16	1 (6.3)	1 (100.0)	-	-	1	-	-	-	-	- (0.00)	-
55～59	男	8	1 (12.5)	1 (100.0)	-	-	-	1	-	-	-	- (0.00)	-
	女	16	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	24	1 (4.2)	1 (100.0)	-	-	-	1	-	-	-	- (0.00)	-
60～64	男	11	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	28	3 (10.7)	2 (66.7)	-	-	-	2	-	-	-	- (0.00)	-
	計	39	3 (7.7)	2 (66.7)	-	-	-	2	-	-	-	- (0.00)	-
65～69	男	9	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	6	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	15	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
70～74	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75～79	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80～	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表3-5-11 胃がんリスク検診（ABC検診）（性・年齢階級別）実績

		受 診 者	判 定 内 訳			
			A群 胃粘膜は 健康的	B群 胃疾患の 軽度危険群	C群 胃疾患の 中等危険群	D群 胃疾患の 高危険群
合 計	男	2,755	1,789 (64.9)	462 (16.8)	451 (16.4)	53 (1.9)
	女	3,402	2,337 (68.7)	515 (15.1)	475 (14.0)	75 (2.2)
	計	6,157	4,126 (67.0)	977 (15.9)	926 (15.0)	128 (2.1)
～39	男	199	160 (80.4)	23 (11.6)	16 (8.0)	－ (0.0)
	女	262	218 (83.2)	28 (10.7)	12 (4.6)	4 (1.5)
	計	461	378 (82.0)	51 (11.1)	28 (6.1)	4 (0.9)
40～44	男	290	240 (82.8)	31 (10.7)	17 (5.9)	2 (0.7)
	女	498	417 (83.7)	47 (9.4)	28 (5.6)	6 (1.2)
	計	788	657 (83.4)	78 (9.9)	45 (5.7)	8 (1.0)
45～49	男	229	187 (81.7)	26 (11.4)	16 (7.0)	－ (0.0)
	女	328	268 (81.7)	32 (9.8)	26 (7.9)	2 (0.6)
	計	557	455 (81.7)	58 (10.4)	42 (7.5)	2 (0.4)
50～54	男	199	143 (71.9)	40 (20.1)	15 (7.5)	1 (0.5)
	女	319	249 (78.1)	44 (13.8)	23 (7.2)	3 (0.9)
	計	518	392 (75.7)	84 (16.2)	38 (7.3)	4 (0.8)
55～59	男	195	137 (70.3)	30 (15.4)	25 (12.8)	3 (1.5)
	女	342	228 (66.7)	60 (17.5)	49 (14.3)	5 (1.5)
	計	537	365 (68.0)	90 (16.8)	74 (13.8)	8 (1.5)
60～64	男	296	181 (61.1)	59 (19.9)	53 (17.9)	3 (1.0)
	女	445	282 (63.4)	79 (17.8)	75 (16.9)	9 (2.0)
	計	741	463 (62.5)	138 (18.6)	128 (17.3)	12 (1.6)
65～69	男	529	299 (56.5)	100 (18.9)	119 (22.5)	11 (2.1)
	女	591	345 (58.4)	103 (17.4)	130 (22.0)	13 (2.2)
	計	1,120	644 (57.5)	203 (18.1)	249 (22.2)	24 (2.1)
70～74	男	468	257 (54.9)	89 (19.0)	108 (23.1)	14 (3.0)
	女	361	207 (57.3)	75 (20.8)	62 (17.2)	17 (4.7)
	計	829	464 (56.0)	164 (19.8)	170 (20.5)	31 (3.7)
75～79	男	239	131 (54.8)	41 (17.2)	52 (21.8)	15 (6.3)
	女	195	99 (50.8)	33 (16.9)	53 (27.2)	10 (5.1)
	計	434	230 (53.0)	74 (17.1)	105 (24.2)	25 (5.8)
80～	男	111	54 (48.6)	23 (20.7)	30 (27.0)	4 (3.6)
	女	61	24 (39.3)	14 (23.0)	17 (27.9)	6 (9.8)
	計	172	78 (45.3)	37 (21.5)	47 (27.3)	10 (5.8)

大腸がん検診



3-6 大腸がん検診

3-6-1 概要

高齢化や食生活の変化などにより、大腸がんを発症する人数がこの30年間で約6倍に増え、がん罹患数予測の第一位、がん死亡数予測の第二位となっている。女性でも大腸がんは、がん死亡数予測の第一位となっている。

大腸がんは早期発見、早期治療で95%以上が完治するが、放置すると進行してしまう。

大腸がんは進行するまでほとんど自覚症状がないが、進行度によっては5年生存率は下がるため、定期的に検診を受けることが重要となる。

当協会では、40歳以上の地域住民に対して、年1回の便潜血反応検査を実施している。

3-6-2 実施状況

検診実績は、受診者149,542人に対し、要精密検査者が10,232人(6.8%)、精密検査受診者が7,816人(76.4%)、発見がんが279人(0.19%)で、うち182人(65.2%)が早期がんであった。

陽性反応適中度において2本提出のうち1本(+)が1.58%、1本のみ提出で(+)が1.94%に対し、2本とも(+)が7.35%と高くなっている。

平成29年度における日本対がん協会の全国実績では、要精密検査率は6.1%、精密検査受診率は68.7%、がん発見率は0.17%であった。

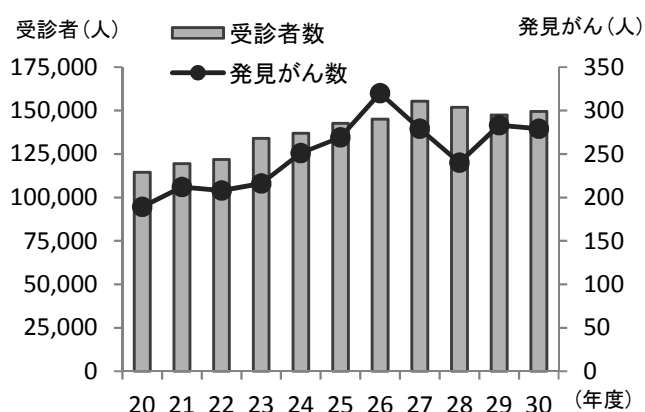


図3-6-1 大腸がん検診実績と発見がん数の年度推移

3-6-3 検査方法

糞便中のヘモグロビンの量を以下の方法で測定する。ヘモグロビン量は、消化管中、特に下部消化管の出血性病変を伴う疾患があると増大する。

- ・ 免疫学的便潜血反応（ラテックス凝集反応）を応用し、便潜血全自動免疫化学分析装置を用いた光学的測定法。
- ・ 2日法（原則として2日連続採便）

表3-6-1 年度別検診実績

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 20	114,422	8,378 (7.3)	6,178 (73.7)	189 (0.17)	(2.26)
21	119,538	8,895 (7.4)	6,357 (71.5)	212 (0.18)	(2.38)
22	121,931	8,522 (7.0)	6,226 (73.1)	208 (0.17)	(2.44)
23	134,052	9,375 (7.0)	6,900 (73.6)	216 (0.16)	(2.30)
24	137,013	9,508 (6.9)	6,927 (72.9)	251 (0.18)	(2.64)
25	142,703	10,308 (7.2)	7,815 (75.8)	275 (0.19)	(2.67)
26	144,966	11,014 (7.6)	8,431 (76.5)	320 (0.22)	(2.91)
27	155,380	11,053 (7.1)	8,381 (75.8)	279 (0.18)	(2.52)
28	151,827	10,516 (6.9)	7,802 (74.2)	240 (0.16)	(2.28)
29	147,452	10,405 (7.1)	7,867 (75.6)	283 (0.19)	(2.72)
30	149,542	10,232 (6.8)	7,816 (76.4)	279 (0.19)	(2.73)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-6-2 検診実績

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
計	149,542	10,232 (6.8)	7,816 (76.4)	279 (0.19)	(2.73)
男	60,854	5,172 (8.5)	3,878 (75.0)	166 (0.27)	(3.21)
女	88,688	5,060 (5.7)	3,938 (77.8)	113 (0.13)	(2.23)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-6-3 要精密検査者の状況

結果内訳		要精密検査	精密検査受診者	発見がん	早期がん	陽性反応 適中度
1日目	2日目					
計		10,232 (100.0)	7,816 (76.4)	279 (0.19)	182 (65.2)	(2.73)
(+)	(+)	2,013 (19.7)	1,481 (73.6)	148 (0.10)	79 (53.4)	(7.35)
(+)	(-)	4,109 (40.2)	3,178 (77.3)	62 (0.04)	49 (79.0)	(1.51)
(-)	(+)	3,852 (37.6)	2,984 (77.5)	64 (0.04)	51 (79.7)	(1.66)
(+)	なし	258 (2.5)	173 (67.1)	5 (0.00)	3 (60.0)	(1.94)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-6-4 性・年齢階級別実績

単位:人(%)

		受診者	要精密検査	精密検査 受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳								確 定 大腸がん	早 期 (再掲)
					報 告 が ん	ポ リ ー プ	ポ リ ポ ー シ ス	潰 瘍 性 大 腸 炎	大 腸 憩 室	痔 疾	そ の 他	異 常 な し		
合 計	男	60,854	5,172 (8.5)	3,878 (75.0)	179	2,404	－	16	405	331	86	457	166 (0.27)	111
	女	88,688	5,060 (5.7)	3,938 (77.8)	123	1,719	－	17	445	558	140	936	113 (0.13)	71
	計	149,542	10,232 (6.8)	7,816 (76.4)	302	4,123	－	33	850	889	226	1,393	279 (0.19)	182
～39	男	701	20 (2.9)	15 (75.0)	－	7	－	2	－	2	－	4	－ (0.00)	－
	女	1,464	87 (5.9)	55 (63.2)	－	12	－	2	1	19	1	20	－ (0.00)	－
	計	2,165	107 (4.9)	70 (65.4)	－	19	－	4	1	21	1	24	－ (0.00)	－
40～44	男	2,859	143 (5.0)	101 (70.6)	－	35	－	1	7	15	6	37	－ (0.00)	－
	女	5,650	281 (5.0)	190 (67.6)	3	50	－	1	11	38	16	71	3 (0.05)	3
	計	8,509	424 (5.0)	291 (68.6)	3	85	－	2	18	53	22	108	3 (0.04)	3
45～49	男	3,013	149 (4.9)	99 (66.4)	2	53	－	1	5	16	3	19	2 (0.07)	1
	女	5,641	296 (5.2)	201 (67.9)	3	62	－	3	16	37	9	71	3 (0.05)	2
	計	8,654	445 (5.1)	300 (67.4)	5	115	－	4	21	53	12	90	5 (0.06)	3
50～54	男	2,758	126 (4.6)	81 (64.3)	3	44	－	2	9	8	2	13	3 (0.11)	3
	女	5,556	239 (4.3)	192 (80.3)	7	68	－	－	10	30	7	70	6 (0.11)	5
	計	8,314	365 (4.4)	273 (74.8)	10	112	－	2	19	38	9	83	9 (0.11)	8
55～59	男	3,014	192 (6.4)	138 (71.9)	7	85	－	2	13	10	3	18	6 (0.20)	5
	女	6,854	279 (4.1)	208 (74.6)	7	85	－	1	21	36	12	46	6 (0.09)	4
	計	9,868	471 (4.8)	346 (73.5)	14	170	－	3	34	46	15	64	12 (0.12)	9
60～64	男	5,216	387 (7.4)	275 (71.1)	9	172	－	2	24	22	9	37	8 (0.15)	4
	女	10,739	551 (5.1)	449 (81.5)	20	189	－	1	55	54	21	109	17 (0.16)	9
	計	15,955	938 (5.9)	724 (77.2)	29	361	－	3	79	76	30	146	25 (0.16)	13
65～69	男	12,190	948 (7.8)	693 (73.1)	40	472	－	3	61	51	8	58	38 (0.31)	26
	女	18,169	948 (5.2)	769 (81.1)	23	344	－	2	92	112	21	175	21 (0.12)	12
	計	30,359	1,896 (6.2)	1,462 (77.1)	63	816	－	5	153	163	29	233	59 (0.19)	38
70～74	男	13,361	1,201 (9.0)	927 (77.2)	48	580	－	1	105	79	20	94	48 (0.36)	34
	女	16,932	999 (5.9)	820 (82.1)	27	392	－	3	105	96	19	178	25 (0.15)	12
	計	30,293	2,200 (7.3)	1,747 (79.4)	75	972	－	4	210	175	39	272	73 (0.24)	46
75～79	男	10,792	1,107 (10.3)	893 (80.7)	40	571	－	1	92	79	14	96	35 (0.32)	22
	女	11,626	794 (6.8)	658 (82.9)	22	320	－	1	80	86	19	130	21 (0.18)	14
	計	22,418	1,901 (8.5)	1,551 (81.6)	62	891	－	2	172	165	33	226	56 (0.25)	36
80～	男	6,950	899 (12.9)	656 (73.0)	30	385	－	1	89	49	21	81	26 (0.37)	16
	女	6,057	586 (9.7)	396 (67.6)	11	197	－	3	54	50	15	66	11 (0.18)	10
	計	13,007	1,485 (11.4)	1,052 (70.8)	41	582	－	4	143	99	36	147	37 (0.28)	26

表3-6-5 市町村別実績

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳									確定大腸がん	早期（再掲）
				報 告 が ん	ポ リ ー プ	ポ リ ポ ー シ ス	潰 瘍 性 大 腸 炎	大 腸 憩 室	痔 疾	そ の 他	異 常 な し			
合 計	149,542	10,232 (6.8)	7,816 (76.4)	302	4,123	－	33	850	889	226	1,393	279 (0.19)	182	
水戸保健所計	22,012	1,504 (6.8)	1,117 (74.3)	49	592	－	3	130	127	20	196	47 (0.21)	26	
水 戸 市	8,065	552 (6.8)	406 (73.6)	26	202	－	1	42	46	10	79	24 (0.30)	17	
笠 間 市	4,210	297 (7.1)	240 (80.8)	10	129	－	1	24	35	－	41	10 (0.24)	3	
茨 城 町	2,593	152 (5.9)	112 (73.7)	5	58	－	－	11	11	2	25	5 (0.19)	2	
小 美 玉 市	4,065	251 (6.2)	164 (65.3)	2	88	－	1	26	18	4	25	2 (0.05)	1	
城 里 町	1,767	134 (7.6)	96 (71.6)	1	57	－	－	15	7	2	14	1 (0.06)	－	
大 洗 町	1,312	118 (9.0)	99 (83.9)	5	58	－	－	12	10	2	12	5 (0.38)	3	
ひたちなか保健所計	11,364	753 (6.6)	571 (75.8)	17	286	－	4	58	70	10	126	15 (0.13)	10	
ひたちなか市	6,735	463 (6.9)	356 (76.9)	9	176	－	3	37	50	7	74	7 (0.10)	2	
東 海 村	4,629	290 (6.3)	215 (74.1)	8	110	－	1	21	20	3	52	8 (0.17)	8	
常陸大宮保健所計	11,326	728 (6.4)	552 (75.8)	24	293	－	－	67	57	16	95	22 (0.19)	16	
那 珂 市	5,065	303 (6.0)	228 (75.2)	12	118	－	－	33	25	6	34	12 (0.24)	10	
常 陸 大 宮 市	4,644	307 (6.6)	223 (72.6)	9	123	－	－	20	24	7	40	7 (0.15)	5	
大 子 町	1,617	118 (7.3)	101 (85.6)	3	52	－	－	14	8	3	21	3 (0.19)	1	
鉾田保健所計	10,173	690 (6.8)	500 (72.5)	22	257	－	2	56	58	12	93	21 (0.21)	10	
鉾 田 市	7,030	485 (6.9)	343 (70.7)	15	181	－	2	36	47	6	56	15 (0.21)	8	
行 方 市	3,143	205 (6.5)	157 (76.6)	7	76	－	－	20	11	6	37	6 (0.19)	2	
潮来保健所計	11,362	825 (7.3)	624 (75.6)	23	329	－	4	63	101	24	80	16 (0.14)	12	
鹿 嶋 市	3,525	273 (7.7)	214 (78.4)	10	120	－	2	19	24	11	28	9 (0.26)	6	
潮 来 市	2,798	226 (8.1)	178 (78.8)	4	108	－	－	15	26	3	22	3 (0.11)	2	
神 栖 市	5,039	326 (6.5)	232 (71.2)	9	101	－	2	29	51	10	30	4 (0.08)	4	
竜ヶ崎保健所計	12,235	804 (6.6)	655 (81.5)	31	334	－	3	76	85	12	114	31 (0.25)	22	
龍 ヶ 崎 市	3,874	258 (6.7)	201 (77.9)	11	108	－	－	24	18	3	37	11 (0.28)	8	
牛 久 市	5,413	338 (6.2)	278 (82.2)	11	141	－	2	34	42	6	42	11 (0.20)	8	
稲 敷 市	2,389	159 (6.7)	136 (85.5)	8	64	－	1	14	21	1	27	8 (0.33)	5	
河 内 町	559	49 (8.8)	40 (81.6)	1	21	－	－	4	4	2	8	1 (0.18)	1	
土浦保健所計	15,504	1,089 (7.0)	805 (73.9)	25	431	－	3	84	83	30	149	23 (0.15)	18	
土 浦 市	5,924	342 (5.8)	267 (78.1)	15	126	－	3	28	23	10	62	13 (0.22)	8	
石 岡 市	3,964	323 (8.1)	234 (72.4)	2	134	－	－	20	28	5	45	2 (0.05)	2	
美 浦 村	1,331	93 (7.0)	63 (67.7)	2	38	－	－	7	5	4	7	2 (0.15)	2	
阿 見 町	2,566	193 (7.5)	134 (69.4)	2	76	－	－	13	15	7	21	2 (0.08)	2	
かすみがうら市	1,719	138 (8.0)	107 (77.5)	4	57	－	－	16	12	4	14	4 (0.23)	4	

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳								確定大腸がん	早期 (再掲)
				報告 が ん	ポ リ プ	ポ リ ポ ー シ ス	潰 瘍 性 大 腸 炎	大 腸 憩 室	痔 疾	そ の 他	異 常 な し		
つくば保健所計	10,278	757 (7.4)	600 (79.3)	27	322	－	1	60	70	14	106	25 (0.24)	14
つくば市	7,526	567 (7.5)	438 (77.2)	17	256	－	－	45	30	9	81	16 (0.21)	8
つくばみらい市	2,752	190 (6.9)	162 (85.3)	10	66	－	1	15	40	5	25	9 (0.33)	6
筑西保健所計	15,086	1,042 (6.9)	837 (80.3)	38	443	－	－	90	93	40	133	35 (0.23)	23
筑西市	7,838	541 (6.9)	431 (79.7)	14	234	－	－	50	36	19	78	13 (0.17)	9
結城市	3,315	219 (6.6)	185 (84.5)	12	97	－	－	17	37	8	14	12 (0.36)	6
桜川市	3,933	282 (7.2)	221 (78.4)	12	112	－	－	23	20	13	41	10 (0.25)	8
常総保健所計	14,215	984 (6.9)	743 (75.5)	26	396	－	6	64	61	17	173	24 (0.17)	17
下妻市	3,261	168 (5.2)	131 (78.0)	2	84	－	2	6	9	2	26	2 (0.06)	2
常総市	3,579	248 (6.9)	191 (77.0)	9	87	－	2	14	16	4	59	8 (0.22)	7
坂東市	5,700	443 (7.8)	324 (73.1)	11	167	－	2	38	32	9	65	11 (0.19)	7
八千代町	1,675	125 (7.5)	97 (77.6)	4	58	－	－	6	4	2	23	3 (0.18)	1
古河保健所計	15,987	1,056 (6.6)	812 (76.9)	20	440	－	7	102	84	31	128	20 (0.13)	14
古河市	11,744	779 (6.6)	614 (78.8)	11	343	－	5	79	52	22	102	11 (0.09)	9
五霞町	1,097	71 (6.5)	47 (66.2)	2	23	－	1	5	6	5	5	2 (0.18)	1
境町	3,146	206 (6.5)	151 (73.3)	7	74	－	1	18	26	4	21	7 (0.22)	4

乳 がん 検 診



3-7 乳がん検診

3-7-1 概要

乳がんは女性の罹患率第一位のがんである。最近では乳がんの発生率は増加の一途をたどっており、それに比例する形で乳がんによる死亡率も増加している。平成30年度の乳がんによる死亡率は、大腸がん、肺がん、膵臓がん、胃がんに続く第五位となっている。

40歳以上の女性を対象としたマンモグラフィによる乳がん検診は、乳がんによる死亡率減少効果があることが科学的に証明されているが、40歳代で乳腺が発達している場合は、マンモグラフィでは乳房全体が白く写ってしまい、異常を見つけにくくなることもある。

当協会では、平成13年度から検診車による乳房超音波検査を導入し、年代によってマンモグラフィと併用することで精度の向上を図っている。

3-7-2 実施状況

検診実績は、57,028人の受診者に対し、要精密検査者1,765人(3.1%)、精密検査受診者1,687人(95.6%)で、発見がんは143人(0.25%)、うち早期がんは110人(76.9%)であった。

検査項目別にみると、X線検査は32,336人の受診者に対し、要精密検査者1,133人(3.5%)、精密検査受診者1,078人(95.1%)で発見がんは82人(0.25%)、うち早期がんは60人(73.2%)であった。

超音波検査は33,162人の受診者に対し、要精密検査者684人(2.1%)、精密検査受診者654人(95.6%)で、発見がんは73人(0.22%)、うち早期がんは56人(76.7%)であった。

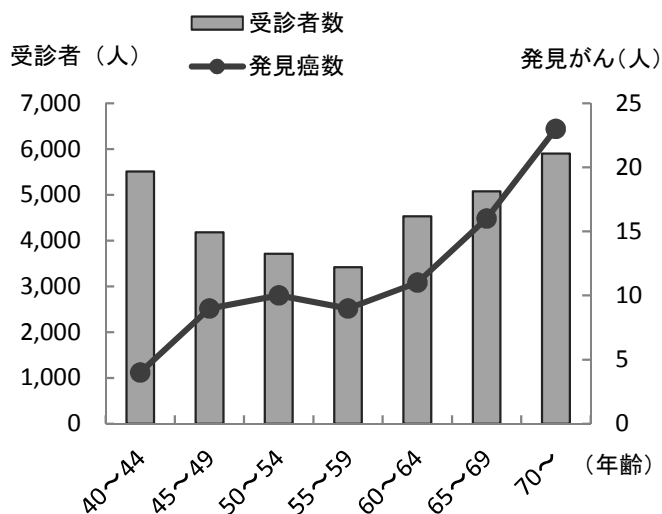


図3-7-1 乳房X線年齢別受診者数と発見がん数

3-7-3 各検査方法

乳房X線撮影（マンモグラフィ）

マンモグラフィ認定技師による両側の内外斜位1方向（MLO）を撮影する。40歳以上50歳未満の者については、頭尾方向撮影（CC）を追加する。

読影は専門医師2名による二重読影と可及的に比較読影を行い、「マンモグラフィ読影判定基準」により判定している。

なお、当協会は、特定非営利法人日本乳がん検診精度管理中央機構より、「マンモグラフィ検診施設画像認定」を受けている。

乳房超音波

走査撮影法を用い、少しずつオーバーラップするようにして隙間をつくらないように検査し、異常所見がある場合は、その異常部位の最大断面とそれに直行する断面の2方向は最低限撮影する（異常の評価に必要と思われる画像は追加記録する）。発達した乳腺を観察するのに適しており、また、乳がん及びしこりの有無、その形状（形、大きさ、種類等）の観察も容易である。

読影は専門医師が静止画像によって行い、「超音波画像読影判定基準」により判定している。

表3-7-1 マンモグラフィ及び超音波画像読影判定区分等

判定区分	所 見
カテゴリー N	判定不能
カテゴリー 1	異常なし
カテゴリー 2	良性
カテゴリー 3	良性しかし悪性否定できず(要精密検査)
カテゴリー 4	悪性疑い(要精密検査)
カテゴリー 5	悪性(要精密検査)

表3-7-2 年度別検診実績(乳房X線)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 20	27,448	1,315 (4.8)	1,198 (91.1)	51 (0.19)	(3.88)
21	34,663	1,736 (5.0)	1,559 (89.8)	77 (0.22)	(4.44)
22	33,230	1,768 (5.3)	1,643 (92.9)	56 (0.17)	(3.17)
23	34,102	1,746 (5.1)	1,627 (93.2)	68 (0.20)	(3.89)
24	33,824	1,659 (4.9)	1,559 (94.0)	73 (0.22)	(4.40)
25	34,867	1,898 (5.4)	1,763 (92.9)	83 (0.24)	(4.37)
26	32,722	1,682 (5.1)	1,564 (93.0)	98 (0.30)	(5.83)
27	32,776	1,367 (4.2)	1,281 (93.7)	80 (0.24)	(5.85)
28	32,560	1,140 (3.5)	1,063 (93.2)	80 (0.25)	(7.02)
29	32,061	1,089 (3.4)	1,045 (96.0)	83 (0.26)	(7.62)
30	32,336	1,133 (3.5)	1,078 (95.1)	82 (0.25)	(7.24)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-7-3 年度別検診実績(乳房超音波)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 30	33,162	684 (2.1)	654 (95.6)	73 (0.22)	(10.67)
29	33,362	804 (2.4)	751 (93.4)	77 (0.23)	(9.58)
28	32,749	822 (2.5)	770 (93.7)	54 (0.16)	(6.57)
27	31,849	740 (2.3)	688 (93.0)	68 (0.21)	(9.19)
26	30,601	700 (2.3)	646 (92.3)	53 (0.17)	(7.57)
25	30,235	815 (2.7)	754 (92.5)	59 (0.20)	(7.24)
24	29,970	1,016 (3.4)	939 (92.4)	38 (0.13)	(3.74)
23	30,729	1,130 (3.7)	1,044 (92.4)	38 (0.12)	(3.36)
22	29,544	1,087 (3.7)	994 (91.4)	43 (0.15)	(3.96)
21	28,815	1,050 (3.6)	957 (91.1)	51 (0.18)	(4.86)
20	25,879	976 (3.8)	897 (91.9)	24 (0.09)	(2.46)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-7-4 検診実績

単位:人(%)

検診方式	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
実人数	57,028	1,765 (3.1)	1,687 (95.6)	143 (0.25)	(8.10)
乳房X線	32,336	1,133 (3.5)	1,078 (95.1)	82 (0.25)	(7.24)
乳房超音波	33,162	684 (2.1)	654 (95.6)	73 (0.22)	(10.67)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

※ それぞれの検診方法による発見がん数には重複あり

表3-7-5 検診方法別実績

単位:人(%)

検診区分	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	早期がん	陽性反応適中度
計	57,028	1,765 (3.1)	1,687 (95.6)	143 (0.25)	110 (76.9)	(8.10)
X線+超音波	8,470	433 (5.1)	410 (94.7)	31 (0.37)	21 (67.7)	(7.16)
X線のみ	23,866	847 (3.5)	810 (95.6)	62 (0.26)	48 (77.4)	(7.32)
超音波のみ	24,692	485 (2.0)	467 (96.3)	50 (0.20)	41 (82.0)	(10.31)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

※ それぞれの検診方法による発見がん数には重複あり

表3-7-6 年齢階級別・検診方法別実績

単位:人(%)

	検診方式	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳								確定乳がん	早期（再掲）
					報告が ん	線維 腺 腫	乳 腺 症	乳 頭 腫	そ の 他	未 確 定	異 常 な し			
合 計	実 人 数	57,028	1,765 (3.1)	1,687 (95.6)	145	174	708	44	71	51	494	143 (0.25)	110	
	乳房X線	32,336	1,133 (3.5)	1,078 (95.1)	83	87	383	20	46	31	428	82 (0.25)	60	
	超 音 波	33,162	684 (2.1)	654 (95.6)	74	97	340	27	28	20	68	73 (0.22)	56	
～29	実 人 数	66	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－	－	－ (0.00)	－	
	乳房X線	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	超 音 波	66	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－	－	－ (0.00)	－	
30～34	実 人 数	3,282	45 (1.4)	42 (93.3)	1	7	19	1	8	1	5	1 (0.03)	－	
	乳房X線	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	超 音 波	3,282	45 (1.4)	42 (93.3)	1	7	19	1	8	1	5	1 (0.03)	－	
35～39	実 人 数	5,188	118 (2.3)	114 (96.6)	2	29	62	6	3	3	9	2 (0.04)	1	
	乳房X線	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	超 音 波	5,188	118 (2.3)	114 (96.6)	2	29	62	6	3	3	9	2 (0.04)	1	
40～44	実 人 数	7,907	363 (4.6)	339 (93.4)	10	46	162	8	12	9	92	10 (0.13)	8	
	乳房X線	5,513	257 (4.7)	238 (92.6)	4	26	106	4	10	8	80	4 (0.07)	4	
	超 音 波	5,173	124 (2.4)	114 (91.9)	6	24	63	5	2	1	13	6 (0.12)	4	
45～49	実 人 数	7,465	329 (4.4)	320 (97.3)	18	37	156	10	15	7	77	17 (0.23)	9	
	乳房X線	4,180	210 (5.0)	203 (96.7)	9	23	82	2	12	5	70	9 (0.22)	5	
	超 音 波	5,416	134 (2.5)	132 (98.5)	12	19	76	9	6	2	8	11 (0.20)	5	
50～54	実 人 数	6,080	199 (3.3)	191 (96.0)	17	12	92	3	4	6	57	17 (0.28)	15	
	乳房X線	3,715	131 (3.5)	128 (97.7)	10	7	54	2	3	3	49	10 (0.27)	8	
	超 音 波	4,222	79 (1.9)	74 (93.7)	12	6	42	2	1	3	8	12 (0.28)	11	
55～59	実 人 数	5,729	145 (2.5)	137 (94.5)	17	7	52	4	6	4	47	17 (0.30)	12	
	乳房X線	3,418	93 (2.7)	88 (94.6)	9	5	27	1	3	3	40	9 (0.26)	5	
	超 音 波	3,309	58 (1.8)	53 (91.4)	11	2	26	3	3	1	7	11 (0.33)	7	
60～64	実 人 数	6,197	202 (3.3)	195 (96.5)	26	10	74	2	9	10	64	26 (0.42)	23	
	乳房X線	4,532	151 (3.3)	145 (96.0)	11	5	53	2	7	6	61	11 (0.24)	9	
	超 音 波	2,188	53 (2.4)	52 (98.1)	16	5	22	－	2	4	3	16 (0.73)	15	
65～69	実 人 数	7,268	173 (2.4)	167 (96.5)	24	12	46	3	6	4	72	23 (0.32)	19	
	乳房X線	5,075	134 (2.6)	128 (95.5)	17	11	30	2	4	2	62	16 (0.32)	13	
	超 音 波	2,280	39 (1.7)	39 (100.0)	7	1	16	1	2	2	10	7 (0.31)	6	
70～74	実 人 数	5,028	137 (2.7)	130 (94.9)	22	7	33	3	7	7	51	22 (0.44)	18	
	乳房X線	3,825	110 (2.9)	103 (93.6)	16	5	21	3	7	4	47	16 (0.42)	12	
	超 音 波	1,269	27 (2.1)	27 (100.0)	6	2	12	－	－	3	4	6 (0.47)	6	
75～79	実 人 数	2,225	40 (1.8)	39 (97.5)	7	4	10	3	1	－	14	7 (0.31)	5	
	乳房X線	1,609	35 (2.2)	34 (97.1)	6	3	8	3	－	－	14	6 (0.37)	4	
	超 音 波	633	5 (0.8)	5 (100.0)	1	1	2	－	1	－	－	1 (0.16)	1	
80～	実 人 数	593	14 (2.4)	13 (92.9)	1	3	2	1	－	－	6	1 (0.17)	－	
	乳房X線	469	12 (2.6)	11 (91.7)	1	2	2	1	－	－	5	1 (0.21)	－	
	超 音 波	136	2 (1.5)	2 (100.0)	－	1	－	－	－	－	1	－ (0.00)	－	

表3-7-7 市町村別・検診方法別実績

単位:人(%)

	検診方式	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳								確定乳がん	早期（再掲）
					報告が ん	線維 腺 腫	乳 腺 症	乳 頭 腫	そ の 他	未 確 定	異 常 な し			
合 計	実 人 数	57,028	1,765 (3.1)	1,687 (95.6)	145	174	708	44	71	51	494	143 (0.25)	110	
	乳房×線	32,336	1,133 (3.5)	1,078 (95.1)	83	87	383	20	46	31	428	82 (0.25)	60	
	超 音 波	33,162	684 (2.1)	654 (95.6)	74	97	340	27	28	20	68	73 (0.22)	56	
水戸保健所計	実 人 数	9,681	346 (3.6)	326 (94.2)	24	46	138	15	10	6	87	24 (0.25)	19	
	乳房×線	5,581	224 (4.0)	209 (93.3)	17	21	82	3	7	3	76	17 (0.30)	13	
	超 音 波	5,645	131 (2.3)	126 (96.2)	9	27	60	12	4	3	11	9 (0.16)	7	
水 戸 市	実 人 数	2,979	123 (4.1)	117 (95.1)	7	12	59	8	2	3	26	7 (0.23)	7	
	乳房×線	1,475	78 (5.3)	75 (96.2)	5	7	35	3	1	1	23	5 (0.34)	5	
	超 音 波	1,504	45 (3.0)	42 (93.3)	2	5	24	5	1	2	3	2 (0.13)	2	
笠 間 市	実 人 数	1,871	84 (4.5)	76 (90.5)	3	14	26	2	－	2	29	3 (0.16)	2	
	乳房×線	1,267	62 (4.9)	54 (87.1)	3	6	16	－	－	2	27	3 (0.24)	2	
	超 音 波	1,146	23 (2.0)	23 (100.0)	－	8	11	2	－	－	2	－ (0.00)	－	
茨 城 町	実 人 数	1,137	32 (2.8)	30 (93.8)	4	2	15	1	1	－	7	4 (0.35)	4	
	乳房×線	622	19 (3.1)	18 (94.7)	1	－	11	－	－	－	6	1 (0.16)	1	
	超 音 波	515	13 (2.5)	12 (92.3)	3	2	4	1	1	－	1	3 (0.58)	3	
小 美 玉 市	実 人 数	2,206	58 (2.6)	55 (94.8)	3	10	21	2	4	－	15	3 (0.14)	3	
	乳房×線	1,352	36 (2.7)	33 (91.7)	3	2	12	－	3	－	13	3 (0.22)	3	
	超 音 波	1,431	27 (1.9)	27 (100.0)	1	9	11	2	2	－	2	1 (0.07)	1	
城 里 町	実 人 数	835	39 (4.7)	39 (100.0)	5	5	16	2	1	1	9	5 (0.60)	2	
	乳房×線	515	21 (4.1)	21 (100.0)	3	3	8	－	1	－	6	3 (0.58)	1	
	超 音 波	554	20 (3.6)	20 (100.0)	3	2	9	2	－	1	3	3 (0.54)	1	
大 洗 町	実 人 数	653	10 (1.5)	9 (90.0)	2	3	1	－	2	－	1	2 (0.31)	1	
	乳房×線	350	8 (2.3)	8 (100.0)	2	3	－	－	2	－	1	2 (0.57)	1	
	超 音 波	495	3 (0.6)	2 (66.7)	－	1	1	－	－	－	－	－ (0.00)	－	
ひたちなか保健所計	実 人 数	4,425	155 (3.5)	150 (96.8)	12	11	77	2	2	3	43	12 (0.27)	10	
	乳房×線	3,339	129 (3.9)	125 (96.9)	6	10	61	1	1	3	43	6 (0.18)	6	
	超 音 波	1,086	26 (2.4)	25 (96.2)	6	1	16	1	1	－	－	6 (0.55)	4	
ひたちなか市	実 人 数	2,369	106 (4.5)	104 (98.1)	6	10	46	1	－	3	38	6 (0.25)	6	
	乳房×線	2,369	106 (4.5)	104 (98.1)	6	10	46	1	－	3	38	6 (0.25)	6	
	超 音 波	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
東 海 村	実 人 数	2,056	49 (2.4)	46 (93.9)	6	1	31	1	2	－	5	6 (0.29)	4	
	乳房×線	970	23 (2.4)	21 (91.3)	－	－	15	－	1	－	5	－ (0.00)	－	
	超 音 波	1,086	26 (2.4)	25 (96.2)	6	1	16	1	1	－	－	6 (0.55)	4	

単位:人(%)

	検診方式	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳							確定乳がん	早期(再掲)
					報告が ん	線 維 腺 腫	乳 腺 症	乳 頭 腫	そ の 他	未 確 定	異 常 な し		
常陸大宮保健所計	実人数	5,226	157 (3.0)	146 (93.0)	15	9	74	2	6	3	37	15 (0.29)	12
	乳房X線	2,977	100 (3.4)	93 (93.0)	8	5	41	1	3	2	33	8 (0.27)	6
	超音波	2,879	60 (2.1)	56 (93.3)	7	5	35	1	3	1	4	7 (0.24)	6
那珂市	実人数	1,741	70 (4.0)	66 (94.3)	6	4	35	1	5	2	13	6 (0.34)	4
	乳房X線	1,183	46 (3.9)	44 (95.7)	4	2	21	-	3	2	12	4 (0.34)	2
	超音波	1,020	27 (2.6)	25 (92.6)	2	3	16	1	2	-	1	2 (0.20)	2
常陸大宮市	実人数	2,972	70 (2.4)	63 (90.0)	8	4	32	1	1	-	17	8 (0.27)	7
	乳房X線	1,453	44 (3.0)	39 (88.6)	3	2	17	1	-	-	16	3 (0.21)	3
	超音波	1,566	26 (1.7)	24 (92.3)	5	2	15	-	1	-	1	5 (0.32)	4
大子町	実人数	513	17 (3.3)	17 (100.0)	1	1	7	-	-	1	7	1 (0.19)	1
	乳房X線	341	10 (2.9)	10 (100.0)	1	1	3	-	-	-	5	1 (0.29)	1
	超音波	293	7 (2.4)	7 (100.0)	-	-	4	-	-	1	2	- (0.00)	-
鉾田保健所計	実人数	4,132	110 (2.7)	106 (96.4)	11	11	39	4	2	-	39	10 (0.24)	6
	乳房X線	2,465	71 (2.9)	69 (97.2)	8	4	21	2	1	-	33	7 (0.28)	3
	超音波	2,662	42 (1.6)	40 (95.2)	4	7	20	2	1	-	6	4 (0.15)	3
鉾田市	実人数	2,297	61 (2.7)	58 (95.1)	7	5	22	3	1	-	20	7 (0.30)	4
	乳房X線	1,391	38 (2.7)	37 (97.4)	5	-	12	1	1	-	18	5 (0.36)	2
	超音波	1,458	24 (1.6)	22 (91.7)	2	5	11	2	-	-	2	2 (0.14)	2
行方市	実人数	1,835	49 (2.7)	48 (98.0)	4	6	17	1	1	-	19	3 (0.16)	2
	乳房X線	1,074	33 (3.1)	32 (97.0)	3	4	9	1	-	-	15	2 (0.19)	1
	超音波	1,204	18 (1.5)	18 (100.0)	2	2	9	-	1	-	4	2 (0.17)	1
潮来保健所計	実人数	5,095	171 (3.4)	166 (97.1)	12	13	76	3	7	1	54	12 (0.24)	10
	乳房X線	3,128	109 (3.5)	107 (98.2)	8	7	32	1	7	-	52	8 (0.26)	6
	超音波	3,231	68 (2.1)	65 (95.6)	5	9	46	2	-	1	2	5 (0.15)	4
鹿嶋市	実人数	1,287	49 (3.8)	47 (95.9)	4	4	19	1	2	-	17	4 (0.31)	3
	乳房X線	838	33 (3.9)	33 (100.0)	2	2	9	1	2	-	17	2 (0.24)	1
	超音波	736	18 (2.4)	16 (88.9)	2	4	10	-	-	-	-	2 (0.27)	2
潮来市	実人数	1,385	45 (3.2)	43 (95.6)	3	4	18	-	3	1	14	3 (0.22)	3
	乳房X線	818	29 (3.5)	27 (93.1)	2	1	8	-	3	-	13	2 (0.24)	2
	超音波	828	16 (1.9)	16 (100.0)	1	3	10	-	-	1	1	1 (0.12)	1
神栖市	実人数	2,423	77 (3.2)	76 (98.7)	5	5	39	2	2	-	23	5 (0.21)	4
	乳房X線	1,472	47 (3.2)	47 (100.0)	4	4	15	-	2	-	22	4 (0.27)	3
	超音波	1,667	34 (2.0)	33 (97.1)	2	2	26	2	-	-	1	2 (0.12)	1

単位:人(%)

	検診方式	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳							確定乳がん	早期(再掲)
					報告が ん	線 維 腺 腫	乳 腺 症	乳 頭 腫	そ の 他	未 確 定	異 常 な し		
竜ヶ崎保健所計	実人数	2,440	83 (3.4)	75 (90.4)	7	4	23	2	3	3	33	7 (0.29)	4
	乳房X線	1,554	59 (3.8)	53 (89.8)	5	1	13	2	2	3	27	5 (0.32)	2
	超音波	1,504	31 (2.1)	28 (90.3)	5	4	11	-	1	-	7	5 (0.33)	4
龍ヶ崎市	実人数	812	32 (3.9)	30 (93.8)	1	2	10	2	1	1	13	1 (0.12)	1
	乳房X線	546	22 (4.0)	20 (90.9)	1	-	6	2	1	1	9	1 (0.18)	1
	超音波	511	12 (2.3)	12 (100.0)	1	2	4	-	-	-	5	1 (0.20)	1
牛久市	実人数	678	24 (3.5)	20 (83.3)	2	-	8	-	2	1	7	2 (0.29)	2
	乳房X線	349	12 (3.4)	10 (83.3)	-	-	3	-	1	1	5	- (0.00)	-
	超音波	476	12 (2.5)	10 (83.3)	2	-	5	-	1	-	2	2 (0.42)	2
稲敷市	実人数	791	23 (2.9)	22 (95.7)	4	2	5	-	-	1	10	4 (0.51)	1
	乳房X線	559	21 (3.8)	20 (95.2)	4	1	4	-	-	1	10	4 (0.72)	1
	超音波	418	6 (1.4)	6 (100.0)	2	2	2	-	-	-	-	2 (0.48)	1
河内町	実人数	159	4 (2.5)	3 (75.0)	-	-	-	-	-	-	3	- (0.00)	-
	乳房X線	100	4 (4.0)	3 (75.0)	-	-	-	-	-	-	3	- (0.00)	-
	超音波	99	1 (1.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
土浦保健所計	実人数	4,844	179 (3.7)	167 (93.3)	10	27	64	2	8	4	52	10 (0.21)	8
	乳房X線	3,325	120 (3.6)	109 (90.8)	6	11	36	1	7	3	45	6 (0.18)	5
	超音波	2,975	71 (2.4)	65 (91.5)	6	18	29	2	2	1	7	6 (0.20)	4
土浦市	実人数	1,486	54 (3.6)	48 (88.9)	5	12	11	-	1	1	18	5 (0.34)	3
	乳房X線	1,191	33 (2.8)	28 (84.8)	1	7	4	-	1	1	14	1 (0.08)	-
	超音波	1,032	28 (2.7)	24 (85.7)	5	6	8	-	1	-	4	5 (0.48)	3
石岡市	実人数	1,233	46 (3.7)	43 (93.5)	4	5	19	1	4	2	8	4 (0.32)	4
	乳房X線	799	34 (4.3)	31 (91.2)	4	2	13	-	3	1	8	4 (0.50)	4
	超音波	841	15 (1.8)	13 (86.7)	1	3	6	1	1	1	-	1 (0.12)	1
美浦村	実人数	651	26 (4.0)	25 (96.2)	-	4	12	1	2	-	6	- (0.00)	-
	乳房X線	431	14 (3.2)	13 (92.9)	-	1	4	1	2	-	5	- (0.00)	-
	超音波	392	14 (3.6)	14 (100.0)	-	4	8	1	-	-	1	- (0.00)	-
阿見町	実人数	911	31 (3.4)	30 (96.8)	1	3	13	-	1	-	12	1 (0.11)	1
	乳房X線	540	25 (4.6)	24 (96.0)	1	-	10	-	1	-	12	1 (0.19)	1
	超音波	371	6 (1.6)	6 (100.0)	-	3	3	-	-	-	-	- (0.00)	-
かすみがうら市	実人数	563	22 (3.9)	21 (95.5)	-	3	9	-	-	1	8	- (0.00)	-
	乳房X線	364	14 (3.8)	13 (92.9)	-	1	5	-	-	1	6	- (0.00)	-
	超音波	339	8 (2.4)	8 (100.0)	-	2	4	-	-	-	2	- (0.00)	-

単位:人(%)

	検診方式	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳							確定乳がん	早期(再掲)
					報告が ん	線 維 腺 腫	乳 腺 症	乳 頭 腫	そ の 他	未 確 定	異 常 な し		
つくば保健所計	実人数	3,902	125 (3.2)	122 (97.6)	13	13	62	2	6	5	21	13 (0.33)	9
	乳房X線	2,012	73 (3.6)	70 (95.9)	8	4	29	2	2	5	20	8 (0.40)	7
	超音波	3,407	63 (1.8)	62 (98.4)	7	10	36	2	5	-	2	7 (0.21)	3
つくば市	実人数	3,082	97 (3.1)	95 (97.9)	12	10	49	1	6	3	14	12 (0.39)	8
	乳房X線	1,551	56 (3.6)	54 (96.4)	7	4	24	1	2	3	13	7 (0.45)	6
	超音波	2,835	51 (1.8)	50 (98.0)	7	7	28	1	5	-	2	7 (0.25)	3
つくばみらい市	実人数	820	28 (3.4)	27 (96.4)	1	3	13	1	-	2	7	1 (0.12)	1
	乳房X線	461	17 (3.7)	16 (94.1)	1	-	5	1	-	2	7	1 (0.22)	1
	超音波	572	12 (2.1)	12 (100.0)	-	3	8	1	-	-	-	(0.00)	-
筑西保健所計	実人数	7,173	154 (2.1)	151 (98.1)	13	11	48	3	14	10	52	13 (0.18)	11
	乳房X線	3,270	90 (2.8)	88 (97.8)	5	8	21	1	10	5	38	5 (0.15)	3
	超音波	3,903	64 (1.6)	63 (98.4)	8	3	27	2	4	5	14	8 (0.20)	8
筑西市	実人数	3,465	69 (2.0)	67 (97.1)	8	4	18	1	5	6	25	8 (0.23)	8
	乳房X線	1,573	38 (2.4)	37 (97.4)	2	2	8	-	4	3	18	2 (0.13)	2
	超音波	1,892	31 (1.6)	30 (96.8)	6	2	10	1	1	3	7	6 (0.32)	6
結城市	実人数	1,060	22 (2.1)	21 (95.5)	2	3	10	-	3	-	3	2 (0.19)	2
	乳房X線	505	11 (2.2)	10 (90.9)	-	3	4	-	1	-	2	- (0.00)	-
	超音波	555	11 (2.0)	11 (100.0)	2	-	6	-	2	-	1	2 (0.36)	2
桜川市	実人数	2,648	63 (2.4)	63 (100.0)	3	4	20	2	6	4	24	3 (0.11)	1
	乳房X線	1,192	41 (3.4)	41 (100.0)	3	3	9	1	5	2	18	3 (0.25)	1
	超音波	1,456	22 (1.5)	22 (100.0)	-	1	11	1	1	2	6	- (0.00)	-
常総保健所計	実人数	6,213	162 (2.6)	159 (98.1)	18	15	68	7	6	6	39	17 (0.27)	14
	乳房X線	2,862	87 (3.0)	85 (97.7)	6	9	29	4	1	3	33	6 (0.21)	5
	超音波	3,796	76 (2.0)	75 (98.7)	13	6	39	3	5	3	6	12 (0.32)	10
下妻市	実人数	842	25 (3.0)	25 (100.0)	5	-	9	-	3	1	7	5 (0.59)	4
	乳房X線	469	14 (3.0)	14 (100.0)	3	-	4	-	-	1	6	3 (0.64)	2
	超音波	620	12 (1.9)	12 (100.0)	3	-	5	-	3	-	1	3 (0.48)	3
常総市	実人数	1,705	51 (3.0)	51 (100.0)	7	5	22	2	1	1	13	7 (0.41)	6
	乳房X線	825	25 (3.0)	25 (100.0)	3	2	8	1	-	-	11	3 (0.36)	3
	超音波	880	26 (3.0)	26 (100.0)	4	3	14	1	1	1	2	4 (0.45)	3
坂東市	実人数	2,803	66 (2.4)	64 (97.0)	5	6	31	2	1	3	16	4 (0.14)	3
	乳房X線	1,182	40 (3.4)	38 (95.0)	-	6	15	1	-	2	14	- (0.00)	-
	超音波	1,621	26 (1.6)	26 (100.0)	5	-	16	1	1	1	2	4 (0.25)	3

単位:人(%)

単位:人、%

	検診方式	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳								確定乳がん	早期（再掲）
					報告がん	線維腺腫	乳腺症	乳頭腫	その他	未確定	異常なし			
八千代町	実人数	863	20 (2.3)	19 (95.0)	1	4	6	3	1	1	3	1 (0.12)	1	
	乳房X線	386	8 (2.1)	8 (100.0)	－	1	2	2	1	－	2	－ (0.00)	－	
	超音波	675	12 (1.8)	11 (91.7)	1	3	4	1	－	1	1	1 (0.15)	1	
古河保健所計	実人数	3,897	123 (3.2)	119 (96.7)	10	14	39	2	7	10	37	10 (0.26)	7	
	乳房X線	1,823	71 (3.9)	70 (98.6)	6	7	18	2	5	4	28	6 (0.33)	4	
	超音波	2,074	52 (2.5)	49 (94.2)	4	7	21	－	2	6	9	4 (0.19)	3	
古河市	実人数	2,510	87 (3.5)	84 (96.6)	8	11	25	2	5	10	23	8 (0.32)	6	
	乳房X線	1,203	49 (4.1)	48 (98.0)	5	5	12	2	3	4	17	5 (0.42)	3	
	超音波	1,307	38 (2.9)	36 (94.7)	3	6	13	－	2	6	6	3 (0.23)	3	
五霞町	実人数	559	14 (2.5)	14 (100.0)	1	2	6	－	1	－	4	1 (0.18)	1	
	乳房X線	252	10 (4.0)	10 (100.0)	1	1	3	－	1	－	4	1 (0.40)	1	
	超音波	307	4 (1.3)	4 (100.0)	－	1	3	－	－	－	－	－ (0.00)	－	
境町	実人数	828	22 (2.7)	21 (95.5)	1	1	8	－	1	－	10	1 (0.12)	－	
	乳房X線	368	12 (3.3)	12 (100.0)	－	1	3	－	1	－	7	－ (0.00)	－	
	超音波	460	10 (2.2)	9 (90.0)	1	－	5	－	－	－	3	1 (0.22)	－	

子宮がん検診



3-8 子宮がん検診

3-8-1 概要

子宮頸がんは、早期に発見し適切な治療を行えば完全治癒の可能ながんである。国においても、子宮頸がん死亡率減少効果を示す相応な根拠があるので、細胞診による子宮頸がん検診を推奨している。子宮体がん検診は、早期より不正出血がみられることが多いという点や、更年期以降に多い点などを考慮し、主にハイリスク者に対して行われている。

若年者に増加傾向が見られる子宮頸がんでは、子宮を温存し妊娠の可能性を維持するうえでも、前がん病変である子宮頸部上皮内腫瘍（CIN3）の時期に発見し、速やかに治療を行うことが大変重要となる。

子宮頸がんの多くは、ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの持続感染が原因であることが明らかになっており、子宮頸部の細胞にハイリスクHPVが感染しているかを調べるHPV検査も普及しつつある。検診においても従来の細胞診検査に加え、HPV検査を併用することで、前がん病変の発見精度の向上や将来的な子宮頸がんのリスクの予測が期待できる。

平成29年度から水戸市において、細胞診検査と同時にHPV検査を実施する「HPV併用子宮頸がん検診」が開始された。細胞診およびHPV検査の両方が陰性判定の場合は、2～3年以内に子宮頸がんになる可能性は低いと考えられているため、次の受診は2年後となる。

3-8-2 実施状況

子宮頸がん検診の受診者は、平成29年度に比べて1,724人減の92,382人であり、その内訳は巡回検診で47,420人、医療機関検診で44,962人であった。要精密検査者数は巡回検診で588人（1.2%）、医療機関検診で962人（2.1%）であり、その合計は1,550人であった。

精密検査受診率は、巡回検診90.1%、医療機関検診91.6%であった。

発見されたCIN3及びAISは、巡回検診43人（0.09%）で、医療機関検診では67人（0.15%）であった。また、発見されたがんの数は、巡回検診で8人（0.02%）、医療機関検診で10人（0.02%）であった。

なお、平成29年度における日本対がん協会の全国実績では、要精密検査率は1.5%、精密検査受診率は83.7%、がん発見率は0.01%となっている。

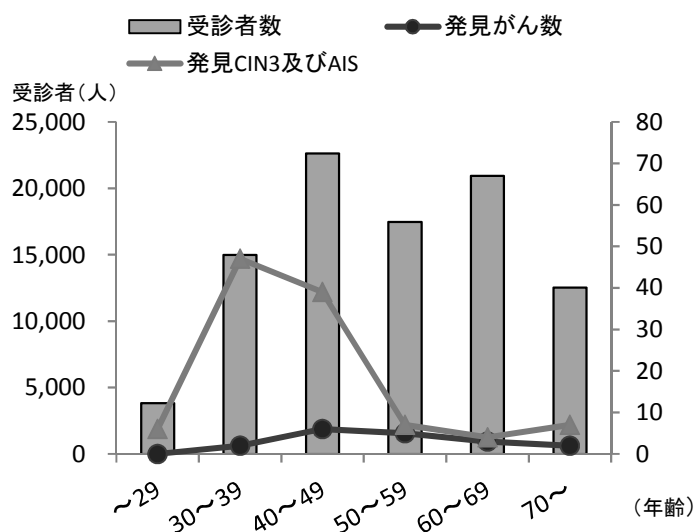


図3-8-1 子宮頸がん検診年齢別受診者数と発見がん数

3-8-3 検査方法

子宮頸がん検診の主体は子宮頸部擦過細胞診で、液状検体法（LBC）で実施している。

- ① 子宮の入り口付近からサーベックスブラシで細胞を採取する。
- ② ブラシ先端をはずし、バイアル固定液に入れる（細胞全てがバイアルに回収される）。
- ③ 分離剤を用いて検鏡時の障害となる夾雑物を取り除き、目的とする上皮細胞をスライドガラスに接着させる。この工程は全て自動化され、検体の取り違いのないようバーコードで管理している。
- ④ 染色液で細胞に色を付ける。
- ⑤ 細胞診断の専門的なトレーニングを受けた細胞検査士がスクリーニングする。
なお、スクリーニングとは、顕微鏡下での目視により異型細胞の有無をチェックすることである。
- ⑥ チェックされた細胞を、細胞診専門医が判定する。判定は、ベセスダシステムによる分類としている。

子宮体がん検診は、従来と同様に細胞採取後スライドガラスに直接塗布し、染色検鏡している。

表3-8-1 年度別検診実績(集団)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見CIN3 及びAIS	発見がん	陽性反応適中度
平成 20	49,314	571 (1.2)	517 (90.5)	- -	31 (0.06)	(5.43)
21	53,331	633 (1.2)	545 (86.1)	- -	21 (0.04)	(3.32)
22	53,275	607 (1.1)	546 (90.0)	- -	30 (0.06)	(4.94)
23	54,634	702 (1.3)	632 (90.0)	- -	35 (0.06)	(4.99)
24	52,480	934 (1.8)	848 (90.8)	- -	31 (0.06)	(3.32)
25	51,787	893 (1.7)	814 (91.2)	66 (0.13)	4 (0.01)	(0.45)
26	50,955	849 (1.7)	735 (86.6)	54 (0.11)	5 (0.01)	(0.59)
27	50,049	732 (1.5)	646 (88.3)	56 (0.11)	6 (0.01)	(0.82)
28	48,595	708 (1.5)	585 (82.6)	42 (0.09)	11 (0.02)	(1.55)
29	48,184	697 (1.4)	639 (91.7)	61 (0.13)	9 (0.02)	(1.29)
30	47,420	588 (1.2)	530 (90.1)	43 (0.09)	8 (0.02)	(1.36)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

※ CIN3は、高度異形成と上皮内癌を一括したもの

※ AISは、上皮内腺癌のこと

※ 平成24年度までは、発見がんには上皮内癌と上皮内腺癌を含む。平成25年度からは上皮内癌と上皮内腺癌は発見CIN3及びAISを含む。

表3-8-2 年度別検診実績(医療機関)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見CIN3 及びAIS	発見がん	陽性反応適中度
平成 20	23,202	359 (1.5)	317 (88.3)	- -	9 (0.04)	(2.51)
21	36,635	865 (2.4)	692 (80.0)	- -	33 (0.09)	(3.82)
22	40,017	1,051 (2.6)	886 (84.3)	- -	45 (0.11)	(4.28)
23	40,690	1,143 (2.8)	988 (86.4)	- -	46 (0.11)	(4.02)
24	40,981	1,131 (2.8)	971 (85.9)	- -	34 (0.08)	(3.01)
25	38,553	1,304 (3.4)	1,201 (92.1)	111 (0.29)	7 (0.02)	(0.54)
26	47,301	1,602 (3.4)	1,391 (86.8)	120 (0.25)	7 (0.01)	(0.44)
27	43,814	1,118 (2.6)	1,049 (93.8)	63 (0.14)	14 (0.03)	(1.25)
28	45,649	1,113 (2.4)	950 (85.4)	57 (0.12)	11 (0.02)	(0.99)
29	45,922	1,092 (2.4)	973 (89.1)	90 (0.20)	17 (0.04)	(1.56)
30	44,962	962 (2.1)	881 (91.6)	67 (0.15)	10 (0.02)	(1.04)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

※ CIN3は、高度異形成と上皮内癌を一括したもの

※ AISは、上皮内腺癌のこと

※ 平成24年度までは、発見がんに上皮内癌と上皮内腺癌を含む。平成25年度からは上皮内癌と上皮内腺癌は発見CIN3及びAISを含む。

表3-8-3 検診実績

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見CIN3 及びAIS	発見がん	陽性反応適中度
頸がん検診	92,382	1,550 (1.7)	1,411 (91.0)	110 (0.12)	18 (0.02)	(1.16)
集 団	47,420	588 (1.2)	530 (90.1)	43 (0.09)	8 (0.02)	(1.36)
医 療 機 関	44,962	962 (2.1)	881 (91.6)	67 (0.15)	10 (0.02)	(1.04)
体がん検診	2,192	39 (1.8)	34 (87.2)	- (0.00)	3 (0.14)	(7.69)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

※ CIN3は、高度異形成と上皮内癌を一括したもの

※ AISは、上皮内腺癌のこと

表3-8-4 発見CIN3とAIS

単位:人(%)

	受診者数 (A)	CIN3		AIS	
		CIN3数 (B)	CIN3割合 (B) / (A)	AIS数 (C)	AIS割合 (C) / (A)
頸 が ん 検 診	92,382	104	0.11	6	0.01
集 団	47,420	40	0.08	3	0.01
医 療 機 関	44,962	64	0.14	3	0.01

表3-8-5 発見子宮がんの内訳

単位:人

	発見がん数	臨床進行期													
		頸がん							体がん						
		I A	I B	II	III	IV	不明	I A	I B	II	III	IV	不明		
頸 が ん 検 診	18	2	4	-	-	-	6	3	1	1	1	-	-		
集 団	8	1	3	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-		
医 療 機 関	10	1	1	-	-	-	4	1	1	1	1	-	-		
体 が ん 検 診	3	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-		

表3-8-6 受託検査実績

単位:人(%)

受託検体数			判定内訳									
			異常なし			要精密検査				判定不能		
頸部	体部	計	頸部	体部	計	頸部	体部	計		頸部	体部	計
5,726	670	6,396	5,288	558	5,846	435	86	521	(8.1)	3	26	29

表3-8-7 年齢階級別・検診方法別実績

1. 頸がん検診

		受診者	判 定 内 訳				精密検査受診者	子宮がん計	子宮頸がんであった者				
			要指導	要精密検査		進行度が1A期のがん							
						扁平 上皮 がん			腺がん	その他 のがん			
合 計	集団	47,420	1,544	(3.3)	588	(1.2)	530	(90.1)	8	(0.02)	1	-	-
	医療	44,962	1,335	(3.0)	962	(2.1)	881	(91.6)	10	(0.02)	1	-	-
	計	92,382	2,879	(3.1)	1,550	(1.7)	1,411	(91.0)	18	(0.02)	2	-	-
～ 24	集団	185	13	(7.0)	15	(8.1)	12	(80.0)	-	(0.00)	-	-	-
	医療	1,315	100	(7.6)	69	(5.2)	58	(84.1)	-	(0.00)	-	-	-
	計	1,500	113	(7.5)	84	(5.6)	70	(83.3)	-	(0.00)	-	-	-
25 ～ 29	集団	481	20	(4.2)	27	(5.6)	23	(85.2)	-	(0.00)	-	-	-
	医療	1,843	109	(5.9)	88	(4.8)	79	(89.8)	-	(0.00)	-	-	-
	計	2,324	129	(5.6)	115	(4.9)	102	(88.7)	-	(0.00)	-	-	-
30 ～ 34	集団	2,346	91	(3.9)	77	(3.3)	66	(85.7)	1	(0.04)	-	-	-
	医療	3,652	200	(5.5)	156	(4.3)	145	(92.9)	-	(0.00)	-	-	-
	計	5,998	291	(4.9)	233	(3.9)	211	(90.6)	1	(0.02)	-	-	-
35 ～ 39	集団	3,895	180	(4.6)	88	(2.3)	81	(92.0)	-	(0.00)	-	-	-
	医療	5,102	217	(4.3)	165	(3.2)	155	(93.9)	1	(0.02)	-	-	-
	計	8,997	397	(4.4)	253	(2.8)	236	(93.3)	1	(0.01)	-	-	-
40 ～ 44	集団	5,270	246	(4.7)	88	(1.7)	79	(89.8)	1	(0.02)	-	-	-
	医療	6,344	251	(4.0)	158	(2.5)	142	(89.9)	2	(0.03)	-	-	-
	計	11,614	497	(4.3)	246	(2.1)	221	(89.8)	3	(0.03)	-	-	-
45 ～ 49	集団	5,059	268	(5.3)	94	(1.9)	80	(85.1)	1	(0.02)	-	-	-
	医療	5,961	224	(3.8)	134	(2.2)	127	(94.8)	2	(0.03)	-	-	-
	計	11,020	492	(4.5)	228	(2.1)	207	(90.8)	3	(0.03)	-	-	-
50 ～ 54	集団	4,163	220	(5.3)	52	(1.2)	50	(96.2)	1	(0.02)	1	-	-
	医療	4,709	102	(2.2)	74	(1.6)	68	(91.9)	2	(0.04)	1	-	-
	計	8,872	322	(3.6)	126	(1.4)	118	(93.7)	3	(0.03)	2	-	-
55 ～ 59	集団	4,412	127	(2.9)	40	(0.9)	38	(95.0)	1	(0.02)	-	-	-
	医療	4,189	40	(1.0)	42	(1.0)	37	(88.1)	1	(0.02)	-	-	-
	計	8,601	167	(1.9)	82	(1.0)	75	(91.5)	2	(0.02)	-	-	-
60 ～ 64	集団	5,596	121	(2.2)	32	(0.6)	31	(96.9)	1	(0.02)	-	-	-
	医療	3,931	28	(0.7)	30	(0.8)	27	(90.0)	-	(0.00)	-	-	-
	計	9,527	149	(1.6)	62	(0.7)	58	(93.5)	1	(0.01)	-	-	-
65 ～ 69	集団	7,439	130	(1.7)	29	(0.4)	26	(89.7)	1	(0.01)	-	-	-
	医療	3,977	30	(0.8)	25	(0.6)	23	(92.0)	1	(0.03)	-	-	-
	計	11,416	160	(1.4)	54	(0.5)	49	(90.7)	2	(0.02)	-	-	-
70 ～ 74	集団	5,445	85	(1.6)	30	(0.6)	29	(96.7)	1	(0.02)	-	-	-
	医療	2,454	22	(0.9)	10	(0.4)	10	(100.0)	1	(0.04)	-	-	-
	計	7,899	107	(1.4)	40	(0.5)	39	(97.5)	2	(0.03)	-	-	-
75 ～ 79	集団	2,475	32	(1.3)	11	(0.4)	11	(100.0)	-	(0.00)	-	-	-
	医療	1,130	7	(0.6)	11	(1.0)	10	(90.9)	-	(0.00)	-	-	-
	計	3,605	39	(1.1)	22	(0.6)	21	(95.5)	-	(0.00)	-	-	-
80 ～	集団	654	11	(1.7)	5	(0.8)	4	(80.0)	-	(0.00)	-	-	-
	医療	355	5	(1.4)	-	(0.0)	-	-	-	(0.00)	-	-	-
	計	1,009	16	(1.6)	5	(0.5)	4	(80.0)	-	(0.00)	-	-	-

2. 体がん検診(住民医療機関検診)

子宮がん検診（正式医療機関検診）												
	受診者	判 定 内 訳				精密検査受診者	精密検査結果内訳					
		要指導		要精密検査			子宮がん計	体部 腺がん	その他 のがん	内膜 増殖症		
合 計	2,192	83 (3.8)		39 (1.8)		34 (87.2)	3 (0.14)	1	2		6	
～ 24	1	- (0.0)		- (0.0)		- -	- (0.0)	-	-		-	
25 ～ 29	9	1 (11.1)		- (0.0)		- -	- (0.0)	-	-		-	
30 ～ 34	32	- (0.0)		1 (3.1)		1 (100.0)	- (0.0)	-	-		-	
35 ～ 39	84	3 (3.6)		- (0.0)		- -	- (0.0)	-	-		-	
40 ～ 44	238	7 (2.9)		5 (2.1)		3 (60.0)	- (0.0)	-	-		-	
45 ～ 49	527	12 (2.3)		11 (2.1)		9 (81.8)	1 (0.19)	-	1		2	
50 ～ 54	601	26 (4.3)		14 (2.3)		14 (100.0)	1 (0.17)	-	1		2	
55 ～ 59	332	18 (5.4)		3 (0.9)		2 (66.7)	- (0.0)	-	-		-	
60 ～ 64	149	4 (2.7)		3 (2.0)		3 (100.0)	- (0.0)	-	-		2	
65 ～ 69	109	5 (4.6)		1 (0.9)		1 (100.0)	1 (0.92)	1	-		-	
70 ～ 74	79	5 (6.3)		1 (1.3)		1 (100.0)	- (0.0)	-	-		-	
75 ～ 79	23	1 (4.3)		- (0.0)		- -	- (0.0)	-	-		-	
80 ～	8	1 (12.5)		- (0.0)		- -	- (0.0)	-	-		-	

単位:人(%)

精密検査結果内訳												
(転移性を含まない)			体部 腺がん	AIS	SIL				子宮頸がん 疑い ・ 未確定	子宮頸がん ・ 体部腺がん ・ AIS ・ CIN以外の 疾患	異常 なし	
1B期以上，臨床進行度不明					HSIL			LSIL				
扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん			CIN3	CIN2	3又は2で 区別でき ない者 (HSIL)	CIN1				
-	4	1	2	3	40	46	1	138	86	110	98	
2	3	-	4	3	64	79	-	307	140	173	105	
2	7	1	6	6	104	125	1	445	226	283	203	
-	-	-	-	-	1	1	-	7	-	3	-	
-	-	-	-	1	1	7	-	20	13	13	3	
-	-	-	-	1	2	8	-	27	13	16	3	
-	-	-	-	-	-	2	-	10	3	2	6	
-	-	-	-	-	3	10	-	40	8	11	7	
-	-	-	-	-	3	12	-	50	11	13	13	
-	-	-	1	1	4	11	-	25	9	9	6	
-	-	-	-	-	16	20	-	58	19	18	14	
-	-	-	1	1	20	31	-	83	28	27	20	
-	-	-	-	-	5	9	-	23	17	18	9	
-	1	-	-	1	20	12	-	60	26	23	12	
-	1	-	-	1	25	21	-	83	43	41	21	
-	1	-	-	1	10	9	-	16	15	13	14	
1	1	-	-	1	12	10	-	48	17	36	16	
1	2	-	-	2	22	19	-	64	32	49	30	
-	-	1	-	1	8	7	-	17	10	18	18	
1	-	-	1	-	6	10	-	37	28	27	17	
1	-	1	1	1	14	17	-	54	38	45	35	
-	-	-	-	-	3	-	-	15	6	15	10	
-	-	-	1	-	3	3	-	17	12	15	16	
-	-	-	1	-	6	3	-	32	18	30	26	
-	1	-	-	-	1	2	-	4	10	11	9	
-	-	-	1	-	-	1	-	9	6	13	7	
-	1	-	1	-	1	3	-	13	16	24	16	
-	-	-	1	-	2	2	-	7	8	5	6	
-	-	-	-	-	1	2	-	8	2	7	7	
-	-	-	1	-	3	4	-	15	10	12	13	
-	1	-	-	-	-	1	-	7	2	8	7	
-	-	-	1	-	1	2	-	5	5	6	3	
-	1	-	1	-	1	3	-	12	7	14	10	
-	1	-	-	-	4	-	1	4	2	8	9	
-	1	-	-	-	1	1	-	3	-	3	1	
-	2	-	-	-	5	1	1	7	2	11	10	
-	-	-	-	-	2	2	-	3	2	-	2	
-	-	-	-	-	-	1	-	2	4	1	2	
-	-	-	-	-	2	3	-	5	6	1	4	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	

単位:人(%)

その他 の所見	異常 なし
9	16
-	-
-	-
1	-
-	-
1	2
4	2
3	8
-	2
-	1
-	-
-	1
-	-
-	-
-	-

表3-8-8 市町村別・検診方法別実績

1. 頸がん検診

		受診者	判 定 内 訳			精密検査受診者							
			要指導	要精密検査	子宮がん計		子宮頸がんであった者						
							進行度が1A期のがん						
							扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん				
合 計	集団	47,420	1,544	(3.3)	588	(1.2)	530	(90.1)	8	(0.02)	1	-	-
	医療	44,962	1,335	(3.0)	962	(2.1)	881	(91.6)	10	(0.02)	1	-	-
	計	92,382	2,879	(3.1)	1,550	(1.7)	1,411	(91.0)	18	(0.02)	2	-	-
水 戸 保 健 所	集団	6,325	195	(3.1)	82	(1.3)	77	(93.9)	3	(0.05)	1	-	-
	医療	3,275	228	(7.0)	131	(4.0)	119	(90.8)	1	(0.03)	-	-	-
	計	9,600	423	(4.4)	213	(2.2)	196	(92.0)	4	(0.04)	1	-	-
水 戸 市	集団	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	医療	2,515	198	(7.9)	106	(4.2)	97	(91.5)	1	(0.04)	-	-	-
	計	2,515	198	(7.9)	106	(4.2)	97	(91.5)	1	(0.04)	-	-	-
笠 間 市	集団	1,704	59	(3.5)	19	(1.1)	18	(94.7)	2	(0.12)	1	-	-
	医療	292	13	(4.5)	12	(4.1)	10	(83.3)	-	(0.00)	-	-	-
	計	1,996	72	(3.6)	31	(1.6)	28	(90.3)	2	(0.10)	1	-	-
茨 城 町	集団	923	31	(3.4)	15	(1.6)	14	(93.3)	-	(0.00)	-	-	-
	医療	180	7	(3.9)	5	(2.8)	5	(100.0)	-	(0.00)	-	-	-
	計	1,103	38	(3.4)	20	(1.8)	19	(95.0)	-	(0.00)	-	-	-
小 美 玉 市	集団	2,303	75	(3.3)	31	(1.3)	29	(93.5)	-	(0.00)	-	-	-
	医療	190	8	(4.2)	6	(3.2)	5	(83.3)	-	(0.00)	-	-	-
	計	2,493	83	(3.3)	37	(1.5)	34	(91.9)	-	(0.00)	-	-	-
城 里 町	集団	815	17	(2.1)	8	(1.0)	7	(87.5)	1	(0.12)	-	-	-
	医療	1	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.00)	-	-	-
	計	816	17	(2.1)	8	(1.0)	7	(87.5)	1	(0.12)	-	-	-
大 洗 町	集団	580	13	(2.2)	9	(1.6)	9	(100.0)	-	(0.00)	-	-	-
	医療	97	2	(2.1)	2	(2.1)	2	(100.0)	-	(0.00)	-	-	-
	計	677	15	(2.2)	11	(1.6)	11	(100.0)	-	(0.00)	-	-	-

単位:人(%)

精 密 検 査 結 果 内 訳

(転移性を含まない)			体部 腺がん	AIS	SIL				子宮 頸がん 疑い ・ 未確定	子宮頸がん ・ 体部腺がん ・ AIS ・ CIN以外 の疾患	異常 なし
1B期以上，臨床進行度不明					HSIL			LSIL			
扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん			CIN3	CIN2	3又は2で 区別でき ない者 (HSIL)	CIN1			
-	4	1	2	3	40	46	1	138	86	110	98
2	3	-	4	3	64	79	-	307	140	173	105
2	7	1	6	6	104	125	1	445	226	283	203
-	2	-	-	-	7	5	-	16	16	15	15
1	-	-	-	-	17	12	-	34	23	28	4
1	2	-	-	-	24	17	-	50	39	43	19
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	15	10	-	28	20	21	2
1	-	-	-	-	15	10	-	28	20	21	2
-	1	-	-	-	3	-	-	1	4	5	3
-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	5	1
-	1	-	-	-	3	1	-	4	4	10	4
-	-	-	-	-	1	1	-	1	5	3	3
-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	1	-
-	-	-	-	-	2	1	-	3	6	4	3
-	-	-	-	-	2	4	-	11	3	4	5
-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	1
-	-	-	-	-	3	4	-	12	5	4	6
-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	1	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	1	1
-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	2	3
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	3	3

		受診者	判 定 内 訳		精密検査受診者				
			要指導	要精密検査		子宮がん計	子宮頸がんであった者		
							進行度が1A期のがん		
							扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん
ひたちなか保健所計	集団	1,595	50 (3.1)	18 (1.1)	17 (94.4)	1 (0.06)	－	－	－
	医療	6,113	138 (2.3)	99 (1.6)	95 (96.0)	1 (0.02)	－	－	－
	計	7,708	188 (2.4)	117 (1.5)	112 (95.7)	2 (0.03)	－	－	－
ひたちなか市	集団	－	－ ー	－ ー	－ ー	－ ー	－	－	－
	医療	4,221	98 (2.3)	71 (1.7)	68 (95.8)	1 (0.02)	－	－	－
	計	4,221	98 (2.3)	71 (1.7)	68 (95.8)	1 (0.02)	－	－	－
東 海 村	集団	1,595	50 (3.1)	18 (1.1)	17 (94.4)	1 (0.06)	－	－	－
	医療	1,892	40 (2.1)	28 (1.5)	27 (96.4)	－ (0.00)	－	－	－
	計	3,487	90 (2.6)	46 (1.3)	44 (95.7)	1 (0.03)	－	－	－
常陸大宮保健所計	集団	5,319	152 (2.9)	49 (0.9)	46 (93.9)	1 (0.02)	－	－	－
	医療	906	36 (4.0)	21 (2.3)	21 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－
	計	6,225	188 (3.0)	70 (1.1)	67 (95.7)	1 (0.02)	－	－	－
常 陸 太 田 市	集団	1,293	13 (1.0)	8 (0.6)	8 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－
	医療	397	17 (4.3)	11 (2.8)	11 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－
	計	1,690	30 (1.8)	19 (1.1)	19 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－
那 珂 市	集団	1,422	33 (2.3)	12 (0.8)	9 (75.0)	－ (0.00)	－	－	－
	医療	271	10 (3.7)	3 (1.1)	3 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－
	計	1,693	43 (2.5)	15 (0.9)	12 (80.0)	－ (0.00)	－	－	－
常 陸 大 宮 市	集団	2,149	90 (4.2)	24 (1.1)	24 (100.0)	1 (0.05)	－	－	－
	医療	146	8 (5.5)	3 (2.1)	3 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－
	計	2,295	98 (4.3)	27 (1.2)	27 (100.0)	1 (0.04)	－	－	－
大 子 町	集団	455	16 (3.5)	5 (1.1)	5 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－
	医療	92	1 (1.1)	4 (4.3)	4 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－
	計	547	17 (3.1)	9 (1.6)	9 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－

精 密 検 査 結 果 内 訳

(転移性を含まない)			体部 腺がん	AIS	SIL			子宮 頸がん 疑い ・ 未確定	子宮頸がん ・ 体部腺がん ・ AIS ・ CIN以外 の疾患	異常 なし	
1B期以上，臨床進行度不明					HSIL		LSIL				
扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん			CIN3	CIN2	3又は2で 区別でき ない者 (HSIL)				CIN1
-	-	1	-	-	-	1	-	6	4	3	2
-	1	-	-	2	8	7	-	32	9	26	10
-	1	1	-	2	8	8	-	38	13	29	12
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1	-	-	-	4	5	-	26	5	18	9
-	1	-	-	-	4	5	-	26	5	18	9
-	-	1	-	-	-	1	-	6	4	3	2
-	-	-	-	2	4	2	-	6	4	8	1
-	-	1	-	2	4	3	-	12	8	11	3
-	1	-	-	1	2	7	-	13	4	14	4
-	-	-	-	-	1	2	-	8	4	4	2
-	1	-	-	1	3	9	-	21	8	18	6
-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	2	2
-	-	-	-	-	1	2	-	4	1	1	2
-	-	-	-	-	1	2	-	7	2	3	4
-	-	-	-	1	-	3	-	1	1	3	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-
-	-	-	-	1	-	3	-	2	1	5	-
-	1	-	-	-	1	4	-	7	2	7	2
-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-
-	1	-	-	-	1	4	-	8	3	8	2
-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	2	-
-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-
-	-	-	-	-	1	-	-	4	2	2	-

		受診者	判 定 内 訳		精密検査受診者				
			要指導	要精密検査		子宮がん計	子宮頸がんであった者		
							進行度が1A期のがん		
							扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん
日立保健所計	集団	802	22 (2.7)	5 (0.6)	3 (60.0)	- (0.00)	-	-	-
	医療	1,354	24 (1.8)	12 (0.9)	11 (91.7)	- (0.00)	-	-	-
	計	2,156	46 (2.1)	17 (0.8)	14 (82.4)	- (0.00)	-	-	-
日立市	集団	-	- -	- -	- -	- -	-	-	-
	医療	359	7 (1.9)	3 (0.8)	3 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	359	7 (1.9)	3 (0.8)	3 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
高萩市	集団	364	8 (2.2)	2 (0.5)	1 (50.0)	- (0.00)	-	-	-
	医療	273	4 (1.5)	1 (0.4)	1 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	637	12 (1.9)	3 (0.5)	2 (66.7)	- (0.00)	-	-	-
北茨城市	集団	438	14 (3.2)	3 (0.7)	2 (66.7)	- (0.00)	-	-	-
	医療	722	13 (1.8)	8 (1.1)	7 (87.5)	- (0.00)	-	-	-
	計	1,160	27 (2.3)	11 (0.9)	9 (81.8)	- (0.00)	-	-	-
鉾田保健所計	集団	3,255	100 (3.1)	48 (1.5)	44 (91.7)	- (0.00)	-	-	-
	医療	529	18 (3.4)	19 (3.6)	18 (94.7)	- (0.00)	-	-	-
	計	3,784	118 (3.1)	67 (1.8)	62 (92.5)	- (0.00)	-	-	-
鉾田市	集団	1,588	44 (2.8)	25 (1.6)	23 (92.0)	- (0.00)	-	-	-
	医療	274	13 (4.7)	9 (3.3)	9 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	1,862	57 (3.1)	34 (1.8)	32 (94.1)	- (0.00)	-	-	-
行方市	集団	1,667	56 (3.4)	23 (1.4)	21 (91.3)	- (0.00)	-	-	-
	医療	255	5 (2.0)	10 (3.9)	9 (90.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	1,922	61 (3.2)	33 (1.7)	30 (90.9)	- (0.00)	-	-	-
潮来保健所計	集団	3,870	126 (3.3)	77 (2.0)	66 (85.7)	1 (0.03)	-	-	-
	医療	3,047	62 (2.0)	68 (2.2)	59 (86.8)	1 (0.03)	-	-	-
	計	6,917	188 (2.7)	145 (2.1)	125 (86.2)	2 (0.03)	-	-	-

精 密 検 査 結 果 内 訳

(転移性を含まない)			体部 腺がん	AIS	SIL			子宮 頸がん 疑い ・ 未確定	子宮頸がん ・ 体部腺がん ・ AIS ・ CIN以外の疾患	異常 なし	
1B期以上，臨床進行度不明					HSIL		LSIL				
扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん			CIN3	CIN2	3又は2で 区別でき ない者 (HSIL)	CIN1			
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
-	-	-	-	-	1	-	-	4	3	2	1
-	-	-	-	-	1	-	-	5	3	3	2
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
-	-	-	-	-	1	-	-	3	1	1	1
-	-	-	-	-	1	-	-	4	1	1	2
-	-	-	-	-	2	2	-	10	11	12	7
-	-	-	-	-	3	1	-	9	2	2	1
-	-	-	-	-	5	3	-	19	13	14	8
-	-	-	-	-	1	1	-	5	6	6	4
-	-	-	-	-	2	1	-	2	2	2	-
-	-	-	-	-	3	2	-	7	8	8	4
-	-	-	-	-	1	1	-	5	5	6	3
-	-	-	-	-	1	-	-	7	-	-	1
-	-	-	-	-	2	1	-	12	5	6	4
-	1	-	-	-	3	6	-	20	12	15	9
-	-	-	1	-	2	9	-	20	15	10	2
-	1	-	1	-	5	15	-	40	27	25	11

		受診者	判 定 内 訳		精密検査受診者				
			要指導	要精密検査		子宮がん計	子宮頸がんであった者		
							進行度が1A期のがん		
							扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん
鹿 嶋 市	集団	1, 293	32 (2.5)	18 (1.4)	15 (83.3)	1 (0.08)	-	-	-
	医療	543	4 (0.7)	2 (0.4)	2 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	1, 836	36 (2.0)	20 (1.1)	17 (85.0)	1 (0.05)	-	-	-
潮 来 市	集団	1, 445	68 (4.7)	36 (2.5)	32 (88.9)	- (0.00)	-	-	-
	医療	267	4 (1.5)	4 (1.5)	4 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	1, 712	72 (4.2)	40 (2.3)	36 (90.0)	- (0.00)	-	-	-
神 栖 市	集団	1, 132	26 (2.3)	23 (2.0)	19 (82.6)	- (0.00)	-	-	-
	医療	2, 237	54 (2.4)	62 (2.8)	53 (85.5)	1 (0.04)	-	-	-
	計	3, 369	80 (2.4)	85 (2.5)	72 (84.7)	1 (0.03)	-	-	-
竜ヶ崎保健所計	集団	2, 405	129 (5.4)	27 (1.1)	23 (85.2)	- (0.00)	-	-	-
	医療	6, 159	254 (4.1)	125 (2.0)	112 (89.6)	1 (0.02)	-	-	-
	計	8, 564	383 (4.5)	152 (1.8)	135 (88.8)	1 (0.01)	-	-	-
龍 ヶ 崎 市	集団	825	28 (3.4)	14 (1.7)	11 (78.6)	- (0.00)	-	-	-
	医療	2, 471	120 (4.9)	65 (2.6)	57 (87.7)	1 (0.04)	-	-	-
	計	3, 296	148 (4.5)	79 (2.4)	68 (86.1)	1 (0.03)	-	-	-
牛 久 市	集団	576	38 (6.6)	5 (0.9)	5 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	医療	2, 680	94 (3.5)	31 (1.2)	29 (93.5)	- (0.00)	-	-	-
	計	3, 256	132 (4.1)	36 (1.1)	34 (94.4)	- (0.00)	-	-	-
稲 敷 市	集団	861	56 (6.5)	8 (0.9)	7 (87.5)	- (0.00)	-	-	-
	医療	792	33 (4.2)	22 (2.8)	19 (86.4)	- (0.00)	-	-	-
	計	1, 653	89 (5.4)	30 (1.8)	26 (86.7)	- (0.00)	-	-	-
河 内 町	集団	143	7 (4.9)	- -	- (0.0)	- (0.00)	-	-	-
	医療	216	7 (3.2)	7 (3.2)	7 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	359	14 (3.9)	7 (1.9)	7 (100.0)	- (0.00)	-	-	-

精 密 検 査 結 果 内 訳

(転移性を含まない)			体部 腺がん	AIS	SIL			子宮 頸がん 疑い ・ 未確定	子宮頸がん ・ 体部腺がん ・ AIS ・ CIN以外 の疾患	異常 なし	
1B期以上，臨床進行度不明					HSIL		LSIL				
扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん			CIN3	CIN2	3又は2で 区別でき ない者 (HSIL)				CIN1
-	1	-	-	-	2	-	-	2	3	4	3
-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
-	1	-	-	-	2	1	-	2	4	4	3
-	-	-	-	-	1	4	-	10	5	7	5
-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-
-	-	-	-	-	1	5	-	11	6	8	5
-	-	-	-	-	-	2	-	8	4	4	1
-	-	-	1	-	2	7	-	19	13	9	2
-	-	-	1	-	2	9	-	27	17	13	3
-	-	-	-	-	3	-	-	7	5	4	4
-	1	-	-	-	5	9	-	32	12	30	23
-	1	-	-	-	8	9	-	39	17	34	27
-	-	-	-	-	1	-	-	3	4	2	1
-	1	-	-	-	2	6	-	15	4	10	19
-	1	-	-	-	3	6	-	18	8	12	20
-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2
-	-	-	-	-	1	2	-	11	3	11	1
-	-	-	-	-	1	2	-	12	4	12	3
-	-	-	-	-	2	-	-	3	-	1	1
-	-	-	-	-	2	1	-	5	3	6	2
-	-	-	-	-	4	1	-	8	3	7	3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	1
-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	1

		受診者	判 定 内 訳		精密検査受診者				
			要指導	要精密検査		子宮がん計	子宮頸がんであった者		
							進行度が1A期のがん		
							扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん
土 浦 保 健 所 計	集団	5, 072	248 (4.9)	60 (1.2)	54 (90.0)	1 (0.02)	-	-	-
	医療	5, 103	137 (2.7)	125 (2.4)	111 (88.8)	1 (0.02)	1	-	-
	計	10, 175	385 (3.8)	185 (1.8)	165 (89.2)	2 (0.02)	1	-	-
土 浦 市	集団	1, 987	104 (5.2)	19 (1.0)	17 (89.5)	- (0.00)	-	-	-
	医療	2, 849	78 (2.7)	73 (2.6)	65 (89.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	4, 836	182 (3.8)	92 (1.9)	82 (89.1)	- (0.00)	-	-	-
石 岡 市	集団	1, 123	50 (4.5)	14 (1.2)	13 (92.9)	- (0.00)	-	-	-
	医療	997	22 (2.2)	19 (1.9)	16 (84.2)	- (0.00)	-	-	-
	計	2, 120	72 (3.4)	33 (1.6)	29 (87.9)	- (0.00)	-	-	-
美 浦 村	集団	611	22 (3.6)	12 (2.0)	10 (83.3)	1 (0.16)	-	-	-
	医療	232	4 (1.7)	2 (0.9)	2 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	843	26 (3.1)	14 (1.7)	12 (85.7)	1 (0.12)	-	-	-
阿 見 町	集団	827	46 (5.6)	8 (1.0)	8 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	医療	605	21 (3.5)	23 (3.8)	20 (87.0)	1 (0.17)	1	-	-
	計	1, 432	67 (4.7)	31 (2.2)	28 (90.3)	1 (0.07)	1	-	-
かすみがうら市	集団	524	26 (5.0)	7 (1.3)	6 (85.7)	- (0.00)	-	-	-
	医療	420	12 (2.9)	8 (1.9)	8 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	944	38 (4.0)	15 (1.6)	14 (93.3)	- (0.00)	-	-	-

精 密 検 査 結 果 内 訳

(転移性を含まない)			体部 腺がん	AIS	SIL				子宮 頸がん 疑い ・ 未確定	子宮頸がん ・ 体部腺がん ・ AIS ・ CIN以外の疾患	異常 なし
1B期以上，臨床進行度不明					HSIL			LSIL			
扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん			CIN3	CIN2	3又は2で 区別でき ない者 (HSIL)	CIN1			
-	-	-	1	1	6	6	1	13	7	11	8
-	-	-	-	1	10	14	-	34	18	21	12
-	-	-	1	2	16	20	1	47	25	32	20
-	-	-	-	-	3	1	1	5	2	3	2
-	-	-	-	1	6	11	-	19	9	13	6
-	-	-	-	1	9	12	1	24	11	16	8
-	-	-	-	-	1	1	-	2	3	2	4
-	-	-	-	-	1	1	-	6	3	4	1
-	-	-	-	-	2	2	-	8	6	6	5
-	-	-	1	-	-	2	-	3	2	1	1
-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
-	-	-	1	-	-	2	-	4	3	1	1
-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	5	-
-	-	-	-	-	2	2	-	4	4	4	3
-	-	-	-	-	3	3	-	5	4	9	3
-	-	-	-	1	1	1	-	2	-	-	1
-	-	-	-	-	1	-	-	4	1	-	2
-	-	-	-	1	2	1	-	6	1	-	3

		受診者	判 定 内 訳		精密検査受診者				
			要指導	要精密検査		子宮がん計	子宮頸がんであった者		
							進行度が1A期のがん		
							扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん
つくば保健所計	集団	3,572	155 (4.3)	42 (1.2)	39 (92.9)	－ (0.00)	－	－	－
	医療	8,954	239 (2.7)	192 (2.1)	180 (93.8)	3 (0.03)	－	－	－
	計	12,526	394 (3.1)	234 (1.9)	219 (93.6)	3 (0.02)	－	－	－
つくば市	集団	2,828	139 (4.9)	33 (1.2)	30 (90.9)	－ (0.00)	－	－	－
	医療	8,030	204 (2.5)	166 (2.1)	155 (93.4)	3 (0.04)	－	－	－
	計	10,858	343 (3.2)	199 (1.8)	185 (93.0)	3 (0.03)	－	－	－
つくばみらい市	集団	744	16 (2.2)	9 (1.2)	9 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－
	医療	924	35 (3.8)	26 (2.8)	25 (96.2)	－ (0.00)	－	－	－
	計	1,668	51 (3.1)	35 (2.1)	34 (97.1)	－ (0.00)	－	－	－
筑西保健所計	集団	5,880	136 (2.3)	79 (1.3)	71 (89.9)	－ (0.00)	－	－	－
	医療	3,174	53 (1.7)	51 (1.6)	47 (92.2)	1 (0.03)	－	－	－
	計	9,054	189 (2.1)	130 (1.4)	118 (90.8)	1 (0.01)	－	－	－
筑西市	集団	2,888	63 (2.2)	38 (1.3)	33 (86.8)	－ (0.00)	－	－	－
	医療	2,253	35 (1.6)	33 (1.5)	31 (93.9)	1 (0.04)	－	－	－
	計	5,141	98 (1.9)	71 (1.4)	64 (90.1)	1 (0.02)	－	－	－
結城市	集団	777	21 (2.7)	11 (1.4)	11 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－
	医療	716	16 (2.2)	16 (2.2)	14 (87.5)	－ (0.00)	－	－	－
	計	1,493	37 (2.5)	27 (1.8)	25 (92.6)	－ (0.00)	－	－	－
桜川市	集団	2,215	52 (2.3)	30 (1.4)	27 (90.0)	－ (0.00)	－	－	－
	医療	205	2 (1.0)	2 (1.0)	2 (100.0)	－ (0.00)	－	－	－
	計	2,420	54 (2.2)	32 (1.3)	29 (90.6)	－ (0.00)	－	－	－
常総保健所計	集団	4,725	106 (2.2)	60 (1.3)	51 (85.0)	1 (0.02)	－	－	－
	医療	2,417	55 (2.3)	47 (1.9)	45 (95.7)	1 (0.04)	－	－	－
	計	7,142	161 (2.3)	107 (1.5)	96 (89.7)	2 (0.03)	－	－	－

精 密 検 査 結 果 内 訳

(転移性を含まない)			体部 腺がん	AIS	SIL			子宮 頸がん 疑い ・ 未確定	子宮頸がん ・ 体部腺がん ・ AIS ・ CIN以外の疾患	異常 なし	
1B期以上，臨床進行度不明					HSIL		LSIL				
扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん			CIN3	CIN2	3又は2で 区別でき ない者 (HSIL)				CIN1
-	-	-	-	-	2	2	-	13	7	6	9
-	1	-	2	-	7	11	-	76	37	21	25
-	1	-	2	-	9	13	-	89	44	27	34
-	-	-	-	-	2	2	-	9	5	6	6
-	1	-	2	-	7	10	-	64	28	19	24
-	1	-	2	-	9	12	-	73	33	25	30
-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	3
-	-	-	-	-	-	1	-	12	9	2	1
-	-	-	-	-	-	1	-	16	11	2	4
-	-	-	-	-	6	10	-	18	6	12	19
1	-	-	-	-	2	5	-	14	3	13	9
1	-	-	-	-	8	15	-	32	9	25	28
-	-	-	-	-	2	3	-	9	4	5	10
1	-	-	-	-	1	1	-	10	3	8	7
1	-	-	-	-	3	4	-	19	7	13	17
-	-	-	-	-	3	2	-	3	-	3	-
-	-	-	-	-	1	3	-	4	-	4	2
-	-	-	-	-	4	5	-	7	-	7	2
-	-	-	-	-	1	5	-	6	2	4	9
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
-	-	-	-	-	1	6	-	6	2	5	9
-	-	-	1	1	4	3	-	16	8	8	10
-	-	-	1	-	3	4	-	19	5	5	8
-	-	-	2	1	7	7	-	35	13	13	18

		受診者	判 定 内 訳		精密検査受診者				
			要指導	要精密検査		子宮がん計	子宮頸がんであった者		
							進行度が1A期のがん		
							扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん
下 妻 市	集団	666	12 (1.8)	6 (0.9)	6 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	医療	989	29 (2.9)	19 (1.9)	18 (94.7)	- (0.00)	-	-	-
	計	1,655	41 (2.5)	25 (1.5)	24 (96.0)	- (0.00)	-	-	-
常 総 市	集団	1,286	27 (2.1)	21 (1.6)	19 (90.5)	1 (0.08)	-	-	-
	医療	782	12 (1.5)	16 (2.0)	16 (100.0)	1 (0.13)	-	-	-
	計	2,068	39 (1.9)	37 (1.8)	35 (94.6)	2 (0.10)	-	-	-
坂 東 市	集団	2,133	52 (2.4)	25 (1.2)	19 (76.0)	- (0.00)	-	-	-
	医療	490	13 (2.7)	11 (2.2)	10 (90.9)	- (0.00)	-	-	-
	計	2,623	65 (2.5)	36 (1.4)	29 (80.6)	- (0.00)	-	-	-
八 千 代 町	集団	640	15 (2.3)	8 (1.3)	7 (87.5)	- (0.00)	-	-	-
	医療	156	1 (0.6)	1 (0.6)	1 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	796	16 (2.0)	9 (1.1)	8 (88.9)	- (0.00)	-	-	-
古 河 保健所計	集団	4,600	125 (2.7)	41 (0.9)	39 (95.1)	- (0.00)	-	-	-
	医療	3,931	91 (2.3)	72 (1.8)	63 (87.5)	- (0.00)	-	-	-
	計	8,531	216 (2.5)	113 (1.3)	102 (90.3)	- (0.00)	-	-	-
古 河 市	集団	3,090	66 (2.1)	27 (0.9)	26 (96.3)	- (0.00)	-	-	-
	医療	3,548	86 (2.4)	62 (1.7)	56 (90.3)	- (0.00)	-	-	-
	計	6,638	152 (2.3)	89 (1.3)	82 (92.1)	- (0.00)	-	-	-
五 霞 町	集団	438	14 (3.2)	3 (0.7)	2 (66.7)	- (0.00)	-	-	-
	医療	80	1 (1.3)	2 (2.5)	1 (50.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	518	15 (2.9)	5 (1.0)	3 (60.0)	- (0.00)	-	-	-
境 町	集団	1,072	45 (4.2)	11 (1.0)	11 (100.0)	- (0.00)	-	-	-
	医療	303	4 (1.3)	8 (2.6)	6 (75.0)	- (0.00)	-	-	-
	計	1,375	49 (3.6)	19 (1.4)	17 (89.5)	- (0.00)	-	-	-

精 密 検 査 結 果 内 訳

(転移性を含まない)			体部 腺がん	AIS	SIL			子宮 頸がん 疑い ・ 未確定	子宮頸がん ・ 体部腺がん ・ AIS ・ CIN以外 の疾患	異常 なし	
1B期以上，臨床進行度不明					HSIL		LSIL				
扁平 上皮 がん	腺がん	その他 のがん			CIN3	CIN2	3又は2で 区別でき ない者 (HSIL)				CIN1
-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	2
-	-	-	-	-	2	3	-	7	1	4	1
-	-	-	-	-	2	3	-	9	1	6	3
-	-	-	1	1	1	2	-	6	2	2	4
-	-	-	1	-	1	1	-	6	1	-	6
-	-	-	2	1	2	3	-	12	3	2	10
-	-	-	-	-	2	1	-	4	5	4	3
-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	1	1
-	-	-	-	-	2	1	-	9	8	5	4
-	-	-	-	-	1	-	-	4	1	-	1
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
-	-	-	-	-	1	-	-	5	1	-	1
-	-	-	-	-	5	4	-	5	6	9	10
-	-	-	-	-	5	5	-	25	9	11	8
-	-	-	-	-	10	9	-	30	15	20	18
-	-	-	-	-	1	2	-	3	6	7	7
-	-	-	-	-	4	3	-	24	7	10	8
-	-	-	-	-	5	5	-	27	13	17	15
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1
-	-	-	-	-	4	2	-	2	-	1	2
-	-	-	-	-	-	2	-	1	2	1	-
-	-	-	-	-	4	4	-	3	2	2	2

2. 体がん検診（医療機関）

単位:人(%)

	受診者	判定内訳		精密検査受診者	子宮がん計	精密検査結果内訳				
		要指導	要精密検査			体部腺がん	その他のがん	内膜増殖症	その他の所見	異常なし
合 計	2,192	83 (3.8)	39 (1.8)	34 (87.2)	3 (0.14)	1	2	6	9	16
水戸保健所計	79	2 (2.5)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
水戸市	61	－ (0.0)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
笠間市	8	－ (0.0)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
小美玉市	4	1 (25.0)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
大洗町	6	1 (16.7)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
ひたちなか保健所計	900	54 (6.0)	14 (1.6)	11 (78.6)	1 (0.11)	－	1	－	5	5
ひたちなか市	532	39 (7.3)	10 (1.9)	8 (80.0)	1 (0.19)	－	1	－	4	3
東海村	368	15 (4.1)	4 (1.1)	3 (75.0)	－	－	－	－	1	2
常陸大宮保健所計	51	2 (3.9)	2 (3.9)	2 (100.0)	－	－	－	－	1	1
常陸太田市	25	2 (8.0)	1 (4.0)	1 (100.0)	－	－	－	－	－	1
常陸大宮市	11	－ (0.0)	1 (9.1)	1 (100.0)	－	－	－	－	1	－
大子町	15	－ (0.0)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
日立保健所計	82	－ (0.0)	1 (1.2)	1 (100.0)	－	－	－	1	－	－
日立市	49	－ (0.0)	1 (2.0)	1 (100.0)	－	－	－	1	－	－
高萩市	18	－ (0.0)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
北茨城市	15	－ (0.0)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
鉾田保健所計	25	－ (0.0)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
鉾田市	10	－ (0.0)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
行方市	15	－ (0.0)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
潮来保健所計	96	6 (6.3)	3 (3.1)	3 (100.0)	－	－	－	2	－	1
鹿嶋市	12	－ (0.0)	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－	－
潮来市	10	－ (0.0)	1 (10.0)	1 (100.0)	－	－	－	1	－	－
神栖市	74	6 (8.1)	2 (2.7)	2 (100.0)	－	－	－	1	－	1

単位:人(%)

	受診者	判定内訳		精密検査受診者	子宮がん計	精密検査結果内訳					
		要指導	要精密検査			体部腺がん	その他のがん	内膜増殖症	その他の所見	異常なし	
竜ヶ崎保健所計	289	3 (1.0)	5 (1.7)	5 (100.0)	-	-	-	-	1	2	2
牛久市	237	3 (1.3)	4 (1.7)	4 (100.0)	-	-	-	-	1	1	2
稲敷市	43	- (0.0)	1 (2.3)	1 (100.0)	-	-	-	-	-	1	-
河内町	9	- (0.0)	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-
土浦保健所計	237	10 (4.2)	6 (2.5)	4 (66.7)	1 (0.42)	-	1	1	1	-	2
土浦市	146	6 (4.1)	5 (3.4)	3 (60.0)	-	-	-	-	1	-	2
石岡市	23	(0.0)	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-
美浦村	17	1 (5.9)	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-
阿見町	30	2 (6.7)	1 (3.3)	1 (100.0)	1 (3.33)	-	1	-	-	-	-
かすみがうら市	21	1 (4.8)	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-
つくば保健所計	375	5 (1.3)	8 (2.1)	8 (100.0)	1 (0.27)	1	-	1	1	1	5
つくば市	329	4 (1.2)	8 (2.4)	8 (100.0)	1 (0.30)	1	-	1	1	1	5
つくばみらい市	46	1 (2.2)	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-
筑西保健所計	9	- (0.0)	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-
結城市	9	(0.0)	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-
常総保健所計	49	1 (2.0)	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-
下妻市	26	(0.0)	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-
常総市	19	1 (5.3)	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-
坂東市	4	(0.0)	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-

表3-8-9 HPV検査実績

単位:人(%)

		受診者	判定内訳					
			陰性			陽性		判定不確定
合 計	集団	86	80	(93.0)		6	(7.0)	- (0.0)
	医療	2,544	2,353	(92.5)		191	(7.5)	- (0.0)
	計	2,630	2,433	(92.5)		197	(7.5)	- (0.0)
水 戸 市	集団	-	-	-		-	-	- -
	医療	2,515	2,329	(92.6)		186	(7.4)	- (0.0)
	計	2,515	2,329	(92.6)		186	(7.4)	- (0.0)
常 総 市	集団	68	63	(92.6)		5	(7.4)	- (0.0)
	医療	29	24	(82.8)		5	(17.2)	- (0.0)
	計	97	87	(89.7)		10	(10.3)	- (0.0)
小 美 玉 市	集団	18	17	(94.4)		1	(5.6)	- (0.0)
	医療	-	-	-		-	-	- -
	計	18	17	(94.4)		1	(5.6)	- (0.0)

※ハイブリッドキャプチャー法により、ハイリスク型HPV群について検査

腹部超音波検診



3-9 腹部超音波検診

3-9-1 概要

腹部の超音波検査は、主に医療機関で消化器系の臓器についての診断目的として使用されることが多いが、当協会では平成11年度から超音波検診車を導入し、肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓の5臓器の検査を実施している。受診者にとってはほとんど苦痛の無い受診しやすい検査となっている。

3-9-2 実施状況

検診実績は、受診者数12,458人に対し、要精密検査者が1,215人(9.8%)、そのうち精密検査受診者が1,000人(82.3%)で、16人(0.13%)のがんが発見された。

平成29年度における日本対がん協会の全国実績は、要精密検査率4.4%、精密検査受診率は71.8%であり、がん発見率は0.04%となっている。

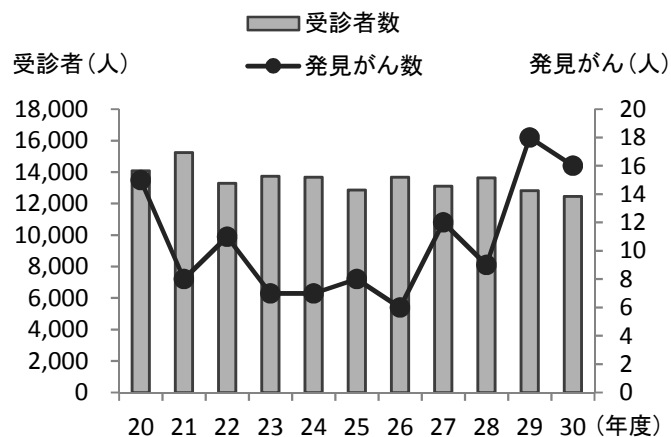


図3-9-1 腹部超音波検診実績と発見がん数の年度推移

3-9-3 検査方法

人間が聴くことのできない高い周波数の音(超音波)を各臓器に当てて、臓器からの反響を映像化し、臓器の状態を調べている。判定においては、経年受診者には必要に応じ過去画像との比較を行っている。

表3-9-1 判定区分等

判定区分	指示区分	所見
A	異常認めず	
B	要観察	軽度の異常を認めるが、要精密検査の必要性のないもの
C 1	要精密検査	精密検査受診が必要であるもの
C 2		悪性腫瘍を疑う、若しくは緊急性を要するもの

表3-9-2 年度別検診実績

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 20	14,078	1,224 (8.7)	999 (81.6)	15 (0.11)	(1.23)
21	15,252	1,236 (8.1)	885 (71.6)	8 (0.05)	(0.65)
22	13,285	1,028 (7.7)	788 (76.7)	11 (0.08)	(1.07)
23	13,730	1,014 (7.4)	768 (75.7)	7 (0.05)	(0.69)
24	13,685	858 (6.3)	665 (77.5)	7 (0.05)	(0.82)
25	12,865	834 (6.5)	671 (80.5)	8 (0.06)	(0.96)
26	13,672	821 (6.0)	659 (80.3)	6 (0.04)	(0.73)
27	13,101	663 (5.1)	520 (78.4)	12 (0.09)	(1.81)
28	13,627	881 (6.5)	712 (80.8)	9 (0.07)	(1.02)
29	12,816	1,052 (8.2)	870 (82.7)	18 (0.14)	(1.71)
30	12,458	1,215 (9.8)	1,000 (82.3)	16 (0.13)	(1.32)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-9-3 性・年齢階級別実績

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳 (臓 器 別)																	
					肝 臓								胆 嚢									
					が	肝	肝	慢	脂	肝	肝	そ	異	が	胆	胆	胆	胆	胆	そ	異	
					ん	血	硬	性	肪	嚢	内	の	常	ん	嚢	嚢	嚢	嚢	嚢	の	常	
						管	変	肝	肝	石	灰	他	し	ん	腺	腺	ポリ	結	壁	内	他	し
						腫		炎	肝	胞	化				症	腫	プ	石	結	石	他	
合 計	男	4,721	553 (11.7)	439 (79.4)	1	74	3	2	71	81	6	3	68	-	82	2	53	38	4	9	95	
	女	7,737	662 (8.6)	561 (84.7)	2	100	-	2	72	131	3	4	74	2	61	1	63	45	1	12	135	
	計	12,458	1,215 (9.8)	1,000 (82.3)	3	174	3	4	143	212	9	7	142	2	143	3	116	83	5	21	230	
～39	男	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40～44	男	175	24 (13.7)	19 (79.2)	-	6	-	-	3	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	2	
	女	383	30 (7.8)	22 (73.3)	-	10	-	-	1	2	-	-	3	-	2	-	3	1	-	-	4	
	計	558	54 (9.7)	41 (75.9)	-	16	-	-	4	2	-	-	5	-	3	-	6	1	-	-	6	
45～49	男	191	12 (6.3)	5 (41.7)	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	
	女	445	30 (6.7)	26 (86.7)	-	13	-	-	2	4	-	-	1	-	2	-	2	2	-	-	6	
	計	636	42 (6.6)	31 (73.8)	-	14	-	-	3	4	-	-	3	-	2	-	2	2	-	-	10	
50～54	男	228	20 (8.8)	15 (75.0)	-	5	-	-	2	1	1	-	2	-	3	-	3	1	-	1	2	
	女	561	48 (8.6)	42 (87.5)	-	10	-	-	5	8	-	2	8	-	8	1	8	3	-	-	8	
	計	789	68 (8.6)	57 (83.8)	-	15	-	-	7	9	1	2	10	-	11	1	11	4	-	1	10	
55～59	男	203	15 (7.4)	11 (73.3)	-	4	-	-	2	5	-	-	-	-	3	-	1	1	-	-	1	
	女	709	50 (7.1)	42 (84.0)	-	10	-	-	3	5	1	-	6	-	9	-	3	4	-	1	6	
	計	912	65 (7.1)	53 (81.5)	-	14	-	-	5	10	1	-	6	-	12	-	4	5	-	1	7	
60～64	男	490	60 (12.2)	50 (83.3)	-	8	-	-	16	8	-	-	6	-	9	-	7	8	-	-	12	
	女	1,100	82 (7.5)	70 (85.4)	-	15	-	-	7	12	-	1	5	1	12	-	4	6	-	2	13	
	計	1,590	142 (8.9)	120 (84.5)	-	23	-	-	23	20	-	1	11	1	21	-	11	14	-	2	25	
65～69	男	1,071	125 (11.7)	94 (75.2)	1	20	-	-	18	11	1	1	12	-	21	-	16	9	-	-	20	
	女	1,773	142 (8.0)	116 (81.7)	1	21	-	-	22	30	1	-	14	-	9	-	12	11	-	3	36	
	計	2,844	267 (9.4)	210 (78.7)	2	41	-	-	40	41	2	1	26	-	30	-	28	20	-	3	56	
70～74	男	1,193	142 (11.9)	116 (81.7)	-	21	1	1	15	27	2	2	19	-	23	1	12	9	1	5	27	
	女	1,560	143 (9.2)	126 (88.1)	-	15	-	1	16	32	1	-	23	1	13	-	16	11	1	3	32	
	計	2,753	285 (10.4)	242 (84.9)	-	36	1	2	31	59	3	2	42	1	36	1	28	20	2	8	59	
75～79	男	739	84 (11.4)	72 (85.7)	-	5	2	-	11	17	-	-	14	-	12	1	6	4	1	-	18	
	女	846	94 (11.1)	77 (81.9)	-	5	-	1	13	21	-	1	9	-	4	-	11	4	-	2	19	
	計	1,585	178 (11.2)	149 (83.7)	-	10	2	1	24	38	-	1	23	-	16	1	17	8	1	2	37	
80～	男	431	71 (16.5)	57 (80.3)	-	4	-	1	3	12	2	-	11	-	10	-	5	6	2	3	9	
	女	360	43 (11.9)	40 (93.0)	1	1	-	-	3	17	-	-	5	-	2	-	4	3	-	1	11	
	計	791	114 (14.4)	97 (85.1)	1	5	-	1	6	29	2	-	16	-	12	-	9	9	2	4	20	

※ 精密検査結果内訳(臓器別)は、疾患重複者あり

単位:人(%)

精密検査結果内訳（臓器別）																											延べ疾患			
胆道系						膵臓						腎臓						脾臓						その他臓器	全臓器異常なし					
がん	胆管結石	胆管拡張	良性胆管狭窄	その他	異常なし	がん	良性腫瘍	慢性膵炎	膵嚢胞	膵管拡張	その他	異常なし	がん	良性腫瘍	腎結石	腎嚢胞	水腎症	その他	異常なし	脾内腫瘍	脾腫	脾血腫	脾内石灰化	脾嚢胞	副脾	その他	異常なし	その他の臓器	全臓器異常なし	
1	5	28	-	2	162	1	5	7	52	3	11	153	3	10	48	143	3	16	59	1	-	3	-	3	10	2	148	13	18	799
-	2	28	-	1	194	-	14	1	107	8	9	171	6	16	44	132	5	16	102	-	4	1	1	6	15	2	180	13	46	930
1	7	56	-	3	356	1	19	8	159	11	20	324	9	26	92	275	8	32	161	1	4	4	1	9	25	4	328	26	64	1,729
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	4	-	-	3	5	1	2	1	-	-	-	1	1	-	3	-	2	27	
-	-	1	-	-	6	-	-	-	2	-	1	6	-	2	-	3	-	-	5	-	1	1	-	-	2	-	5	-	1	32
-	-	1	-	-	10	-	-	-	3	-	1	10	-	2	3	8	1	2	6	-	1	1	-	1	3	-	8	-	3	59
-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	4	-	1	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	5
-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	7	-	1	3	2	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	34
-	-	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-	11	-	2	4	3	-	1	5	-	-	-	-	-	1	-	8	-	3	39
-	-	-	-	-	5	-	-	1	1	-	-	4	-	-	3	2	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	24
-	-	-	-	-	19	-	1	-	4	-	-	18	-	-	3	6	-	1	15	-	-	-	-	-	1	-	16	-	5	61
-	-	-	-	-	24	-	1	1	5	-	-	22	-	-	6	8	-	1	19	-	-	-	-	-	1	-	21	-	5	85
-	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	5	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	25
-	1	-	-	-	9	-	1	-	8	-	1	4	1	3	2	3	1	-	10	-	-	-	-	-	2	-	9	1	5	60
-	1	1	-	-	13	-	1	-	8	-	1	9	1	3	4	9	1	-	10	-	-	-	-	-	2	-	13	1	5	85
-	-	1	-	-	20	-	-	-	6	1	-	19	-	2	5	16	-	3	7	-	-	1	-	-	1	-	18	3	2	95
-	-	3	-	-	19	-	2	-	11	-	-	18	-	3	5	10	1	3	10	-	-	-	-	-	-	1	19	2	4	101
-	-	4	-	-	39	-	2	-	17	1	-	37	-	5	10	26	1	6	17	-	-	1	-	-	1	1	37	5	6	196
-	-	2	-	-	39	-	1	1	5	-	4	36	1	1	12	32	1	4	15	1	-	-	-	-	4	-	29	3	5	170
-	-	4	-	-	48	-	5	-	23	1	2	39	2	5	10	28	1	4	23	-	1	-	-	1	3	1	45	3	8	204
-	-	6	-	-	87	-	6	1	28	1	6	75	3	6	22	60	2	8	38	1	1	-	-	1	7	1	74	6	13	374
1	2	10	-	-	46	1	1	3	13	1	2	43	-	4	11	38	-	2	18	-	-	2	-	-	4	1	42	2	4	218
-	-	8	-	1	49	-	3	-	29	5	2	41	2	2	11	43	2	2	20	-	-	-	1	4	2	-	47	3	8	230
1	2	18	-	1	95	1	4	3	42	6	4	84	2	6	22	81	2	4	38	-	-	2	1	4	6	1	89	5	12	448
-	1	5	-	2	27	-	2	1	12	1	3	23	1	1	8	21	-	2	8	-	-	-	-	1	-	-	25	3	2	123
-	1	10	-	-	20	-	2	1	22	2	2	23	-	-	7	25	-	4	9	-	1	-	-	1	4	-	20	1	7	145
-	2	15	-	2	47	-	4	2	34	3	5	46	1	1	15	46	-	6	17	-	1	-	-	2	4	-	45	4	9	268
-	2	9	-	-	13	-	1	1	14	-	2	15	1	1	3	22	1	3	4	-	-	-	-	1	-	1	18	2	2	112
-	-	2	-	-	19	-	-	-	7	-	1	15	1	-	3	12	-	1	7	-	1	-	-	-	-	-	15	3	6	63
-	2	11	-	-	32	-	1	1	21	-	3	30	2	1	6	34	1	4	11	-	1	-	-	1	-	1	33	5	8	175

表3-9-4 市町村別実績

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳 (臓 器 別)															
				肝 臓									胆 嚢						
				が ん	肝 血 管 腫	肝 硬 変	慢 性 肝 炎	脂 肪 肝	肝 嚢 胞	肝 内 石 灰 化	そ の 他	異 常 な し	が ん	胆 嚢 腺 筋 症	胆 嚢 腺 腫	胆 嚢 ポ リ ー プ	胆 嚢 結 石	胆 嚢 壁 内 結 石	そ の 他
合 計	12,458	1,215 (9.8)	1,000 (82.3)	3 174	3	4	143	212	9	7	142	2 143	3 116	83	5	21	230		
水戸保健所計	1,018	91 (8.9)	80 (87.9)	1 24	-	-	11	7	2	-	9	- 8	- 15	7	1	2	12		
茨 城 町	605	53 (8.8)	44 (83.0)	1 14	-	-	5	3	-	-	6	- 4	- 9	4	1	2	4		
大 洗 町	413	38 (9.2)	36 (94.7)	- 10	-	-	6	4	2	-	3	- 4	- 6	3	-	-	8		
ひたちなか保健所計	467	41 (8.8)	37 (90.2)	- 11	-	1	4	6	-	1	3	- 3	- 7	2	-	4	6		
東 海 村	467	41 (8.8)	37 (90.2)	- 11	-	1	4	6	-	1	3	- 3	- 7	2	-	4	6		
常陸大宮保健所計	3,436	290 (8.4)	255 (87.9)	1 30	-	1	48	69	4	3	46	1 38	1 33	21	-	9	79		
常 陸 大 宮 市	3,043	267 (8.8)	234 (87.6)	1 28	-	1	45	63	2	3	43	1 36	1 29	18	-	8	76		
大 子 町	393	23 (5.9)	21 (91.3)	- 2	-	-	3	6	2	-	3	- 2	- 4	3	-	1	3		
鉾田保健所計	1,666	181 (10.9)	147 (81.2)	- 29	-	-	19	31	-	3	14	- 24	1 10	9	-	2	27		
鉾 田 市	489	44 (9.0)	35 (79.5)	- 11	-	-	7	7	-	-	1	- 6	- 2	1	-	-	7		
行 方 市	1,177	137 (11.6)	112 (81.8)	- 18	-	-	12	24	-	3	13	- 18	1 8	8	-	2	20		
竜ヶ崎保健所計	1,996	234 (11.7)	184 (78.6)	- 32	2	1	20	36	2	-	22	1 28	1 16	24	3	1	37		
牛 久 市	981	142 (14.5)	119 (83.8)	- 20	2	-	12	29	1	-	12	1 26	1 9	15	2	1	23		
稲 敷 市	1,015	92 (9.1)	65 (70.7)	- 12	-	1	8	7	1	-	10	- 2	- 7	9	1	-	14		
土浦保健所計	3,875	378 (9.8)	297 (78.6)	1 48	1	1	41	63	1	-	48	- 42	- 35	20	1	3	69		
土 浦 市	2,268	235 (10.4)	187 (79.6)	1 24	1	1	28	45	1	-	29	- 25	- 20	17	1	3	48		
阿 見 町	550	45 (8.2)	38 (84.4)	- 7	-	-	3	5	-	-	8	- 4	- 5	-	-	-	6		
かすみがうら市	1,057	98 (9.3)	72 (73.5)	- 17	-	-	10	13	-	-	11	- 13	- 10	3	-	-	15		

※ 精密検査結果内訳(臓器別)は、疾患重複者あり

精 密 査 結 果 内 訳 (臓 器 別)																														延
胆道系						脾 臓						腎 臓						脾 臓								その 他の 臓器	全 臓器 異常なし	べ 疾 患		
が 胆 管 結 石 ん	胆 管 結 石 ん	胆 管 結 石 ん	良 性 胆 管 狭 窄 他 し	そ の 他 し	異 常 な し	が 胆 管 結 石 ん	良 性 腫 瘍 他 し	慢 性 脾 炎 他 し	脾 囊 腫 他 し	脾 管 狭 張 他 し	そ の 他 し	異 常 な し	が 胆 管 結 石 ん	良 性 腫 瘍 他 し	腎 結 晶 石 他 し	腎 囊 腫 他 し	水 腎 症 他 し	そ の 他 し	異 常 な し	脾 内 腫 瘍 他 し	脾 腫 瘍 他 し	脾 血 管 腫 瘍 他 し	脾 内 石 灰 化 他 し	脾 囊 腫 他 し	副 脾 他 し				そ の 他 し	異 常 な し
1	7	56	-	3	356	1	19	8	159	11	20	324	9	26	92	275	8	32	161	1	4	4	1	9	25	4	328	26	64	1,729
1	-	5	-	2	23	-	2	1	7	1	7	22	1	1	6	24	-	1	8	-	-	-	-	-	-	1	24	3	1	141
1	-	2	-	2	12	-	-	1	2	1	4	12	-	-	6	15	-	1	4	-	-	-	-	-	-	1	13	3	-	82
-	-	3	-	-	11	-	2	-	5	-	3	10	1	1	-	9	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	59
-	1	2	-	-	11	-	1	1	3	2	1	12	-	2	2	12	-	2	3	-	1	1	-	-	-	-	11	-	1	70
-	1	2	-	-	11	-	1	1	3	2	1	12	-	2	2	12	-	2	3	-	1	1	-	-	-	-	11	-	1	70
-	3	21	-	1	114	-	4	3	46	4	4	103	2	7	31	88	5	8	54	1	1	1	-	6	11	1	111	12	15	519
-	3	21	-	-	108	-	4	3	44	3	4	97	2	6	29	81	4	6	51	1	1	1	-	6	11	1	105	10	12	477
-	-	-	-	1	6	-	-	-	2	1	-	6	-	1	2	7	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	6	2	3	42
-	1	4	-	-	43	1	1	2	21	1	2	42	-	3	10	26	1	5	24	-	-	1	-	1	3	2	41	5	11	218
-	-	-	-	-	11	-	-	-	5	-	1	9	-	1	4	9	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	10	2	1	57
-	1	4	-	-	32	1	1	2	16	1	1	33	-	2	6	17	1	5	18	-	-	1	-	1	2	2	31	3	10	161
-	-	6	-	-	64	-	7	-	27	3	1	54	3	9	22	49	1	7	27	-	-	-	1	1	6	-	52	4	7	314
-	-	5	-	-	42	-	3	-	14	3	-	34	3	7	13	32	1	6	18	-	-	-	-	1	4	-	33	2	4	213
-	-	1	-	-	22	-	4	-	13	-	1	20	-	2	9	17	-	1	9	-	-	-	1	-	2	-	19	2	3	101
-	2	18	-	-	101	-	4	1	55	-	5	91	3	4	21	76	1	9	45	-	2	1	-	1	5	-	89	2	29	467
-	1	12	-	-	66	-	3	-	31	-	4	65	1	1	12	51	1	4	30	-	1	-	-	1	3	-	61	2	20	295
-	-	1	-	-	8	-	1	-	11	-	1	4	1	1	3	7	-	-	5	-	-	-	-	1	-	6	-	4	51	
-	1	5	-	-	27	-	-	1	13	-	-	22	1	2	6	18	-	5	10	-	1	1	-	-	1	-	22	-	5	121

表3-9-5 検診実績

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
計	12,458	1,215 (9.8)	1,000 (82.3)	16 (0.13)	(1.32)
男	4,721	553 (11.7)	439 (79.4)	6 (0.13)	(1.08)
女	7,737	662 (8.6)	561 (84.7)	10 (0.13)	(1.51)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査者数

前立腺がん検診



3-10 前立腺がん検診

3-10-1 概要

前立腺がんは50歳以上の男性に多いがんであり、平成29年度の男性がんの部位別罹患率では胃がん、肺がん、大腸がんに次いで第四位となっており、現在も上昇傾向にある。

当協会では、血液中にあるP S A（前立腺に特異的なタンパク質の一種）の数値を測定することで、前立腺の異常を早期に発見するスクリーニング検査として平成9年度から実施している。

この検査では、P S Aが高値を示すことで前立腺がんのほか、前立腺肥大症や前立腺炎などの疾患も早めに発見することができる。

3-10-2 実施状況

検診実績は、受診者50,752人に対して、要精密検査者4,140人(8.2%)、精密検査受診者2,952人(71.3%)であった。また、その中からは258人(0.51%)の前立腺がんが発見された。

がん発見率は毎年0.4～0.5%前後で推移し、他のがん検診と比較してもかなり高率である。

平成29年度における日本対がん協会の全国実績は要精密検査率6.3%、精密検査受診率61.7%、がん発見率は0.42%であった。

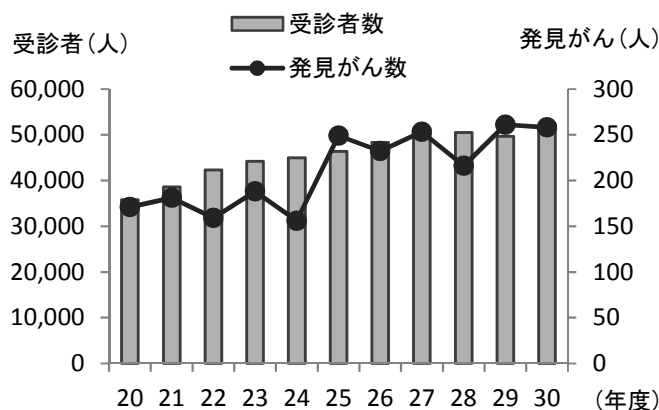


図3-10-1 前立腺がん検診実績と発見がん数の年度推移

3-10-3 検査方法

50歳以上の男性を対象に、血清中の前立腺特異抗原（P S A）を酵素免疫法で測定している。

表3-10-1 判定基準

検査項目	基準値
P S A値	64 歳以下：3.0ng/mL 以下 65～69 歳：3.5ng/mL 以下 70 歳以上：4.0ng/mL 以下

表3-10-2 年度別検診実績

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 20	35,777	1,904 (5.3)	1,279 (67.2)	171 (0.48)	(8.98)
21	38,560	2,239 (5.8)	1,410 (63.0)	181 (0.47)	(8.08)
22	42,329	2,412 (5.7)	1,581 (65.5)	159 (0.38)	(6.59)
23	44,185	3,005 (6.8)	2,106 (70.1)	188 (0.43)	(6.26)
24	44,994	2,916 (6.5)	1,976 (67.8)	156 (0.35)	(5.35)
25	46,338	3,229 (7.0)	2,346 (72.7)	250 (0.54)	(7.74)
26	48,355	3,142 (6.5)	2,147 (68.3)	232 (0.48)	(7.38)
27	49,863	3,712 (7.4)	2,566 (69.1)	253 (0.51)	(6.82)
28	50,460	3,971 (7.9)	2,694 (67.8)	216 (0.43)	(5.44)
29	49,644	3,958 (8.0)	2,784 (70.3)	261 (0.53)	(6.59)
30	50,752	4,140 (8.2)	2,952 (71.3)	258 (0.51)	(6.23)

※ 平成15年までは国際前立腺症状スコアによる問診が行われていたが、平成16年以降はPSA値のみの検査方法になった

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-10-3 検診実績

単位:人(%)

受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
50,752	4,140 (8.2)	2,952 (71.3)	258 (0.51)	(6.23)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-10-4 年齢階級別実績

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳							確定 前立腺がん
				報告 が ん	その 他 の が ん	前 立 腺 肥 大 症	前 立 腺 炎	そ の 他	異 常 な し	検 査 中	
合 計	50,752	4,140 (8.2)	2,952 (71.3)	289	-	901	78	48	321	1,315	258 (0.51)
～39	25	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)
40～44	316	5 (1.6)	2 (40.0)	-	-	-	-	-	2	-	- (0.00)
45～49	324	1 (0.3)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)
50～54	2,689	78 (2.9)	54 (69.2)	3	-	11	4	3	14	19	3 (0.11)
55～59	3,055	156 (5.1)	99 (63.5)	-	-	32	8	1	16	42	- (0.00)
60～64	5,354	423 (7.9)	287 (67.8)	15	-	88	5	4	50	125	13 (0.24)
65～69	12,071	944 (7.8)	652 (69.1)	61	-	184	19	11	78	299	54 (0.45)
70～74	13,365	1,081 (8.1)	795 (73.5)	79	-	260	17	12	87	340	74 (0.55)
75～79	8,678	834 (9.6)	626 (75.1)	84	-	195	14	5	54	274	77 (0.89)
80～	4,875	618 (12.7)	437 (70.7)	47	-	131	11	12	20	216	37 (0.76)

表3-10-5 市町村別実績

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳							確 定 前 立 腺 が ん
				報 告 が ん	そ の 他 の が ん	前 立 腺 肥 大 症	前 立 腺 炎	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し	検 査 中	
合 計	50,752	4,140 (8.2)	2,952 (71.3)	289	－	901	78	48	321	1,315	258 (0.51)
水戸保健所計	8,045	590 (7.3)	392 (66.4)	47	－	132	5	8	37	163	46 (0.57)
水 戸 市	2,741	220 (8.0)	146 (66.4)	18	－	38	2	4	11	73	18 (0.66)
笠 間 市	1,722	128 (7.4)	97 (75.8)	10	－	50	1	1	3	32	10 (0.58)
茨 城 町	930	59 (6.3)	34 (57.6)	5	－	8	－	－	10	11	5 (0.54)
小 美 玉 市	1,232	98 (8.0)	62 (63.3)	7	－	17	1	2	6	29	6 (0.49)
城 里 町	952	59 (6.2)	33 (55.9)	5	－	10	1	－	4	13	5 (0.53)
大 洗 町	468	26 (5.6)	20 (76.9)	2	－	9	－	1	3	5	2 (0.43)
ひたちなか保健所計	3,368	284 (8.4)	215 (75.7)	22	－	66	12	1	13	101	19 (0.56)
ひたちなか市	1,967	161 (8.2)	130 (80.7)	17	－	33	8	1	7	64	14 (0.71)
東 海 村	1,401	123 (8.8)	85 (69.1)	5	－	33	4	－	6	37	5 (0.36)
常陸大宮保健所計	3,912	282 (7.2)	194 (68.8)	20	－	53	－	1	14	106	19 (0.49)
那 珂 市	1,309	91 (7.0)	65 (71.4)	7	－	15	－	－	2	41	7 (0.53)
常 陸 大 宮 市	1,977	152 (7.7)	104 (68.4)	12	－	25	－	1	11	55	12 (0.61)
大 子 町	626	39 (6.2)	25 (64.1)	1	－	13	－	－	1	10	－ (0.00)
鉾田保健所計	3,490	266 (7.6)	200 (75.2)	22	－	56	6	1	25	90	19 (0.54)
鉾 田 市	2,377	170 (7.2)	126 (74.1)	16	－	34	5	1	19	51	16 (0.67)
行 方 市	1,113	96 (8.6)	74 (77.1)	6	－	22	1	－	6	39	3 (0.27)
潮来保健所計	2,500	214 (8.6)	152 (71.0)	14	－	39	5	4	26	64	14 (0.56)
鹿 嶋 市	980	78 (8.0)	49 (62.8)	5	－	6	3	2	9	24	5 (0.51)
潮 来 市	923	73 (7.9)	51 (69.9)	4	－	19	2	1	7	18	4 (0.43)
神 栖 市	597	63 (10.6)	52 (82.5)	5	－	14	－	1	10	22	5 (0.84)
竜ヶ崎保健所計	4,537	404 (8.9)	295 (73.0)	36	－	68	12	13	20	146	32 (0.71)
龍 ヱ 崎 市	1,420	136 (9.6)	95 (69.9)	15	－	16	7	6	6	45	14 (0.99)
牛 久 市	2,073	184 (8.9)	145 (78.8)	17	－	36	3	5	10	74	16 (0.77)
稲 敷 市	847	68 (8.0)	46 (67.6)	3	－	13	1	2	3	24	2 (0.24)
河 内 町	197	16 (8.1)	9 (56.3)	1	－	3	1	－	1	3	－ (0.00)

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳							確定前立腺がん
				報告がん	その他のがん	前立腺肥大症	前立腺炎	その他	異常なし	検査中	
土浦保健所計	5,255	462 (8.8)	333 (72.1)	37	-	121	5	3	19	148	31 (0.59)
土 浦 市	1,461	136 (9.3)	108 (79.4)	12	-	30	2	-	9	55	12 (0.82)
石 岡 市	1,750	167 (9.5)	115 (68.9)	11	-	50	2	1	4	47	9 (0.51)
美 浦 村	577	48 (8.3)	36 (75.0)	3	-	19	-	1	2	11	1 (0.17)
阿 見 町	631	44 (7.0)	30 (68.2)	5	-	6	1	-	1	17	5 (0.79)
かすみがうら市	836	67 (8.0)	44 (65.7)	6	-	16	-	1	3	18	4 (0.48)
つくば保健所計	4,679	512 (10.9)	346 (67.6)	33	-	110	3	6	60	134	26 (0.56)
つ く ば 市	3,708	421 (11.4)	282 (67.0)	27	-	92	3	5	47	108	22 (0.59)
つくばみらい市	971	91 (9.4)	64 (70.3)	6	-	18	-	1	13	26	4 (0.41)
筑西保健所計	6,017	439 (7.3)	326 (74.3)	17	-	82	10	4	32	181	15 (0.25)
筑 西 市	3,233	219 (6.8)	164 (74.9)	8	-	36	6	4	16	94	7 (0.22)
結 城 市	1,402	102 (7.3)	78 (76.5)	5	-	16	-	-	10	47	5 (0.36)
桜 川 市	1,382	118 (8.5)	84 (71.2)	4	-	30	4	-	6	40	3 (0.22)
常総保健所計	5,229	441 (8.4)	330 (74.8)	24	-	109	9	6	53	129	21 (0.40)
下 妻 市	1,239	87 (7.0)	70 (80.5)	7	-	31	-	1	10	21	6 (0.48)
常 総 市	1,519	134 (8.8)	107 (79.9)	5	-	22	1	1	26	52	4 (0.26)
坂 東 市	2,284	204 (8.9)	141 (69.1)	12	-	50	8	3	16	52	11 (0.48)
八 千 代 町	187	16 (8.6)	12 (75.0)	-	-	6	-	1	1	4	- (0.00)
古河保健所計	3,720	246 (6.6)	169 (68.7)	17	-	65	11	1	22	53	16 (0.43)
古 河 市	2,213	142 (6.4)	104 (73.2)	8	-	35	6	-	17	38	8 (0.36)
五 霞 町	445	27 (6.1)	15 (55.6)	1	-	8	2	-	1	3	1 (0.22)
境 町	1,062	77 (7.3)	50 (64.9)	8	-	22	3	1	4	12	7 (0.66)

骨粗鬆症検診



3-1-1 骨粗鬆症検診

3-11-1 概要

骨粗鬆症検診は、骨量減少者を早期に発見することを目的として、健康増進法で定める健康増進事業として、平成6年度から実施している。

今後ますます高齢化が進む中、骨粗鬆症罹患者の増加が懸念されており、骨量低下を早期に把握し、食事や運動など適切な治療を続けることで、将来の寝たきりの予防につながる。

3-11-2 実施状況

県内28市町村で13,755人に実施し、判定内訳は要指導5,537人(40.3%)、要精密検査2,296人(16.7%)となっていた。

前年度との実績比較では、209人(1.5%)の減少となっている。

年代別の骨量平均値(YAM比較)は、30歳代の97.9%をピークに40歳代97.6%、50歳代92.7%、60歳代86.1%、70歳代84.1%と加齢に伴い急降下するカーブを描き、60歳代以上では骨量平均値(YAM比較)が要指導判定内の数値になっている。

要精密検査率は、60歳代で19.9%、70歳代で30.6%を占めている。

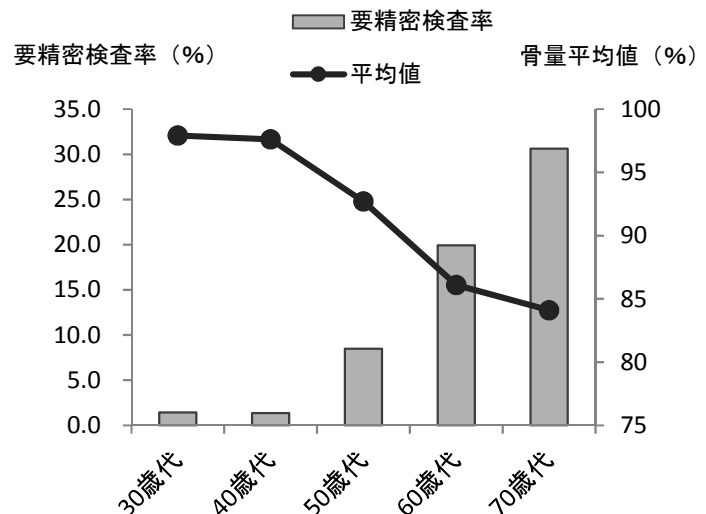


図3-11-1 骨粗鬆症検診要精密検査率と骨量平均値

3-11-3 検査方法

検査方法は、かかと（踵骨）に超音波を通し、その伝播速度及び減衰率により骨の状態を評価している。踵骨は、骨粗鬆症になると最初に骨量が減少する海綿骨を多く占め、初期の骨量変化の把握に有効である。

表3-11-1 判定区分等

骨量値	判定区分	保健指導時の考え方
YAM90%以上	異常認めず	骨量維持のための保健指導
YAM80%以上90%未満	要指導	食生活改善及び運動習慣についての保健指導
YAM80%未満	要精密検査	医療機関の受診勧奨

※ 「YAM」とは、若年成人平均値をいい、骨量が最大となる20歳～44歳の骨量平均値

表3-11-2 年度別検診実績

単位:人(%)

年度	受診者	異常認めず	要指導	要精密検査
平成 20	12,897	5,334 (41.4)	5,307 (41.1)	2,256 (17.5)
21	13,139	5,257 (40.0)	5,446 (41.4)	2,436 (18.5)
22	10,903	4,347 (39.9)	4,531 (41.6)	2,025 (18.6)
23	12,968	6,098 (47.0)	5,189 (40.0)	1,681 (13.0)
24	12,834	6,503 (50.7)	4,888 (38.1)	1,443 (11.2)
25	12,870	5,791 (45.0)	5,195 (40.4)	1,884 (14.6)
26	14,298	6,333 (44.3)	5,695 (39.8)	2,270 (15.9)
27	14,701	6,557 (44.6)	6,041 (41.1)	2,103 (14.3)
28	13,964	6,248 (44.7)	5,600 (40.1)	2,116 (15.2)
29	14,216	6,267 (44.1)	5,710 (40.2)	2,239 (15.7)
30	13,755	5,922 (43.1)	5,537 (40.3)	2,296 (16.7)

表3-11-3 検診実績

単位:人(%)

区分	受診者	異常認めず	要指導	要精密検査
計	13,755	5,922 (43.1)	5,537 (40.3)	2,296 (16.7)
39歳以下	612	485 (79.2)	117 (19.1)	10 (1.6)
40歳以上	13,143	5,437 (41.4)	5,420 (41.2)	2,286 (17.4)

表3-11-4 年齢階級別実績

単位:人(%)

	受診者	判 定 内 訳					
		異常認めず		要 指 導		要精密検査	
合 計	13,755	5,922	(43.1)	5,537	(40.3)	2,296	(16.7)
18 ～ 19	—	—	—	—	—	—	—
20 ～ 24	20	18	(90.0)	1	(5.0)	1	(5.0)
25 ～ 29	38	29	(76.3)	8	(21.1)	1	(2.6)
30 ～ 34	188	148	(78.7)	36	(19.1)	4	(2.1)
35 ～ 39	366	290	(79.2)	72	(19.7)	4	(1.1)
小 計	612	485	(79.2)	117	(19.1)	10	(1.6)
40	611	470	(76.9)	137	(22.4)	4	(0.7)
41 ～ 44	303	241	(79.5)	57	(18.8)	5	(1.7)
45	758	581	(76.6)	162	(21.4)	15	(2.0)
46 ～ 49	380	285	(75.0)	91	(23.9)	4	(1.1)
50	854	643	(75.3)	181	(21.2)	30	(3.5)
51 ～ 54	476	310	(65.1)	138	(29.0)	28	(5.9)
55	1,000	499	(49.9)	389	(38.9)	112	(11.2)
56 ～ 59	591	261	(44.2)	252	(42.6)	78	(13.2)
60	1,331	439	(33.0)	681	(51.2)	211	(15.9)
61 ～ 64	772	235	(30.4)	423	(54.8)	114	(14.8)
65	1,706	457	(26.8)	830	(48.7)	419	(24.6)
66 ～ 69	1,065	287	(26.9)	551	(51.7)	227	(21.3)
70	1,934	442	(22.9)	908	(46.9)	584	(30.2)
71 ～ 74	652	140	(21.5)	320	(49.1)	192	(29.4)
75 ～ 79	522	118	(22.6)	228	(43.7)	176	(33.7)
80 ～	188	29	(15.4)	72	(38.3)	87	(46.3)
小 計	13,143	5,437	(41.4)	5,420	(41.2)	2,286	(17.4)

表3-11-5 市町村別実績

単位:人(%)

		受診者	判定内訳		
			異常認めず	要指導	要精密検査
合 計	39 歳 以 下	612	485 (79.2)	117 (19.1)	10 (1.6)
	40 歳 以 上	13,143	5,437 (41.4)	5,420 (41.2)	2,286 (17.4)
	計	13,755	5,922 (43.1)	5,537 (40.3)	2,296 (16.7)
水 戸 保 健 所 計	39 歳 以 下	177	138 (78.0)	38 (21.5)	1 (0.6)
	40 歳 以 上	2,951	1,249 (42.3)	1,254 (42.5)	448 (15.2)
	計	3,128	1,387 (44.3)	1,292 (41.3)	449 (14.4)
水 戸 市	39 歳 以 下	125	93 (74.4)	31 (24.8)	1 (0.8)
	40 歳 以 上	1,442	535 (37.1)	646 (44.8)	261 (18.1)
	計	1,567	628 (40.1)	677 (43.2)	262 (16.7)
笠 間 市	39 歳 以 下	29	23 (79.3)	6 (20.7)	－ (0.0)
	40 歳 以 上	275	126 (45.8)	112 (40.7)	37 (13.5)
	計	304	149 (49.0)	118 (38.8)	37 (12.2)
茨 城 町	39 歳 以 下	－	－	－	－
	40 歳 以 上	749	381 (50.9)	288 (38.5)	80 (10.7)
	計	749	381 (50.9)	288 (38.5)	80 (10.7)
小 美 玉 市	39 歳 以 下	9	9 (100.0)	－ (0.0)	－ (0.0)
	40 歳 以 上	186	85 (45.7)	74 (39.8)	27 (14.5)
	計	195	94 (48.2)	74 (37.9)	27 (13.8)
大 洗 町	39 歳 以 下	14	13 (92.9)	1 (7.1)	－ (0.0)
	40 歳 以 上	299	122 (40.8)	134 (44.8)	43 (14.4)
	計	313	135 (43.1)	135 (43.1)	43 (13.7)
ひたちなか保健所計	39 歳 以 下	63	54 (85.7)	9 (14.3)	－ (0.0)
	40 歳 以 上	1,240	620 (50.0)	458 (36.9)	162 (13.1)
	計	1,303	674 (51.7)	467 (35.8)	162 (12.4)
ひたちなか市	39 歳 以 下	－	－	－	－
	40 歳 以 上	512	238 (46.5)	205 (40.0)	69 (13.5)
	計	512	238 (46.5)	205 (40.0)	69 (13.5)
東 海 村	39 歳 以 下	63	54 (85.7)	9 (14.3)	－ (0.0)
	40 歳 以 上	728	382 (52.5)	253 (34.8)	93 (12.8)
	計	791	436 (55.1)	262 (33.1)	93 (11.8)
常陸大宮保健所計	39 歳 以 下	5	4 (80.0)	1 (20.0)	－ (0.0)
	40 歳 以 上	567	242 (42.7)	240 (42.3)	85 (15.0)
	計	572	246 (43.0)	241 (42.1)	85 (14.9)
常 陸 大 宮 市	39 歳 以 下	－	－	－	－
	40 歳 以 上	487	210 (43.1)	208 (42.7)	69 (14.2)
	計	487	210 (43.1)	208 (42.7)	69 (14.2)
大 子 町	39 歳 以 下	5	4 (80.0)	1 (20.0)	－ (0.0)
	40 歳 以 上	80	32 (40.0)	32 (40.0)	16 (20.0)
	計	85	36 (42.4)	33 (38.8)	16 (18.8)
鉾 田 保 健 所 計	39 歳 以 下	57	52 (91.2)	4 (7.0)	1 (1.8)
	40 歳 以 上	538	274 (50.9)	193 (35.9)	71 (13.2)
	計	595	326 (54.8)	197 (33.1)	72 (12.1)
行 方 市	39 歳 以 下	57	52 (91.2)	4 (7.0)	1 (1.8)
	40 歳 以 上	538	274 (50.9)	193 (35.9)	71 (13.2)
	計	595	326 (54.8)	197 (33.1)	72 (12.1)

単位:人(%)

		受診者	判 定 内 訳		
			異常認めず	要 指 導	要精密検査
潮 来 保 健 所 計	39 歳 以 下	67	52 (77.6)	12 (17.9)	3 (4.5)
	40 歳 以 上	2,273	845 (37.2)	957 (42.1)	471 (20.7)
	計	2,340	897 (38.3)	969 (41.4)	474 (20.3)
鹿 嶋 市	39 歳 以 下	-	-	-	-
	40 歳 以 上	753	326 (43.3)	289 (38.4)	138 (18.3)
	計	753	326 (43.3)	289 (38.4)	138 (18.3)
神 栖 市	39 歳 以 下	56	45 (80.4)	9 (16.1)	2 (3.6)
	40 歳 以 上	1,065	407 (38.2)	463 (43.5)	195 (18.3)
	計	1,121	452 (40.3)	472 (42.1)	197 (17.6)
潮 来 市	39 歳 以 下	11	7 (63.6)	3 (27.3)	1 (9.1)
	40 歳 以 上	455	112 (24.6)	205 (45.1)	138 (30.3)
	計	466	119 (25.5)	208 (44.6)	139 (29.8)
竜ヶ崎保健所計	39 歳 以 下	39	31 (79.5)	8 (20.5)	- (0.0)
	40 歳 以 上	1,077	501 (46.5)	424 (39.4)	152 (14.1)
	計	1,116	532 (47.7)	432 (38.7)	152 (13.6)
龍 ヶ 崎 市	39 歳 以 下	39	31 (79.5)	8 (20.5)	- (0.0)
	40 歳 以 上	514	251 (48.8)	206 (40.1)	57 (11.1)
	計	553	282 (51.0)	214 (38.7)	57 (10.3)
稲 敷 市	39 歳 以 下	-	- -	- -	- -
	40 歳 以 上	477	206 (43.2)	185 (38.8)	86 (18.0)
	計	477	206 (43.2)	185 (38.8)	86 (18.0)
河 内 町	39 歳 以 下	-	- -	- -	- -
	40 歳 以 上	86	44 (51.2)	33 (38.4)	9 (10.5)
	計	86	44 (51.2)	33 (38.4)	9 (10.5)
土 浦 保 健 所 計	39 歳 以 下	100	80 (80.0)	18 (18.0)	2 (2.0)
	40 歳 以 上	810	387 (47.8)	335 (41.4)	88 (10.9)
	計	910	467 (51.3)	353 (38.8)	90 (9.9)
かすみがうら市	39 歳 以 下	17	13 (76.5)	4 (23.5)	- (0.0)
	40 歳 以 上	188	95 (50.5)	82 (43.6)	11 (5.9)
	計	205	108 (52.7)	86 (42.0)	11 (5.4)
美 浦 村	39 歳 以 下	31	23 (74.2)	7 (22.6)	1 (3.2)
	40 歳 以 上	372	154 (41.4)	149 (40.1)	69 (18.5)
	計	403	177 (43.9)	156 (38.7)	70 (17.4)
阿 見 町	39 歳 以 下	52	44 (84.6)	7 (13.5)	1 (1.9)
	40 歳 以 上	250	138 (55.2)	104 (41.6)	8 (3.2)
	計	302	182 (60.3)	111 (36.8)	9 (3.0)
つくば保健所計	39 歳 以 下	65	53 (81.5)	10 (15.4)	2 (3.1)
	40 歳 以 上	347	180 (51.9)	125 (36.0)	42 (12.1)
	計	412	233 (56.6)	135 (32.8)	44 (10.7)
つ く ば 市	39 歳 以 下	65	53 (81.5)	10 (15.4)	2 (3.1)
	40 歳 以 上	347	180 (51.9)	125 (36.0)	42 (12.1)
	計	412	233 (56.6)	135 (32.8)	44 (10.7)

単位:人(%)

		受診者	判定内訳		
			異常認めず	要指導	要精密検査
筑西保健所計	39歳以下	-	-	-	-
	40歳以上	2,007	732 (36.5)	860 (42.9)	415 (20.7)
	計	2,007	732 (36.5)	860 (42.9)	415 (20.7)
筑西市	39歳以下	-	-	-	-
	40歳以上	1,352	483 (35.7)	594 (43.9)	275 (20.3)
	計	1,352	483 (35.7)	594 (43.9)	275 (20.3)
結城市	39歳以下	-	-	-	-
	40歳以上	151	61 (40.4)	65 (43.0)	25 (16.6)
	計	151	61 (40.4)	65 (43.0)	25 (16.6)
桜川市	39歳以下	-	-	-	-
	40歳以上	504	188 (37.3)	201 (39.9)	115 (22.8)
	計	504	188 (37.3)	201 (39.9)	115 (22.8)
常総保健所計	39歳以下	39	21 (53.8)	17 (43.6)	1 (2.6)
	40歳以上	1,090	335 (30.7)	465 (42.7)	290 (26.6)
	計	1,129	356 (31.5)	482 (42.7)	291 (25.8)
下妻市	39歳以下	5	2 (40.0)	3 (60.0)	- (0.0)
	40歳以上	190	71 (37.4)	76 (40.0)	43 (22.6)
	計	195	73 (37.4)	79 (40.5)	43 (22.1)
常総市	39歳以下	8	3 (37.5)	5 (62.5)	- (0.0)
	40歳以上	502	149 (29.7)	203 (40.4)	150 (29.9)
	計	510	152 (29.8)	208 (40.8)	150 (29.4)
坂東市	39歳以下	26	16 (61.5)	9 (34.6)	1 (3.8)
	40歳以上	325	83 (25.5)	150 (46.2)	92 (28.3)
	計	351	99 (28.2)	159 (45.3)	93 (26.5)
八千代町	39歳以下	-	-	-	-
	40歳以上	73	32 (43.8)	36 (49.3)	5 (6.8)
	計	73	32 (43.8)	36 (49.3)	5 (6.8)
古河保健所計	39歳以下	-	-	-	-
	40歳以上	243	72 (29.6)	109 (44.9)	62 (25.5)
	計	243	72 (29.6)	109 (44.9)	62 (25.5)
境町	39歳以下	-	-	-	-
	40歳以上	243	72 (29.6)	109 (44.9)	62 (25.5)
	計	243	72 (29.6)	109 (44.9)	62 (25.5)

4 職 域 保 健



定期健康診断等



4－1 定期健康診断等

4-1-1 概要

労働安全衛生規則や人事院規則に基づき、事業所の従業員や地方公務員、国家公務員等を対象に定期健康診断及び特定業務従事者の健康診断を延べ92,011人実施した。

当協会では、労働安全衛生規則で定める健康診断を、検査項目によりⅠ～Ⅳのセットコースを設けて実施している。また、全国健康保険協会（協会けんぽ）の生活習慣病予防健診の実施機関として登録しており、巡回及び施設内において実施している。

その他、労働安全衛生法の一部改正により、平成27年度から導入されたストレスチェックについては、平成30年度は49事業所で10,374人に実施した。

4-1-2 実施状況

健診項目別では、労働安全衛生規則第44条に基づく定期健康診断が38,275人（41.6％）、同規則第45条の特定業務従事者の健康診断が10,573人（11.5％）、全国健康保険協会生活習慣病予防健診については、10,715人（11.6％）、その他の健診として人事院規則に基づく定期健康診断や事業所が独自に指定した健康診断を、32,448人（35.3％）実施した。

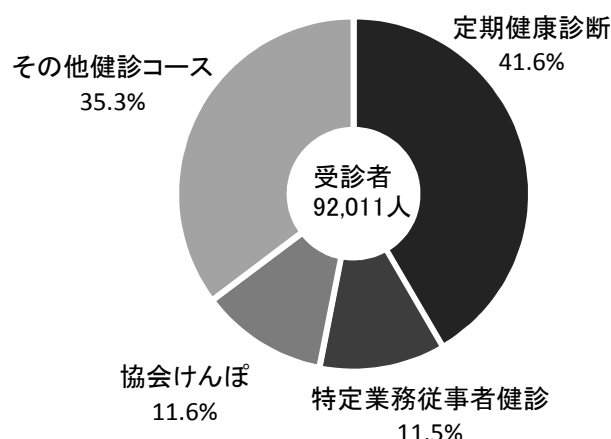


図4-1-1 定期健康診断項目別実施内訳

表4-1-1 健康診断項目

【定期健康診断コース】

項 目	全項目	簡略項目	簡略項目	全項目
	Ⅰセット	Ⅱセット	Ⅲセット	Ⅳセット
既往歴及び業務歴の調査	○	○	○	○
自他覚症状の有無	○	○	○	○
身長、体重	○	○	○	○
腹囲	○			○
視力	○	○	○	○
聴力	オーディオメーター	オーディオメーター	会話法	オーディオメーター
胸部X線	○	○	○	○
血圧	○	○	○	○
尿検査	○	○	○	○
貧血検査	○			○
肝機能検査	○			○
血中脂質検査	○			○
血糖検査	ヘモグロビンA1c グルコース			グルコース
心電図検査	○			○

【全国健康保険協会生活習慣病予防健診】

項 目	Ⅰセット項目、アルカリフォスファターゼ、尿酸、クレアチニン、総コレステロール、便潜血反応、胃X線、 付加健診（尿沈渣・血小板・末梢血液像・生化学・眼底・肺機能・腹部超音波・乳がん・子宮頸がん）
-----	---

表4-1-2 健診実績

単位：人

	定期健康診断						
	I セット	II セット	III セット	IV セット	協会けんぽ	特定業務従事者 健康診断	その他 健診コース
合 計	31,369	4,391	371	2,144	10,715	10,573	32,448
出張健診	27,865	4,045	324	1,897	8,979	10,185	32,182
施設内検診	3,504	346	47	247	1,736	388	266

表4-1-3 検査項目別実績

単位:人

検査項目				総 数		男 性		女 性		検査項目				総 数		男 性		女 性	
				検 査 人 員	有 所 見 者	検 査 人 員	有 所 見 者	検 査 人 員	有 所 見 者					検 査 人 員	有 所 見 者	検 査 人 員	有 所 見 者	検 査 人 員	有 所 見 者
胸 部 X 線	間 接 撮 影	39,754	4,068	21,432	2,374	18,322	1,694	脂 質 検 査	HDLコレステロール	76,610	3,283	45,575	2,864	31,035	419				
胸 部 X 線	直 接 撮 影	44,992	4,775	26,315	2,963	18,677	1,812		中 性 脂 肪	76,715	15,457	45,616	11,778	31,099	3,679				
身 体 計 測		89,120	31,757	53,558	20,039	35,562	11,718		LDLコレステロール	76,056	37,481	45,201	23,391	30,855	14,090				
腹 囲 測 定		74,627	-	46,180	-	28,447	-		総コレステロール	5,650	-	3,274	-	2,376	-				
視 力		88,222	15,440	52,795	8,935	35,427	6,505		β リポ蛋白	-	-	-	-	-	-				
聴 力 検 査	聴 力 (会 話 法)	5,531	7	2,627	6	2,904	1	腎 機 能	尿 酸	36,628	4,740	22,721	4,475	13,907	265				
	聴 力 1000 H z	78,971	2,544	48,230	1,609	30,741	935		尿 素 窒 素	8,078	778	5,009	414	3,069	364				
	聴 力 4000 H z	78,971	5,282	48,230	4,416	30,741	866		クレアチニン	-	-	-	-	-	-				
血 圧		88,531	26,084	52,645	18,727	35,886	7,357	血 清 蛋 白	e G F R	42,593	2,440	25,899	1,528	16,694	912				
尿 検 査	尿 蛋 白	87,711	2,018	52,608	1,495	35,103	523		総 蛋 白	4,437	378	2,637	231	1,800	147				
	尿 糖	88,062	2,388	52,608	1,941	35,454	447		アルブミン	1,470	232	776	63	694	169				
	尿 潜 血	61,286	5,171	36,634	2,012	24,652	3,159		A / G 比	504	62	261	26	243	36				
	尿ウロビリノーゲン	12,438	1	6,995	1	5,443	-		糖 代 謝	随 時 血 糖	73,500	11,100	43,650	8,186	29,850	2,914			
	尿 p H	524	13	483	11	41	2		ヘモグロビンA1c	75,467	29,120	44,633	17,137	30,834	11,983				
	尿 ケ ト ン 体	-	-	-	-	-	-	貧 血 検 査	79,734	19,732	46,303	10,400	33,431	9,332					
心 電 図		73,665	12,896	43,389	8,210	30,276	4,686	貧 血 検 査	赤 血 球 球 沈 降 速 度	-	-	-	-	-	-				
心不全リスク検査		708	23	424	10	284	13		白 血 球 数	56,991	5,360	32,655	3,013	24,336	2,347				
眼 底 検 査		9,291	1,175	6,373	810	2,918	365		血 小 板 数	3,960	557	2,522	296	1,438	261				
眼 圧 検 査		301	22	122	10	179	12		血 清 フェリチン	1,159	664	129	48	1,030	616				
肺 機 能 検 査		196	10	145	9	51	1		血 清 鉄	1,360	376	175	27	1,185	349				
肝 機 能 検 査	A S T	75,825	8,667	44,768	6,928	31,057	1,739		白 血 球 百 分 率	T I B C	1,159	465	129	44	1,030	421			
	A L T	75,825	14,995	44,768	12,688	31,057	2,307	T S %		1,159	616	129	49	1,030	567				
	A L P	20,975	1,343	12,379	729	8,596	614	白 血 球 百 分 率		1,805	178	1,424	132	381	46				
	γ - G T	75,809	12,369	44,758	10,470	31,051	1,899	肝 炎 検 査	H C V 抗 体	2,864	6	1,114	1	1,750	5				
	コリンエステラーゼ	514	28	300	15	214	13		H B s 抗 体	3,862	-	2,340	-	1,522	-				
	総ビリルビン	3,429	371	2,391	230	1,038	141		H B s 抗 原	4,462	8	2,415	2	2,047	6				
	L D H	6,842	1,273	5,049	978	1,793	295	梅 毒 検 査	T P 抗 体	566	-	433	-	133	-				
	T T T	133	5	84	2	49	3		R P R	566	-	433	-	133	-				
	Z T T	6,856	855	3,721	487	3,135	368		R A	-	-	-	-	-	-				
脾	血 清 アミラーゼ	20,850	1,245	12,419	798	8,431	447	血 清 学	抗 CCP 抗 体	83	2	16	-	67	2				
									C R P	334	18	212	11	122	7				

特殊健康診断



4-2 特殊健康診断

4-2-1 概要

労働安全衛生法やじん肺法に基づき、有害な化学物質や物理的因子へのばく露、あるいは身体に過度の負担がかかる作業様態により起こる健康障害を未然に防止するために、各種の特殊健康診断と行政指導による健康診断（VDT）作業健康診断、騒音作業健康診断を27,251人実施した。

平成27年11月1日、特定化学物質予防規則等が改正され、ナフタレン及びリフラクトリーセラミックファイバーについて、健康障害防止措置が義務付けられた。

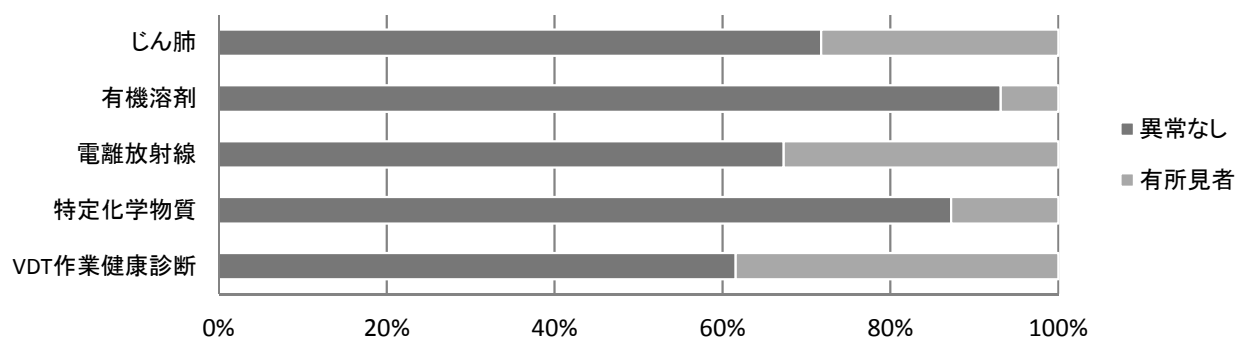


図4-2-1 特殊健康診断受診者数に対する有所見者の割合

4-2-2 実施根拠と検査項目

【法令に基づくもの】

じん肺健康診断(じん肺法第3条、第7条～第9条の2)

じん肺	診察, 血圧, 業務歴, 既往歴, 作業条件調査, 胸部X線(直接)
肺機能検査(一次)	診察, 血圧, 身長, 体重, 胸部に関する臨床検査, フローボリューム曲線
肺機能検査(二次)	診察, 血圧, 身長, 体重, 胸部に関する臨床検査, フローボリューム曲線, 動脈血ガス測定

有機溶剤(有機溶剤中毒予防規則第29条)

※ 必須項目 診察, 血圧, 業務歴, 既往歴, 作業条件調査, 尿(蛋白)

有機溶剤で実施しなければならない肝機能検査, 貧血検査, 眼底検査

有機溶剤の種類	検査項目			
	代謝物	肝機能	貧血	眼底検査
キシレン	○			
トルエン				
1,1,1-トリクロロエタン				
ノルマルヘキサン				
N・N-ジメチルホルムアミド	○	○		
クロルベンゼン, オルト-ジクロルベンゼン		○		
1,2-ジクロルエチレン				
クレゾール				
エチレングリコールモノエチルエーテル			○	
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート				
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル				
エチレングリコールモノメチルエーテル				
二硫化炭素				○

電離放射線(電離放射線障害防止規則第56条)

6か月	診察, 業務歴, 被ばく歴, 作業条件調査, 血液(Hb, Ht, RBC, WBC), 白血球百分率, 眼及び皮膚の検査
-----	---

※ 白血球百分率, 眼及び皮膚の検査については, 医師が必要でないと認めるときは省略可能

特定化学物質（特定化学物質障害予防規則第39条）

※ 主な特定化学物質の健康診断項目（健診項目）

物質名	問診	皮膚所見の有無	鼻腔所見の有無	カドミウム黄色環	握力	血圧	肺活量	胸部X線撮影	尿蛋白	尿糖	尿中ウロビリ	尿潜血	赤血球	白血球	肝機能検査	代謝物	血清K _L 、6	血清インジウム
クロロホルム	○								○						○			
四塩化炭素	○								○						○			
ジクロロメタン	○														○			
スチレン	○								○							○		
テトラクロロエチレン	○								○						○	○		
トリクロロエチレン	○								○						○	○		
メチルイソブチルケトン	○								○									
ベリリウム	○	○					○	○										
エチルベンゼン	○		○													○		
カドミウムまたはその化合物	○			○					○									
クロム酸(塩)、重クロム酸(塩)	○	○	○					○										
五酸化バナジウム	○					○	○											
コバルト	○																	
シアン化カリウム	○										○							
臭化メチル	○	○																
トリレンジイソシアネート	○	○																
砒素またはその化合物	○	○	○					○										
フッ化水素	○	○	○								○							
ベンゼン	○	○											○	○				
マンガンまたはその化合物	○				○													
沃化メチル	○	○																
硫化水素	○																	
インジウム化合物	○							○									○	○
ナフタレン	○										○							
リフラクトリーセラミックファイバー	○							○										

その他法令による特殊健康診断

特殊健康診断	問診	業務歴	既往歴	作業条件調査	健康診断項目
高気圧 (法令:高気圧作業安全衛生規則第38条)	○	○	○	○	聴力,尿検査(蛋白,糖),血圧,肺活量
鉛 (法令:鉛中毒予防規則第53条)	○	○	○	○	血中鉛,尿中デルタアミノレブリン酸
石綿 (法令:石綿障害予防規則第40条)	○	○	○	○	胸部X線(直接)

行政指導に基づく特殊健康診断

特殊健康診断	問診	業務歴	既往歴	作業条件調査	健康診断項目
VDT作業健康診断(区分A)	○	○	○	○	視機能(視力,屈折,眼位,調節機能)
騒音作業健康診断	○	○	○	○	聴力(オーディオメータ)
運転業務健康診断	○	○	○	○	血圧,視力,視野,色覚,聴力,平衡機能,上肢・頸部及び腰部の機能検査
レーザー光線	○	○	○	○	眼底検査,視力

表4-2-1 健診実績

健診項目別実績

じん肺健康診断

受 診 者	有 所 見 者 (%)
294	83 (28.2)

有機溶剤健康診断

受 診 者	有 所 見 者 (%)
5,265	361 (6.9)

鉛健康診断

受 診 者	有 所 見 者 (%)
179	10 (5.6)

石綿健康診断

受 診 者	有 所 見 者 (%)
17	5 (29.4)

行政指導に基づく特殊健康診断

VDT作業健康診断

受 診 者	有 所 見 者 (%)
9,652	3,709 (38.4)

運転業務健康診断

受 診 者	有 所 見 者 (%)
249	155 (62.2)

電離放射線健康診断

受 診 者	有 所 見 者 (%)
6,542	2,140 (32.7)

特定化学物質健康診断

受 診 者	有 所 見 者 (%)
3,122	398 (12.7)

高気圧業務健康診断

受 診 者	有 所 見 者 (%)
135	39 (28.9)

騒音作業健康診断

受 診 者	有 所 見 者 (%)
1,694	237 (14.0)

レーザー光線を取り扱う業務

受 診 者	有 所 見 者 (%)
102	33 (32.4)

各 種 が ん 検 診 等



4-3 各種がん検診等

4-3-1 概要

多様化する事業所のニーズに応えるため、職域保健においても、各種がん検診を実施している。

働き盛り世代のがん罹患は、社会や家庭において損失が大きく、早期発見・早期治療が極めて重要であることから、当協会では積極的に実施を働きかけている。

平成24年から、胃がん検診の選択肢の一つとしてヘリコバクター・ピロリ菌感染の有無と、ペプシノゲン検査の組み合わせによる胃がんリスク検診（ABC検診）を行い、受診機会の拡大を図った。

4-3-2 実施状況

各がん検診の受診者数は、肺がん（X線）38,949人、胃がん9,121人、大腸がん19,997人、乳がん1,807人、子宮頸がん1,589人、腹部超音波1,899人、前立腺がん3,135人であった。また、骨粗鬆症検診は、495人であった。

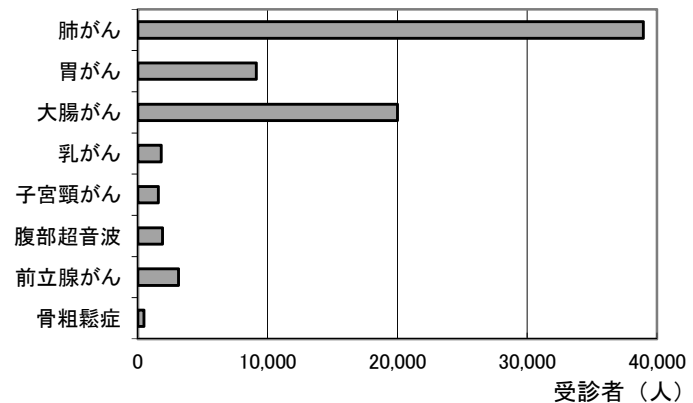


図4-3-1 各種がん検診等実績数

4-3-3 胃がんリスク検診（ABC検診）

20歳以上（特に40歳以上を対象）とし、受診間隔は、原則5年に1度とする。

検査方法は、血清中のペプシノゲン（ペプシノゲンⅠ・ペプシノゲンⅡ・ペプシノゲンⅠ/Ⅱ比）ならびにヘリコバクター・ピロリ抗体濃度を測定する。

表4-3-1 胃がんリスク検診（ABC検診）判定基準

		ヘリコバクター・ピロリ菌検査*2	
		(-)	(+)
ペプシノゲン検査 *1	(-)	A (胃粘膜は健康的)	B (胃疾患の軽度危険群)
	(+)	D (胃疾患の高危険群)	C (胃疾患の中等度危険群)
	(2+)		
	(3+)		

(胃疾患…がん、潰瘍など)

*1 ペプシノゲン検査判定基準

判 定		判 定 基 準
(-)	異常認めず	PGⅠ > 70ng/mL または Ⅰ/Ⅱ比 > 3.0
(+)	胃粘膜軽度萎縮	PGⅠ 70ng/mL 以下かつ Ⅰ/Ⅱ比 3.0 以下
(2+)	胃粘膜中等度萎縮	PGⅠ 50ng/mL 以下かつ Ⅰ/Ⅱ比 3.0 以下
(3+)	胃粘膜高度萎縮	PGⅠ 30ng/mL 以下かつ Ⅰ/Ⅱ比 2.0 以下

*2 ヘリコバクター・ピロリ菌検査判定基準

判 定		判 定 基 準
(-)	陰性	4.0単位/mL 未満
(+)	陽性	4.0単位/mL 以上

表4-3-2 各種がん検診等実績数

単位:人(%)

検 診 項 目		受 診 者	要精密検査 (%)	精密検査受診者 (%)	発 見 が ん (%)
肺 が ん	X 線	38,949	293 (0.8)	208 (71.0)	4 (0.01)
	喀 痰 細 胞 診	2,098	- (0.0)	- (-)	- (0.00)
	胸 部 C T	145	7 (4.8)	6 (85.7)	- (0.00)
胃 が ん	X 線	9,121	481 (5.3)	273 (56.8)	3 (0.03)
	ペプシノゲン	1	- (0.0)	- (-)	- (0.00)
	リ ス ク 検 診	2,148	343 (16.0)	追 跡 調 査 未 実 施	
大 腸 が ん		19,997	1,079 (5.4)	515 (47.7)	9 (0.05)
乳 が ん	乳 房 X 線	759	31 (4.1)	27 (87.1)	4 (0.53)
	乳 房 超 音 波	1,459	40 (2.7)	35 (87.5)	3 (0.21)
子 宮 頸 が ん		1,589	30 (1.9)	23 (76.7)	- (0.00)
腹 部 超 音 波		1,899	111 (5.8)	63 (56.8)	- (0.00)
前 立 腺 が ん		3,135	206 (6.6)	94 (45.6)	3 (0.10)
骨 粗 鬆 症		495	25 (5.1)	追 跡 調 査 未 実 施	

※ リスク検診の要精密検査は、判定がB・C・D群の該当者

表4-3-3 年度別実績

単位:人

年度 検診項目		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
肺がん検診	X線	24,985	25,171	25,699	25,871	25,336	24,994	24,020	29,950	30,312	30,060	38,949
	喀痰細胞診	3,980	3,476	3,570	3,130	2,905	2,874	2,890	3,186	2,227	2,078	2,098
	胸部CT	1,020	666	732	666	739	569	453	529	361	171	145
胃がん検診	X線	11,139	13,278	12,853	11,146	10,568	12,299	11,214	10,397	9,456	9,211	9,121
	ペプシノゲン	1,132	868	1,292	684	928	261	651	175	588	166	1
	リスク検診	-	-	-	-	1,335	1,769	2,470	2,036	2,158	3,166	2,148
大腸がん検診		13,593	14,901	15,384	13,993	15,298	17,338	17,598	18,596	18,345	20,068	19,997
乳がん検診	視触診	33	45	161	162	177	112	113	126	-	-	-
	X線	915	909	780	746	671	927	862	881	891	1,013	759
	超音波	1,556	1,157	1,332	1,468	1,373	1,510	1,481	1,307	1,459	1,493	1,459
子宮頸がん検診		1,434	1,122	1,390	1,391	1,489	1,606	1,413	1,521	1,431	1,486	1,589
腹部超音波検診		2,637	3,152	3,145	2,641	1,314	1,763	1,750	1,795	1,734	1,899	1,899
前立腺がん検診		3,361	3,484	3,704	3,600	3,423	3,452	3,695	3,595	3,507	3,354	3,135
骨粗鬆症検診		731	946	1,015	806	895	614	540	483	647	622	495

表4-3-4 肺がん検診 胸部X線検査（性・年齢階級別）実績

単位:人(%)

		受診者	要精密検査		精密検査受診者		精密検査結果内訳						確定原発性肺がん		0期, I A期
							報告が ん	その他の 悪性新生物	その他の 新生物	新生物 以外の 疾患	異常 なし	検査 中			
合 計	男	20,648	189	(0.9)	122	(64.6)	2	-	-	36	72	12	2	(0.01)	-
	女	18,301	104	(0.6)	86	(82.7)	2	-	1	29	46	8	2	(0.01)	-
	計	38,949	293	(0.8)	208	(71.0)	4	-	1	65	118	20	4	(0.01)	-
～39	男	11,568	32	(0.3)	22	(68.8)	-	-	-	3	16	3	-	(0.00)	-
	女	8,558	14	(0.2)	10	(71.4)	1	-	-	3	6	-	1	(0.01)	-
	計	20,126	46	(0.2)	32	(69.6)	1	-	-	6	22	3	1	(0.00)	-
40～44	男	1,958	14	(0.7)	10	(71.4)	-	-	-	1	8	1	-	(0.00)	-
	女	2,011	5	(0.2)	4	(80.0)	-	-	-	2	2	-	-	(0.00)	-
	計	3,969	19	(0.5)	14	(73.7)	-	-	-	3	10	1	-	(0.00)	-
45～49	男	1,699	17	(1.0)	9	(52.9)	-	-	-	1	8	-	-	(0.00)	-
	女	2,176	15	(0.7)	13	(86.7)	1	-	-	2	8	2	1	(0.05)	-
	計	3,875	32	(0.8)	22	(68.8)	1	-	-	3	16	2	1	(0.03)	-
50～54	男	1,391	20	(1.4)	16	(80.0)	-	-	-	3	12	1	-	(0.00)	-
	女	2,012	11	(0.5)	11	(100.0)	-	-	1	3	4	3	-	(0.00)	-
	計	3,403	31	(0.9)	27	(87.1)	-	-	1	6	16	4	-	(0.00)	-
55～59	男	1,635	32	(2.0)	19	(59.4)	-	-	-	7	10	2	-	(0.00)	-
	女	1,878	21	(1.1)	17	(81.0)	-	-	-	7	9	1	-	(0.00)	-
	計	3,513	53	(1.5)	36	(67.9)	-	-	-	14	19	3	-	(0.00)	-
60～64	男	1,693	48	(2.8)	29	(60.4)	1	-	-	12	12	4	1	(0.06)	-
	女	1,234	25	(2.0)	23	(92.0)	-	-	-	9	13	1	-	(0.00)	-
	計	2,927	73	(2.5)	52	(71.2)	1	-	-	21	25	5	1	(0.03)	-
65～69	男	574	18	(3.1)	13	(72.2)	-	-	-	7	5	1	-	(0.00)	-
	女	343	9	(2.6)	4	(44.4)	-	-	-	2	1	1	-	(0.00)	-
	計	917	27	(2.9)	17	(63.0)	-	-	-	9	6	2	-	(0.00)	-
70～74	男	105	6	(5.7)	3	(50.0)	1	-	-	1	1	-	1	(0.95)	-
	女	49	3	(6.1)	3	(100.0)	-	-	-	-	3	-	-	(0.00)	-
	計	154	9	(5.8)	6	(66.7)	1	-	-	1	4	-	1	(0.65)	-
75～79	男	21	2	(9.5)	1	(50.0)	-	-	-	1	-	-	-	(0.00)	-
	女	7	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-
	計	28	2	(7.1)	1	(50.0)	-	-	-	1	-	-	-	(0.00)	-
80～	男	4	-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(0.00)	-
	女	33	1	(3.0)	1	(100.0)	-	-	-	1	-	-	-	(0.00)	-
	計	37	1	(2.7)	1	(100.0)	-	-	-	1	-	-	-	(0.00)	-

表4-3-5 肺がん検診 喀痰細胞診検査（性・年齢階級別）実績

単位:人(%)

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳						確定原発性肺がん	0期, I A期
					報告が ん	その他の 悪性新生物	その他の 新生物	新生物 以外の 疾患	異常 なし	検査 中		
合 計	男	1,703	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	395	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	2,098	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
～39	男	95	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	15	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	110	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
40～44	男	365	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	89	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	454	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
45～49	男	331	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	87	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	418	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
50～54	男	301	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	72	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	373	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
55～59	男	312	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	64	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	376	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
60～64	男	230	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	53	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	283	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
65～69	男	50	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	13	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	63	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
70～74	男	17	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	2	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	19	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
75～79	男	2	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
80～	男	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-

表4-3-6 肺がん検診 胸部ＣＴ検査（性・年齢階級別）実績

単位:人(%)

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳						確定原発性肺がん	0期, I A期
					報告がん	その他の悪性新生物	その他の新生物	新生物以外の疾患	異常なし	検査中		
合 計	男	82	6 (7.3)	5 (83.3)	-	-	-	1	3	1	- (0.00)	-
	女	63	1 (1.6)	1 (100.0)	-	-	-	-	-	1	- (0.00)	-
	計	145	7 (4.8)	6 (85.7)	-	-	-	1	3	2	- (0.00)	-
～39	男	3	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	1	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	4	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
40～44	男	11	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	12	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	23	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
45～49	男	21	2 (9.5)	1 (50.0)	-	-	-	1	-	-	- (0.00)	-
	女	14	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	35	2 (5.7)	1 (50.0)	-	-	-	1	-	-	- (0.00)	-
50～54	男	14	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	17	1 (5.9)	1 (100.0)	-	-	-	-	-	1	- (0.00)	-
	計	31	1 (3.2)	1 (100.0)	-	-	-	-	-	1	- (0.00)	-
55～59	男	26	3 (11.5)	3 (100.0)	-	-	-	-	2	1	- (0.00)	-
	女	13	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	39	3 (7.7)	3 (100.0)	-	-	-	-	2	1	- (0.00)	-
60～64	男	3	1 (33.3)	1 (100.0)	-	-	-	-	1	-	- (0.00)	-
	女	6	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	9	1 (11.1)	1 (100.0)	-	-	-	-	1	-	- (0.00)	-
65～69	男	3	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	3	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
70～74	男	1	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
75～79	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80～	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表4-3-7 胃がん検診 X線検査（性・年齢階級別）実績

単位:人(%)

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳							確定胃がん	早期（再掲）
					報告胃がん	胃潰瘍	胃ポリープ	胃炎	十二指腸潰瘍	その他	異常なし		
合 計	男	6,717	397 (5.9)	210 (52.9)	3	17	20	132	2	20	16	3 (0.04)	2
	女	2,404	84 (3.5)	63 (75.0)	-	5	12	32	-	6	8	- (0.00)	-
	計	9,121	481 (5.3)	273 (56.8)	3	22	32	164	2	26	24	3 (0.03)	2
～39	男	1,482	39 (2.6)	27 (69.2)	-	2	3	17	-	2	3	- (0.00)	-
	女	592	10 (1.7)	7 (70.0)	-	-	2	2	-	-	3	- (0.00)	-
	計	2,074	49 (2.4)	34 (69.4)	-	2	5	19	-	2	6	- (0.00)	-
40～44	男	1,303	55 (4.2)	31 (56.4)	-	2	3	16	1	4	5	- (0.00)	-
	女	405	13 (3.2)	11 (84.6)	-	1	1	6	-	2	1	- (0.00)	-
	計	1,708	68 (4.0)	42 (61.8)	-	3	4	22	1	6	6	- (0.00)	-
45～49	男	1,178	50 (4.2)	22 (44.0)	-	1	4	14	-	1	2	- (0.00)	-
	女	440	12 (2.7)	11 (91.7)	-	-	4	5	-	1	1	- (0.00)	-
	計	1,618	62 (3.8)	33 (53.2)	-	1	8	19	-	2	3	- (0.00)	-
50～54	男	963	62 (6.4)	26 (41.9)	-	2	2	16	-	5	1	- (0.00)	-
	女	387	15 (3.9)	10 (66.7)	-	1	1	5	-	1	2	- (0.00)	-
	計	1,350	77 (5.7)	36 (46.8)	-	3	3	21	-	6	3	- (0.00)	-
55～59	男	783	76 (9.7)	38 (50.0)	2	6	4	21	-	4	1	2 (0.26)	1
	女	293	12 (4.1)	7 (58.3)	-	1	-	6	-	-	-	- (0.00)	-
	計	1,076	88 (8.2)	45 (51.1)	2	7	4	27	-	4	1	2 (0.19)	1
60～64	男	696	80 (11.5)	47 (58.8)	1	2	2	36	1	2	3	1 (0.14)	1
	女	226	17 (7.5)	13 (76.5)	-	2	2	6	-	2	1	- (0.00)	-
	計	922	97 (10.5)	60 (61.9)	1	4	4	42	1	4	4	1 (0.11)	1
65～69	男	266	29 (10.9)	17 (58.6)	-	2	1	12	-	1	1	- (0.00)	-
	女	50	4 (8.0)	3 (75.0)	-	-	2	1	-	-	-	- (0.00)	-
	計	316	33 (10.4)	20 (60.6)	-	2	3	13	-	1	1	- (0.00)	-
70～74	男	43	5 (11.6)	2 (40.0)	-	-	1	-	-	1	-	- (0.00)	-
	女	11	1 (9.1)	1 (100.0)	-	-	-	1	-	-	-	- (0.00)	-
	計	54	6 (11.1)	3 (50.0)	-	-	1	1	-	1	-	- (0.00)	-
75～79	男	1	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	- -	-
	計	1	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
80～	男	2	1 (50.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	- -	-
	計	2	1 (50.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-

表4-3-8 胃がんリスク検診（ABC検診）（性・年齢階級別）実績

単位:人(%)

		受 診 者	判 定 内 訳			
			A群 胃粘膜は 健康的	B群 胃疾患の 軽度危険群	C群 胃疾患の 中等危険群	D群 胃疾患の 高危険群
合 計	男	1,411	1,188 (84.2)	166 (11.8)	44 (3.1)	13 (0.9)
	女	737	617 (83.7)	66 (9.0)	45 (6.1)	9 (1.2)
	計	2,148	1,805 (84.0)	232 (10.8)	89 (4.1)	22 (1.0)
～39	男	899	797 (88.7)	82 (9.1)	15 (1.7)	5 (0.6)
	女	382	342 (89.5)	25 (6.5)	12 (3.1)	3 (0.8)
	計	1,281	1,139 (88.9)	107 (8.4)	27 (2.1)	8 (0.6)
40～44	男	147	115 (78.2)	27 (18.4)	5 (3.4)	– (0.0)
	女	84	74 (88.1)	1 (1.2)	6 (7.1)	3 (3.6)
	計	231	189 (81.8)	28 (12.1)	11 (4.8)	3 (1.3)
45～49	男	109	87 (79.8)	16 (14.7)	5 (4.6)	1 (0.9)
	女	76	65 (85.5)	4 (5.3)	6 (7.9)	1 (1.3)
	計	185	152 (82.2)	20 (10.8)	11 (5.9)	2 (1.1)
50～54	男	100	74 (74.0)	16 (16.0)	7 (7.0)	3 (3.0)
	女	80	58 (72.5)	16 (20.0)	6 (7.5)	– (0.0)
	計	180	132 (73.3)	32 (17.8)	13 (7.2)	3 (1.7)
55～59	男	75	60 (80.0)	12 (16.0)	2 (2.7)	1 (1.3)
	女	63	44 (69.8)	11 (17.5)	8 (12.7)	– (0.0)
	計	138	104 (75.4)	23 (16.7)	10 (7.2)	1 (0.7)
60～64	男	43	33 (76.7)	4 (9.3)	5 (11.6)	1 (2.3)
	女	25	18 (72.0)	4 (16.0)	2 (8.0)	1 (4.0)
	計	68	51 (75.0)	8 (11.8)	7 (10.3)	2 (2.9)
65～69	男	19	14 (73.7)	4 (21.1)	1 (5.3)	– (0.0)
	女	14	11 (78.6)	2 (14.3)	– (0.0)	1 (7.1)
	計	33	25 (75.8)	6 (18.2)	1 (3.0)	1 (3.0)
70～74	男	13	7 (53.8)	3 (23.1)	2 (15.4)	1 (7.7)
	女	9	4 (44.4)	3 (33.3)	2 (22.2)	– (0.0)
	計	22	11 (50.0)	6 (27.3)	4 (18.2)	1 (4.5)
75～79	男	5	1 (20.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	1 (20.0)
	女	4	1 (25.0)	– (0.0)	3 (75.0)	– (0.0)
	計	9	2 (22.2)	1 (11.1)	5 (55.6)	1 (11.1)
80～	男	1	– (0.0)	1 (100.0)	– (0.0)	– (0.0)
	女	–	–	–	–	–
	計	1	– (0.0)	1 (100.0)	– (0.0)	– (0.0)

表4-3-9 大腸がん検診（性・年齢階級別）実績

単位:人(%)

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精密検査結果内訳								確定大腸がん	早期（再掲）
					報告がん	ポリプ	ポリポース	潰瘍性大腸炎	大腸憩室	痔疾	その他の	異常なし		
合 計	男	12,244	714 (5.8)	327 (45.8)	8	174	-	1	27	42	4	71	8 (0.07)	7
	女	7,753	365 (4.7)	188 (51.5)	1	70	-	3	25	27	7	55	1 (0.01)	1
	計	19,997	1,079 (5.4)	515 (47.7)	9	244	-	4	52	69	11	126	9 (0.05)	8
～39	男	1,778	80 (4.5)	42 (52.5)	-	15	-	-	1	9	-	17	- (0.00)	-
	女	969	50 (5.2)	21 (42.0)	-	8	-	1	2	5	-	5	- (0.00)	-
	計	2,747	130 (4.7)	63 (48.5)	-	23	-	1	3	14	-	22	- (0.00)	-
40～44	男	2,311	113 (4.9)	51 (45.1)	2	15	-	-	6	11	1	16	2 (0.09)	2
	女	1,275	61 (4.8)	27 (44.3)	-	8	-	1	4	1	-	13	- (0.00)	-
	計	3,586	174 (4.9)	78 (44.8)	2	23	-	1	10	12	1	29	2 (0.06)	2
45～49	男	2,126	84 (4.0)	37 (44.0)	-	21	-	-	2	4	-	10	- (0.00)	-
	女	1,402	58 (4.1)	30 (51.7)	1	9	-	-	3	5	2	10	1 (0.07)	1
	計	3,528	142 (4.0)	67 (47.2)	1	30	-	-	5	9	2	20	1 (0.03)	1
50～54	男	1,722	91 (5.3)	41 (45.1)	1	23	-	-	3	8	-	6	1 (0.06)	1
	女	1,324	65 (4.9)	36 (55.4)	-	14	-	-	4	7	-	11	- (0.00)	-
	計	3,046	156 (5.1)	77 (49.4)	1	37	-	-	7	15	-	17	1 (0.03)	1
55～59	男	1,697	118 (7.0)	46 (39.0)	1	27	-	-	6	3	-	9	1 (0.06)	1
	女	1,342	54 (4.0)	35 (64.8)	-	14	-	-	5	5	3	8	- (0.00)	-
	計	3,039	172 (5.7)	81 (47.1)	1	41	-	-	11	8	3	17	1 (0.03)	1
60～64	男	1,711	126 (7.4)	61 (48.4)	1	42	-	1	7	3	1	6	1 (0.06)	1
	女	953	48 (5.0)	26 (54.2)	-	13	-	1	2	4	2	4	- (0.00)	-
	計	2,664	174 (6.5)	87 (50.0)	1	55	-	2	9	7	3	10	1 (0.04)	1
65～69	男	683	76 (11.1)	38 (50.0)	3	22	-	-	1	4	2	6	3 (0.44)	2
	女	354	20 (5.6)	9 (45.0)	-	3	-	-	3	-	-	3	- (0.00)	-
	計	1,037	96 (9.3)	47 (49.0)	3	25	-	-	4	4	2	9	3 (0.29)	2
70～74	男	179	18 (10.1)	7 (38.9)	-	5	-	-	1	-	-	1	- (0.00)	-
	女	113	6 (5.3)	3 (50.0)	-	1	-	-	2	-	-	-	- (0.00)	-
	計	292	24 (8.2)	10 (41.7)	-	6	-	-	3	-	-	1	- (0.00)	-
75～79	男	33	8 (24.2)	4 (50.0)	-	4	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	13	1 (7.7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	計	46	9 (19.6)	4 (44.4)	-	4	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
80～	男	4	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-
	女	8	2 (25.0)	1 (50.0)	-	-	-	-	-	-	-	1	- (0.00)	-
	計	12	2 (16.7)	1 (50.0)	-	-	-	-	-	-	-	1	- (0.00)	-

表4-3-10 乳がん検診（検診方法別・年齢階級別）実績

単位:人(%)

	検診方式	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳								確定乳がん		早期（再掲）
					報告乳がん	線維腺腫	乳腺症	乳頭腫	その他の	未確定	異常なし				
合計	乳房X線	759	31 (4.1)	27 (87.1)	4	5	8	-	-	-	10	4 (0.53)	3		
	超音波	1,459	40 (2.7)	35 (87.5)	3	11	11	3	1	1	5	3 (0.21)	3		
～29	乳房X線	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	- -	-		
	超音波	90	1 (1.1)	1 (100.0)	-	1	-	-	-	-	-	- (0.00)	-		
30～34	乳房X線	6	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-		
	超音波	256	12 (4.7)	11 (91.7)	-	4	4	-	1	-	2	- (0.00)	-		
35～39	乳房X線	10	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-		
	超音波	213	7 (3.3)	7 (100.0)	-	4	1	1	-	-	1	- (0.00)	-		
40～44	乳房X線	190	7 (3.7)	7 (100.0)	1	2	2	-	-	-	2	1 (0.53)	1		
	超音波	249	8 (3.2)	8 (100.0)	1	2	3	1	-	-	1	1 (0.40)	1		
45～49	乳房X線	169	12 (7.1)	10 (83.3)	2	2	3	-	-	-	3	2 (1.18)	2		
	超音波	243	8 (3.3)	5 (62.5)	2	-	1	1	-	-	1	2 (0.82)	2		
50～54	乳房X線	152	3 (2.0)	2 (66.7)	-	-	1	-	-	-	1	- (0.00)	-		
	超音波	182	1 (0.5)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-		
55～56	乳房X線	62	3 (4.8)	2 (66.7)	-	-	1	-	-	-	1	- (0.00)	-		
	超音波	74	2 (2.7)	2 (100.0)	-	-	1	-	-	1	-	- (0.00)	-		
57～59	乳房X線	62	4 (6.5)	4 (100.0)	1	-	1	-	-	-	2	1 (1.61)	-		
	超音波	68	1 (1.5)	1 (100.0)	-	-	1	-	-	-	-	- (0.00)	-		
60～64	乳房X線	82	1 (1.2)	1 (100.0)	-	1	-	-	-	-	-	- (0.00)	-		
	超音波	63	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-		
65～69	乳房X線	21	1 (4.8)	1 (100.0)	-	-	-	-	-	-	1	- (0.00)	-		
	超音波	19	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-		
70～74	乳房X線	5	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-		
	超音波	2	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	-		
75～79	乳房X線	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	- -	-		
	超音波	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	- -	-		
80～	乳房X線	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	- -	-		
	超音波	-	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	- -	-		

表4-3-11 子宮頸がん検診（年齢階級別）実績

単位：人（％）

	受診者	要指導	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳												
					子宮がん				A	C	C	（3又は2で区別できない者）	C	子宮頸がん疑い未確定	A子宮頸がん・ CIN Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	子宮頸がん以外の疾患	異常なし
					計	子宮頸がん			I	N	N	I	N	I	N	I	N
						扁平上皮癌	腺がん	その他のがん									
合 計	1,589	84 (5.3)	30 (1.9)	23 (76.7)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	1	-	6	7	8	1
～19	2	- (0.0)	1 (50.0)	-	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～24	87	9 (10.3)	3 (3.4)	3 (100.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-
25～29	258	19 (7.4)	8 (3.1)	7 (87.5)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	-
30～34	217	14 (6.5)	4 (1.8)	4 (100.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1
35～39	164	7 (4.3)	5 (3.0)	3 (60.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-
40～44	240	13 (5.4)	3 (1.3)	3 (100.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
45～49	206	6 (2.9)	3 (1.5)	2 (66.7)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
50～54	165	10 (6.1)	2 (1.2)	1 (50.0)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
55～59	151	4 (2.6)	- (0.0)	-	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60～64	79	2 (2.5)	1 (1.3)	-	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
65～69	19	- (0.0)	- (0.0)	-	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70～74	1	- (0.0)	- (0.0)	-	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75～79	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表4-3-12 腹部超音波検診（性・年齢階級別）実績

		受診者	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳（臓器別）															
					肝 臓								胆 嚢							
					が ん	肝 血 管 腫	肝 硬 変	慢 性 肝 炎	脂 肪 肝	肝 嚢 胞	肝 内 石 灰 化	そ の 他	異 常 な し	が ん	胆 嚢 腺 筋 症	胆 嚢 ポ リ ー プ	胆 嚢 結 石	胆 嚢 壁 内 結 石	そ の 他	異 常 な し
合 計	男	1,365	74 (5.4)	36 (48.6)	-	10	-	-	5	5	-	-	7	-	3	2	4	-	-	9
	女	534	37 (6.9)	27 (73.0)	-	8	-	-	10	3	-	1	2	-	4	4	1	-	1	8
	計	1,899	111 (5.8)	63 (56.8)	-	18	-	-	15	8	-	1	9	-	7	6	5	-	1	17
～39	男	279	8 (2.9)	3 (37.5)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	112	4 (3.6)	2 (50.0)	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	391	12 (3.1)	5 (41.7)	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
40～44	男	257	17 (6.6)	12 (70.6)	-	5	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	1	-	-	4
	女	119	5 (4.2)	5 (100.0)	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1
	計	376	22 (5.9)	17 (77.3)	-	9	-	-	1	2	-	-	2	-	-	1	2	-	-	5
45～49	男	195	9 (4.6)	6 (66.7)	-	2	-	-	1	1	-	-	2	-	-	1	1	-	-	3
	女	95	12 (12.6)	8 (66.7)	-	2	-	-	5	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
	計	290	21 (7.2)	14 (66.7)	-	4	-	-	6	2	-	-	2	-	-	3	1	-	-	6
50～54	男	200	13 (6.5)	5 (38.5)	-	1	-	-	1	1	-	-	1	-	1	1	1	-	-	1
	女	92	6 (6.5)	4 (66.7)	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	2	-	-	-	-	1
	計	292	19 (6.5)	9 (47.4)	-	1	-	-	3	2	-	-	2	-	3	1	1	-	-	2
55～59	男	245	12 (4.9)	5 (41.7)	-	1	-	-	2	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	1
	女	67	5 (7.5)	4 (80.0)	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	計	312	17 (5.4)	9 (52.9)	-	1	-	-	3	1	-	-	1	-	2	-	1	-	-	2
60～64	男	150	12 (8.0)	4 (33.3)	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	女	29	2 (6.9)	1 (50.0)	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	179	14 (7.8)	5 (35.7)	-	2	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1
65～69	男	29	2 (6.9)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	15	3 (20.0)	3 (100.0)	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	1
	計	44	5 (11.4)	3 (60.0)	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	1
70～74	男	7	1 (14.3)	1 (100.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	10	1 (10.0)	1 (100.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75～79	男	2	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	4	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80～	男	1	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

* 精密検査結果内訳（臓器別）は、疾患重複者あり

単位:人(%)

精 密 検 査 結 果 内 訳 (臓 器 別)																									延べ疾患患者数				
胆道系					膵臓					腎臓							脾臓							その他の臓器		全臓器異常なし			
がん	胆管結石	胆管拡張	その他	異常なし	がん	良性腫瘍	慢性膵炎	膵嚢胞	その他	異常なし	がん	良性腫瘍	腎結石	腎嚢胞	水腎症	腎萎縮	その他	異常なし	脾内腫瘍	脾腫	脾血腫	脾内石灰化	脾嚢胞				副脾	その他	異常なし
-	1	-	-	15	-	1	-	4	-	16	-	1	4	9	-	-	1	8	-	1	-	-	1	1	-	14	-	2	53
-	-	-	-	11	-	1	-	2	-	9	-	-	2	3	-	-	3	6	-	1	-	-	-	1	-	11	-	1	45
-	1	-	-	26	-	2	-	6	-	25	-	1	6	12	-	-	4	14	-	2	-	-	1	2	-	25	-	3	98
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5	-	-	1	3	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	5	-	2	13
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	11
-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6	-	-	1	3	-	-	2	5	-	1	-	-	-	2	-	6	-	2	24
-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	3	-	-	2	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	12
-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	12
-	-	-	-	7	-	-	-	1	-	6	-	-	3	3	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	24
-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	9
-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	6
-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	4	-	-	15
-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	1	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	10
-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	6
-	1	-	-	3	-	1	-	1	-	3	-	-	1	3	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	16
-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	6
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	2	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	7
-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	2	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	7
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																		

表4-3-13 前立腺がん検診（年齢階級別）実績

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	精 密 検 査 結 果 内 訳								確 定 前 立 腺 が ん
				報 告 が ん	そ の 他 の が ん	前 立 腺 肥 大 症	前 立 腺 炎	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し	検 査 中		
合 計	3, 135	206 (6.6)	94 (45.6)	4	-	23	9	2	13	43	3 (0.10)	
～39	26	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	
40～44	44	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	
45～49	69	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	
50～54	818	25 (3.1)	15 (60.0)	2	-	2	4	1	1	5	1 (0.12)	
55～59	1, 177	70 (5.9)	31 (44.3)	-	-	7	3	-	6	15	- (0.00)	
60～64	788	88 (11.2)	40 (45.5)	-	-	14	1	1	5	19	- (0.00)	
65～69	152	18 (11.8)	6 (33.3)	2	-	-	1	-	1	2	2 (1.32)	
70～74	47	4 (8.5)	2 (50.0)	-	-	-	-	-	-	2	- (0.00)	
75～79	13	- (0.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	
80～	1	1 (100.0)	- -	-	-	-	-	-	-	-	- (0.00)	

表4-3-14 骨粗鬆症検診（年齢階級別）実績

単位:人(%)

	受診者	判 定 内 訳					
		異常認めず		要 指 導		要精密検査	
合 計	495	327	(66.1)	143	(28.9)	25	(5.1)
～ 19	-	-	-	-	-	-	-
20 ～ 24	-	-	-	-	-	-	-
25 ～ 29	-	-	-	-	-	-	-
30 ～ 34	12	10	(83.3)	2	(16.7)	-	(0.0)
35 ～ 39	9	9	(100.0)	-	(0.0)	-	(0.0)
小 計	21	19	(90.5)	2	(9.5)	-	(0.0)
40 ～ 44	93	72	(77.4)	18	(19.4)	3	(3.2)
45 ～ 49	125	102	(81.6)	20	(16.0)	3	(2.4)
50 ～ 54	78	59	(75.6)	16	(20.5)	3	(3.8)
55 ～ 59	85	36	(42.4)	41	(48.2)	8	(9.4)
60 ～ 64	71	27	(38.0)	39	(54.9)	5	(7.0)
65 ～ 69	19	9	(47.4)	7	(36.8)	3	(15.8)
70 ～ 74	3	3	(100.0)	-	(0.0)	-	(0.0)
75 ～ 79	-	-	-	-	-	-	-
80 ～	-	-	-	-	-	-	-
小 計	474	308	(65.0)	141	(29.7)	25	(5.3)

総合健康診断(人間ドック)



4-4 総合健康診断（人間ドック）

4-4-1 概要

人間ドックは、6月から翌年2月までの毎週木曜日を主として、年間30日間で557名を実施した。主な対象者は官公署および一般事業所の従業員である。

4-4-2 実施状況

判定結果は、軽度異常52人（9.3%）、6ヶ月後再検査125人（22.4%）、3ヶ月後再検査3人（0.5%）、要精密検査280人（50.3%）、要医療69人（12.4%）、治療継続28人（5.0%）で、異常なしは該当者がいなかった。

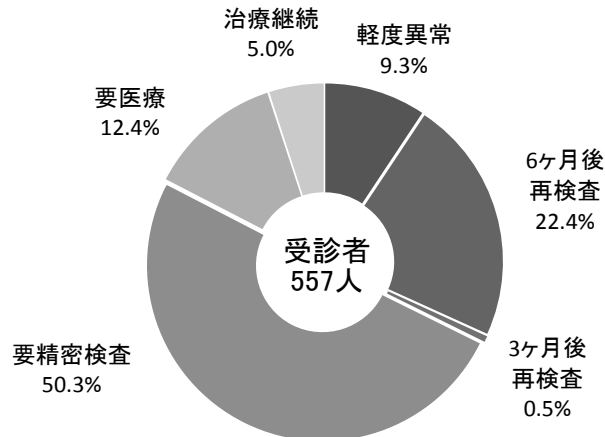


図4-4-1 総合健康診断受診者に対する判定結果の割合

表4-4-1 検査項目

一般計測	身長 体重 体格指数(BMI) 体脂肪率 視力検査 眼圧検査 聴力検査 腹囲
尿検査	糖 蛋白 潜血 ウロビリノーゲン ケトン体 ビリルビン 亜硝酸塩 PH 比重 沈渣
循環器系検査	心電図検査 血圧測定 眼底検査
呼吸器系検査	肺機能検査 胸部X線検査 ※喀痰細胞診検査
消化器系検査	胃部X線検査 免疫学的便潜血反応検査(二日法) ※ 胃がんリスク検診
腹部超音波検査	肝臓 胆のう 膵臓 腎臓 脾臓
血液生化学検査	脂質代謝検査(総コレステロール HDLコレステロール LDLコレステロール 中性脂肪) 肝機能検査(AST ALT γ-GT ALP 総ビリルビン コリンエステラーゼ) 血清蛋白検査(総蛋白 アルブミン 蛋白分画) 腎機能検査(クレアチニン eGFR 尿酸) 糖代謝検査(血糖 ヘモグロビンA1c) 膵機能検査(血清アミラーゼ) 電解質検査(ナトリウム カリウム クロール カルシウム) ※前立腺検査(PSA) ※腫瘍マーカー(CEA SLX) ※心不全リスク検査(NT-proBNP)
血液一般検査	貧血検査(赤血球数 血色素量 ヘマトクリット MCV MCH MCHC) 白血球数 血小板数 白血球百分率
血清学的検査	梅毒検査(RPR TP抗体) 肝炎検査(HBs抗原 HCV抗体(初回のみ)) 炎症性疾患検査(CRP) 関節リウマチ検査(抗CCP抗体)
婦人科検診	※乳がん検査(乳房X線検査 乳房超音波検査) 子宮頸がん検査
骨粗鬆症検査	※骨量測定(QUS法)

※は希望検査項目

表4-4-2 健診実績

単位:人(%)

	受診者	総 合 判 定 内 訳						
		A 異常なし	B 軽度異常	C1 6か月後再検	C2 3か月後再検	D1 要精密	D2 要医療	E 治療継続
合 計	557	- (0.0)	52 (9.3)	125 (22.4)	3 (0.5)	280 (50.3)	69 (12.4)	28 (5.0)
官 公 署 等	518	- (0.0)	49 (9.5)	120 (23.2)	3 (0.6)	257 (49.6)	66 (12.7)	23 (4.4)
一 般 事 業 所	27	- (0.0)	1 (3.7)	3 (11.1)	- (0.0)	17 (63.0)	2 (7.4)	4 (14.8)
個 人	12	- (0.0)	2 (16.7)	2 (16.7)	- (0.0)	6 (50.0)	1 (8.3)	1 (8.3)

表4-4-3 各種がん検診実績数

単位:人(%)

検 診 項 目		受診者	要精密検査 (%)		精密検査受診者 (%)		発見がん (%)	
肺がん (X線)		552	2	(0.4)	1	(50.0)	-	(0.00)
胃 が ん		504	15	(3.0)	7	(46.7)	-	(0.00)
大 腸 が ん		540	26	(4.8)	10	(38.5)	-	(0.00)
子 宮 頸 が ん		212	1	(0.5)	1	(100.0)	-	(0.00)
乳 が ん	乳 房 X 線	187	10	(5.3)	10	(100.0)	-	(0.00)
	乳 房 超 音 波	51	3	(5.9)	2	(66.7)	-	(0.00)
腹 部 超 音 波		554	26	(4.7)	14	(53.8)	-	(0.00)
前 立 腺 が ん		175	6	(3.4)	4	(66.7)	-	(0.00)

表4-4-4 検査項目別実績

単位:人(%)

		受診者	有所見者			受診者	有所見者
身体計測		555	243 (43.8)	血清蛋白分画	総蛋白	557	51 (9.2)
		557	103 (18.5)		アルブミン	557	1 (0.2)
		557	51 (9.2)		蛋白分画	557	61 (11.0)
聴力検査		556	41 (7.4)	腎機能	クレアチニン(eGFR)	557	52 (9.3)
尿	糖	557	15 (2.7)		尿酸	557	64 (11.5)
	蛋白	557	8 (1.4)	糖代謝	空腹時血糖	557	211 (37.9)
	潜血	557	26 (4.7)		ヘモグロビンA1c	557	336 (60.3)
	ウロビリノーゲン	557	- (0.0)	膵機能	血清アミラーゼ	557	36 (6.5)
検	ケトン体	557	14 (2.5)		ナトリウム	557	28 (5.0)
	ビリルビン	557	- (0.0)	電解質検査	カリウム	557	13 (2.3)
	亜硝酸塩	557	5 (0.9)		クロール	557	39 (7.0)
	P H	557	8 (1.4)		カルシウム	557	34 (6.1)
査	比重	557	9 (1.6)	腫瘍マーカー	C E A	132	1 (0.8)
	沈渣	531	98 (18.5)		S L X	132	5 (3.8)
心電図検査		557	110 (19.7)	心不全リスク検査		64	6 (9.4)
血圧測定		557	146 (26.2)	貧血検査	赤血球数	557	89 (16.0)
眼底検査		557	119 (21.4)		血色素量	557	92 (16.5)
胸部X線撮影		552	85 (15.4)		ヘマトクリット	557	80 (14.4)
肺機能検査		556	55 (9.9)		M C V	557	54 (9.7)
胃部X線DR撮影		504	196 (38.9)		白血球数	557	41 (7.4)
便潜血反応検査(二日法)		540	29 (5.4)		血小板数	557	67 (12.0)
胃がんリスク検診		40	- (0.0)	梅毒	R P R	557	1 (0.2)
喀痰検査		3	- (0.0)		T P 抗体	557	1 (0.2)
腹部超音波検査		554	459 (82.9)	肝炎	H B s 抗原	557	2 (0.4)
脂質代謝	総コレステロール	557	337 (60.5)		H C V 抗体	97	- (0.0)
	HDLコレステロール	557	20 (3.6)	血清学的検査	C R P	557	41 (7.4)
	LDLコレステロール	557	298 (53.5)		抗CCP抗体	557	4 (0.7)
	中性脂肪	557	84 (15.1)	前立腺	P S A	175	11 (6.3)
肝機能検査	A S T	557	51 (9.2)		P S A スコア	175	86 (49.1)
	A L T	557	102 (18.3)	子宮頸がん検査		212	11 (5.2)
	γ-G T	557	100 (18.0)	乳がん	乳房X線	187	10 (5.3)
	A L P	557	27 (4.8)		乳房超音波	51	3 (5.9)
	総ビリルビン	557	45 (8.1)	骨粗鬆症検査		39	16 (41.0)
	コリンエステラーゼ	557	30 (5.4)	診察		557	458 (82.2)

特 定 保 健 指 導



4－5 特定保健指導

4-5-1 概要

特定健康診査の結果に基づき、そのリスクに応じて生活習慣の改善を必要とするものに対して「積極的支援」「動機付け支援」の特定保健指導を実施する。これは生活習慣病に移行させないことを目的に、対象者自身が健診結果を理解し生活習慣を振り返り、改善するための行動計画を策定することを通じて自らが実践・継続（セルフケア）できるよう支援するものである。

平成20年度に「高齢者の医療の確保に関する法律」が制定されてから10年が経過し、第3期（平成30～35年度）に運用の大幅な弾力化が行われた。健診当日と後日電話で行動計画を完成する初回面接の分割化や、実績評価が従来の6ヶ月から3ヶ月後でも可能となった。

4-5-2 実施状況

平成30年度は個別契約で3保険者、集合契約（A）を通じて1保険者、集合契約（B）で7保険者、計376人実施した。初回面接未完了者が108人で、理由の内訳は「継続の意志なし」81人、「連絡不能」24人、「資格喪失」1人、「その他」2人であった。

途中終了者は27人で、理由の内訳は「継続の意志なし」16人、「業務多忙」5人、「連絡不能」4人、「病気療養」2人であった。

支援別割合は、積極的支援189人（50.3%）、動機付け支援187人（49.7%）であった。

支援別男女比は、積極的支援が男性92人（24.5%）、女性97人（25.8%）、動機付け支援が男性70人（18.6%）、女性117人（31.1%）であった。

初回面接時と3ヶ月以降の体重の比較において、体重減少がみられたのは、積極的支援72人（66.7%）、動機付け支援90人（70.3%）、全体は162人（68.6%）であった。

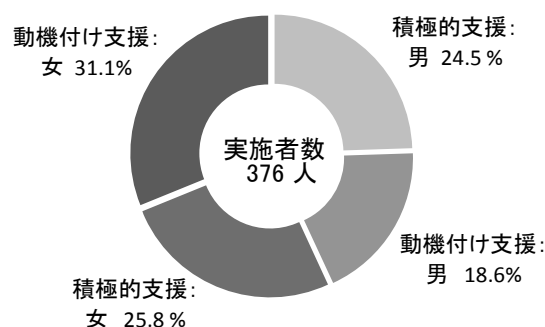


図4-5-1 特定保健指導支援別男女比(全体)

4-5-3 支援の方法

積極的支援、動機付け支援ともに初回面接では、生活習慣と健診結果の関係を理解させ、食事や運動等の生活習慣の改善の必要性を説明し、対象者とともに行動目標・行動計画を作成する。

第3期から初回面接が分割可能となった。健診受診当日に腹囲・BMI・血圧から対象と見込まれる者に対して面接を行い、後日全ての結果が揃ってから電話で行動計画を完成させる方法を一部実施している。

積極的支援においては、3ヶ月以上継続的に支援しポイントを獲得する制度を導入している。支援A（通信または個別支援）で160ポイント以上を獲得し、更に支援B（電話）で20ポイント、合計180ポイント以上の方法で行っている。

支援Aでは、定期的に取り組んでいる行動計画の実施状況を確認し実践的な支援を行っている。

支援Bでは、行動計画の実施状況の確認と維持するための賞賛や励ましを行っている。

動機付け支援は、初回の個別面接後、3ヶ月以降に最終評価となる。

最終評価では通信にて、行動目標・行動計画の達成状況や、身体状況・生活習慣・意欲等の評価を行っている。

1. 積極的支援

支援方法	初回	2週間	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月 (中間評価)	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月 (最終評価)	合計 ポイント
支援パターン ①	個別面接	支援A (メール 又は 手紙)	支援A (メール 又は 手紙)	支援A (メール 又は 手紙)	個別面接	支援A (メール 又は 手紙)	支援B (電話)	通信	300
ポイント	-	40	40	40	120	40	20	-	
支援パターン ②	個別面接	支援A (メール 又は 手紙)	支援A (メール 又は 手紙)	支援B (電話)	支援A (メール 又は 手紙)	支援A (メール 又は 手紙)	-	通信	180
ポイント	-	40	40	20	40	40	-	-	

支援方法	初回	2週間	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月 (最終評価)	-	-	-	合計 ポイント
支援パターン ③	個別 面接	電話	支援A (メール 又は 手紙)	支援B (電話)	支援A (メール 又は 手紙)	-	-	-	180
ポイント	-	60	40	20	60	-	-	-	

2. 動機付け支援

支援方法	初回		3ヶ月以降
支援パターン ①	個別面接	—————→	最終評価（通信）
支援パターン ②	個別 面接	電話	—————→ 最終評価（通信）

表4-5-1 特定保健指導の実績

1. 支援別状況

単位:人(%)

	実施者数		終了者数		初回面接未完了者 数*1	途中終了者数*2
計	376	(100.0)	241	(64.1)	108 (28.8)	27 (7.1)
積極的支援	189	(50.3)	108	(28.7)	54 (14.4)	27 (7.1)
動機付け支援	187	(49.7)	133	(35.4)	54 (14.4)	- (0.0)

2. 支援別男女比

単位:人(%)

	男		女		計	
計	162	(43.1)	214	(56.9)	376	(100.0)
積極的支援	92	(24.5)	97	(25.8)	189	(50.3)
動機付け支援	70	(18.6)	117	(31.1)	187	(49.7)

3.契約形態・支援形態・保険者数

契約形態	支援形態	保険者数
個別	個別支援	3
集合(A)	個別支援	1
集合(B)	個別支援	7

*1 初回面接未完了者とは、健診受診当日に初回面接を行い、後日電話で行動計画策定を完成させる部分を辞退した者

*2 途中終了者とは、脱落者（最終利用日から未利用のまま2か月経過し、支援終了した者）及び資格喪失者（退職等により保険が変更になり、支援終了した者）

表4-5-2 初回面接時と3か月以降の体重の変化

単位：人(%)

		男	女	計	
合 計		135	101	236	(100.0)
体重減少の計		95	67	162	(68.6)
積極的支援	計	73	35	108	(100.0)
	増加	20	8	28	(25.9)
	減少	45	27	72	(66.7)
	変化なし	8	—	8	(7.4)
動機付け支援 *3	計	62	66	128	(100.0)
	増加	11	19	30	(23.4)
	減少	50	40	90	(70.3)
	変化なし	1	7	8	(6.3)

表4-5-3 初回面接時と3か月以降の腹囲の変化

単位：人(%)

		男	女	計	
合 計		135	101	236	(100.0)
腹囲減少の計		96	53	149	(63.1)
積極的支援	計	73	35	108	(100.0)
	増加	21	9	30	(27.8)
	減少	49	20	69	(63.9)
	変化なし	3	6	9	(8.3)
動機付け支援 *3	計	62	66	128	(100.0)
	増加	9	15	24	(18.8)
	減少	47	33	80	(62.4)
	変化なし	6	18	24	(18.8)

*3 対象者から評価結果データが得られず、督促回数をもって終了と位置づけした5名は含まない

腸内病原細菌検査



4－6 腸内病原細菌検査

4-6-1 概要

近年は、食品の大量生産、広域流通、外食産業の発達などにより、大規模な集団食中毒が起きている。

腸内病原細菌検査（保菌検査）は、こうした食中毒等の感染症を予防するため、茨城県食品衛生法施行条例等に基づき実施している。対象者は、飲食物取扱い、給食、水道、福祉等の事業関連従事者となる。

4-6-2 実施状況

平成30年度は、サルモネラ属菌の陽性が36件であった。サルモネラ属の詳細は、O群別血清型で4群・7群・8群・9群・3, 10群・18群が検出された。また、腸管出血性大腸菌O157・O26・O111及び赤痢菌・チフス性サルモネラは検出されなかった。

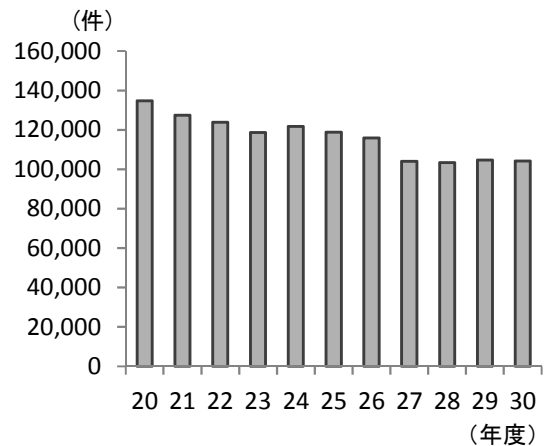


図4-6-1 腸内病原細菌検査実績の年度推移

4-6-3 検査方法 (検査材料：便)

【赤痢・サルモネラ】			【腸管出血性大腸菌（O157, O26, O111）】		
	便	キャリアブロー培地		便	キャリアブロー培地
	↓			↓	
第1日目	分離培養	SS系培地	第1日目	分離培養	CT-MAC系培地
	↓			↓	
第2日目	確認培養	TSI培地 LIM培地	第2日目	確認培養	TSI培地 LIM培地 CLIG培地 EHT培地
	↓			↓	
第3日目	血清型別試験	O抗原免疫血清	第3日目	血清型別試験	O抗原免疫血清 O157抗原免疫ラテックス
	↓ ↓			↓	
	陰性 陽性		第3日目	血清型別試験	O抗原免疫血清 O157抗原免疫ラテックス
	↓			↓	
第4日目以降	菌株同定		第4日目以降	毒素検出試験	抗VTモノクローナル抗体
				↓ ↓	
				陰性 陽性	
				↓	
			第4日目以降	菌株同定	
				毒素検出試験 RPLA法	

表4-6-1 年度別実績(赤痢・サルモネラ菌)

単位:人

年 度		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
合 計		134,820	127,442	123,945	118,687	121,726	118,756	115,915	103,995	103,462	104,727	104,202
学 校 関 係		4,787	4,871	4,496	4,657	5,362	6,493	5,292	4,456	3,540	3,407	3,349
給 食 関 係		12,516	10,676	8,904	8,743	12,389	11,029	9,599	5,330	5,250	5,193	4,560
事 業 所		81,833	78,685	78,263	76,089	76,927	77,612	77,093	74,821	75,959	76,915	77,408
水 道 関 係		1,782	1,562	1,544	1,579	1,582	1,611	1,698	1,795	1,808	1,882	1,930
施 設		22,655	20,598	20,382	18,895	17,898	16,367	17,342	12,920	12,968	13,331	13,192
そ の 他		11,247	11,050	10,356	8,724	7,568	5,644	4,891	4,673	3,937	3,999	3,763
陽 性 者		27	10	22	15	31	23	33	34	28	39	36
サルモネラ属菌分類O抗原	O4	4	-	9	2	11	6	15	20	14	14	12
	O7	9	3	3	8	6	7	12	6	9	14	4
	O8	5	3	2	-	1	5	-	4	2	7	9
	O9	4	3	7	3	8	2	3	2	1	4	3
	O3,10	4	1	1	-	1	-	2	1	1	-	6
	O1,3,19	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-
	O21	-	-	-	-	3	2	-	-	-	-	-
	O6,14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	O11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	O13	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-
	O16	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	O18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	O群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表4-6-2 年度別実績(腸管出血性大腸菌O157)

単位:人

年 度		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
合 計		101,284	96,832	116,217	113,671	108,965	105,800	103,689	96,711	96,454	98,369	98,049
学 校 関 係		4,579	4,737	4,353	4,596	5,244	6,269	5,051	4,323	3,414	3,255	3,291
給 食 関 係		12,463	9,391	8,441	8,285	7,936	6,440	5,041	5,024	4,915	4,867	4,234
事 業 所		52,438	53,100	74,756	74,468	71,457	71,809	72,126	69,694	71,098	72,587	73,315
水 道 関 係		1,413	1,235	1,283	1,341	1,339	1,371	1,443	1,519	1,625	1,700	1,693
施 設		20,356	18,179	17,625	16,927	16,017	14,530	15,487	11,828	11,845	12,258	12,050
そ の 他		10,035	10,190	9,759	8,054	6,972	5,381	4,541	4,323	3,557	3,702	3,466
陽 性 者		1	2	6	2	1	1	-	-	-	-	-
腸管出血性大腸菌O157	VT1;(-) VT2;(-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VT1;(-) VT2;(+)	1	-	2	2	-	1	-	-	-	-	-
	VT1;(+) VT2;(+)	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-
	VT1;(+) VT2;(-)	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-

表4-6-3 年度別実績(腸管出血性大腸菌O157・O26・O111)

単位:人

年	度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
合	計	-	1,196	931	2,840	10,881	11,324	10,699	6,248	6,340	5,975	5,748
学	校	-	-	43	60	115	224	241	133	126	152	58
給	食	-	1,148	419	458	4,453	4,588	4,558	306	335	326	326
事	業	-	4	44	439	4,429	4,880	4,181	4,391	4,391	4,121	3,880
水	道	-	-	-	-	6	11	16	27	17	16	50
施	設	-	44	419	1,365	1,343	1,394	1,392	1,089	1,123	1,073	1,142
そ	の	-	-	6	518	535	227	311	302	348	287	292
陽	性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸管 出血性 大腸菌 O157 O26 O111	VT1;(-)	VT2;(-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VT1;(-)	VT2;(+)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VT1;(+)	VT2;(+)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VT1;(+)	VT2;(-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

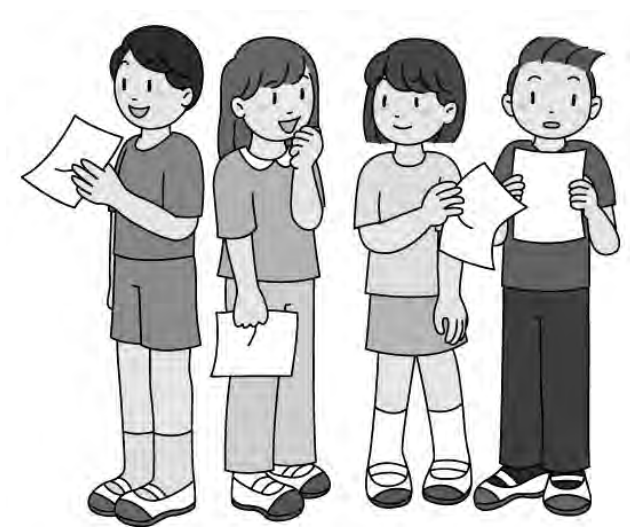
※腸管出血性大腸菌O157・O26・O111のセット検査

表4-6-4 検査実績（保健所別）

単位:人

	赤痢・サルモネラ属菌検査				腸管出血性大腸菌O157検査				腸管出血性大腸菌O157・O26・O111検査			
	受検者	定期	業態	陽性者	受検者	定期	業態	陽性者	受検者	定期	業態	陽性者
合 計	104,202	32,667	71,535	36	98,049	30,470	67,579	-	5,748	2,002	3,746	-
水 戸	18,573	6,179	12,394	3	16,707	5,186	11,521	-	1,805	982	823	-
ひたちなか	7,270	2,304	4,966	1	7,150	2,304	4,846	-	116	-	116	-
常 陸 大 宮	6,660	1,457	5,203	2	6,250	1,380	4,870	-	403	77	326	-
日 立	6,311	751	5,560	2	5,846	731	5,115	-	464	20	444	-
鉾 田	2,797	573	2,224	-	2,697	570	2,127	-	93	-	93	-
潮 来	6,993	1,975	5,018	4	6,678	1,962	4,716	-	313	13	300	-
竜ヶ崎	12,031	4,651	7,380	4	11,429	4,424	7,005	-	419	56	363	-
土 浦	11,615	3,937	7,678	10	10,588	3,284	7,304	-	978	650	328	-
つくば	7,487	1,964	5,523	1	6,922	1,920	5,002	-	514	37	477	-
筑 西	7,737	3,011	4,726	2	7,551	2,932	4,619	-	179	79	100	-
常 総	8,810	3,418	5,392	5	8,444	3,332	5,112	-	340	86	254	-
古 河	7,918	2,447	5,471	2	7,787	2,445	5,342	-	124	2	122	-

5 学 校 保 健



尿 検 査



5－1 尿検査

5-1-1 概要

児童・生徒の尿検査は、腎臓疾患や糖尿病を早期に発見し、適正な治療や生活管理につなげることを目的に、学校保健安全法に基づいて蛋白・潜血・糖の各検査項目を実施している。

5-1-2 実施状況

平成30年度は、26市町と国立・私立学校の幼児・児童・生徒・学生・教職員等合わせて173,983人実施した。前年度と比較して受検者は、2,490人減少した。受検者の内訳は、保育所（園）・幼稚園30,711人，小学校82,336人，中学校43,091人，高等学校9,304人，高等専門学校1,054人，特別支援学校203人，専門学校691人，大学6,388人，教職員205人であった。

なお、教職員を除く受検者173,778人に対して、一次検査の陽性者数は2,603人（1.50％）で、二次検査の陽性者数は596人（0.34％）であった。

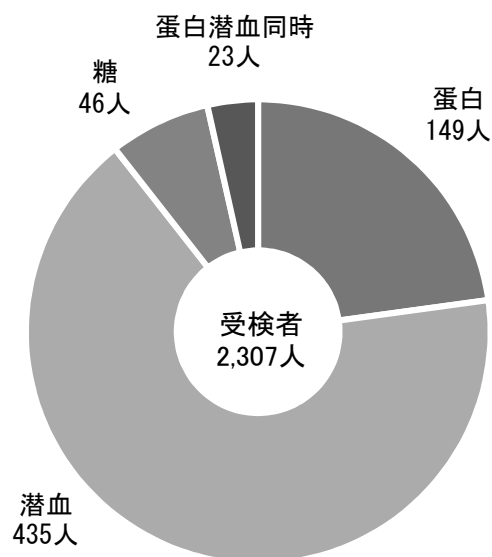


図5-1-1 尿二次検査陽性者の結果内訳
※結果重複者あり

5-1-3 検査方法(腎臓病・糖尿病スクリーニング)

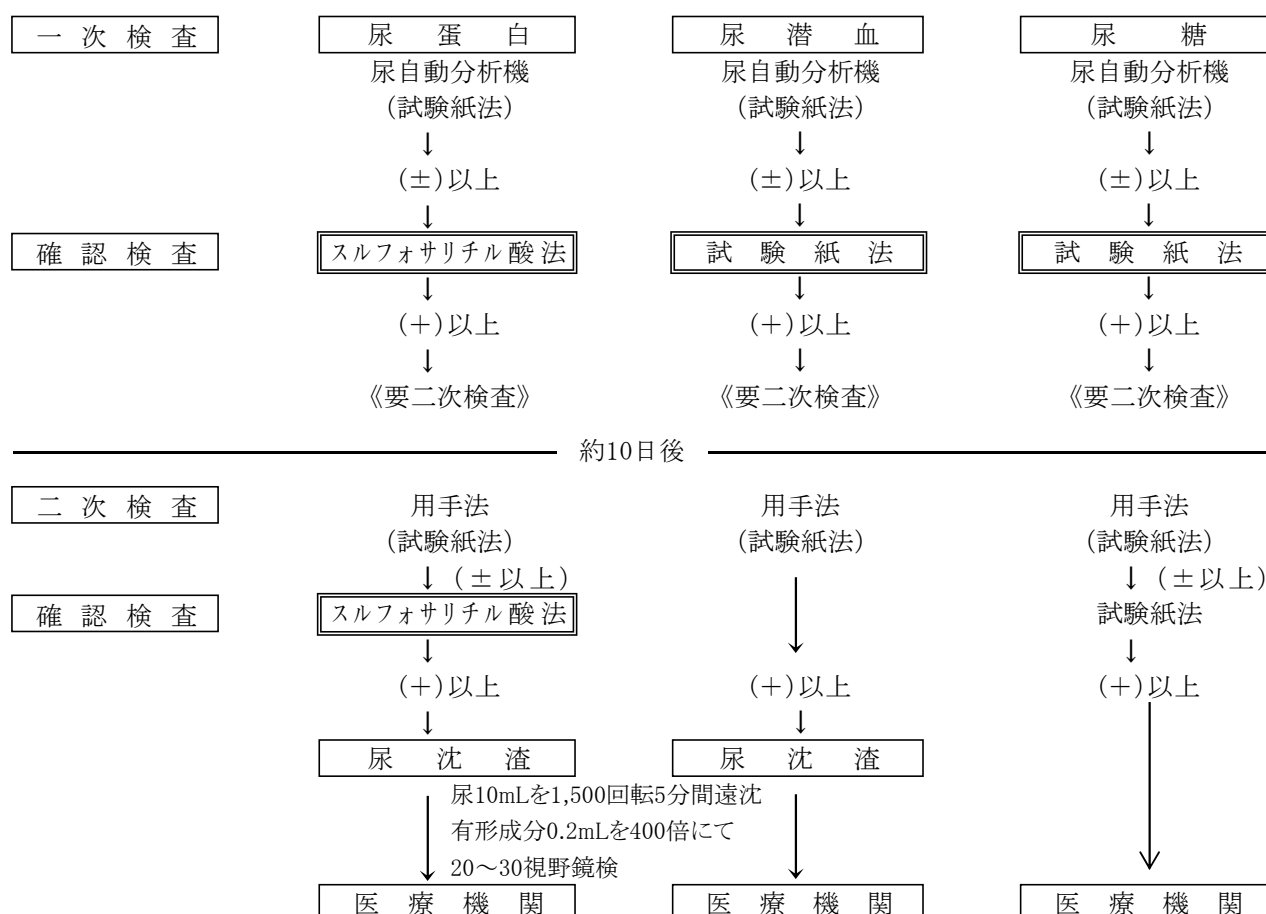


表5-1-1 年度別検査実績

単位:人(%)

平成 20 年度 第 一 次 検 査																
年度		受検者	陽性者		陽		性		件		数		内		記	
					蛋白		潜血		糖		蛋白潜血同時					
平成	20	191,312	3,357	(1.75)	880	(0.46)	2,349	(1.23)	249	(0.13)	105	(0.05)				
	21	218,362	3,403	(1.56)	970	(0.44)	2,299	(1.05)	258	(0.12)	111	(0.05)				
	22	196,939	2,941	(1.49)	847	(0.43)	1,909	(0.97)	279	(0.14)	82	(0.04)				
	23	189,038	2,981	(1.58)	805	(0.43)	1,942	(1.03)	316	(0.17)	71	(0.04)				
	24	186,084	3,289	(1.77)	1,093	(0.59)	2,038	(1.10)	281	(0.15)	107	(0.06)				
	25	184,282	2,968	(1.61)	797	(0.43)	2,031	(1.10)	251	(0.14)	100	(0.05)				
	26	181,355	3,162	(1.74)	863	(0.48)	2,067	(1.14)	325	(0.18)	76	(0.04)				
	27	180,192	2,958	(1.64)	865	(0.48)	1,855	(1.03)	336	(0.19)	86	(0.05)				
	28	178,213	2,966	(1.66)	850	(0.48)	1,909	(1.07)	300	(0.17)	77	(0.04)				
	29	176,473	2,742	(1.55)	799	(0.45)	1,715	(0.97)	315	(0.18)	78	(0.04)				
	30	173,983	2,618	(1.50)	810	(0.47)	1,712	(0.98)	174	(0.10)	73	(0.04)				

※ 一次検査の () 数字は一次検査受検者数に対する陽性率を表示

単位:人(%)

単位:人(%)

年度	第 二 次 検 査														
	受検者	陽性者		陽		性		件		数		内		訳	
				蛋白		潜血		糖		蛋白潜血同時					
平成	20	3,419	1,045	(0.55)	237	(0.12)	753	(0.39)	121	(0.06)	59	(0.03)			
	21	3,376	877	(0.40)	214	(0.10)	614	(0.28)	96	(0.04)	42	(0.02)			
	22	2,836	775	(0.39)	188	(0.10)	514	(0.26)	104	(0.05)	28	(0.01)			
	23	2,712	734	(0.39)	184	(0.10)	495	(0.26)	106	(0.06)	45	(0.02)			
	24	3,051	799	(0.43)	238	(0.13)	514	(0.28)	90	(0.05)	35	(0.02)			
	25	2,718	792	(0.43)	191	(0.10)	549	(0.30)	99	(0.05)	37	(0.02)			
	26	2,889	725	(0.40)	132	(0.07)	523	(0.29)	98	(0.05)	21	(0.01)			
	27	2,719	727	(0.40)	173	(0.10)	496	(0.28)	104	(0.06)	41	(0.02)			
	28	2,701	652	(0.37)	124	(0.07)	470	(0.26)	92	(0.05)	32	(0.02)			
	29	2,526	707	(0.40)	161	(0.09)	487	(0.28)	100	(0.06)	38	(0.02)			
	30	2,307	605	(0.35)	149	(0.09)	435	(0.25)	46	(0.03)	23	(0.01)			

※ 二次検査の（ ）数字は、一次検査受診者数に対する陽性率を表示

表5-1-2 検査実績(学校区分別)

単位:人(%)

区分		第 一 次 検 査											
		受検者			陽 性 件 数						内 訳		
					蛋白		潜血		糖		蛋白潜血同時		
合 計	男	90,007	764	(0.85)	374	(0.42)	345	(0.38)	84	(0.09)	36	(0.04)	
	女	83,771	1,839	(2.20)	433	(0.52)	1,362	(1.63)	81	(0.10)	36	(0.04)	
	計	173,778	2,603	(1.50)	807	(0.46)	1,707	(0.98)	165	(0.09)	72	(0.04)	
保 育 所 幼 稚 園	男	15,714	52	(0.33)	10	(0.06)	40	(0.25)	4	(0.03)	2	(0.01)	
	女	14,997	145	(0.97)	14	(0.09)	130	(0.87)	3	(0.02)	2	(0.01)	
	計	30,711	197	(0.64)	24	(0.08)	170	(0.55)	7	(0.02)	4	(0.01)	
小 学 校	男	42,251	198	(0.47)	58	(0.14)	132	(0.31)	17	(0.04)	9	(0.02)	
	女	40,085	576	(1.44)	175	(0.44)	382	(0.95)	30	(0.07)	9	(0.02)	
	計	82,336	774	(0.94)	233	(0.28)	514	(0.62)	47	(0.06)	18	(0.02)	
中 学 校	男	22,034	321	(1.46)	208	(0.94)	102	(0.46)	22	(0.10)	10	(0.05)	
	女	21,057	820	(3.89)	172	(0.82)	627	(2.98)	34	(0.16)	13	(0.06)	
	計	43,091	1,141	(2.65)	380	(0.88)	729	(1.69)	56	(0.13)	23	(0.05)	
高 等 学 校	男	4,527	54	(1.19)	40	(0.88)	14	(0.31)	7	(0.15)	6	(0.13)	
	女	4,777	157	(3.29)	34	(0.71)	118	(2.47)	8	(0.17)	3	(0.06)	
	計	9,304	211	(2.27)	74	(0.80)	132	(1.42)	15	(0.16)	9	(0.10)	
高等専門学校	男	871	9	(1.03)	3	(0.34)	2	(0.23)	5	(0.57)	1	(0.11)	
	女	183	5	(2.73)	1	(0.55)	4	(2.19)	-	(0.00)	-	(0.00)	
	計	1,054	14	(1.33)	4	(0.38)	6	(0.57)	5	(0.47)	1	(0.09)	
特別支援学校	男	133	5	(3.76)	1	(0.75)	3	(2.26)	1	(0.75)	-	(0.00)	
	女	70	2	(2.86)	1	(1.43)	2	(2.86)	-	(0.00)	1	(1.43)	
	計	203	7	(3.45)	2	(0.99)	5	(2.46)	1	(0.49)	1	(0.49)	
専 門 学 校	男	354	4	(1.13)	-	(0.00)	3	(0.85)	1	(0.28)	-	(0.00)	
	女	337	17	(5.04)	2	(0.59)	14	(4.15)	1	(0.30)	1	(0.30)	
	計	691	21	(3.04)	2	(0.29)	17	(2.46)	2	(0.29)	1	(0.14)	
大 学	男	4,123	121	(2.93)	54	(1.31)	49	(1.19)	27	(0.65)	8	(0.19)	
	女	2,265	117	(5.17)	34	(1.50)	85	(3.75)	5	(0.22)	7	(0.31)	
	計	6,388	238	(3.73)	88	(1.38)	134	(2.10)	32	(0.50)	15	(0.23)	

※ 一次検査, 二次検査の()数字は一次検査受検者数に対する陽性率を表示

単位:人(%)

区分		第 二 次 検 査											
		受検者	陽性者		陽 性		性 件		数		内 訳		
合 計	男	626	186	(0.21)	59	(0.07)	118	(0.13)	14	(0.02)	5	(0.01)	
	女	1,666	410	(0.49)	89	(0.11)	313	(0.37)	27	(0.03)	17	(0.02)	
	計	2,292	596	(0.34)	148	(0.09)	431	(0.25)	41	(0.02)	22	(0.01)	
保 育 所 幼 稚 園	男	46	19	(0.12)	4	(0.03)	14	(0.09)	1	(0.01)	－	(0.00)	
	女	134	51	(0.34)	3	(0.02)	49	(0.33)	－	(0.00)	1	(0.01)	
	計	180	70	(0.23)	7	(0.02)	63	(0.21)	1	(0.00)	1	(0.00)	
小 学 校	男	190	70	(0.17)	14	(0.03)	53	(0.13)	6	(0.01)	3	(0.01)	
	女	557	152	(0.38)	44	(0.11)	104	(0.26)	13	(0.03)	8	(0.02)	
	計	747	222	(0.27)	58	(0.07)	157	(0.19)	19	(0.02)	11	(0.01)	
中 学 校	男	309	79	(0.36)	34	(0.15)	41	(0.19)	4	(0.02)	－	(0.00)	
	女	789	173	(0.82)	35	(0.17)	131	(0.62)	14	(0.07)	6	(0.03)	
	計	1,098	252	(0.58)	69	(0.16)	172	(0.40)	18	(0.04)	6	(0.01)	
高 等 学 校	男	48	9	(0.20)	3	(0.07)	4	(0.09)	2	(0.04)	－	(0.00)	
	女	146	27	(0.57)	4	(0.08)	25	(0.52)	－	(0.00)	2	(0.04)	
	計	194	36	(0.39)	7	(0.08)	29	(0.31)	2	(0.02)	2	(0.02)	
高等専門学校	男	7	－	(0.00)	－	(0.00)	－	(0.00)	－	(0.00)	－	(0.00)	
	女	3	2	(1.09)	1	(0.55)	1	(0.55)	－	(0.00)	－	(0.00)	
	計	10	2	(0.19)	1	(0.09)	1	(0.09)	－	(0.00)	－	(0.00)	
特別支援学校	男	5	3	(2.26)	1	(0.75)	1	(0.75)	1	(0.75)	－	(0.00)	
	女	2	－	(0.00)	－	(0.00)	－	(0.00)	－	(0.00)	－	(0.00)	
	計	7	3	(1.48)	1	(0.49)	1	(0.5)	1	(0.49)	－	(0.00)	
大 学	男	21	6	(0.15)	3	(0.07)	5	(0.12)	－	(0.00)	2	(0.05)	
	女	35	5	(0.22)	2	(0.09)	3	(0.13)	－	(0.00)	－	(0.00)	
	計	56	11	(0.17)	5	(0.08)	8	(0.13)	－	(0.00)	2	(0.03)	

※ 一次検査, 二次検査の()数字は一次検査受検者数に対する陽性率を表示

表5-1-3 市町村別実績

単位:人(%)

市町村名		第 一 次 検 査						第 二 次 検 査					
		受検者	陽性者	陽 性 件 数 内 訳				受検者	陽性者	陽 性 件 数 内 訳			
				蛋白	潜血	糖	蛋白潜血			蛋白	潜血	糖	蛋白潜血
合 計	特	149	7 (4.70)	2	5	1	1	7	3 (2.01)	1	1	1	-
	幼	3,742	17 (0.45)	1	14	2	-	15	7 (0.19)	1	6	-	-
	小	81,026	763 (0.94)	229	508	46	18	737	218 (0.27)	57	154	19	11
	中	40,926	1,083 (2.65)	365	689	52	23	1,046	240 (0.59)	68	161	18	6
	計	125,843	1,870 (1.49)	597	1,216	101	42	1,805	468 (0.37)	127	322	38	17
水 戸 市	幼	1,422	2 (0.14)	-	2	-	-	2	2 (0.14)	-	2	-	-
	小	13,331	114 (0.86)	32	78	8	3	109	36 (0.27)	9	25	4	2
	中	6,396	158 (2.47)	52	101	9	4	150	45 (0.70)	9	31	7	1
	計	21,149	274 (1.30)	84	181	17	7	261	83 (0.39)	18	58	11	3
茨 城 町	幼	96	- (0.00)	-	-	-	-	-	- (0.00)	-	-	-	-
	小	1,494	15 (1.00)	4	11	-	-	15	3 (0.20)	-	3	-	-
	中	761	19 (2.50)	9	8	3	1	18	2 (0.26)	1	1	-	-
	計	2,351	34 (1.45)	13	19	3	1	33	5 (0.21)	1	4	-	-
城 里 町	幼	15	- (0.00)	-	-	-	-	-	- (0.00)	-	-	-	-
	小	775	6 (0.77)	3	4	-	1	6	2 (0.26)	1	1	-	-
	中	444	5 (1.13)	3	2	-	-	5	1 (0.23)	1	-	-	-
	計	1,234	11 (0.89)	6	6	-	1	11	3 (0.24)	2	1	-	-
大 洗 町	幼	26	- (0.00)	-	-	-	-	-	- (0.00)	-	-	-	-
	小	725	7 (0.97)	-	7	1	-	7	1 (0.14)	1	1	1	1
	中	425	10 (2.35)	5	4	1	-	10	4 (0.94)	1	3	-	-
	計	1,176	17 (1.45)	5	11	2	-	17	5 (0.43)	2	4	1	1
ひたちなか市	幼	282	1 (0.35)	-	1	-	-	1	1 (0.35)	-	1	-	-
	小	8,640	67 (0.78)	22	42	4	1	65	25 (0.29)	6	18	2	1
	中	4,251	97 (2.28)	31	66	2	2	94	28 (0.66)	7	22	-	1
	計	13,173	165 (1.25)	53	109	6	3	160	54 (0.41)	13	41	2	2
常 陸 大 宮 市	幼	37	- (0.00)	-	-	-	-	-	- (0.00)	-	-	-	-
	小	1,782	23 (1.29)	5	17	1	-	23	9 (0.51)	1	7	1	-
	中	1,009	30 (2.97)	7	22	1	-	30	6 (0.59)	-	6	-	-
	計	2,828	53 (1.87)	12	39	2	-	53	15 (0.53)	1	13	1	-
那 珂 市	幼	159	- (0.00)	-	-	-	-	-	- (0.00)	-	-	-	-
	小	2,719	32 (1.18)	10	21	2	1	32	12 (0.44)	3	9	1	1
	中	1,378	31 (2.25)	6	26	-	1	31	7 (0.51)	1	7	-	1
	計	4,256	63 (1.48)	16	47	2	2	63	19 (0.45)	4	16	1	2

単位:人(%)

市町村名		第 一 次 検 査							第 二 次 検 査						
		受検者	陽性者	陽 性 件 数 内 訳					受検者	陽性者	陽 性 件 数 内 訳				
				蛋白	潜血	糖	蛋白潜血				蛋白	潜血	糖	蛋白潜血	
大 子 町	幼	44	1 (2.27)	－	1	－	－		1	－ (0.00)	－	－	－	－	
	小	605	7 (1.16)	1	6	－	－		7	－ (0.00)	－	－	－	－	
	中	331	8 (2.42)	2	5	1	－		8	3 (0.91)	－	2	1	－	
	計	980	16 (1.63)	3	12	1	－		16	3 (0.31)	－	2	1	－	
常 陸 太 田 市	幼	214	5 (2.34)	1	2	2	－		5	2 (0.93)	1	1	－	－	
	小	1,875	19 (1.01)	7	10	2	－		19	4 (0.21)	1	3	－	－	
	中	1,100	28 (2.55)	9	17	2	－		28	4 (0.36)	2	1	1	－	
	計	3,189	52 (1.63)	17	29	6	－		52	10 (0.31)	4	5	1	－	
日 立 市	特	149	7 (4.70)	2	5	1	1		7	3 (2.01)	1	1	1	－	
	幼	244	1 (0.41)	－	1	－	－		1	－ (0.00)	－	－	－	－	
	小	8,165	52 (0.64)	16	34	3	1		52	21 (0.26)	7	14	2	2	
	中	4,357	113 (2.59)	37	70	6	－		109	23 (0.53)	6	17	－	－	
	計	12,915	173 (1.34)	55	110	10	2		169	47 (0.36)	14	32	3	2	
北 茨 城 市	小	1,978	26 (1.31)	5	20	1	－		23	10 (0.51)	2	8	－	－	
	中	1,065	37 (3.47)	14	23	1	1		34	6 (0.56)	－	5	1	－	
	計	3,043	63 (2.07)	19	43	2	1		57	16 (0.53)	2	13	1	－	
高 萩 市	幼	174	1 (0.57)	－	1	－	－		1	－ (0.00)	－	－	－	－	
	小	1,233	14 (1.14)	5	9	－	－		14	5 (0.41)	2	3	－	－	
	中	663	9 (1.36)	3	5	1	－		8	1 (0.15)	－	1	－	－	
	計	2,070	24 (1.16)	8	15	1	－		23	6 (0.29)	2	4	－	－	
龍 ケ 崎 市	小	3,777	29 (0.77)	14	15	1	1		29	6 (0.16)	2	4	－	－	
	中	1,972	49 (2.48)	26	24	－	1		49	8 (0.41)	5	3	－	－	
	計	5,749	78 (1.36)	40	39	1	2		78	14 (0.24)	7	7	－	－	
阿 見 町	小	2,475	22 (0.89)	10	9	3	－		20	5 (0.20)	2	3	－	－	
	中	1,147	26 (2.27)	14	11	1	－		24	5 (0.44)	2	3	－	－	
	計	3,622	48 (1.33)	24	20	4	－		44	10 (0.28)	4	6	－	－	
かすみがうら市	小	669	14 (2.09)	5	9	1	1		13	3 (0.45)	－	3	－	－	
	中	369	18 (4.88)	4	11	3	－		16	4 (1.08)	1	3	1	1	
	計	1,038	32 (3.08)	9	20	4	1		29	7 (0.67)	1	6	1	1	
つくばみらい市	幼	476	2 (0.42)	－	2	－	－		1	－ (0.00)	－	－	－	－	
	小	2,992	20 (0.67)	9	12	－	1		18	7 (0.23)	3	3	1	－	
	中	1,131	21 (1.86)	7	14	2	2		20	8 (0.71)	2	5	1	－	
	計	4,599	43 (0.93)	16	28	2	3		39	15 (0.33)	5	8	2	－	

単位:人(%)

市町村名		第 一 次 検 査						第 二 次 検 査					
		受検者	陽性者	陽 性 件 数 内 訳				受検者	陽性者	陽 性 件 数 内 訳			
				蛋白	潜血	糖	蛋白潜血			蛋白	潜血	糖	蛋白潜血
筑 西 市	幼	113	1 (0.88)	－	1	－	－	－	－ (0.00)	－	－	－	－
	小	5,004	39 (0.78)	7	33	1	2	36	9 (0.18)	2	9	－	2
	中	2,638	79 (2.99)	32	50	1	4	79	17 (0.64)	5	11	1	－
	計	7,755	119 (1.53)	39	84	2	6	115	26 (0.34)	7	20	1	2
結 城 市	小	2,732	30 (1.10)	9	21	－	－	28	11 (0.40)	1	10	－	－
	中	1,300	47 (3.62)	17	31	2	3	43	9 (0.69)	4	5	1	1
	計	4,032	77 (1.91)	26	52	2	3	71	20 (0.50)	5	15	1	1
桜 川 市	小	1,976	23 (1.16)	6	16	2	1	23	6 (0.30)	1	3	2	－
	中	1,059	26 (2.46)	7	18	1	－	26	5 (0.47)	1	4	－	－
	計	3,035	49 (1.61)	13	34	3	1	49	11 (0.36)	2	7	2	－
常 総 市	幼	237	－ (0.00)	－	－	－	－	－	－ (0.00)	－	－	－	－
	小	3,207	29 (0.90)	10	21	－	2	29	8 (0.25)	5	4	－	1
	中	1,665	49 (2.94)	15	35	2	3	49	11 (0.66)	1	9	1	－
	計	5,109	78 (1.53)	25	56	2	5	78	19 (0.37)	6	13	1	1
下 妻 市	幼	151	2 (1.32)	－	2	－	－	2	1 (0.66)	－	1	－	－
	小	2,271	27 (1.19)	6	21	2	2	26	5 (0.22)	－	4	1	－
	中	1,186	37 (3.12)	14	21	3	1	36	4 (0.34)	3	1	－	－
	計	3,608	66 (1.83)	20	44	5	3	64	10 (0.28)	3	6	1	－
八 千 代 町	小	1,091	14 (1.28)	3	9	2	－	13	2 (0.18)	1	－	1	－
	中	599	14 (2.34)	3	11	－	－	14	2 (0.33)	2	－	－	－
	計	1,690	28 (1.66)	6	20	2	－	27	4 (0.24)	3	－	1	－
坂 東 市	幼	52	1 (1.92)	－	1	－	－	1	1 (1.92)	－	1	－	－
	小	2,763	28 (1.01)	7	19	2	－	28	6 (0.22)	1	4	1	－
	中	1,371	24 (1.75)	4	16	4	－	23	9 (0.66)	2	6	2	1
	計	4,186	53 (1.27)	11	36	6	－	52	16 (0.38)	3	11	3	1
古 河 市	小	7,135	87 (1.22)	25	56	7	1	85	22 (0.31)	6	15	2	1
	中	3,483	121 (3.47)	41	75	5	－	117	21 (0.60)	11	9	1	－
	計	10,618	208 (1.96)	66	131	12	1	202	43 (0.40)	17	24	3	1
五 霞 町	小	364	5 (1.37)	1	3	1	－	4	－ (0.00)	－	－	－	－
	中	181	10 (5.52)	2	8	－	－	8	4 (2.21)	1	3	－	－
	計	545	15 (2.75)	3	11	1	－	12	4 (0.73)	1	3	－	－
境 町	小	1,248	14 (1.12)	7	5	2	－	13	－ (0.00)	－	－	－	－
	中	645	17 (2.64)	1	15	1	－	17	3 (0.47)	－	3	－	－
	計	1,893	31 (1.64)	8	20	3	－	30	3 (0.16)	－	3	－	－

表5-1-4 幼児・児童・生徒実績(市町村教育委員会を除く)

単位:人(%)

区分	第 一 次 検 査						第 二 次 検 査					
	受検者	陽性者	陽 性 件 数 内 訳				受検者	陽性者	陽 性 件 数 内 訳			
			蛋白	潜血	糖	蛋白潜血			蛋白	潜血	糖	蛋白潜血
合 計	47,935	733 (1.53)	210	491	64	30	487	128 (0.27)	21	109	3	5
国立特別支援学校	54	- (0.00)	-	-	-	-	-	- (0.00)	-	-	-	-
公私立保育所(園)	11,033	67 (0.61)	6	61	2	2	65	23 (0.21)	2	21	1	1
国 私 立 幼 稚 園	15,936	113 (0.71)	17	95	3	2	100	40 (0.25)	4	36	-	-
国 私 立 小 学 校	1,310	11 (0.84)	4	6	1	-	10	4 (0.31)	1	3	-	-
国 私 立 中 学 校	2,165	58 (2.68)	15	40	4	-	52	12 (0.55)	1	11	-	-
私 立 高 校	9,304	211 (2.27)	74	132	15	9	194	36 (0.39)	7	29	2	2
高 等 専 門 学 校	1,054	14 (1.33)	4	6	5	1	10	2 (0.19)	1	1	-	-
専 門 学 校	691	21 (3.04)	2	17	2	1	-	- (0.00)	-	-	-	-
大 学	6,388	238 (3.73)	88	134	32	15	56	11 (0.17)	5	8	-	2

表5-1-5 教職員実績

単位:人(%)

	第 一 次 検 査						第 二 次 検 査					
	受検者	陽性者	陽 性 件 数 内 訳				受検者	陽性者	陽 性 件 数 内 訳			
			蛋白	潜血	糖	蛋白潜血			蛋白	潜血	糖	蛋白潜血
合 計	205	15 (7.32)	3	5	9	1	15	9 (4.39)	1	4	5	1

心 臟 病 検 診



5－2 心臓病検診

5-2-1 概要

心臓病検診は、心臓に何らかの異常や病気を持つ児童・生徒を発見し、適切な管理・指導及び治療につなげるとともに、心臓突然死を予防することを目的としている。当協会では、一次検診を行い精密検査が必要と判定された児童・生徒に対し、二次検診を実施する方法（心臓病スクリーニング検診）と、一次検診のみを実施し、精密検査が必要と判定された児童・生徒は医療機関を受診する方法（心電・心音図検査又は心電図検査）で実施している。

5-2-2 実施状況

心臓病スクリーニング検診

心臓病検診調査票と、省略4誘導心電図・2点心音図検査で一次検診を実施し、精密検査が必要と判定された児童・生徒に対し、二次検診（標準12誘導心電図・負荷心電図・心エコー検査及び小児循環器専門医による診察）を実施する方法である。

平成30年度の一次検診は、21市町村で26,045人実施した。前年度と比較して、664人減少している。二次検診は、一次検診の結果必要と判定された者及び経年管理を要する1,198人に実施した。その結果内訳は、正常範囲519人（2.0%）、

管理不要363人（1.4%）、協会が作成した学校生活管理指導表に従う者317人（1.2%）、通院している（いた）医療機関で学校生活管理指導表を作成し学校へ提出する者12人（0.05%）、専門医で精密検査を受け学校生活管理指導表を作成し学校へ提出する者116人（0.4%）、次年度の検診を受診する者164人（0.6%）のうち、一次検診対象者33人（0.1%）、二次検診対象者131人（0.5%）であった。

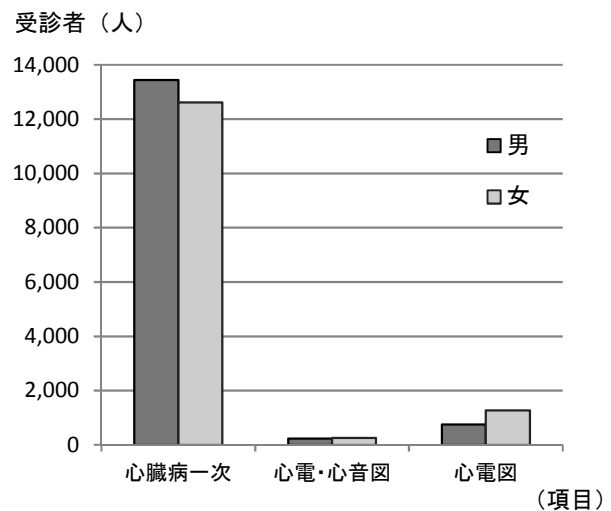


図5-2-1 心臓病検診検査方法別実績

心電・心音図検査

心臓病検診調査票と、省略4誘導心電図・2点心音図検査を実施し、精密検査が必要と判定された児童・生徒は、医療機関を受診する方法である。

国・私立の小学校・中学校の児童・生徒を合わせて495人実施した。また、精密検査を指示された児童・生徒は3人（0.6%）であった。

心電図検査

心臓病検診調査票と、標準12誘導心電図検査を実施し、精密検査が必要と判定された児童・生徒・学生は、医療機関を受診する方法である。

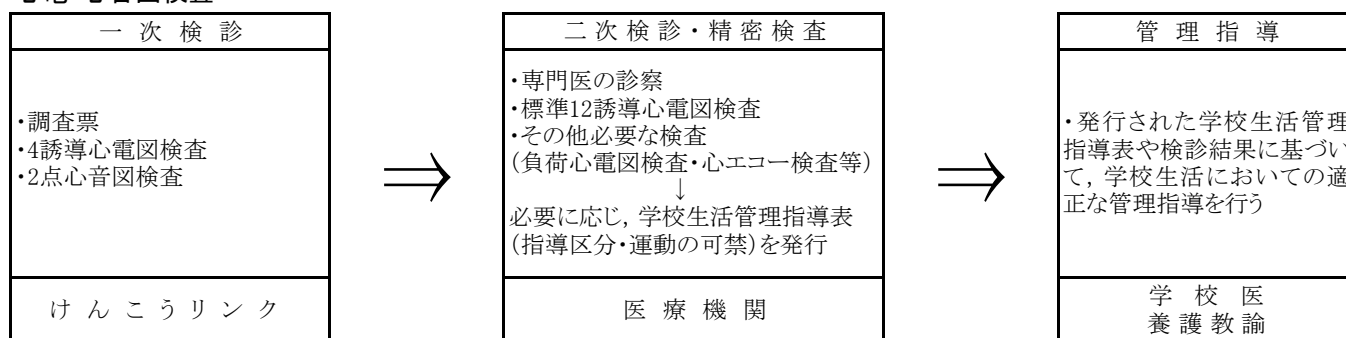
国・私立の小学校・中学校・特別支援学校・高等学校・高等専門学校の児童・生徒・学生合わせて2,024人実施した。前年度と比較して95人増加している。また、精密検査を指示された児童・生徒は31人（1.5%）であった。

5-2-3 検査方法等

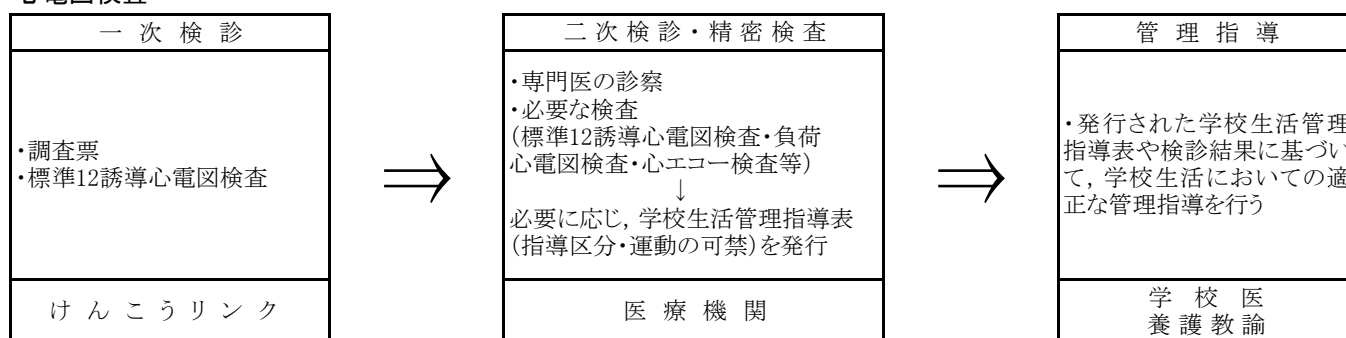
心臓病スクリーニング検診

一 次 検 診	二 次 検 診	精 密 検 査	管 理 指 導
・調査票 ・4誘導心電図検査 ・2点心音図検査	・標準12誘導心電図検査 ・専門医の診察 専門医の指示により 負荷心電図検査、心エコー検査の実施 ↓ - 必要に応じ、学校生活管理指導表 (指導区分・運動の可禁)を発行	・専門医による精密検査及び診断 ↓ - 必要に応じ、学校生活管理指導表(指導区分・運動の可禁)を発行	・発行された学校生活管理指導表や検診結果に基づいて、学校生活においての適正な管理指導を行う
けんこうリンク		医療機関	学校医 養護教諭

心電・心音図検査



心電図検査



心臓病検診協力医療機関

筑波大学附属病院・茨城県立こども病院・日本医科大学附属病院 の各小児科医局

検診結果判定区分

一次スクリーニング検診・心電心音図検査・心電図検査

1. 正常範囲内です。
 2. 所見はありますが正常範囲内です。
 3. 正常範囲内と思われませんが、念のため二次スクリーニング検診を受診してください。
 4. 調査票内容により、念のため二次スクリーニング検診を受診してください。
 5. 二次スクリーニング検診を受診してください。
 6. 通院している(いた)医療機関に学校生活管理指導表を作成していただき学校へ提出してください。
 7. 早めに専門医の診察を受け、学校生活管理指導表を作成していただき学校へ提出してください。
- ※ 一次検診にて管理区分が決定される判定もある(その他の指導)。

二次スクリーニング検診

1. 正常範囲内です。
2. 管理不要です。
3. 別紙の学校生活管理指導表に従ってください。
4. 通院している(いた)医療機関に学校生活管理指導表を作成していただき学校へ提出してください。
5. 専門医の精密検査を受け、学校生活管理指導表を作成していただき学校へ提出してください。
6. 来年度の検診を受診してください。(A 一次スクリーニング検診・B 二次スクリーニング検診)

表5-2-1 年度別一次検診実績

単位:人(%)

年度	受診者	要二次スクリーニング検診対象者数	要精密検査対象者数	その他の指導
平成 20	29,051	1,149 (4.0)	382 (1.3)	18 (0.1)
21	28,929	1,117 (3.9)	356 (1.2)	42 (0.1)
22	29,566	1,226 (4.1)	352 (1.2)	37 (0.1)
23	29,202	1,371 (4.7)	357 (1.2)	49 (0.2)
24	28,560	1,309 (4.6)	352 (1.2)	30 (0.1)
25	29,728	1,536 (5.2)	333 (1.1)	38 (0.1)
26	29,385	1,313 (4.5)	381 (1.3)	37 (0.1)
27	28,711	1,402 (4.9)	381 (1.3)	38 (0.1)
28	29,989	1,370 (4.6)	389 (1.3)	24 (0.1)
29	29,113	1,421 (4.9)	414 (1.4)	38 (0.1)
30	28,564	1,198 (4.2)	438 (1.5)	46 (0.2)

表5-2-2 心臓病一次スクリーニング検診

単位:人(%)

区 分	性別	受診者数	要二次スクリーニング検診対象者数	要精密検査対象者数	その他の指導
合 計	男	13,434	652 (4.9)	212 (1.6)	28 (0.2)
	女	12,611	425 (3.4)	192 (1.5)	18 (0.1)
	計	26,045	1,077 (4.1)	404 (1.6)	46 (0.2)
小 学 校	男	8,029	355 (4.4)	148 (1.8)	21 (0.3)
	女	7,451	210 (2.8)	139 (1.9)	11 (0.1)
	計	15,480	565 (3.6)	287 (1.9)	32 (0.2)
中 学 校	男	5,405	297 (5.5)	64 (1.2)	7 (0.1)
	女	5,160	215 (4.2)	53 (1.0)	7 (0.1)
	計	10,565	512 (4.8)	117 (1.1)	14 (0.1)

表5-2-3 心臓病二次スクリーニング検診

単位:人

区 分	性別	受診者	指 導 区 分 内 訳						
			1	2	3	4	5	6	
								A	B
合 計	男	709	282	258	170	10	62	14	70
	女	489	237	105	147	2	54	19	61
	計	1,198	519	363	317	12	116	33	131
小 学 校	男	387	157	139	91	6	33	9	37
	女	239	122	48	65	-	23	5	39
	計	626	279	187	156	6	56	14	76
中 学 校	男	322	125	119	79	4	29	5	33
	女	250	115	57	82	2	31	14	22
	計	572	240	176	161	6	60	19	55

*指導区分重複

表5-2-4 心電・心音図検査

単位:人(%)

区 分	性別	受診者	要二次検診対象者数	要精密検査対象者数	その他の指導
合 計	男	234	6 (2.6)	3 (1.3)	- (0.0)
	女	261	3 (1.1)	- (0.0)	- (0.0)
	計	495	9 (1.8)	3 (0.6)	- (0.0)
小 学 校	男	154	1 (0.6)	2 (1.3)	- (0.0)
	女	173	2 (1.2)	- (0.0)	- (0.0)
	計	327	3 (0.9)	2 (0.6)	- (0.0)
中 学 校	男	80	5 (6.3)	1 (1.3)	- (0.0)
	女	88	1 (1.1)	- (0.0)	- (0.0)
	計	168	6 (3.6)	1 (0.6)	- (0.0)

表5-2-5 心電図検査

単位:人(%)

区 分	性別	受診者	要二次検診対象者数	要精密検査対象者数	その他の指導
合 計	男	754	34 (4.5)	14 (1.9)	- (0.0)
	女	1,270	40 (3.1)	17 (1.3)	- (0.0)
	計	2,024	74 (3.7)	31 (1.5)	- (0.0)
小 学 校	男	2	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
	女	5	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
	計	7	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
中 学 校	男	130	6 (4.6)	1 (0.8)	- (0.0)
	女	181	4 (2.2)	2 (1.1)	- (0.0)
	計	311	10 (3.2)	3 (1.0)	- (0.0)
高 等 学 校 高等専門学校	男	611	27 (4.4)	11 (1.8)	- (0.0)
	女	1,077	36 (3.3)	13 (1.2)	- (0.0)
	計	1,688	63 (3.7)	24 (1.4)	- (0.0)
特別支援学校	男	11	1 (9.1)	2 (18.2)	- (0.0)
	女	7	- (0.0)	2 (28.6)	- (0.0)
	計	18	1 (5.6)	4 (22.2)	- (0.0)

表5-2-6 市町村別実績(一次・二次スクリーニング検診)

(小学校)

単位:人(%)

市町村名	性別	一 次 ス ク リ ー ニ ン グ						二 次 ス ク リ ー ニ ン グ							
		受診者	要二次検診 対象者数		要精密検査 対象者数		その他の指導	受診者	1	2	3	4	5	6	
														A	B
合 計	男	8,029	355	(4.4)	148	(1.8)	21 (0.3)	387	157	139	91	6	33	9	37
	女	7,451	210	(2.8)	139	(1.9)	11 (0.1)	239	122	48	65	-	23	5	39
	計	15,480	565	(3.6)	287	(1.9)	32 (0.2)	626	279	187	156	6	56	14	76
笠 間 市	男	614	18	(2.9)	9	(1.5)	- (0.0)	23	4	10	9	-	5	-	4
	女	558	12	(2.2)	11	(2.0)	- (0.0)	15	2	9	4	-	2	-	2
	計	1,172	30	(2.6)	20	(1.7)	- (0.0)	38	6	19	13	-	7	-	6
城 里 町	男	64	3	(4.7)	2	(3.1)	- (0.0)	3	1	1	1	-	1	-	-
	女	49	2	(4.1)	-	(0.0)	- (0.0)	2	-	2	-	-	-	-	-
	計	113	5	(4.4)	2	(1.8)	- (0.0)	5	1	3	1	-	1	-	-
ひたちなか市	男	696	24	(3.4)	9	(1.3)	- (0.0)	27	3	15	8	1	2	-	6
	女	649	16	(2.5)	9	(1.4)	- (0.0)	17	6	4	7	-	2	-	5
	計	1,345	40	(3.0)	18	(1.3)	- (0.0)	44	9	19	15	1	4	-	11
東 海 村	男	202	10	(5.0)	2	(1.0)	- (0.0)	10	3	5	2	-	1	-	1
	女	195	4	(2.1)	5	(2.6)	- (0.0)	7	3	3	1	-	-	-	1
	計	397	14	(3.5)	7	(1.8)	- (0.0)	17	6	8	3	-	1	-	2
常陸大宮市	男	151	5	(3.3)	2	(1.3)	- (0.0)	5	1	4	-	-	-	-	-
	女	151	1	(0.7)	3	(2.0)	- (0.0)	1	1	-	-	-	-	-	-
	計	302	6	(2.0)	5	(1.7)	- (0.0)	6	2	4	-	-	-	-	-
那 珂 市	男	215	8	(3.7)	4	(1.9)	- (0.0)	8	4	3	1	-	1	-	-
	女	228	3	(1.3)	2	(0.9)	- (0.0)	4	2	1	1	-	-	-	1
	計	443	11	(2.5)	6	(1.4)	- (0.0)	12	6	4	2	-	1	-	1
大 子 町	男	47	4	(8.5)	-	(0.0)	- (0.0)	5	3	1	1	-	-	-	1
	女	48	3	(6.3)	-	(0.0)	- (0.0)	3	1	1	1	-	-	-	1
	計	95	7	(7.4)	-	(0.0)	- (0.0)	8	4	2	2	-	-	-	2
阿 見 町	男	203	6	(3.0)	7	(3.4)	- (0.0)	5	4	1	-	-	-	-	-
	女	192	8	(4.2)	5	(2.6)	- (0.0)	8	6	1	1	-	1	-	-
	計	395	14	(3.5)	12	(3.0)	- (0.0)	13	10	2	1	-	1	-	-
かすみがうら市	男	116	3	(2.6)	1	(0.9)	- (0.0)	3	2	1	-	-	-	-	-
	女	100	3	(3.0)	-	(0.0)	- (0.0)	3	3	-	-	-	-	-	-
	計	216	6	(2.8)	1	(0.5)	- (0.0)	6	5	1	-	-	-	-	-
つくば市	男	2,563	136	(5.3)	55	(2.1)	- (0.0)	146	64	59	23	2	9	-	11
	女	2,324	79	(3.4)	46	(2.0)	- (0.0)	88	54	13	18	-	9	-	18
	計	4,887	215	(4.4)	101	(2.1)	- (0.0)	234	118	72	41	2	18	-	29

単位:人(%)

市町村名	性別	一 次 ス ク リ ー ニ ン グ							二 次 ス ク リ ー ニ ン グ							
		受診者	要二次検診 対象者数		要精密検査 対象者数		その他の指導		受診者	1	2	3	4	5	6	
															A	B
つくばみらい市	男	289	15	(5.2)	6	(2.1)	-	(0.0)	18	8	4	6	1	4	-	1
	女	258	4	(1.6)	6	(2.3)	-	(0.0)	6	2	1	3	-	1	-	1
	計	547	19	(3.5)	12	(2.2)	-	(0.0)	24	10	5	9	1	5	-	2
筑 西 市	男	894	21	(2.3)	16	(1.8)	14	(1.6)	22	3	-	19	2	-	9	1
	女	782	11	(1.4)	15	(1.9)	5	(0.6)	17	2	-	14	-	3	3	-
	計	1,676	32	(1.9)	31	(1.8)	19	(1.1)	39	5	-	33	2	3	12	1
結 城 市	男	205	1	(0.5)	2	(1.0)	7	(3.4)	1	-	-	1	-	-	-	-
	女	219	4	(1.8)	1	(0.5)	6	(2.7)	4	2	-	2	-	-	2	-
	計	424	5	(1.2)	3	(0.7)	13	(3.1)	5	2	-	3	-	-	2	-
桜 川 市	男	348	23	(6.6)	4	(1.1)	-	(0.0)	24	14	4	6	-	3	-	-
	女	288	12	(4.2)	7	(2.4)	-	(0.0)	12	10	1	2	-	-	-	-
	計	636	35	(5.5)	11	(1.7)	-	(0.0)	36	24	5	8	-	3	-	-
常 総 市	男	239	11	(4.6)	6	(2.5)	-	(0.0)	10	6	3	1	-	1	-	-
	女	250	9	(3.6)	4	(1.6)	-	(0.0)	9	6	2	1	-	-	-	2
	計	489	20	(4.1)	10	(2.0)	-	(0.0)	19	12	5	2	-	1	-	2
下 妻 市	男	173	7	(4.0)	2	(1.2)	-	(0.0)	10	4	6	-	-	-	-	1
	女	161	3	(1.9)	1	(0.6)	-	(0.0)	3	2	1	-	-	-	-	-
	計	334	10	(3.0)	3	(0.9)	-	(0.0)	13	6	7	-	-	-	-	1
八千代町	男	84	7	(8.3)	1	(1.2)	-	(0.0)	7	3	3	1	-	-	-	-
	女	82	4	(4.9)	1	(1.2)	-	(0.0)	4	3	-	1	-	1	-	-
	計	166	11	(6.6)	2	(1.2)	-	(0.0)	11	6	3	2	-	1	-	-
坂 東 市	男	223	12	(5.4)	3	(1.3)	-	(0.0)	14	7	5	2	-	1	-	1
	女	237	9	(3.8)	6	(2.5)	-	(0.0)	9	4	2	3	-	1	-	2
	計	460	21	(4.6)	9	(2.0)	-	(0.0)	23	11	7	5	-	2	-	3
古 河 市	男	565	35	(6.2)	15	(2.7)	-	(0.0)	40	18	14	9	-	5	-	9
	女	555	19	(3.4)	15	(2.7)	-	(0.0)	23	12	4	6	-	3	-	6
	計	1,120	54	(4.8)	30	(2.7)	-	(0.0)	63	30	18	15	-	8	-	15
五 霞 町	男	27	2	(7.4)	-	(0.0)	-	(0.0)	2	2	-	-	-	-	-	-
	女	25	2	(8.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	2	-	2	-	-	-	-	-
	計	52	4	(7.7)	-	(0.0)	-	(0.0)	4	2	2	-	-	-	-	-
境 町	男	111	4	(3.6)	2	(1.8)	-	(0.0)	4	3	-	1	-	-	-	1
	女	100	2	(2.0)	2	(2.0)	-	(0.0)	2	1	1	-	-	-	-	-
	計	211	6	(2.8)	4	(1.9)	-	(0.0)	6	4	1	1	-	-	-	1

表5-2-7 市町村別実績(一次・二次スクリーニング検診)

(中学校)

単位:人(%)

市町村名	性別	一 次 ス ク リ ー ニ ン グ				二 次 ス ク リ ー ニ ン グ							
		受診者	要二次検診 対象者数	要精密検査 対象者数	その他の指導	受診者	1	2	3	4	5	6	
												A	B
合 計	男	5,405	297 (5.5)	64 (1.2)	7 (0.1)	322	125	119	79	4	29	5	33
	女	5,160	215 (4.2)	53 (1.0)	7 (0.1)	250	115	57	82	2	31	14	22
	計	10,565	512 (4.8)	117 (1.1)	14 (0.1)	572	240	176	161	6	60	19	55
笠 間 市	男	280	13 (4.6)	4 (1.4)	- (0.0)	16	4	8	4	-	1	-	3
	女	292	10 (3.4)	1 (0.3)	- (0.0)	11	4	5	2	-	1	-	1
	計	572	23 (4.0)	5 (0.9)	- (0.0)	27	8	13	6	-	2	-	4
城 里 町	男	79	1 (1.3)	- (0.0)	- (0.0)	1	1	-	-	-	-	-	-
	女	71	6 (8.5)	1 (1.4)	- (0.0)	6	1	3	2	-	1	-	1
	計	150	7 (4.7)	1 (0.7)	- (0.0)	7	2	3	2	-	1	-	1
ひたちなか市	男	682	27 (4.0)	12 (1.8)	- (0.0)	31	12	14	5	-	1	-	4
	女	695	23 (3.3)	8 (1.2)	- (0.0)	36	11	11	14	-	8	-	5
	計	1,377	50 (3.6)	20 (1.5)	- (0.0)	67	23	25	19	-	9	-	9
東 海 村	男	183	5 (2.7)	3 (1.6)	- (0.0)	6	2	4	-	-	-	-	-
	女	189	4 (2.1)	1 (0.5)	- (0.0)	4	1	2	1	-	1	-	-
	計	372	9 (2.4)	4 (1.1)	- (0.0)	10	3	6	1	-	1	-	-
常陸大宮市	男	140	9 (6.4)	1 (0.7)	- (0.0)	10	3	4	3	1	-	-	1
	女	150	5 (3.3)	1 (0.7)	- (0.0)	5	1	4	-	-	-	-	-
	計	290	14 (4.8)	2 (0.7)	- (0.0)	15	4	8	3	1	-	-	1
那 珂 市	男	204	5 (2.5)	4 (2.0)	- (0.0)	5	1	3	1	-	1	-	-
	女	204	7 (3.4)	- (0.0)	- (0.0)	7	3	4	-	-	-	-	-
	計	408	12 (2.9)	4 (1.0)	- (0.0)	12	4	7	1	-	1	-	-
大 子 町	男	54	3 (5.6)	- (0.0)	- (0.0)	3	1	2	-	-	-	-	-
	女	46	1 (2.2)	- (0.0)	- (0.0)	2	-	1	1	-	1	-	-
	計	100	4 (4.0)	- (0.0)	- (0.0)	5	1	3	1	-	1	-	-
阿 見 町	男	190	17 (8.9)	2 (1.1)	- (0.0)	15	13	-	2	-	2	-	-
	女	184	6 (3.3)	6 (3.3)	- (0.0)	5	2	-	3	-	3	-	-
	計	374	23 (6.1)	8 (2.1)	- (0.0)	20	15	-	5	-	5	-	-
かすみがうら市	男	56	5 (8.9)	2 (3.6)	- (0.0)	5	2	1	2	-	1	-	-
	女	41	- (0.0)	1 (2.4)	- (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	97	5 (5.2)	3 (3.1)	- (0.0)	5	2	1	2	-	1	-	-
つくば市	男	1,023	66 (6.5)	13 (1.3)	- (0.0)	72	29	27	17	3	5	-	9
	女	906	37 (4.1)	9 (1.0)	- (0.0)	46	25	5	16	-	8	-	8
	計	1,929	103 (5.3)	22 (1.1)	- (0.0)	118	54	32	33	3	13	-	17

単位:人(%)

市町村名	性別	一 次 ス ク リ ー ニ ン グ				二 次 ス ク リ ー ニ ン グ							
		受診者	要二次検診 対象者数	要精密検査 対象者数	その他の指導	受診者	1	2	3	4	5	6	
												A	B
つくばみらい市	男	202	26 (12.9)	2 (1.0)	- (0.0)	26	7	14	5	-	4	-	1
	女	195	12 (6.2)	- (0.0)	- (0.0)	11	6	3	2	1	-	-	2
	計	397	38 (9.6)	2 (0.5)	- (0.0)	37	13	17	7	1	4	-	3
筑西市	男	435	13 (3.0)	3 (0.7)	5 (1.1)	14	2	-	12	-	1	4	1
	女	450	15 (3.3)	3 (0.7)	6 (1.3)	15	1	-	14	-	-	8	-
	計	885	28 (3.2)	6 (0.7)	11 (1.2)	29	3	-	26	-	1	12	1
結城市	男	214	4 (1.9)	2 (0.9)	2 (0.9)	3	-	-	3	-	-	1	-
	女	197	10 (5.1)	3 (1.5)	1 (0.5)	10	2	-	8	1	-	6	-
	計	411	14 (3.4)	5 (1.2)	3 (0.7)	13	2	-	11	1	-	7	-
桜川市	男	166	11 (6.6)	3 (1.8)	- (0.0)	12	5	6	2	-	-	-	-
	女	145	9 (6.2)	2 (1.4)	- (0.0)	9	6	1	3	-	1	-	1
	計	311	20 (6.4)	5 (1.6)	- (0.0)	21	11	7	5	-	1	-	1
常総市	男	273	15 (5.5)	1 (0.4)	- (0.0)	16	8	5	2	-	2	-	2
	女	255	10 (3.9)	- (0.0)	- (0.0)	10	9	1	-	-	-	-	-
	計	528	25 (4.7)	1 (0.2)	- (0.0)	26	17	6	2	-	2	-	2
下妻市	男	183	9 (4.9)	- (0.0)	- (0.0)	12	4	5	3	-	-	-	4
	女	194	6 (3.1)	3 (1.5)	- (0.0)	10	3	3	4	-	2	-	2
	計	377	15 (4.0)	3 (0.8)	- (0.0)	22	7	8	7	-	2	-	6
八千代町	男	92	6 (6.5)	- (0.0)	- (0.0)	8	1	1	6	-	4	-	2
	女	84	5 (6.0)	1 (1.2)	- (0.0)	6	2	2	2	-	2	-	-
	計	176	11 (6.3)	1 (0.6)	- (0.0)	14	3	3	8	-	6	-	2
坂東市	男	221	17 (7.7)	1 (0.5)	- (0.0)	16	8	6	1	-	1	-	1
	女	198	16 (8.1)	3 (1.5)	- (0.0)	18	12	4	2	-	1	-	1
	計	419	33 (7.9)	4 (1.0)	- (0.0)	34	20	10	3	-	2	-	2
古河市	男	583	34 (5.8)	8 (1.4)	- (0.0)	41	17	17	9	-	5	-	2
	女	525	25 (4.8)	9 (1.7)	- (0.0)	31	22	6	7	-	1	-	1
	計	1,108	59 (5.3)	17 (1.5)	- (0.0)	72	39	23	16	-	6	-	3
五霞町	男	30	1 (3.3)	- (0.0)	- (0.0)	1	-	-	1	-	-	-	1
	女	31	2 (6.5)	- (0.0)	- (0.0)	2	2	-	-	-	-	-	-
	計	61	3 (4.9)	- (0.0)	- (0.0)	3	2	-	1	-	-	-	1
境町	男	115	10 (8.7)	3 (2.6)	- (0.0)	9	5	2	1	-	1	-	2
	女	108	6 (5.6)	1 (0.9)	- (0.0)	6	2	2	1	-	1	-	-
	計	223	16 (7.2)	4 (1.8)	- (0.0)	15	7	4	2	-	2	-	2

表5-2-8 国・私立学校実績(心電・心音図検査)

単位:人(%)

区分	性別	受診者	要二次検診対象者数	要精密検査対象者数	その他の指導
合 計	男	234	6 (2.6)	3 (1.3)	- (0.0)
	女	261	3 (1.1)	- (0.0)	- (0.0)
	計	495	9 (1.8)	3 (0.6)	- (0.0)
国 ・ 私 立 小 学 校	男	154	1 (0.6)	2 (1.3)	- (0.0)
	女	173	2 (1.2)	- (0.0)	- (0.0)
	計	327	3 (0.9)	2 (0.6)	- (0.0)
国 ・ 私 立 中 学 校	男	80	5 (6.3)	1 (1.3)	- (0.0)
	女	88	1 (1.1)	- (0.0)	- (0.0)
	計	168	6 (3.6)	1 (0.6)	- (0.0)

表5-2-9 国・私立学校実績(心電図検査)

単位:人(%)

区分	性別	受診者	要二次検診対象者数	要精密検査対象者数	その他の指導
合 計	男	754	34 (4.5)	14 (1.9)	- (0.0)
	女	1,270	40 (3.1)	17 (1.3)	- (0.0)
	計	2,024	74 (3.7)	31 (1.5)	- (0.0)
私 立 小 学 校	男	2	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
	女	5	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
	計	7	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)
国 ・ 私 立 中 学 校	男	130	6 (4.6)	1 (0.8)	- (0.0)
	女	181	4 (2.2)	2 (1.1)	- (0.0)
	計	311	10 (3.2)	3 (1.0)	- (0.0)
私立高校・国立高等専門学校	男	611	27 (4.4)	11 (1.8)	- (0.0)
	女	1,077	36 (3.3)	13 (1.2)	- (0.0)
	計	1,688	63 (3.7)	24 (1.4)	- (0.0)
国 立 特 別 支 援 学 校	男	11	1 (9.1)	2 (18.2)	- (0.0)
	女	7	- (0.0)	2 (28.6)	- (0.0)
	計	18	1 (5.6)	4 (22.2)	- (0.0)

表5-2-10 心臓病検診所見内訳(一次スクリーニング検診)

単位:人

		小 学 校				中 学 校			
		正 常 範 囲 内	対 要 二 象 次 検 者 診	対 要 精 象 密 検 者 査	そ の 他 の 指 導	正 常 範 囲 内	対 要 二 象 次 検 者 診	対 要 精 象 密 検 者 査	そ の 他 の 指 導
心 電 図 所 見	計	804	488	68	29	433	448	33	14
	心 室 期 外 収 縮	7	55	2	13	2	66	3	8
	上 室 期 外 収 縮	13	56	1	1	7	38	2	1
	洞 性 不 整 脈	194	3	5	-	43	3	-	-
	I 度 房 室 ブ ロ ッ ク	2	7	-	-	3	12	-	-
	II 度 房 室 ブ ロ ッ ク	-	2	1	-	-	3	-	-
	完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク	6	22	11	4	2	15	6	2
	不 完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク	250	109	14	1	167	99	5	1
	左 房 負 荷	-	-	1	-	-	1	-	-
	右 室 肥 大	3	84	6	-	1	15	-	-
	左 室 肥 大	-	32	1	-	2	61	-	-
	右 軸 偏 位	87	17	7	-	32	18	2	-
	左 軸 偏 位	19	24	4	-	24	16	3	-
	Q T , Q T c 延 長	1	30	1	5	-	40	5	1
	P Q 短 縮	6	3	-	-	1	3	-	-
	W P W 症 候 群	-	6	6	5	-	12	2	1
	Q S 型	8	4	-	-	3	6	1	-
	S T - T 変 化	1	10	2	-	2	17	2	-
	房 室 解 離	-	3	1	-	-	2	-	-
	異 所 性 調 律	207	21	5	-	144	21	2	-
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-
心 音 図 所 見	計	478	57	33	-	334	64	20	-
	機 能 性 雑 音	476	15	5	-	334	25	1	-
	収 縮 期 雑 音	2	29	24	-	-	29	18	-
	拡 張 期 雑 音	-	1	2	-	-	-	1	-
	II 音 固 定 性 分 裂	-	9	1	-	-	7	-	-
	ク リ ッ ク 音	-	3	1	-	-	3	-	-
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-

表5-2-11 心臓病検診所見内訳(心電・心音図検査)

単位:人

		小 学 校				中 学 校			
		正 常 範 囲 内	対 要 二 象 次 検 者 診	対 要 精 象 密 検 者 査	そ の 他 の 指 導	正 常 範 囲 内	対 要 二 象 次 検 者 診	対 要 精 象 密 検 者 査	そ の 他 の 指 導
心 電 図 所 見	計	2	3	-	-	1	4	-	-
	心 室 期 外 収 縮	-	-	-	-	-	1	-	-
	上 室 期 外 収 縮	-	-	-	-	1	1	-	-
	洞 性 不 整 脈	-	-	-	-	-	-	-	-
	I 度 房 室 ブ ロ ッ ク	-	-	-	-	-	-	-	-
	II 度 房 室 ブ ロ ッ ク	-	-	-	-	-	-	-	-
	完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク	-	1	-	-	-	-	-	-
	不 完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク	-	-	-	-	-	1	-	-
	左 房 負 荷	-	-	-	-	-	-	-	-
	右 室 肥 大	-	2	-	-	-	-	-	-
	左 室 肥 大	-	-	-	-	-	-	-	-
	右 軸 偏 位	-	-	-	-	-	1	-	-
	左 軸 偏 位	-	-	-	-	-	-	-	-
	Q T , Q T c 延 長	-	-	-	-	-	-	-	-
	P Q 短 縮	-	-	-	-	-	-	-	-
	W P W 症 候 群	-	-	-	-	-	-	-	-
	Q S 型	-	-	-	-	-	-	-	-
	S T - T 変 化	-	-	-	-	-	-	-	-
	房 室 解 離	-	-	-	-	-	-	-	-
	異 所 性 調 律	2	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-
心 音 図 所 見	計	6	-	-	-	1	-	-	-
	機 能 性 雑 音	6	-	-	-	1	-	-	-
	収 縮 期 雑 音	-	-	-	-	-	-	-	-
	拡 張 期 雑 音	-	-	-	-	-	-	-	-
	II 音 固 定 性 分 裂	-	-	-	-	-	-	-	-
	ク リ ッ ク 音	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-

表5-2-12 心臓病検診所見内訳(心電図検査)

単位:人

		小 学 校				中 学 校				高 等 学 校				特 別 支 援 学 校			
		正 常 範 囲 内	要 二 次 検 診 対 象 者	医 療 精 密 機 関 者	そ の 他 の 指 導	正 常 範 囲 内	要 二 次 検 診 対 象 者	要 精 密 検 査 対 象 者	そ の 他 の 指 導	正 常 範 囲 内	要 二 次 検 診 対 象 者	要 精 密 検 査 対 象 者	そ の 他 の 指 導	正 常 範 囲 内	要 二 次 検 診 対 象 者	要 精 密 検 査 対 象 者	そ の 他 の 指 導
心 電 図 所 見	計	-	-	-	-	10	11	2	-	32	55	16	-	-	1	3	-
	心 室 期 外 収 縮	-	-	-	-	-	4	-	-	1	6	1	-	-	-	-	-
	上 室 期 外 収 縮	-	-	-	-	4	-	-	-	7	5	1	-	-	-	-	-
	洞 性 不 整 脈	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-
	I 度 房 室 ブ ロ ッ ク	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	1	-	-	-	-	-
	II 度 房 室 ブ ロ ッ ク	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	2	-	-	-	1	-
	不 完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク	-	-	-	-	1	1	1	-	4	6	1	-	-	-	-	-
	左 房 負 荷	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	右 室 肥 大	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
	左 室 肥 大	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
	右 軸 偏 位	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	-	-	-	1	-
	左 軸 偏 位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-
	Q T , Q T c 延 長	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
	P Q 短 縮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	W P W 症 候 群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	1	-	-
	Q S 型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S T - T 変 化	-	-	-	-	-	1	1	-	-	12	1	-	-	-	-	-
	房 室 解 離	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	異 所 性 調 律	-	-	-	-	4	-	-	-	9	1	2	-	-	-	1	-
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

貧血検査



5-3 貧血検査

5-3-1 概要

貧血とは、血液中の赤血球の数や血色素量（ヘモグロビン）が減少した状態をいう。

児童・生徒の体が著しく成長する時期では、体内で鉄の需要が高まり、その結果貧血になりやすく、顔色不良・動悸・息切れ・疲労・倦怠感・めまいなど様々な症状を起こす。成長期における心身発達に及ぼす影響として、持続力の低下や、集中力、記憶力の低下などが指摘されている。早期に貧血を発見し、食生活の改善指導や治療へとつなげることが、健全な学校生活を営むことにつながる。

また、貧血検査等の血液検査と同時に実施するヘリコバクター・ピロリ菌検査は、平成30年度は1市1町で実施した。

5-3-2 実施状況

平成30年度は、中学校では3市町と私立高校1校が実施し2,701人が受診した。検査結果は、貧血傾向者97人（3.6%）、白血球数異常値者144人（4.2%）であった。また、異常項目重複者を含む総異常値者数は、328人（12.1%）であった。

貧血傾向者の割合は、男性0.8%、女性が6.0%で、女性が男性より多い傾向にあった。

また、ヘリコバクター・ピロリ菌検査は、2,196人が受診し、陽性者は38人（1.7%）であった。

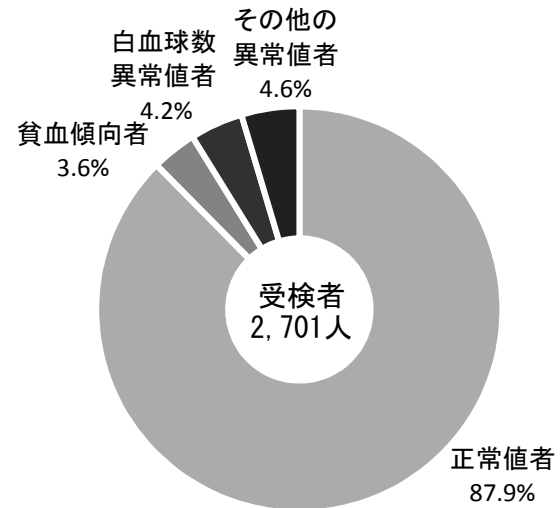


図5-3-1 貧血検査結果の割合

※結果重複者あり

5-3-3 検査方法

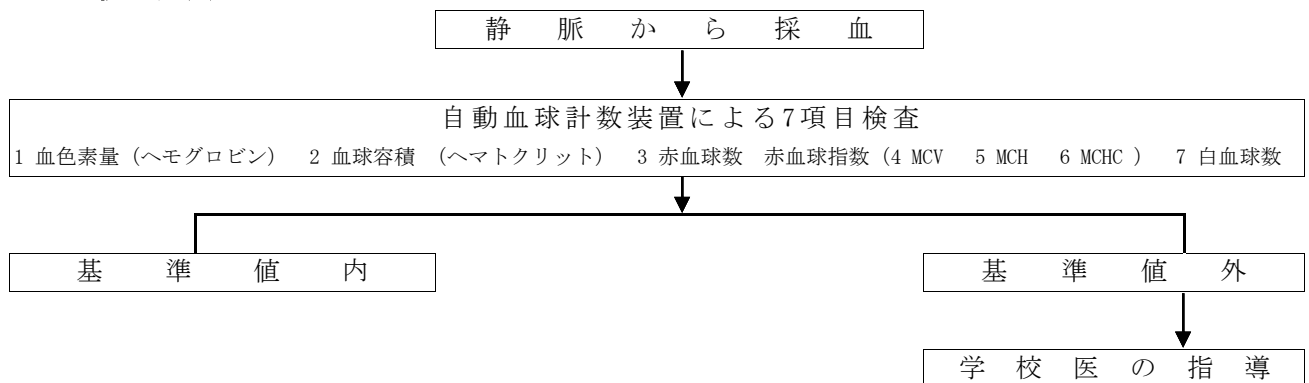


表5-3-1 判定基準

	血色素量 (g/dL)		血球容積 (%)		赤血球数 (万/mm ³)		白血球数 (/mm ³)
	男	女	男	女	男	女	
小学校 4～6年生	12.0 ～ 15.0		34.5 ～ 45.5		380 ～ 530		3,900
中学生	12.0～16.5	11.5～15.5	36.0～48.0	34.0～46.0	400～550	390～520	}
高校生	13.0～17.5	12.0～16.0	39.0～50.0	35.0～48.0	420～560	390～520	

表5-3-2 年度別検査実績

単位:人(%)

年度	性別	受検者	総異常値者		貧血傾向者		白血球数値者	
平成 20	男	1,480	110	(7.4)	27	(1.8)	66	(4.5)
	女	1,715	199	(11.6)	118	(6.9)	69	(4.0)
	計	3,195	309	(9.7)	145	(4.5)	135	(4.2)
21	男	1,297	101	(7.8)	17	(1.3)	59	(4.5)
	女	1,455	188	(12.9)	116	(8.0)	69	(4.7)
	計	2,752	289	(10.5)	133	(4.8)	128	(4.7)
22	男	1,397	143	(10.2)	16	(1.1)	74	(5.3)
	女	1,478	220	(14.9)	101	(6.8)	119	(8.1)
	計	2,875	363	(12.6)	117	(4.1)	193	(6.7)
23	男	1,395	151	(10.8)	15	(1.1)	93	(6.7)
	女	1,629	245	(15.0)	118	(7.2)	120	(7.4)
	計	3,024	396	(13.1)	133	(4.4)	213	(7.0)
24	男	1,382	212	(15.3)	20	(1.4)	111	(8.0)
	女	1,563	225	(14.4)	94	(6.0)	116	(7.4)
	計	2,945	437	(14.8)	114	(3.9)	227	(7.7)
25	男	1,298	151	(11.6)	14	(1.1)	60	(4.6)
	女	1,642	228	(13.9)	97	(5.9)	115	(7.0)
	計	2,940	379	(12.9)	111	(3.8)	175	(6.0)
26	男	1,345	196	(14.6)	18	(1.3)	80	(5.9)
	女	1,530	242	(15.8)	99	(6.5)	126	(8.2)
	計	2,875	438	(15.2)	117	(4.1)	206	(7.2)
27	男	1,256	210	(16.7)	15	(1.2)	86	(6.8)
	女	1,523	226	(14.8)	92	(6.0)	116	(7.6)
	計	2,779	436	(15.7)	107	(3.9)	202	(7.3)
28	男	1,267	164	(12.9)	11	(0.9)	63	(5.0)
	女	1,561	231	(14.8)	102	(6.5)	100	(6.4)
	計	2,828	395	(14.0)	113	(4.0)	163	(5.8)
29	男	1,244	202	(16.2)	11	(0.9)	79	(6.4)
	女	1,401	181	(12.9)	70	(5.0)	85	(6.1)
	計	2,645	383	(14.5)	81	(3.1)	164	(6.2)
30	男	1,242	142	(11.4)	10	(0.8)	38	(3.1)
	女	1,459	186	(12.7)	87	(6.0)	76	(5.2)
	計	2,701	328	(12.1)	97	(3.6)	114	(4.2)

※ 総異常値者数は、Hb・Ht・RBC・WBCのいずれかの項目が低値又は高値であった人の合計。貧血傾向者数は、Hb・Ht・RBCのいずれかの項目で低値を示した人の合計。（Hb：血色素量，Ht：血球容積，RBC：赤血球数，WBC：白血球数）

表5-3-3 検査実績（学校区分別）

（中学校）

単位：人（％）

		受検者	総異常値者	貧血傾向者	血色素量			血球容積			赤血球数			白血球数		
					異常値者	平均値	標準偏差	異常値者	平均値	標準偏差	異常値者	平均値	標準偏差	異常値者	平均値	標準偏差
合 計	男	1,242	142 (11.4)	10 (0.8)	28	14.60	0.85	65	43.39	2.53	72	500.67	32.08	68	6035.90	1337.86
	女	1,186	137 (11.6)	52 (4.4)	52	13.44	0.98	41	40.11	2.68	29	459.37	27.86	65	6391.10	1555.97
	計	2,428	279 (11.5)	62 (2.6)	80	14.04	1.11	106	41.79	3.15	101	480.49	36.21	133	6209.40	1519.34
水 戸 市	男	1,045	124 (11.9)	5 (0.5)	23	14.69	0.81	58	43.64	2.40	63	501.62	28.90	54	5987.97	1428.39
	女	1,012	119 (11.8)	46 (4.5)	45	13.48	0.99	37	40.24	2.66	24	459.98	26.17	58	6367.75	1490.89
	計	2,057	243 (11.8)	51 (2.5)	68	14.09	1.12	95	41.97	3.15	87	481.14	36.10	112	6174.81	1501.03
茨 城 町	男	119	9 (7.6)	3 (2.5)	3	14.06	1.00	3	41.91	2.87	3	493.95	31.18	13	6571.85	1796.36
	女	115	12 (10.4)	4 (3.5)	5	13.20	1.35	2	39.38	3.95	4	454.15	47.58	4	6802.17	1781.35
	計	234	21 (9.0)	7 (3.0)	8	13.64	0.99	5	40.67	2.82	7	474.39	35.35	17	6685.04	1736.66
大 洗 町	男	78	9 (11.5)	2 (2.6)	2	14.32	0.92	4	42.32	2.72	6	498.12	36.60	1	5860.38	1175.27
	女	59	6 (10.2)	2 (3.4)	2	13.21	0.98	2	39.22	2.56	1	459.00	28.22	3	5990.34	1268.36
	計	137	15 (10.9)	4 (2.9)	4	13.84	1.09	6	40.99	3.06	7	481.27	38.42	4	5916.35	1213.38

（高等学校）

単位：人（％）

		受検者	総異常値者	貧血傾向者	血色素量			血球容積			赤血球数			白血球数		
					異常値者	平均値	標準偏差	異常値者	平均値	標準偏差	異常値者	平均値	標準偏差	異常値者	平均値	標準偏差
私立高校	女	273	49 (17.9)	35 (12.8)	34	13.12	1.04	13	39.71	2.79	-	452.02	29.07	11	6658.86	1519.70

※ 総異常値者数は、Hb・Ht・RBC・WBCのいずれかの項目が低値又は高値であった人の合計。貧血傾向者数は、Hb・Ht・RBCのいずれかの項目で低値を示した人の合計。（Hb：血色素量，Ht：血球容積，R B C：赤血球数，WBC：白血球数）

表5-3-4 ヘリコバクター・ピロリ菌検査実績

（中学校）

単位：人（％）

		受検者	陽性者
合 計	男	1,121	19 (1.7)
	女	1,075	19 (1.8)
	計	2,196	38 (1.7)
水 戸 市	男	1,044	17 (1.6)
	女	1,007	17 (1.7)
	計	2,051	34 (1.7)
城里町	男	77	2 (2.6)
	女	68	2 (2.9)
	計	145	4 (2.8)

小児生活習慣病予防健診



5－4 小児生活習慣病予防健診

5-4-1 概要

内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム ※以下、メタボ）という疾患概念が確立され、心筋梗塞や脳梗塞など重篤な疾患の原因となることが指摘されており、生活習慣を改善することで、そのリスクが減少することが明らかになってきた。

一方、成人だけでなく児童・生徒の中にもメタボ予備群が増加しており、その原因として食生活の欧米化や生活環境の変化による、過食（カロリー過剰摂取）、運動不足等が挙げられている。

この健診は、特定の疾患を発見して医療や医学的管理を受けさせることを目的とするのではなく、子ども達の身体の状態を把握・認識し、将来発症する危険性のある疾患を生活指導によって予防することを目的としており、成人してからのメタボ予防に大きく関与しているものである。

5-4-2 実施状況

平成30年度は、15市町村で9,531人実施し、結果説明会対象者は2,049人（21.5%）で、総合判定Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのいずれかとなった。

結果説明会対象者の割合は、ここ数年増加傾向にあり、今年度は21%を超える割合となった。

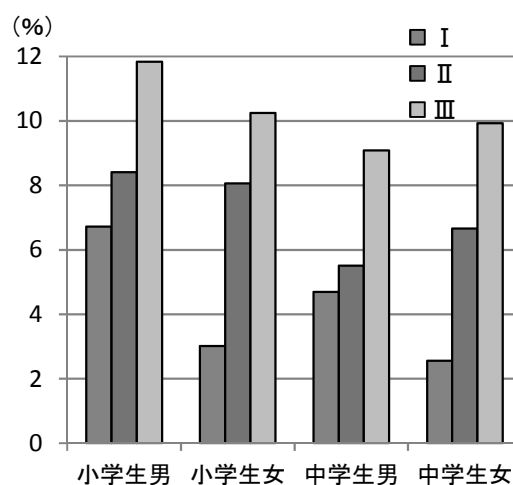


図5-4-1 小児生活習慣病予防健診区分別
総合判定有所見者の割合

- Ⅰ 医学的管理が必要
- Ⅱ 定期的経過観察が必要
- Ⅲ 食事運動を中心とした生活指導が必要

5-4-3 検査方法

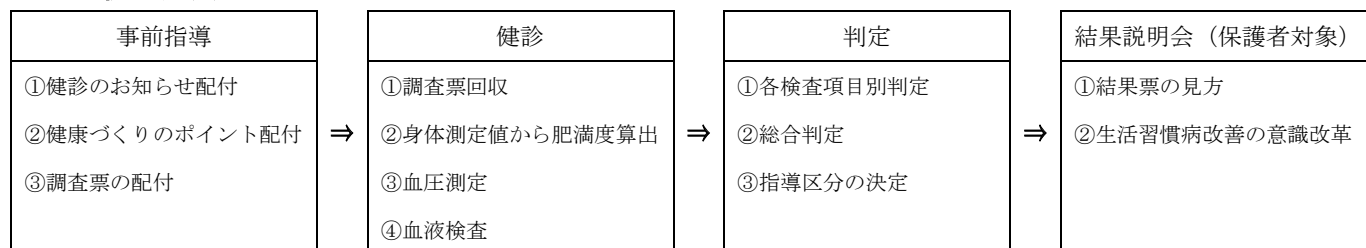


表 5-4-1 総合判定と指導区分等

総合判定	判定基準	指導区分	指導内容
I（要医学的管理）	I-1 糖尿病判定が（a）	I-1	引き続き専門医による管理を行ってください。
	I-2 各項目のうち1項目でも（a） ※I-1を除く	I-2	専門医への受診をお勧めします。
	I-3 どの項目にも（a）はないが 「脂質」「血圧」が共に（b）	I-3	専門医の管理が望ましいです。
II（要経過観察）	どの項目にも（a）がなく、いずれか 1項目でも（b）	II	医師、学校、家庭などが連携して生活指導を行い、 数ヶ月から1年後に経過観察のため再検査を受けてください。
III（要生活指導）	どの項目にも（a）（b）がなく、いず れか1項目でも（c）	III	学校、家庭などの連携のもとに生活指導を行うこ とが望ましいです。
IV（管理不要）	「脂質」「血圧」「家族歴」が共に（d）、 または「脂質」「血圧」「家族歴」いづれ かが（d）で他の項目は全て（n） （2項目が（d）の場合も含む）	IV	所見はありますが、管理は不要です。ただし、次 回の健診時に検査項目値の変動に留意します。
N（正常）	全ての項目が（n）	N	今回の健診では異常所見が認められない。

表 5-4-2 項目別判定基準

①現病歴（糖尿病）

糖尿病有	a
〃 無	n

②家族歴

家族歴有	d
〃 無	n

③肥満度

50%以上	a
30～49.9%	b
20～29.9%	c
－19.9～19.9%	n
－20%以上	y

④－1 脂質
(HDL-C, TC)

		HDL-コレステロール	
		40mg/dL 以上	40mg/dL 未満
総コレステロール	280mg/dL 以上	a	a
	240～279mg/dL	b	a
	220～239mg/dL	c	b
	190～219mg/dL	d	c
	190mg/dL 未満	n	d

④－2 脂質 (LDL-C)

190mg/dL 以上	a
160～189mg/dL	b
140～159mg/dL	c
110～139mg/dL	d
110mg/dL 未満	n

⑤－1 血圧（小学校・男女，中学校・女子）

収縮期圧 (mmHg)	145 以上	a			
	144～135	b			
	134～120	d			
	120 未満	n			
		70 未満	70～79	80～89	90 以上
		拡張期圧 (mmHg)			

⑤－2 血圧（中学校・男子）

収縮期圧 (mmHg)	150 以上	a			
	149～140	b			
	139～120	d			
	120 未満	n			
		70 未満	70～84	85～94	95 以上
		拡張期圧 (mmHg)			

⑥肝機能 (ALT)

40 IU/L 以上	a
40 IU/L 未満	n

表 5-4-3 判定評価内容

判定	判 定 概 念
a	同年齢の基準からかなり大きくかけ離れている状態で病的状態である可能性があるもの
b	同年齢の基準から明らかに乖離しているもので，放置されてその状態が進行すると病的状態に至る危険性があるもの
c	同年齢の基準を超えているものではあるが異常の程度は比較的軽く，指導によって正常化する可能性が高いもの
d	同年齢の基準をやや超えているものの正常範囲とも考えられるもの
n	同年齢の基準域内にあるもの

表5-4-4 年度別健診実績

単位:人(%)

年度	受診者	結果説明会対象者	総合判定内訳				
			I	II	III	IV	N
平成 20	14,334	3,077 (21.5)	622	1,005	1,450	7,183	4,074
21	14,467	2,891 (20.0)	571	1,002	1,318	7,124	4,452
22	14,510	2,799 (19.3)	566	932	1,301	7,315	4,396
23	14,305	2,697 (18.9)	538	865	1,294	7,299	4,309
24	13,936	2,666 (19.1)	539	908	1,219	7,151	4,119
25	12,949	2,463 (19.0)	482	878	1,103	6,790	3,696
26	12,764	2,391 (18.7)	429	825	1,137	6,632	3,741
27	11,941	2,301 (19.3)	412	791	1,098	6,227	3,413
28	11,689	2,276 (19.5)	410	762	1,104	5,871	3,542
29	11,228	2,320 (20.7)	406	796	1,118	5,699	3,209
30	9,531	2,049 (21.5)	404	672	973	4,817	2,665

※総合判定内容

I:医学的管理が必要 II:定期的経過観察が必要 III:食事運動を中心とした生活指導が必要 IV:管理不要 N:正常

表5-4-5 健診実績（総合判定別）

単位:人(%)

区 分	性別	受診者	結果説明会 対象者	総合判定内訳				
				I	II	III	IV	N
合 計	男	4,934	1,124 (22.8)	277	337	510	2,325	1,485
	女	4,597	925 (20.1)	127	335	463	2,492	1,180
	計	9,531	2,049 (21.5)	404	672	973	4,817	2,665
小 学 校	男	2,248	606 (27.0)	151	189	266	1,035	607
	女	2,059	439 (21.3)	62	166	211	1,094	526
	計	4,307	1,045 (24.3)	213	355	477	2,129	1,133
中 学 校	男	2,686	518 (19.3)	126	148	244	1,290	878
	女	2,538	486 (19.1)	65	169	252	1,398	654
	計	5,224	1,004 (19.2)	191	317	496	2,688	1,532

※ 総合判定内容

I:医学的管理が必要 II:定期的経過観察が必要 III:食事運動を中心とした生活指導が必要 IV:管理不要 N:正常

表5-4-6 健診実績（検査項目別）

単位:人(%)

	性別	受診者	有所見者	項目別有所見内訳					
				家族歴	肥満度	脂質 (HDL-C・TC)	脂質 (LDL-C)	血圧	肝機能 (ALT)
合 計	男	4,934	3,472 (70.4)	2,334 (47.3)	964 (19.5)	1,130 (22.9)	996 (20.2)	547 (11.1)	181 (3.7)
	女	4,597	3,454 (75.1)	2,228 (48.5)	733 (15.9)	1,397 (30.4)	1,266 (27.5)	744 (16.2)	44 (1.0)
	計	9,531	6,926 (72.7)	4,562 (47.9)	1,697 (17.8)	2,527 (26.5)	2,262 (23.7)	1,291 (13.5)	225 (2.4)
小 学 校	男	2,248	1,646 (73.2)	1,081 (48.1)	492 (21.9)	635 (28.2)	585 (26.0)	231 (10.3)	98 (4.4)
	女	2,059	1,548 (75.2)	998 (48.5)	339 (16.5)	635 (30.8)	596 (28.9)	310 (15.1)	23 (1.1)
	計	4,307	3,194 (74.2)	2,079 (48.3)	831 (19.3)	1,270 (29.5)	1,181 (27.4)	541 (12.6)	121 (2.8)
中 学 校	男	2,686	1,826 (68.0)	1,253 (46.6)	472 (17.6)	495 (18.4)	411 (15.3)	316 (11.8)	83 (3.1)
	女	2,538	1,906 (75.1)	1,230 (48.5)	394 (15.5)	762 (30.0)	670 (26.4)	434 (17.1)	21 (0.8)
	計	5,224	3,732 (71.4)	2,483 (47.5)	866 (16.6)	1,257 (24.1)	1,081 (20.7)	750 (14.4)	104 (2.0)

表5-4-7 市町村別実績（項目別有所見者内訳）

（小学校）

単位：人（％）

市 町 村 名	学年	性別	受 診 者	有 所 見 者	項 目 別 有 所 見 内 訳					
					家 族 歴	肥 満 度	脂 質 (HDL-C・TC)	脂 質 (LDL-C)	血 圧	肝 機 能 (ALT)
合 計		男	2,248	1,646 (73.2)	1,081	492	635	585	231	98
		女	2,059	1,548 (75.2)	998	339	635	596	310	23
		計	4,307	3,194 (74.2)	2,079	831	1,270	1,181	541	121
水 戸 市 *受診者は対象者のみ	4	男	125	120 (96.0)	74	94	44	47	17	19
		女	85	77 (90.6)	52	49	21	31	6	6
		計	210	197 (93.8)	126	143	65	78	23	25
城 里 町	4	男	57	50 (87.7)	30	14	28	21	19	4
		女	64	60 (93.8)	29	16	32	31	26	－
		計	121	110 (90.9)	59	30	60	52	45	4
	5	男	1	－ (0.0)	－	－	－	－	－	－
		女	1	1 (100.0)	1	1	－	－	－	－
		計	2	1 (50.0)	1	1	－	－	－	－
ひ たち な か 市 *受診者は対象者のみ	4	男	74	64 (86.5)	56	21	20	19	11	2
		女	70	61 (87.1)	49	17	27	26	9	2
		計	144	125 (86.8)	105	38	47	45	20	4
常 陸 大 宮 市	4	男	159	113 (71.1)	83	21	33	32	22	1
		女	128	95 (74.2)	63	16	38	37	20	1
		計	287	208 (72.5)	146	37	71	69	42	2
筑 西 市	4	男	425	268 (63.1)	181	67	93	98	13	7
		女	364	249 (68.4)	163	46	96	101	22	4
		計	789	517 (65.5)	344	113	189	199	35	11
桜 川 市	4	男	163	118 (72.4)	71	27	48	45	22	5
		女	139	105 (75.5)	64	14	44	36	31	－
		計	302	223 (73.8)	135	41	92	81	53	5
常 総 市	4	男	244	176 (72.1)	108	51	91	73	19	14
		女	263	198 (75.3)	122	38	91	84	28	2
		計	507	374 (73.8)	230	89	182	157	47	16

単位:人(%)

市町村名	学年	性別	受診者	有所見者	項目別有所見内訳					
					家族歴	肥満度	脂質 (HDL-C・TC)	脂質 (LDL-C)	血圧	肝機能 (ALT)
常総市	5	男	1	1 (100.0)	1	-	-	-	1	-
		女	-	- -	-	-	-	-	-	-
		計	1	1 (100.0)	1	-	-	-	1	-
下妻市	4	男	186	135 (72.6)	96	32	44	34	23	3
		女	153	104 (68.0)	64	18	45	34	27	3
		計	339	239 (70.5)	160	50	89	68	50	6
八千代町	4	男	91	71 (78.0)	35	20	35	28	14	6
		女	76	55 (72.4)	39	9	20	21	9	1
		計	167	126 (75.4)	74	29	55	49	23	7
	5	男	7	7 (100.0)	4	6	1	2	2	1
		女	8	7 (87.5)	4	6	2	2	-	-
		計	15	14 (93.3)	8	12	3	4	2	1
	6	男	10	10 (100.0)	4	7	2	5	2	-
		女	8	8 (100.0)	6	7	6	6	4	-
		計	18	18 (100.0)	10	14	8	11	6	-
古河市	4	男	586	422 (72.0)	276	90	156	145	50	22
		女	575	439 (76.3)	279	83	179	160	99	3
		計	1,161	861 (74.2)	555	173	335	305	149	25
	5	男	21	20 (95.2)	12	17	9	11	5	8
		女	9	9 (100.0)	4	6	5	6	4	1
		計	30	29 (96.7)	16	23	14	17	9	9
	6	男	5	5 (100.0)	5	5	3	3	1	3
		女	1	1 (100.0)	1	1	-	1	-	-
		計	6	6 (100.0)	6	6	3	4	1	3
境町	4	男	93	66 (71.0)	45	20	28	22	10	3
		女	115	79 (68.7)	58	12	29	20	25	-
		計	208	145 (69.7)	103	32	57	42	35	3

表5-4-8 市町村別実績（項目別有所見者内訳）

（中学校）

単位：人（％）

市 町 村 名	学年	性別	受 診 者	有 所 見 者	項 目 別 有 所 見 内 訳					
					家族歴	肥 満 度	脂 質 (HDL-C・TC)	脂 質 (LDL-C)	血 圧	肝機能 (ALT)
合 計		男	2,686	1,826 (68.0)	1,253	472	495	411	316	83
		女	2,538	1,906 (75.1)	1,230	394	762	670	434	21
		計	5,224	3,732 (71.4)	2,483	866	1,257	1,081	750	104
水 戸 市 *受診者は対象者のみ	1	男	73	69 (94.5)	43	59	17	21	7	8
		女	58	53 (91.4)	38	30	16	20	4	2
		計	131	122 (93.1)	81	89	33	41	11	10
笠 間 市	1	男	256	179 (69.9)	128	30	43	25	38	5
		女	277	206 (74.4)	128	40	82	70	65	-
		計	533	385 (72.2)	256	70	125	95	103	5
城 里 町	1	男	77	60 (77.9)	37	23	28	22	12	6
		女	68	52 (76.5)	32	7	26	25	10	-
		計	145	112 (77.2)	69	30	54	47	22	6
ひ たち な か 市 *受診者は対象者のみ	1	男	39	28 (71.8)	26	7	3	8	2	-
		女	34	29 (85.3)	28	4	13	11	3	1
		計	73	57 (78.1)	54	11	16	19	5	1
東 海 村	1	男	148	93 (62.8)	60	19	27	22	21	2
		女	130	107 (82.3)	66	25	27	29	40	1
		計	278	200 (71.9)	126	44	54	51	61	3
常 陸 大 宮 市	1	男	127	92 (72.4)	60	26	21	14	15	3
		女	143	96 (67.1)	62	12	32	26	15	1
		計	270	188 (69.6)	122	38	53	40	30	4
大 子 町	1	男	52	27 (51.9)	21	3	6	7	7	-
		女	44	31 (70.5)	20	7	10	7	10	-
		計	96	58 (60.4)	41	10	16	14	17	-
筑 西 市	1	男	410	248 (60.5)	172	70	65	60	12	12
		女	424	309 (72.9)	212	84	86	97	39	3
		計	834	557 (66.8)	384	154	151	157	51	15

単位:人(%)

市 町 村 名	学年	性別	受 診 者	有 所 見 者	項 目 別 有 所 見 内 訳					
					家 族 歴	肥 満 度	脂 質 (HDL-C・TC)	脂 質 (LDL-C)	血 圧	肝 機 能 (ALT)
桜 川 市	1	男	155	108 (69.7)	74	19	28	30	21	6
		女	124	95 (76.6)	62	15	49	42	25	1
		計	279	203 (72.8)	136	34	77	72	46	7
常 総 市	1	男	260	184 (70.8)	136	43	56	46	22	3
		女	238	181 (76.1)	118	25	88	76	31	3
		計	498	365 (73.3)	254	68	144	122	53	6
下 妻 市	1	男	146	84 (57.5)	57	19	24	16	18	6
		女	165	123 (74.5)	73	20	56	45	17	3
		計	311	207 (66.6)	130	39	80	61	35	9
坂 東 市	1	男	190	118 (62.1)	75	38	31	26	10	6
		女	173	121 (69.9)	81	29	54	43	12	1
		計	363	239 (65.8)	156	67	85	69	22	7
八 千 代 町	1	男	85	58 (68.2)	43	11	14	9	5	4
		女	83	57 (68.7)	31	10	21	17	14	－
		計	168	115 (68.5)	74	21	35	26	19	4
	2	男	12	11 (91.7)	5	8	3	5	2	1
		女	4	4 (100.0)	3	4	－	－	2	－
		計	16	15 (93.8)	8	12	3	5	4	1
	3	男	3	3 (100.0)	2	3	2	－	3	1
		女	4	4 (100.0)	3	2	1	1	1	－
		計	7	7 (100.0)	5	5	3	1	4	1
古 河 市	1	男	530	375 (70.8)	246	74	105	80	97	13
		女	463	357 (77.1)	221	60	159	125	132	5
		計	993	732 (73.7)	467	134	264	205	229	18
	2	男	10	7 (70.0)	5	5	2	2	5	1
		女	2	2 (100.0)	1	2	1	1	1	－
		計	12	9 (75.0)	6	7	3	3	6	1

単位:人(%)

市 町 村 名	学 年	性 別	受 診 者	有 所 見 者	項 目 別 有 所 見 内 訳					
					家 族 歴	肥 満 度	脂 質 (HDL-C・TC)	脂 質 (LDL-C)	血 圧	肝 機 能 (ALT)
古 河 市	3	男	3	3 (100.0)	2	3	1	3	1	3
		女	1	1 (100.0)	1	1	-	1	-	-
		計	4	4 (100.0)	3	4	1	4	1	3
境 町	1	男	110	79 (71.8)	61	12	19	15	18	3
		女	103	78 (75.7)	50	17	41	34	13	-
		計	213	157 (73.7)	111	29	60	49	31	3

表5-4-9 市町村別実績（総合判定内訳）

（小学校）

単位：人（％）

市 町 村 名	学年	性別	受 診 者	結 果 説 明 会 対 象 者		総 合 判 定 内 訳				
						I	II	III	IV	N
合 計		男	2,248	606	(27.0)	151	189	266	1,035	607
		女	2,059	439	(21.3)	62	166	211	1,094	526
		計	4,307	1,045	(24.3)	213	355	477	2,129	1,133
水 戸 市	4	男	125	100	(80.0)	24	34	42	20	5
		女	85	51	(60.0)	11	17	23	26	8
		計	210	151	(71.9)	35	51	65	46	13
*受診者は対象者のみ										
城 里 町	4	男	57	22	(38.6)	7	7	8	28	7
		女	64	25	(39.1)	－	15	10	35	4
		計	121	47	(38.8)	7	22	18	63	11
城 里 町	5	男	1	－	(0.0)	－	－	－	－	1
		女	1	－	(0.0)	－	－	－	1	－
		計	2	－	(0.0)	－	－	－	1	1
ひ たち な か 市	4	男	74	22	(29.7)	6	6	10	42	10
		女	70	23	(32.9)	3	10	10	38	9
		計	144	45	(31.3)	9	16	20	80	19
常 陸 大 宮 市	4	男	159	25	(15.7)	4	11	10	88	46
		女	128	24	(18.8)	3	7	14	70	34
		計	287	49	(17.1)	7	18	24	158	80
筑 西 市	4	男	425	89	(20.9)	11	28	50	179	157
		女	364	58	(15.9)	8	20	30	188	118
		計	789	147	(18.6)	19	48	80	367	275
桜 川 市	4	男	163	37	(22.7)	7	14	16	80	46
		女	139	23	(16.5)	2	11	10	81	35
		計	302	60	(19.9)	9	25	26	161	81
常 総 市	4	男	244	66	(27.0)	20	16	30	110	68
		女	263	50	(19.0)	6	19	25	146	67
		計	507	116	(22.9)	26	35	55	256	135

単位:人(%)

市 町 村 名	学年	性別	受診者	結果説明会 対 象 者	総 合 判 定 内 訳				
					I	II	III	IV	N
常 総 市	5	男	1	- (0.0)	-	-	-	1	-
		女	-	- -	-	-	-	-	-
		計	1	- (0.0)	-	-	-	1	-
下 妻 市	4	男	186	39 (21.0)	8	11	20	96	51
		女	153	27 (17.6)	4	5	18	76	50
		計	339	66 (19.5)	12	16	38	172	101
八 千 代 町	4	男	91	24 (26.4)	8	7	9	46	21
		女	76	13 (17.1)	4	5	4	41	22
		計	167	37 (22.2)	12	12	13	87	43
	5	男	7	6 (85.7)	1	3	2	1	-
		女	8	6 (75.0)	1	3	2	1	1
		計	15	12 (80.0)	2	6	4	2	1
	6	男	10	7 (70.0)	2	4	1	3	-
		女	8	7 (87.5)	3	2	2	1	-
		計	18	14 (77.8)	5	6	3	4	-
	4	男	586	118 (20.1)	31	34	53	301	167
		女	575	108 (18.8)	11	42	55	327	140
		計	1,161	226 (19.5)	42	76	108	628	307
古 河 市	5	男	21	19 (90.5)	12	4	3	1	1
		女	9	8 (88.9)	4	3	1	1	-
		計	30	27 (90.0)	16	7	4	2	1
	6	男	5	5 (100.0)	5	-	-	-	-
		女	1	1 (100.0)	1	-	-	-	-
		計	6	6 (100.0)	6	-	-	-	-
境 町	4	男	93	27 (29.0)	5	10	12	39	27
		女	115	15 (13.0)	1	7	7	62	38
		計	208	42 (20.2)	6	17	19	101	65

表5-4-10 市町村別実績（総合判定内訳）

（中学校）

単位：人（％）

市 町 村 名	学年	性別	受診者	結果説明会 対 象 者	総 合 判 定 内 訳				
					I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	N
合 計		男	2,686	518 (19.3)	126	148	244	1,290	878
		女	2,538	486 (19.1)	65	169	252	1,398	654
		計	5,224	1,004 (19.2)	191	317	496	2,688	1,532
水 戸 市 *受診者は対象者のみ	1	男	73	59 (80.8)	16	18	25	10	4
		女	58	32 (55.2)	5	12	15	21	5
		計	131	91 (69.5)	21	30	40	31	9
笠 間 市	1	男	256	33 (12.9)	9	9	15	145	78
		女	277	48 (17.3)	4	21	23	158	71
		計	533	81 (15.2)	13	30	38	303	149
城 里 町	1	男	77	25 (32.5)	9	4	12	35	17
		女	68	9 (13.2)	－	4	5	43	16
		計	145	34 (23.4)	9	8	17	78	33
ひ たち な か 市 *受診者は対象者のみ	1	男	39	7 (17.9)	1	3	3	21	11
		女	34	6 (17.6)	2	1	3	23	5
		計	73	13 (17.8)	3	4	6	44	16
東 海 村	1	男	148	17 (11.5)	2	7	8	74	57
		女	130	16 (12.3)	1	10	5	89	25
		計	278	33 (11.9)	3	17	13	163	82
常 陸 大 宮 市	1	男	127	27 (21.3)	3	8	16	61	39
		女	143	15 (10.5)	1	5	9	80	48
		計	270	42 (15.6)	4	13	25	141	87
大 子 町	1	男	52	5 (9.6)	－	1	4	22	25
		女	44	7 (15.9)	1	3	3	23	14
		計	96	12 (12.5)	1	4	7	45	39
筑 西 市	1	男	410	71 (17.3)	16	18	37	172	167
		女	424	75 (17.7)	12	27	36	226	123
		計	834	146 (17.5)	28	45	73	398	290

単位:人(%)

市 町 村 名	学年	性別	受診者	結果説明会 対 象 者	総 合 判 定 内 訳				
					I	II	III	IV	N
桜 川 市	1	男	155	23 (14.8)	6	9	8	85	47
		女	124	28 (22.6)	3	8	17	66	30
		計	279	51 (18.3)	9	17	25	151	77
常 総 市	1	男	260	50 (19.2)	7	14	29	134	76
		女	238	44 (18.5)	7	18	19	137	57
		計	498	94 (18.9)	14	32	48	271	133
下 妻 市	1	男	146	23 (15.8)	8	7	8	60	63
		女	165	24 (14.5)	6	3	15	95	46
		計	311	47 (15.1)	14	10	23	155	109
坂 東 市	1	男	190	40 (21.1)	10	11	19	78	72
		女	173	27 (15.6)	5	10	12	92	54
		計	363	67 (18.5)	15	21	31	170	126
八 千 代 町	1	男	85	14 (16.5)	4	1	9	44	27
		女	83	15 (18.1)	2	5	8	42	26
		計	168	29 (17.3)	6	6	17	86	53
	2	男	12	9 (75.0)	3	3	3	2	1
		女	4	4 (100.0)	－	4	－	－	
		計	16	13 (81.3)	3	7	3	2	1
	3	男	3	3 (100.0)	3	－	－	－	－
		女	4	3 (75.0)	－	2	1	1	
		計	7	6 (85.7)	3	2	1	1	－
古 河 市	1	男	530	87 (16.4)	18	28	41	283	160
		女	463	101 (21.8)	13	24	64	254	108
		計	993	188 (18.9)	31	52	105	537	268
	2	男	10	5 (50.0)	4	1	－	2	3
		女	2	2 (100.0)	1	－	1	－	
		計	12	7 (58.3)	5	1	1	2	3

単位:人(%)

市 町 村 名	学 年	性 別	受 診 者	結 果 説 明 会 対 象 者	総 合 判 定 内 訳				
					I	II	III	IV	N
古 河 市	3	男	3	3 (100.0)	3	—	—	—	—
		女	1	1 (100.0)	1	—	—	—	—
		計	4	4 (100.0)	4	—	—	—	—
境 町	1	男	110	17 (15.5)	4	6	7	62	31
		女	103	29 (28.2)	1	12	16	48	26
		計	213	46 (21.6)	5	18	23	110	57

表5-4-11 市町村別実績（項目別平均値）

（小学校）

市 町 村 名	学年	性別	受診者	身 長	体 重	肥満度	血 圧	脂 質			肝機能
								T C	H D L - C	L D L - C	
合 計	4	男	2,203	135.97	33.83	5.72	103.29 / 61.64	175.64	66.31	95.34	17.67
		女	2,032	136.79	33.00	3.05	104.40 / 63.18	176.72	64.17	98.46	13.89
		計	4,235	136.36	33.44	4.44	103.82 / 62.38	176.16	65.28	96.83	15.86
水 戸 市 *受診者は対象者のみ	4	男	125	136.56	41.13	26.84	104.05 / 62.98	179.72	56.41	105.10	28.74
		女	85	136.18	38.53	20.78	103.31 / 63.39	175.61	54.59	104.41	18.81
		計	210	136.40	40.08	24.38	103.75 / 63.14	178.06	55.67	104.82	24.72
城 里 町	4	男	57	135.60	33.60	6.25	107.65 / 66.49	190.30	69.72	100.63	21.60
		女	64	136.40	33.42	5.87	107.31 / 68.14	183.88	61.50	104.64	13.06
		計	121	136.02	33.50	6.05	107.47 / 67.36	186.90	65.37	102.75	17.08
ひたちなか市 *受診者は対象者のみ	4	男	74	138.40	36.36	7.62	102.61 / 62.19	170.32	61.81	94.92	16.57
		女	70	137.94	35.22	7.51	103.80 / 62.93	178.56	61.07	102.61	13.87
		計	144	138.18	35.81	7.57	103.19 / 62.55	174.33	61.45	98.66	15.26
常 陸 大 宮 市	4	男	159	133.45	31.66	4.44	103.49 / 62.97	168.65	64.54	89.97	15.75
		女	128	133.68	30.69	1.75	103.48 / 64.25	179.07	66.30	98.31	13.32
		計	287	133.55	31.23	3.24	103.48 / 63.54	173.30	65.33	93.69	14.67
筑 西 市	4	男	425	132.99	31.33	4.37	100.26 / 58.38	172.15	64.68	94.87	15.33
		女	364	133.76	30.83	2.11	101.70 / 60.81	174.63	63.12	98.29	14.12
		計	789	133.34	31.10	3.33	100.92 / 59.50	173.30	63.96	96.45	14.77
桜 川 市	4	男	163	137.43	34.23	3.86	104.20 / 63.08	177.58	67.40	96.37	17.51
		女	139	138.15	33.16	0.72	105.17 / 65.29	175.76	64.50	97.11	13.26
		計	302	137.76	33.74	2.42	104.65 / 64.10	176.74	66.06	96.71	15.55
常 総 市	4	男	244	137.60	34.90	5.18	104.84 / 62.36	182.85	69.75	99.81	19.27
		女	263	137.89	33.23	1.89	105.89 / 63.34	179.59	65.30	100.65	14.14
		計	507	137.75	34.03	3.48	105.39 / 62.87	181.16	67.44	100.25	16.61
下 妻 市	4	男	186	136.16	33.40	4.32	103.35 / 62.96	172.52	66.92	90.77	16.24
		女	153	137.65	33.52	3.19	104.00 / 63.00	176.20	65.88	95.90	14.86
		計	339	136.83	33.45	3.81	103.64 / 62.98	174.18	66.45	93.09	15.62
八 千 代 町	4	男	91	135.61	33.36	5.14	105.71 / 61.54	177.35	67.00	96.41	17.82
		女	76	136.78	33.04	3.37	105.41 / 62.46	176.74	63.53	99.24	13.32
		計	167	136.14	33.22	4.34	105.57 / 61.96	177.07	65.42	97.69	15.77
古 河 市	4	男	586	137.21	33.92	3.38	103.73 / 61.55	175.93	67.99	94.33	16.92
		女	575	138.15	33.51	1.82	105.42 / 63.21	177.05	65.39	97.91	13.37
		計	1,161	137.67	33.71	2.61	104.57 / 62.37	176.48	66.70	96.10	15.17
境 町	4	男	93	136.71	34.65	6.72	102.66 / 62.65	173.69	68.11	91.48	18.74
		女	115	137.69	32.88	1.30	103.93 / 64.40	170.14	64.75	91.00	12.47
		計	208	137.25	33.67	3.72	103.36 / 63.62	171.73	66.25	91.22	15.27

表5-4-12 市町村別実績（項目別平均値）
（中学校）

市 町 村 名	学年	性別	受診者	身 長	体 重	肥満度	血 圧	脂 質			肝機能
								T C	HDL-C	LDL-C	ALT
合 計	1	男	2,658	155.90	47.25	2.53	107.87 / 61.59	165.01	63.62	87.78	16.50
		女	2,527	152.86	46.04	1.38	106.67 / 64.13	176.12	65.93	96.55	12.36
		計	5,185	154.42	46.66	1.97	107.28 / 62.83	170.43	64.74	92.05	14.48
水 戸 市 *受診者は対象者のみ	1	男	73	153.97	57.52	28.67	111.02 / 64.65	169.00	53.63	97.89	20.39
		女	58	153.62	53.55	16.94	105.40 / 64.46	178.14	58.23	108.31	13.03
		計	131	153.81	55.80	23.60	108.59 / 64.57	172.95	55.62	102.40	17.21
笠 間 市	1	男	256	157.84	48.46	2.05	107.48 / 62.93	162.23	64.86	82.79	17.19
		女	277	153.37	47.12	2.42	107.12 / 66.22	174.80	65.82	93.96	12.59
		計	533	155.51	47.76	2.25	107.29 / 64.64	168.76	65.35	88.59	14.80
城 里 町	1	男	77	158.90	53.35	9.33	107.66 / 63.00	176.44	64.84	95.60	21.31
		女	68	152.30	45.01	-0.82	105.47 / 65.94	180.54	66.62	99.12	13.34
		計	145	155.80	49.44	4.57	106.63 / 64.38	178.37	65.68	97.25	17.57
ひたちなか市	1	男	39	159.95	51.83	5.28	106.13 / 60.79	160.69	60.90	89.18	15.59
		女	34	154.93	47.44	0.83	101.12 / 61.74	177.74	66.68	99.35	12.56
		計	73	157.61	49.78	3.21	103.79 / 61.23	168.63	63.59	93.92	14.18
東 海 村	1	男	148	156.07	45.80	-0.93	107.49 / 62.93	166.27	65.91	87.66	15.39
		女	130	153.55	44.58	-3.18	107.11 / 65.71	171.62	65.90	92.95	12.48
		計	278	154.89	45.23	-1.98	107.31 / 64.23	168.77	65.91	90.13	14.03
常 陸 大 宮 市	1	男	127	153.11	45.34	2.02	107.89 / 60.99	162.06	60.81	86.42	14.00
		女	143	151.50	43.76	0.13	107.18 / 62.27	171.22	63.83	91.96	10.33
		計	270	152.26	44.51	1.02	107.51 / 61.67	166.91	62.41	89.35	12.06
大 子 町	1	男	52	149.75	42.28	1.45	107.85 / 63.88	161.23	61.48	86.81	14.08
		女	44	152.06	45.58	2.87	108.02 / 64.18	166.52	62.55	90.68	11.20
		計	96	150.81	43.79	2.10	107.93 / 64.02	163.66	61.97	88.58	12.76
筑 西 市	1	男	410	152.48	44.23	1.20	103.98 / 58.64	161.00	62.74	86.40	16.05
		女	424	151.83	45.00	1.97	104.44 / 60.82	168.88	63.30	94.13	10.99
		計	834	152.15	44.62	1.59	104.21 / 59.75	165.00	63.03	90.33	13.47
桜 川 市	1	男	155	157.36	47.34	0.45	109.00 / 62.65	167.51	62.34	89.39	16.65
		女	124	153.29	46.30	1.22	107.79 / 64.74	183.85	69.02	100.07	12.95
		計	279	155.55	46.88	0.79	108.46 / 63.58	174.77	65.31	94.14	15.01
常 総 市	1	男	260	156.82	48.35	3.68	110.72 / 61.63	168.02	64.33	90.60	16.78
		女	238	152.87	46.57	2.02	109.51 / 63.27	180.91	67.02	100.82	13.61
		計	498	154.93	47.50	2.89	110.14 / 62.41	174.18	65.62	95.48	15.27
下 妻 市	1	男	146	156.34	47.58	3.14	109.35 / 61.47	163.71	64.26	85.75	17.00
		女	165	153.15	45.29	-1.34	106.28 / 64.55	175.15	65.56	95.85	13.71
		計	311	154.65	46.37	0.76	107.72 / 63.10	169.77	64.95	91.11	15.25
坂 東 市	1	男	190	155.15	47.10	3.93	109.05 / 62.04	166.47	63.68	88.62	16.41
		女	173	152.24	44.85	-0.34	105.95 / 64.64	176.39	66.18	96.66	11.83
		計	363	153.76	46.03	1.89	107.58 / 63.28	171.20	64.88	92.45	14.23

市 町 村 名	学年	性別	受診者	身長	体重	肥満度	血圧	脂質			肝機能
								T C	H D L - C	L D L - C	A L T
八 千 代 町	1	男	85	156.60	47.27	1.60	105.44 / 59.80	167.44	65.16	88.22	16.00
		女	83	152.99	46.79	2.29	105.60 / 64.06	175.40	66.86	94.01	12.51
		計	168	154.82	47.03	1.94	105.52 / 61.90	171.37	66.00	91.08	14.27
古 河 市	1	男	530	157.11	47.65	1.58	108.85 / 61.72	166.01	65.31	87.63	16.33
		女	463	153.43	46.92	1.95	107.96 / 65.73	180.18	68.40	97.84	12.90
		計	993	155.39	47.31	1.75	108.43 / 63.59	172.62	66.75	92.39	14.73
境 町	1	男	110	157.47	47.13	0.02	107.99 / 63.92	163.77	59.34	89.15	17.25
		女	103	154.05	47.37	1.98	104.77 / 64.83	184.98	65.31	103.30	12.22
		計	213	155.82	47.25	0.96	106.43 / 64.36	174.03	62.23	95.99	14.82

6 母子保健



先天性代謝異常等検査



6－1 先天性代謝異常等検査

6-1-1 概要

先天性代謝異常等検査は、放置すると知的障害など重篤な障害をきたす疾患を、乾燥ろ紙血によるスクリーニング検査を行い、異常を早期発見し治療することにより、障害の発現を予防することを目的として実施している。

当協会では、茨城県からの受託事業として「茨城県先天性代謝異常等検査事業実施要領」に基づき、県内の医療機関で生まれた新生児を対象に検査を実施している。

また、平成25年度から導入したタンデムマス法では、平成30年度に脂肪酸代謝異常症1疾患を加え、治療可能な20疾患を対象に検査を実施している。

6-1-2 実施状況

平成30年度の検査実績における初回検査者は20,041人で、前年度より1,161人減少した。要精密検査者は15人(0.07%)で、精密検査結果は、要治療8人、要観察5人、異常なし2人であった。

対象疾患確定患児の内訳は、糖代謝異常症1人、先天性副腎過形成症2人、先天性甲状腺機能低下症5人、その他1人であった。

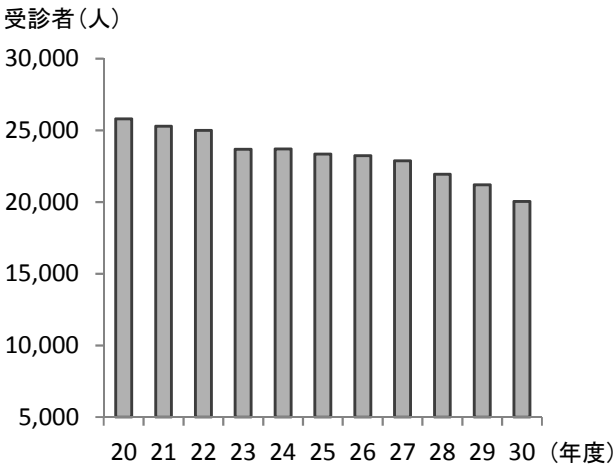


図6-1-1 先天性代謝異常等検査
初回受付実績の年度推移

6-1-3 検査方法

申込みのあった新生児の踵（かかと）から日齢4～6に血液を採取し、20疾患（表6-1-1）について検査を実施する。

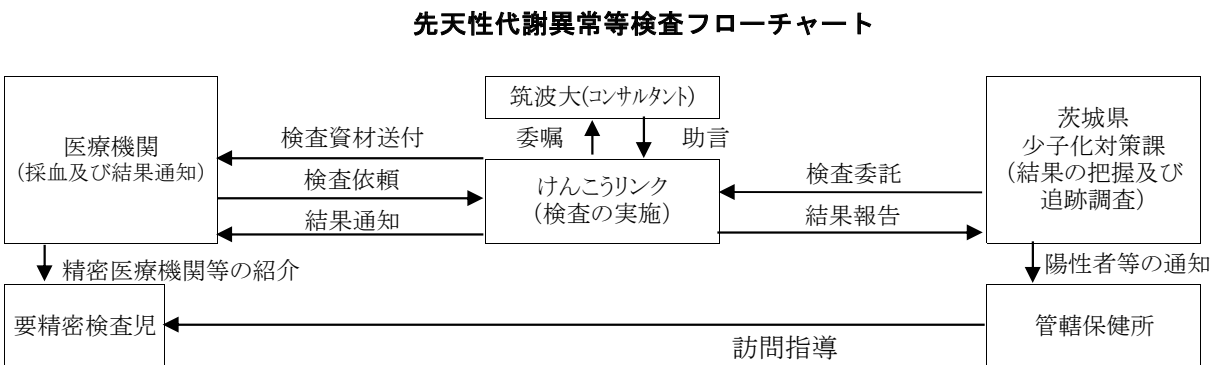


表6-1-1 先天性代謝異常等検査項目一覧

疾患名	指標	測定方法
アミノ酸代謝異常症(5疾患)		タンデムマス法
フェニルケトン尿症	Phe	
メープルシロップ尿症(楓糖尿症)	Leu+Ile, Val	
ホモシスチン尿症	Met	
シトルリン血症Ⅰ型	Cit	
アルギニノコハク酸尿症	Cit	
有機酸代謝異常症(7疾患)		
メチルマロン酸血症	C3, C3/C2	
プロピオン酸血症	C3, C3/C2	
イソ吉草酸血症	C5	
メチルクロトニルグリシン尿症	C5-OH	
ヒドロキシメチルグルタル酸(HMG)血症	C5-OH	
複合カルボキシラーゼ欠損症	C5-OH	
グルタル酸血症Ⅰ型	C5-DC	
脂肪酸代謝異常症(5疾患)		
MCAD欠損症	C8, C8/C10	
VLCAD欠損症	C14:1, C14:1/C2	
TFP/LCHAD欠損症	C16-OH, C18:1-OH	
CPT1欠損症	C0/(C16+C18)	
CPT2欠損症	(C16+C18:1)/C2, C14/C3	
糖代謝異常症		酵素法
ガラクトース血症	Gal, Gal-1-P	
内分泌疾患(2疾患)		ELISA法 (酵素免疫測定法)
先天性甲状腺機能低下症	TSH	
先天性副腎過形成症	17-OHP	

表6-1-2 年度別検査実績

単位:件

年度	初回受付 件数	要精密 検査者	確定 患児	疾 患 内 訳						
				アミノ酸代 謝異常症	有機酸代 謝異常症	脂肪酸代 謝異常症	糖 代 謝 異 常 症	先天性副腎 過 形 成 症	先天性甲状腺 機能低下症	その他
平成 20	25,794	22	11	-	-	-	-	6	5	-
21	25,292	17	5	-	-	-	-	1	4	-
22	24,995	18	2	-	-	-	-	-	2	-
23	23,685	16	10	-	-	-	-	1	9	-
24	23,703	10	4	-	-	-	-	-	4	-
25	23,345	33	15	-	-	-	-	-	15	-
26	23,239	32	23	3	1	1	2	3	12	1
27	22,878	24	12	-	1	-	-	-	11	-
28	21,937	25	4	1	-	-	-	1	2	-
29	21,202	19	11	-	-	-	1	-	9	1
30	20,041	15	9	-	-	-	1	2	5	1

※ 平成25年度からタンデムマス法導入により、アミノ酸代謝異常症2疾患，有機酸異常症7疾患，脂肪酸代謝異常症4疾患が加わり，平成30年度には脂肪酸代謝異常症1疾患が加わった。

※ 疾患内訳については，令和2年3月末日現在で集計。

表6-1-3 検査実績(検査項目別)

単位:件

	タンデムマス法先天性代謝異常検査											
	アミノ酸代謝異常											
	フェニルケトン尿症			メープルシロップ尿症 (楓糖尿症)			ホモシチン尿症			シトルリン血症1型/ アルギニノコハク酸尿症		
	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査
合 計	20,096	2	1	20,087	12	-	20,093	5	-	20,093	7	-
初 回 受 付	19,620	2	-	19,609	12	-	19,616	5	-	19,615	7	-
*再 検 受 付	476	-	1	478	-	-	477	-	-	478	-	-

	タンデムマス法先天性代謝異常検査											
	有 機 酸 代 謝 異 常											
	メチルマロン酸血症/ プロピオン酸血症			イソ吉草酸血症			メチルクロトニルグリシン尿症/ ヒト ^α ロキシメチル ^β グルタル酸血症/ 複合カルボキシラーゼ欠損症			ケルタル酸血症1型		
	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査
合 計	20,094	5	-	20,090	11	-	20,099	-	-	20,078	20	1
初 回 受 付	19,616	5	-	19,613	11	-	19,621	-	-	19,602	20	-
*再 検 受 付	478	-	-	477	-	-	478	-	-	476	-	1

	タンデムマス法先天性代謝異常検査											
	脂 肪 酸 代 謝 異 常											
	MCAD欠損症			VLCAD欠損症			TFP/LCHAD欠損症			CPT1欠損症		
	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査
合 計	20,094	3	-	20,090	10	-	20,099	-	-	20,094	-	2
初 回 受 付	19,618	3	-	19,612	10	-	19,621	-	-	19,621	-	1
*再 検 受 付	476	-	-	478	-	-	478	-	-	473	-	1

	タンデムマス法先天性代謝異常検査			
	脂 肪 酸 代 謝 異 常			低 体 重 検 体 ・ 不 備 検 体
	CPT2欠損症			
	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査	
合 計	20,095	1	－	412
初 回 受 付	19,621	1	－	412
*再検受付	474	－	－	－

	先天性代謝異常検査							低 体 重 検 体 ・ 不 備 検 体
	糖代謝異常症			内分泌疾患				
	ガラクトース血症			先天性副腎過形成症				
	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査		
合　　計	20,016	131	4	20,019	249	2	319	
初 回 受 付	19,494	131	－	19,470	249	1	319	
*再検受付	522	－	4	549	－	1	－	

	先天性甲状腺機能低下症				低 体 重 検 体 ・ 不 備 検 体
	内分泌疾患				
	先天性甲状腺機能低下症				
	正 常	要 再 検 査	要 精 密 検 査		
合　　計	20,019	137	5	417	
初 回 受 付	19,485	137	2	417	
*再検受付	534	－	3	－	

* 再検受付は、疾患の疑いによる再検査数と、低体重・不備による再検査数の合計（初回受付が前年度の検体を含む）

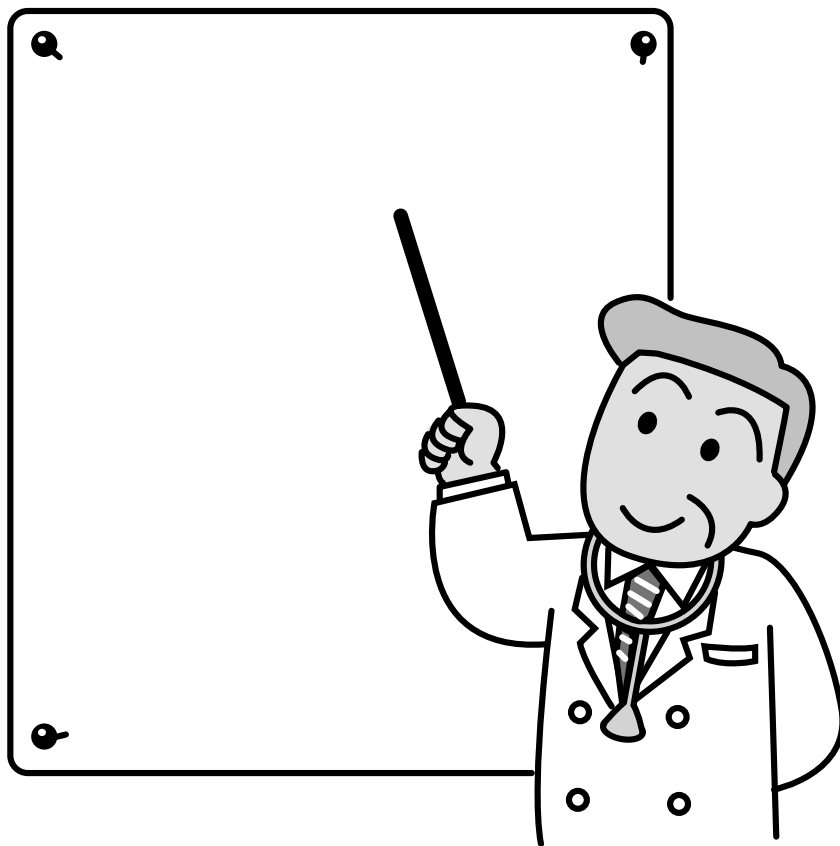
表6-1-4 精密検査結果

単位:件

マス・スクリーニング 結 果	要精密検査者	精 密 検 査 結 果 内 訳			
		要 治 療	要 観 察	異 常 な し	追 跡 中
合 計	15	8	5	2	-
アミノ酸代謝異常症の疑い	1	-	1	-	-
有機酸代謝異常症の疑い	1	-	1	-	-
脂肪酸代謝異常症の疑い	2	1	1	-	-
糖代謝異常症の疑い	4	-	2	2	-
内分泌疾患の疑い	7	7	-	-	-

※ 精密検査結果内訳については, 令和2年3月末日現在で集計。

7 研究会・医学誌等への発表



7-1 研究会・学会への発表

番号	主題	発表課	学会等	発表日
1	緊急心電図疑いに該当した場合の取り扱いについて	健診第二課	第53回 予防医学 技術研究会議 (茨城県水戸市)	H31. 2. 7
2	健診技術習得チェックリストの改訂について	健康管理課		
3	マンモグラフィ検診における局所的非対称性陰影の検討	放射線課		
4	第3期特定健診対応のための取り組み	健診第二課		
5	第3期特定健診における血圧測定の実施方法の変更について	健診第二課		
6	眼底検査の撮影法変更に伴う実施状況について	県南センター 健診課		
7	無影灯を搭載した子宮頸がん検診車の検討	健診第一課		
8	大腸がん検診におけるカットオフ値の妥当性に関する検討	検査一課		
9	大腸がん検診受診率向上への取り組みについて	県南センター 健診課		
10	胃がん検診における技師チェック（0次読影）に関する検討	放射線課		
11	茨城県におけるダンデムマススクリーニングの5年間の実施状況	検査一課		
12	A市における子宮頸がんHPV併用検診1年目の実績について	検査二課		
13	リアルタイムPCR法を用いたHPV簡易ジェノタイプ検査の検討結果について	検査二課		
14	ラテックス免疫比濁法によるペプシノゲン検査試薬の検討	検査一課		
15	繰り返し検診で発見された乳がん2症例	健診第一課	H31. 2. 8	
16	特定保健指導6か月間プログラムの変更による効果の比較検討	健康管理課		
17	受診者アンケートによる業務改善の取り組み	県西センター 健診課		
18	小児生活習慣病予防健診10年間の動向	県西センター 健診課		

1. 緊急心電図疑いに該当した場合の取扱いについて

公益財団法人茨城県総合健診協会

○飯島 春香 及川 由莉 鮎澤 みゆき
佐藤 朋子 宮川 孝康 船橋 紀子
菊地 幸乃 檜山 浩一 富沢 巧治

【はじめに】

健診心電図の判読は、任意型健診（人間ドックなど）では当日処理されることが多いが、対策型健診（巡回健診など）では、必ずしも当日判定されておらず、緊急を要する心電図の結果通知に遅延が生じる可能性がある。

心電図検査を実施した際、緊急に医療機関への受診勧奨が必要な心電図（以下緊急心電図）を疑う波形が記録された場合の対応および当協会の結果通知等の方法について、平成 29 年度の実績と合わせて報告する。

【対象】

平成 29 年度に地域健診および職域健診で、当協会の心電図検査を実施した 246,367 件を対象とした。

【方法】

〔緊急を疑う心電図の抽出〕

当協会で定めている緊急を疑う心電図（表 1）に該当したものは、適宜、健診担当医の判断を仰ぎ、可及的速やかに循環器専門医に判読を依頼する。

表 1 緊急を疑う心電図

- ・心拍数（HR） 34bpm 以下
- ・HR 136bpm 以上（ただし 16 歳以上）
- ・R-R 間隔が 2 秒以上（1 回以上）
- ・上室性頻拍
- ・R on T
- ・心室性期外収縮 3 連発以上
- ・心室頻拍
- ・高度房室ブロック
- ・狭心症あるいは急性心筋梗塞を疑うもの
- ・ペースメーカー不全

〔判読の依頼方法〕

通常、判読医師に直接依頼するが、出張健診等で不在の場合、個人情報保護に十分配慮した上でインターネット回線を使用し、タブレット端末に緊急を疑う心電図の画像と、受診者情報および過去の心電図所見（ある場合のみ）を送信する。判読医師は、レポートのフォームに従い判読結果と受診勧奨内容について入力し、結果通知の担当者へ返信する。

〔緊急を疑う心電図の判読〕

緊急を疑う心電図は、判読医師により（表 2）のいずれかの処理区分に分類される。

表 2 緊急を疑う心電図の処理区分

緊急受診勧奨	速やかに精密医療機関の受診が必要なもの
準緊急受診勧奨	数日以内に精密医療機関の受診が望ましいもの
注意喚起	緊急性はないが、通常通知で『要精査』が看過されると重大な結果となる可能性が高いもの
通常通知	上記に該当しないもの

緊急受診勧奨・準緊急受診勧奨・注意喚起に該当した受診者に対して、受診勧奨内容を明記した「心電図検査結果通知書」と「再検査・精密検査医療機関受診状況票」を発行する。

緊急および準緊急の受診勧奨を要するものについては、速やかに結果を通知する。

〔追跡調査〕

精密医療機関で「再検査・精密検査医療機関受診状況票」に精密検査結果を記載し当協会へ返送して頂き、追跡調査した。

【結果】

平成 29 年度に実施した 246,367 件の心電図のうち、緊急を疑う心電図は 765 件 (0.3%) であった。その内訳は緊急受診勧奨が 22 件 (2.9%)、準緊急受診勧奨が 74 件 (9.7%)、注意喚起が 159 件 (20.7%) であり、受診勧奨となったものは 255 件 (33.3%) であった。

受診勧奨に該当し、精密医療機関から受診結果が返送されたものは 166 件 (65.1%) であった。精密医療機関での指示区分の内訳は (表 3) のとおりであった。また、(表 3) の治療対象者 70 名のうち、手術対象 8 名の詳細は (表 4)、治療対象 62 名の主な所見は (表 5) のとおりである。

【まとめ】

健診現場において、心電図検査を担当する臨床検査技師が緊急を疑う心電図を的確に抽出し、迅速に医師に判読を依頼する。

インターネットも活用し、医師は緊急を疑う心電図を判読し、処理区分に応じた結果報告を行う。

緊急心電図に該当した場合の取扱いをシステム化したことが、迅速かつ的確な受診勧奨につながっている。

表 3 精密医療機関での指示区分

		精密医療機関での指示区分 (件)					
		治療	[手術]※1	経過観察	正常※2	他医紹介等	計
当協会での 判定区分	緊急	5	[3]	3	1	0	9
	準緊急	33	[3]	13	2	8	56
	注意喚起	32	[2]	49	9	11	101
	計	70	[8]	65	12	19	166
	(%)	(42.2)	(4.8)	(39.2)	(7.2)	(11.4)	(100)

※1 [手術] は内数

※2 正常の指示区分は、精密検査受診時の心電図が正常であったものなどを含む

表 4 手術対象者の詳細

	当協会判定所見		精密医療機関の診断	手術方法
1	完全房室ブロック (HR 41bpm)	緊	完全房室ブロック	ペースメーカー植込み術
2	完全房室ブロック (HR 30bpm)	緊	完全房室ブロック	ペースメーカー植込み術
3	完全房室ブロック 心房粗動 (HR 41bpm)	緊	心房粗動	術式記載なし
4	洞機能障害 (HR 34bpm)	準	洞機能不全	ペースメーカー植込み術
5	WPW 症候群 (HR 170bpm)	準	WPW 症候群	カテーテルアブレーション
6	心房細動 (HR 119bpm)	準	心房細動 重症僧帽弁閉鎖不全症	術式記載なし
7	高度房室ブロック (HR 39bpm)	注	高度房室ブロック	ペースメーカー植込み術
8	心房頻拍 (HR 93bpm)	注	心房細動	カテーテルアブレーション

緊：緊急受診勧奨

準：準緊急受診勧奨

注：注意喚起

表 5 治療対象者の主な所見名

心房細動 (41)	心室性期外収縮 (8)	上室性期外収縮 (6)	上室性頻拍 (5)
心筋梗塞 (3)	心房粗動 (4)	狭心症 (2)	虚血性心疾患 (2)
心房頻拍 (2)	完全房室ブロック (4)	WPW 症候群 (1)	洞機能障害 (1)

2. 健診技術習得チェックリストの改訂について

公益財団法人茨城県総合健診協会

○内野 愛美 市ノ澤幸子 綿引 弘子
小泉 明子 菊池有梨夏 森 康子

はじめに

健診において、従事スタッフが正しい知識と技術を習得することは受診者への安心・安全なサービスを提供する上で必要不可欠である。

当協会では、平成 16 年度に各種健診検査項目別の「技術習得チェックリスト」を作成し、その後も実用性に合わせて部分改訂しながら、それに基づき教育指導を行い、スタッフ育成に取り組んできた。

平成 28 年度に全体的な「技術習得チェックリスト」を見直し、より円滑かつ充実した研修が行えるよう改訂したので報告する。

平成 16 年度作成のチェックリストの内容

【研修日程】

検査項目別の技術習得に必要な適切な日程

【チェック項目】

- ①健診項目と健診の流れについて
- ②健診検査ごとの準備及びセッティング
- ③検査の心構えと事故防止対策について
- ④指導者と共に健診検査の実施
- ⑤検査に関わる書類とその取扱いについて
- ⑥指導者の判断で、一人による検査の実施
- ⑦事故発生・トラブル時の対応について
- ⑧各チェック項目について習得後の指導者認証

問題点

◆採血

採血は痛みを伴う検査であり、事故防止等の細心の注意を払い研修を進める必要があるが、具体的な進捗管理の基準がない。

◆問診（記入補助）

平成 20 年度より特定健診に移行したことで、

問診（記入補助）の手順書が大きく変更となり、現行のチェックリストではどこまで指導が完了したか不明瞭であり、指導者間でのスムーズな引継ぎができない。また、独り立ちしてから問診聴取もれが一部発生した。

平成 23 年度チェックリストの一部改訂と結果

【改訂内容】

◆採血

採血研修期間について、「見学」→「数人実施」→「1 人で実施」までの具体的な基準（期間）を明記した。

◆問診

現行のチェック項目以外に、手順書の変更に合わせた問診の聴取方法の細目を作成した。また、細目に沿って「説明」と「習得」のそれぞれの日付及び指導者認証印の欄を設けた。

【結果】

◆採血

基準を設けたことで、指導者による研修計画が立てやすくなり、また研修対象者の技能に合わせて進行を調整するなど、臨機応変に進められるようになった。

◆問診

手順書に沿ったチェック項目により、進捗管理が把握できることから、円滑に研修が進行し、独り立ちの判断がしやすくなった。

その他の問題点

採血と問診においては、部分改訂ができたが、チェックリスト全般における問題点として以下のような問題点がある。

3. マンモグラフィ検診における

局所的非対称性陰影の検討

公益財団法人茨城県総合健診協会

○稲垣和華子

水越 直美

阿部亜希子

塙 浩実

平塚 南

綿引 雅子

緑川 江美

石川 直隆

はじめに

マンモグラフィ所見の局所的非対称性陰影

(FAD) は、非対称性の陰影として認められるが、真の腫瘍としての境界や濃度を持たない陰影とされる。正常乳腺でも見られるため、石灰化や腫瘍より偽陽性率が高く、検診全体の要精検率を高くする要因となっている。マンモグラフィ検診において、FAD 所見で要精検となった画像を検討したので報告する。

対象と方法

平成 27 年度と 28 年度の乳がん検診受診者

67,108 件の中から FAD 所見で精密検査を受診した症例 975 件（表 1）の中で「乳がん」が確定した症例 42 件と「異常なし」とされた症例 564 件（表 2）のマンモグラフィ画像を撮影担当技師全員で見直し検討した。

結果

要精検の所見別割合で FAD 所見は、平成 27 年度 1,402 件中 551 件で 39.3%、平成 28 年度

1,193 件中 490 件で 41.1%と、腫瘍、石灰化など他の所見に比べて最も高かった。

FAD 所見における精密検査結果を表 2 に示した。平成 27 年度は 522 件中 23 件で 4.4%、平成 28 年度は 453 件中 19 件で 4.2%のがんが発見された。しかし、異常なしの結果であったものは平成 27 年度は 522 件中 327 件で 62.6%、平成 28 年度は 453 件中 237 件で 52.3%と最も高く、偽陽性率が高いことが示唆された。（表 2）

FAD 所見の乳房構成では乳腺散在が 66.9%、占拠部位では M 領域が 41%で最も高かった。

（図 1、図 2）

FAD 所見で発見されたがんを見直したところ、前回画像にはなく新たに発生した陰影や、濃度上昇の変化があったもの、石灰化やわずかな構築の乱れを付随していたものであった。

精密検査が異常なしであった FAD 所見画像を、①乳腺の重なり、②正常乳腺、③孤立した乳腺、④リンパ節に分類した。（表 3）乳腺の重なりが 564 件中 256 件で 45.4%と一番多かった。

表 1 マンモグラフィ検診実績（H27～H28）

年度	受診者数	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	がん発見数	がん発見率 %	0・I 期がん率 %	陽性反応的中度 %
H27	33,657	1,402 (551)	4.2	1,312 (522)	93.6	80(23)	0.24	78.8	5.71
H28	33,451	1,193 (490)	3.6	1,101 (453)	92.3	80(19)	0.24	73.8	6.71
合計	67,108	2,595 (1,041)		2,413 (975)					

* () 内は FAD 数

表 2 FAD 所見における精密検査結果

	精検受診者数	精密検査結果内訳 (%)						
		乳がん	線維腺腫	乳腺症	のう胞	乳頭腫	その他	異常なし
H27	522	23 (4.4)	27 (5.2)	64 (12.3)	72 (13.8)	3 (0.6)	6 (1.1)	327 (62.6)
H28	453	19 (4.2)	32 (7.1)	73 (16.1)	70 (15.5)	9 (2.0)	13 (2.9)	237 (52.3)
合計	975	42 (4.3)	59 (6.1)	137 (14.1)	142 (14.6)	12 (1.2)	19 (2.0)	564 (57.9)

表 3 異常なしの分類結果

	内訳 (%)	
乳腺の重なり	256	(45.4)
正常乳腺	195	(34.6)
孤立した乳腺	110	(19.5)
リンパ節	3	(0.5)
計	564	(100)

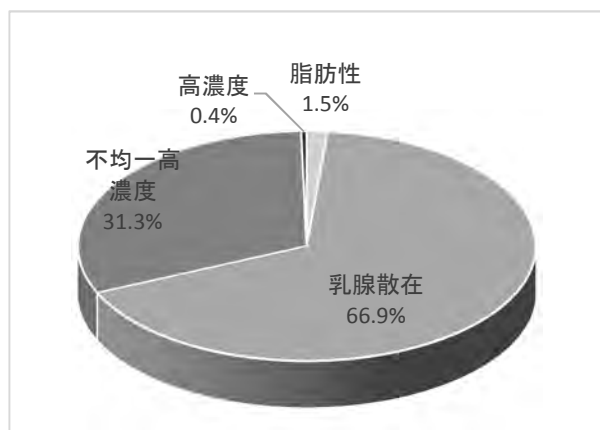


図 1 FAD 所見の乳房構成割合

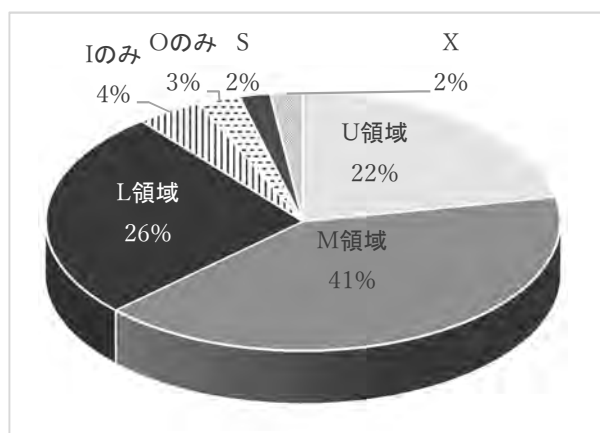


図 2 FAD 所見の占拠部位割合

考察

FAD 所見は、脂肪に置き換えられた乳房内に乳腺が散在している乳腺散在で指摘が多かった。部位では乳腺量の多いM領域の指摘が多かったため、乳腺の伸展に注意してポジショニングを行わなければならない。

FAD で発見されたがんは、周囲乳腺と同様の構造だったが、内部濃度が高いものであった。また、付随所見を伴う場合には病変が疑われるため、今後も確実に拾い上げなければならない。ただし、FAD で異常なしだった画像は乳腺の重なりを拾い上げる傾向があり、乳腺全体を均一に伸展させ、がんによる濃度上昇と重なりによるものを区別できるようにポジショニングを改善しなければならない。

まとめ

FAD の検討を行い、乳腺がしっかりと広げられた画像を撮影するために、撮影技師のポジショニングに対する意識を上げることが、FAD 所見による偽陽性率を下げることに結び付くと考えられた。

また、繰り返し受診してもらえるように、診断能力の高い、信頼されるマンモグラフィ検診を行っていききたい。

4. 第3期特定健診対応のための取り組み

公益財団法人茨城県総合健診協会

○押坂 和樹

岡部 裕子

長谷川めぐみ

大山 結花

平根 隆志

菊地 幸乃

檜山 浩一

はじめに

第3期特定健診の詳細項目は、新たに血清クレアチニン検査が追加され、心電図検査、眼底検査の実施基準が変更された。

今回、変更された実施基準は、当日の健診結果で詳細項目の該当者を選別する必要がある。正しく選別し、検査もれ等のミスを防止すること、検査項目の追加、料金の変更等を自動で行い業務の効率化を図ることを目的に、既存の健診システムを改修し、詳細項目の自動選別機能を追加したので、システムの内容と使用状況を併せて報告する。

方法

厚生労働省から示された心電図検査の実施基準の中で「問診等において、不整脈が疑われる者」の基準に対し、当会の具体的な対応を（表１）に示す。

表1 問診等において、不整脈が疑われる者

当会の具体的な対応
○ 自動血圧計で不規則脈波マークが表示された者 ○ 坂道や階段で動悸、息切れの愁訴がある者 ○ 1 分間の脈拍数が 100 拍以上もしくは 50 拍以下の者 ＊心臓病治療中は除く

使用システムおよび健診機器

- ・自動測定器管理システム（株式会社 A&D）
- ・領収書発行システム（株式会社 ダックス）
- ・自動血圧計（株式会社 A&D）

当会の健診の流れ

自動測定器管理システムのフローを（図１）に示す。

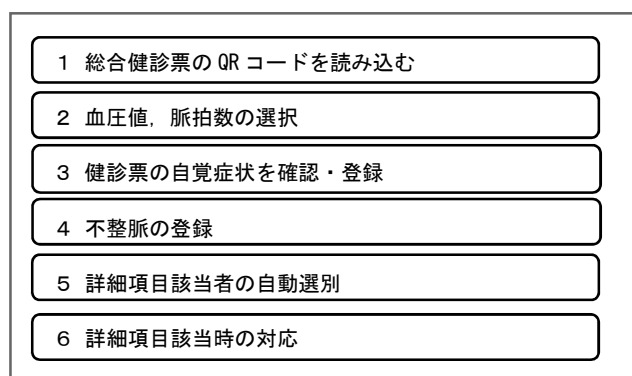


図1 自動測定器管理システムのフロー

1 総合健診票の QR コードを読み込む

自動血圧計で測定された血圧値、脈拍数は、自動測定器管理システム PC にオンラインでデータ送信される。総合健診票の QR コードをシステムに読み込むことにより、測定された血圧値、脈拍数がシステムの検査受付画面（図 2）に表示される。



図2 システムの受付画面

2 血圧値、脈拍数の選択

(1) 血圧値の選択

自動血圧計で測定された血圧値を確認後、

選択し、詳細項目に該当するか自動で選別を行う。複数回測定した場合は、(図 2) に示す血圧値の一覧が表示されるので採用する血圧を選択する。また、手動血圧計で測定した場合は、(図 2) で示す画面に直接血圧値を手入力することで、詳細項目に該当するか自動で選別を行う。心電図検査の詳細項目に該当した場合、心臓病治療中の確認メッセージが表示され、心臓病治療中は詳細項目該当から自動で除外される。

(2) 脈拍数の選択

自動血圧計で測定された脈拍数を確認後、詳細項目に該当するか自動で選別を行う。手動血圧計で測定した場合は、(図 2) で示す画面に直接脈拍数を手入力することで、詳細項目に該当するか自動で選別を行う。詳細項目に該当した場合、心臓病治療中の確認メッセージが表示され、心臓病治療中は詳細項目該当から自動で除外される。

3 健診票の自覚症状を確認・登録

自覚症状(動悸・息切れがする)がある場合は、(図 2) に示す画面の「自覚症状」にチェックすることで、詳細項目に該当するか自動で選別を行う。詳細項目に該当した場合、心臓病治療中の確認メッセージが表示され、心臓病治療中は詳細項目該当から自動で除外される。

4 不整脈の登録

自動血圧計に不規則脈波(IHB)検知機能が搭載されており、脈間隔が平均値から±25%以上の差が認められる場合に結果シートに「♥」が印字される機能である。当協会では手動血圧計で再測定を行う事としている。この対象者は、(図 2) に示す「不整脈」にチェックし、血圧値を手入力することで、詳細項目に該当するか自動で選別を行う。詳細項目に該当した場合、心臓病治療中の確認メッセージが表示され、心臓病治療中は詳細項目該当から自動で除外される。

5 詳細項目に該当時の対応

詳細項目に該当した場合は、次の対応を行う。

- (1) 健診項目名と実施理由を印字したシール(図 3) がシステムから自動で出力されるので、総合健診票に貼付する。
- (2) 検査が追加される場合、心電図検査用属性バーコードがシステムから自動で出力され、眼底検査の眼底番号の発番が行われる。
- (3) 料金の変更がある場合は、料金用 QR コードをシステムから自動で出力する。
- (4) 詳細項目該当時の情報(健診項目の追加、検査実施理由の変更)は、システムから CSV ファイルを出力し、基幹システムに送信する。



特定	2018	
心電図	2018	詳(旧)
眼底	2018	詳(糖)
貧血	2018	詳細
クレアチニン	2018	付加

図 3 実施理由シール

考察

自動測定器管理システムに詳細項目該当者の自動選別機能を追加したことで、血圧値、脈拍数による詳細項目該当者の選別はミスなく確実に行われている。また、検査の追加が自動で行われること、料金の変更が自動で行われることで、業務量が抑えられ健診時間についても、第 2 期とほぼ変わらなかった。

「不整脈」や「自覚症状」による該当者選別については手作業となるが、抽出もれ、誤入力为防止するため、問診担当者と二重チェックを行っている。

今後、完全にミスを防止するため問診聴取内容のシステム化など、更なる方策を検討していく必要がある。

5. 第3期特定健診における

血圧測定の実施方法の変更について

公益財団法人茨城県総合健診協会

○人見 彩子

田所 美和子

山口 晴代

稲見 星子

菊地 幸乃

檜山 浩一

はじめに

当協会では、第2期の特定健診における血圧測定値については、2回測定した値が安定しない場合はその場で値を決定せず、他の検査を先に実施し、最後に再度測定し値を決定していた。

しかし、第3期では、当日の血圧測定値によって詳細項目（心電図・眼底・クレアチニン）の該当の有無を眼底検査の前に自動測定器管理システムで判断しなければならず、血圧の再測定方法の見直しを行った。その実施方法の変更について報告する。

第3期特定健診について

第3期特定健診の詳細項目で血圧値が関与する項目、血圧値の条件は、（表1）のとおりである。

また、当協会の特定健診の流れは（図1）のとおりである。

表1 第3期特定健診詳細項目 血圧の条件

心電図・眼底検査

・収縮期 140mmHg 以上 または 拡張期 90mmHg 以上

クレアチニン

・収縮期 130mmHg 以上 または 拡張期 85mmHg 以上

受付→尿検査→血圧→問診→自動測定器管理システム・眼底→採血→腹囲→心電図→胸部 X-P

図1 特定健診の流れ

血圧再測定方法の変更

自動血圧計の台数は、平成29年度までは、各班3台。平成30年度は、再測定の対象者にスムーズに対応できるように再測定用の血圧計を1台増設し、各班4台とした。

血圧値確定の流れは（表2）のとおりとした。

表2 血圧値確定の流れ

	平成29年度	平成30年度
1段階	1回目の測定値を採用	
2段階	複数回深呼吸後の測定値を採用	
3段階	他の検査後、3回目の測定値を採用	5～10分安静後の測定値を採用
4段階		5～10分安静後の測定を拒否。 または、手動血圧計での測定が必要な場合や受診者が手動血圧計での測定を希望した場合は手動血圧計で測定※。

※29年度も必要に応じて手動血圧計での測定を実施

調査方法

今回、状況を把握するために5分間安静の前後の血圧値の変化を約1か月間調査した。（表3）

また、血圧測定を担当するスタッフに対し、変更6か月後に、再測定方法の変更についての感想と、受診者の反応についてアンケートを実施し、率直な意見を聴取した。（表4）

表3 血圧値について

調査期間	平成30年9月9日～10月15日
対象者	住民健診を受診した18歳以上の受診者で、表1の1段階、2段階の測定後、3段階の測定が必要となった受診者262名/12,330名（2.1%）
方法	5分安静前と安静後の血圧値を記録し比較

表4 アンケートについて

調査期間	10月1日～10月12日
対象	血圧測定スタッフ
方法	無記名による記入方式
回答者数	33名（看護師 29名 保健師 4名）

表5 5分前測定値との差

5分前 測定値 との差 (mmHg)	-21 ～	-11 ～ -20	-1 ～ -10	0	1 ～ 10	11 ～ 20	21 ～
収縮期 血圧	18 6.9%	69 26.3%	80 30.5%	12 4.6%	42 16.0%	31 11.8%	2 0.8%
(人数/%)	175 66.8%			12 4.6%	75 28.6%		
拡張期 血圧	0 0.0%	15 5.7%	105 40.1%	31 11.8%	97 37.0%	13 5.0%	1 0.4%
(人数/%)	120 45.8%			31 11.8%	111 42.4%		

表6 再測定方法についてのアンケート結果

	人数	%
再測定方法について、実施前の印象		
ア 特に何も感じない	18	54.6
イ 不安に思った	11	33.3
ウ その他	4	12.1
実施後の感想		
ア 問題はない	30	91.0
イ 問題がある	2	6.0
ウ その他	1	3.0
受診者の立場であつたらどちらが良いか		
ア 他の検査の後、最後がよい	7	21.3
イ その場で5分安静がよい	25	75.7
ウ その他	1	3.0
受診者に5分間安静を拒否されたか		
ア ある	1	3.0
イ ない	32	97.0

結果

5分安静後の再測定値の差(表5)は、収縮期血圧については、下降した受診者は66.8%(内訳は-1～10mmHgが30.5%、-11～20mmHgが26.3%、

-21mmHg以上が6.9%)であつた。

逆に上昇は28.6%(内訳は+1～10mmHgが16.0%、+11～20mmHgが11.8%、+21mmHg以上が0.8%)、±0は4.6%であつた。

また、拡張期血圧の下降は45.8%(内訳は-1～10mmHgが40.1%、-11～20が5.7%)、逆に上昇は42.4%(内訳は+1～10mmHgが37.0%、+10～20%が5.0%、+21%以上が0.4%)で、±0が11.8%であつた。

アンケート(表6)では実施前の印象として「特に何も感じない」の54.5%に対し、「不安に思った」が33.3%でその理由として「去年は最後に測ってくれた等のクレームがくるのではないかと」の意見が多数あつた。

実施後には、「問題はない」が91.0%にも上り「安静にすることで血圧も下がりやすく、本人も納得して血圧測定ができ、満足してくれる。」等の肯定的な意見が多くみられた。また、自分が受診者の立場であつたらどちらが良いかの問いには75.7%がその場で5分間安静が良いであつた。

一方で、「順番が遅くなるのが目に見えてわかる」、「血圧計を4台にしたことで、準備の負担が増える」等の否定的な意見もあつた。また、受診者に5分間安静を「5分も待ってられない。時間がない」と拒否されたことがあると答えた人は3.0%(1名)であつた。

考察

5分間安静後の再測定により収縮期血圧の下降が66.8%の受診者でみられ、スタッフにも5分間安静の意味や重要性を理解してもらえたと考えられる。しかし、血圧計を4台にしたことで、準備の負担が増えることについては、スタッフ間で協力することで、解決できるのではないかと考える。

また、血圧を担当したスタッフが、5分間安静の意義の説明をしながら行ったことで受診者から反発的な意見はほとんどなく、健診現場での混乱はなかった。また、4台目として再測定用の血圧計を準備することで、5分間安静が必要な受診者が出た時に、すぐに対応できるようにしたことや、他の受診者に迷惑がかからず、ストレスなく安心して待てられる環境を作れたことがスムーズな健診につながったと考える。

6. 眼底検査の撮影法変更に伴う実施状況について

公益財団法人茨城県総合健診協会 〇岡野かおり 鈴木 恵美 菅原 幸子 森田 順子
松村 晴美 藤井友理佳 松本 了子 小滝喜久男

はじめに

当協会では、「標準的な健診・保健指導プログラム（平成 30 年度版）」（厚生労働省）が示されたことや、日本循環器病予防学会（循環器病予防ハンドブック）の眼底検査両眼撮影の提言を踏まえ、眼底検査の撮影方法を昨年度まで実施してきた片眼撮影から、両眼撮影へ変更した。両眼撮影にしたことによる有所見率の変化を含めた実施状況について報告する。

対象

1. 健診と眼底検査の実施状況

地域健診を平成 29 年 4 月から 8 月に受診した 98,012 名と、平成 30 年 4 月から 8 月までに受診した 98,401 名を対象とした。

2. 片眼撮影と両眼撮影での有所見率の比較

地域健診で平成 29 年 4 月から 8 月に眼底検査を受診した 82,354 名と、平成 30 年 4 月から 8 月に眼底検査を受診した 84,968 名を対象とした。

方法

1. 撮影方法

撮影にはキャノン製デジタル眼底カメラ CR-2AF、CR-2、CR-1Mark II を用いた。

平成 29 年度は右眼または左眼のどちらか 1 枚の撮影とし、眼底像が見えにくい場合は、適宜追加撮影を行った。

平成 30 年度は原則として左右各 1 枚の計 2 枚の撮影をし、眼底像が見えにくい場合は適宜追加撮影を行った。片眼のみの撮影しかできない場合は、いずれか 1 枚の撮影とした。

2. 判定方法

当協会では、Keith-Wagener 分類による判定（以下 KW 判定）と眼科的所見を合わせて判定してい

る。KW 判定は KW-IIb 以上を要精密検査としている。平成 30 年度からの両眼撮影では、KW 判定は左右のうち重い判定を採用する。眼科的所見については左右別に判定し、眼科受診要の所見について要精密検査とする。

結果

1. 健診と眼底検査の実施状況

平成 29 年度は地域健診を受診した 98,012 名のうち、82,354 名が受診した。平成 30 年度は 98,401 名のうち 84,968 名が受診した。同一期間（4 月から 8 月）での実施状況を比較すると、平成 30 年度の地域健診受診者が前年度より 389 名の増加だったのに対し、眼底検査受診者は、2,614 名増加がみられた（表 1）。

年代別に同一期間（4 月から 8 月）での眼底検査受診者数を比較すると、70 歳代以上で 2,935 名と大きく増加していたが、60 歳代以下では、増加していなかった。（表 2）

表 1 眼底検査実施者数

	地域健診 受診者数 (名)	眼底検査 受診者数 (名)	眼底検査 受診率 (%)
H30	98,401	84,968	86.3
H29	98,012	82,354	84.0

表 2 年代別受診者数割合

年代		～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～
H30	(名)	3,573	6,018	6,982	25,919	35,460	7,016
	(%)	64.8	88.7	92.6	94.7	86.3	69.5
H29	(名)	3,519	5,890	7,001	26,403	32,970	6,571
	(%)	56.8	86.0	89.4	90.2	85.1	72.1

2. 片眼撮影と両眼撮影での有所見率の比較

KW 判定での平成 30 年の要精密検査該当者 (KW-II b、Ⅲ、Ⅳ) は、平成 29 年と比較して 0.3% (255 名)、要指導該当者 (KW-II a) は 0.3% (290 名) の増加がみられた。判定不能は 79 名減少していた。(表 3)

平成 30 年の両眼 (左右いずれかに所見あり) の有所見率は平成 29 年と比較すると、5.6% の増加がみられた。(表 4)

黄斑異常、糖尿病網膜症、軟性白斑、網膜出血、網膜神経線維層欠損、網静脈閉塞症、網膜変性症、緑内障性乳頭陥凹について、所見別の有所見率を比較すると、平成 30 年ではすべての所見で、有所見率の増加がみられた。いずれかの眼科的所見に該当した方の有所見率を比較すると、両眼撮影では片眼撮影に比べ、5.0% の増加がみられた。(表 5)

表 3 KW 判定内訳

	眼底 検査 受診 者数 (名)	判 定 内 訳						
		(%)						
		正常範囲内		要指導	要精密			判定 不能
		0	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ	Ⅳ	不能
H30	84,968	60,481	21,516	2,191	677	1	0	102
		(71.2)	(25.3)	(2.6)	(0.8)	(0.0)	(-)	(0.1)
H29	82,354	57,453	22,396	1,901	422	1	0	181
		(69.8)	(27.2)	(2.3)	(0.5)	(0.0)	(-)	(0.2)

表 4 有所見率

	眼底所見あり (名)	所見率 (%)
H30 (両眼撮影)	20,800	24.5
H29 (片眼撮影)	15,538	18.9

表 5 眼科的所見別有所見率

		黄斑異常	糖尿病 網膜症	軟性白斑	網膜出血	網膜神経 線維層欠損	網膜静脈 閉塞症	網膜変性症	緑内障性 乳頭陥凹
H30(両眼撮影)	(名)	5,959	473	271	2,104	929	712	461	4,540
	(%)	7.0	0.6	0.3	2.5	1.1	0.8	0.5	5.3
H29(片眼撮影)	(名)	4,264	435	116	1,103	386	435	341	3,776
	(%)	5.2	0.5	0.1	1.3	0.5	0.5	0.4	4.6

考察

同一期間での眼底検査受診者数は、平成 29 年と比較して 2,614 名増加した。当協会では、詳細項目である心電図検査・眼底検査・貧血検査・血清クレアチニン検査の全員実施を推奨している。このような働きかけにより、特定健診対象年齢層の眼底検査受診が増加したことや、第 3 期特定健診の基準により詳細項目該当者が増加したことが、平成 30 年度における眼底検査受診者の増加に繋がったと考えられる。

KW 判定内訳では、要精密検査該当者 (KW-II b、Ⅲ、Ⅳ) や要指導該当者 (KW-II a) の増加と、判定不能の減少がみられた。眼科的所見別有所見率でも、すべての所見で有所見率の増加がみられた。両眼撮影の実施により、片眼撮影では拾い上げられなかった眼底所見が、拾い上げられるようになったと考えられる。有所見者の見逃しをなくすためにも、受診者全員に両眼の眼底検査を実施する効果は高いと考える。

まとめ

眼底検査の撮影法変更にあたり、片眼撮影と両眼撮影での有所見率の比較を行った。要精密検査該当者や QOL の低下に繋がる眼科的所見の見逃しをなくすためにも、両眼撮影は有効であると考えられる。

7. 無影灯を搭載した子宮頸がん検診車の検討

公益財団法人茨城県総合健診協会 ○中崎 美樹 木村真由美 小池美樹子 菅井智香子
高丸 知子 永久保加代子 長峰 京子 根本ひろみ

はじめに

当協会における子宮頸がん検診は、検診車4台を有し、県内44市町村中38市町村を実施している。平成25年度よりLBC法を導入し、年間約50,000件を60名程の協力医師のもと実施している。医師の高齢化に伴い、効率的な細胞採取を行う環境を整えたいと考え、无影灯を搭載した検診車を検討したので報告する。

現状

子宮頸がん検診は、砕石位という体位の特徴から低位置側面からの照明が必要である。検診室内の照明は、天井に蛍光灯4本を使用し、其々の検診台正面からスポットライト(以下、ライト)にて照射している。

ライトは天井のレールに設置しているが、アームが短いうえ固定され、位置を容易に変更できない。また、設置位置や角度により影ができ、医師が身体を動かし照射位置を調整する状況であった。ハンディライトによりサポートするが、その形状や重量・照度に加え、組織色の判別には欠かせない最適な製品の選択は難しい。これらの状況を改善することが、医師や受診者双方の負担軽減になると思われた。

改善ポイント

- (1) 十分な照度で、組織色の判別ができる。
- (2) 照射方向・位置を容易に変更できる。
- (3) スタッフのスムーズな動線の確保ができる。
- (4) 長距離移動を考慮した耐久性がある。

検討内容及び結果

(1) ライトの選択

ライトの種類を選択するにあたり、検診に十分な照度と、視診での判断を妨げず組織色の判別が

できる色温度、位置を容易に変更できる点を考慮した。照度に関しては、表1に示したJIS照度基準病院各部門推奨照度を参考にしているが、一般の屋内用照明で、条件を満たすライトの選択は難しく、診療用ライトである无影灯の選択に至った。

无影灯の特徴は、①中心照度23,000lux・色温度4,200K、自然光で見た状態に近い色で表現し得る性能を有すること②電球内反射板によって、光を乱反射させる仕組みにより、影を生じさせないよう工夫されていること③アームが長く位置を容易に変更できることなどの特性が、条件を満たしていた。表2に照度、図1に色温度を示す。

表1 JIS照度基準 病院各部門推奨照度 (lux)

部門	室内(全般)	局部
病室	100	読書 300
検査室	500	1,000
手術室	1,000	10,000~100,000

表2 照度 実測値 (lux)

照明(中心照度)	局部
蛍光灯のみ	室内 336
ライト(3,295lux)	928
无影灯(23,000lux)	6,257
ライト・无影灯	9,102

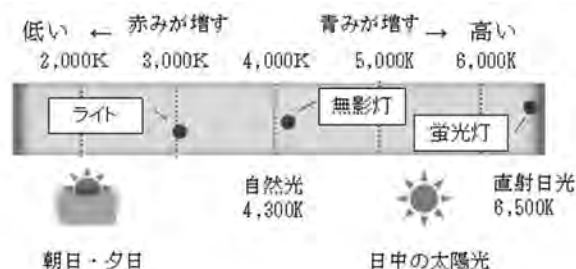


図1 色温度 (K=ケルビン)

(2) 設置位置

検診室には検診台 2 台を設置し、医師 1 名と看護師 2 名で対応している。看護師は其々の検診台を担当し、医師は検診台を交互に移動しながら検診を実施している。検診台の間には固定のカスト台を設置、検診台下には使用後の器具を入れるバケツが置かれている。床面は、移動をスムーズに行うため、スタンド型の无影灯は最適ではないことや、側壁では右側同一方向からの照射が困難であることを考慮し、天井に設置することを選択した。設置位置は、受診者側から見えないうシーリングカバーを含め検診室内に配置した。

図 2 に設置位置を示す。

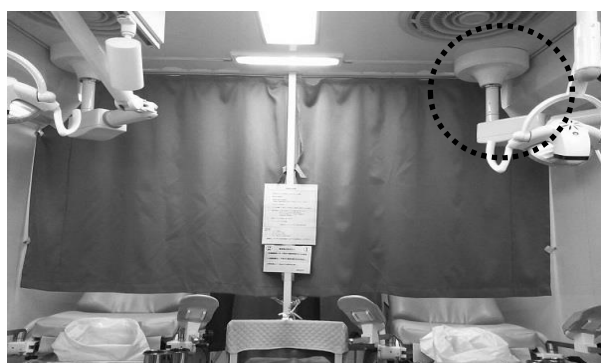


図 2 設置位置

(3) 照射位置

医師が検診室内をスムーズに移動することができるよう天井高を 233cm、无影灯先端から床面まで 183cm を確保している。天井高に関しては、検診車が建物の軒下に配車でき、受診者が容易に移動できるよう車高を制限した。

また、状況に応じてアームの長さや可動域を利用し、下方より照射することで、更に明瞭な視野の確保ができています。ハンディライトを使用しないことで、採取時間が短縮でき、受診者の負担軽減になっている。看護師が両手を塞がれることなく、作業ができることも利点となった。

(4) 明暗差

无影灯を使用するにあたり、検診室内の照明と照射する子宮頸部との間に明暗差が生じることを考慮し、既存のライトを据え置きで設置した。これは、无影灯破損時のトラブルを想定してのことでもあったが、これにより明暗差が生じるこ

なく検診が実施できている。

(5) 収納固定位置

県内広域に渡る移動距離にも耐えられるよう、側壁面に縦横 10 cm、高さ 14.5cm のスポンジ製アームラックを設置した。アーム部分をラック内に収納し、ジョイント部分を壁に密着させ、ベルトで固定することで走行中の振動を最小限に抑えている。更に、无影灯ヘッド部分の揺れ防止のため、壁にハンドルを繋ぎ、壁面にはシリコンパットを当て保護している。

図 3 に収納固定位置を示す。

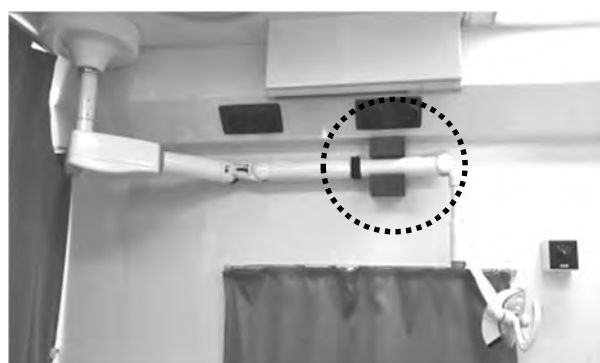


図 3 収納固定位置

まとめ

无影灯に加え既存のライトを据え置きで設置したことで、約 10 倍の照度が確保できた。しかし、局部照度を上げるには、室内全般の照度とのバランスを考慮する必要があると思われた。

また、適切な位置に必要な照度を確保するには、位置を容易に変更できるアームの長さや可動域の確保が不可欠であったが、室内のスペースを維持し天井に設置したことで、スムーズな動線が確保できた。无影灯の搭載により十分な照度・色温度が得られたことで、採取時間を短縮し、所見の確認が容易になり、照明を気にせずより受診者を気遣うことができています。協力医師からも「とても明るく見やすくなった」等好評である。

施設内検診に比べ、車検診では制限されることが多くあるが、車検診ならではの利便性を活かし施設と同等の環境を整えることにより、検診精度と質の向上に繋がったと思われる。今後もより良い車内環境の整備と改善に努めていきたい。

8. 大腸がん検診におけるカットオフ値の

妥当性に関する検討

公益財団法人茨城県総合健診協会 ○井川 裕一 照沼 雅子 赤堀 聡子 小谷松 毅

はじめに

大腸がん検診において最大の課題は、低い検診受診率の改善もさることながら、精検受診率が極端に低いことである。受診者にとっては、精密検査に伴う合併症や苦痛など無視できない不利益があり、検査結果の偽陽性が不必要な内視鏡検査に繋がり、精神的・肉体的・経済的負担が強いられることから、要精検率を可能な限り低くすることが今後重要になってくる。そこで、がん発見率を低下させることなく、受診者の不利益となる精密検査を減らすことができる至適カットオフ値を検討したので報告する。

対象

平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の大腸がん検診受診者 819,064 人（男 357,929 人、女 461,135 人）を対象とした。

測定装置及び試薬

測定装置	OC センサー-DIANA（栄研化学） （H24 年度～H26 年度）
	OC センサー-PREDIA（栄研化学） （H27 年度～H28 年度）
試 薬	OC ヘモディアオートⅢ栄研
測定原理	免疫学的便潜血反応（2 日法）

方法

(1) カットオフ値 100ng/mL を 10ng/mL ごとに上げた場合の要精検率、精検受診率、発見がん数、がん発見率、陽性反応適中度を算出し、がん検診の事業評価指標である、「地域保健・健康増進事業報告」の精検受診率及び陽性反応適中度の全国平均値を満たすカットオフ値を求めた。さらに、が

ん発見率、陽性反応適中度についてカイ二乗検定を用いて有意差検定し、カットオフ値を求めた。
(2) 5 年間で発見された 1,429 名の組織学的壁深達度と測定値を比較した。
(3) 5 年間の受診者について、受診歴別の成績について集計した。

結果

(1) カットオフ値を 10ng/mL 刻みの階層ごとに集計した結果を表 1 に示す。

①要精検率が、全国平均値 6.8%以下を満たすカットオフ値は 110ng/mL であった。現行カットオフ値(100ng/mL)と比較した場合、要精検率は 0.4%低下したが、陽性反応適中度は 0.07%の上昇に留まった。

②陽性反応適中度が、全国平均値 3.11%以上を満たすカットオフ値は 190ng/mL であった。現行カットオフ値(100ng/mL)と比較した場合、要精検率は 2.5%低下したが、がん発見率も 0.03%低下し、成績が悪化してしまった。

③有意差検定をした結果、がん発見率はカットオフ値 130ng/mL 以上で有意に下がり ($p=0.0431$)、陽性反応適中度はカットオフ値 130ng/mL 以上で有意に上がる ($p=0.0237$) ことがわかった。

以上の結果から、仮にカットオフ値を 120ng/mL とした場合、要精検率は 7.0%(57,589 人)から 6.3%(51,545 人)に低下し、がん発見率は 0.17%と変化がなく、陽性反応適中度は 2.48%から 2.63%に上昇する結果となった。このことから、現状よりも成績を悪化させずに、要精検者数を減少させることができる至適カットオフ値は、120 ng/mL が妥当と考える。

表1 カットオフ値別成績

カットオフ値 (ng/mL)	受診者数 (人)	要精検者 数(人)	要精検率 (%)	精検受診 者数 (人)	精検受診 率(%)	発見がん 数(人)	がん発見 率(%)	がん発見 率(P値)	陽性反応 適中度 (%)	陽性反応 適中度 (P値)	早期がん (人)	進行がん (人)
100	819,064	57,589	7.0	41,842	72.7	1,429	0.17	—	2.48	—	934	495
110	819,064	54,437	6.6	39,523	72.6	1,390	0.17	0.4622	2.55	0.4417	902	488
120	819,064	51,545	6.3	37,344	72.4	1,358	0.17	0.1783	2.63	0.1092	874	484
130	819,064	48,964	6.0	35,408	72.3	1,323	0.16	0.0431	2.70	0.0237	844	479
140	819,064	46,660	5.7	33,701	72.2	1,296	0.16	0.0108	2.78	0.0003	820	476
150	819,064	44,456	5.4	32,053	72.1	1,267	0.15	0.0018	2.85	0.0000	795	472
160	819,064	42,465	5.2	30,529	71.9	1,245	0.15	0.0000	2.93	0.0000	777	468
170	819,064	40,553	5.0	29,065	71.7	1,217	0.15	0.0000	3.00	0.0000	755	462
180	819,064	38,685	4.7	27,651	71.5	1,188	0.15	0.0000	3.07	0.0000	732	456
190	819,064	36,977	4.5	26,422	71.5	1,157	0.14	0.0000	3.13	0.0000	706	451
200	819,064	35,471	4.3	25,318	71.4	1,139	0.14	0.0000	3.21	0.0000	693	446

(2) 測定値と組織学的壁深達度の比較では、早期がんが 150ng/mL ($p=0.0271$)、進行がんが 130ng/mL ($p=0.0351$) から有意差が認められた。

表2 測定値と組織学的壁深達度

測定値 (ng/mL)	早期がん					進行がん							合計 (人)
	M (人)	SM (人)	不明 (人)	小計 (人)	P値	MP (人)	SS (人)	SE (人)	SI (人)	不明 (人)	小計 (人)	P値	
101～110	24	7	1	32	0.6312	2	3	1	0	1	7	0.4999	39
111～120	22	6	0	28	0.3089	3	1	0	0	0	4	0.1507	32
121～130	21	8	1	30	0.3442	1	3	1	0	0	5	0.0351	35
131～140	21	3	0	24	0.0683	2	1	0	0	0	3	0.0054	27
141～150	19	6	0	25	0.0271	2	2	0	0	0	4	0.0006	29
151～160	12	6	0	18	0.0062	1	2	1	0	0	4	0.0000	22
161～170	16	6	0	22	0.0017	0	5	0	1	0	6	0.0000	28
171～180	19	4	0	23	0.0005	3	1	1	0	1	6	0.0000	29
181～190	20	6	0	26	0.0005	4	1	0	0	0	5	0.0000	31
191～200	10	3	0	13	0.0183	2	0	0	0	3	5	0.0000	18
201～	489	194	10	693	0.0000	131	207	72	3	33	446	0.0000	1,139
合計	673	249	12	934		151	226	76	4	38	495		1,429

(3) 受診歴別の成績では、初回受診者のがん発見率、陽性反応適中度が、大幅に高率であることが確認できた。また、初回受診から4年経過すると、がん発見率、陽性反応適中度が高率となることがわかった。

表3 受診歴別成績

受診歴	受診者数 (人)	受診者割合 (%)	要精検者 数(人)	要精検率 (%)	発見がん 数(人)	がん発見 率(%)	陽性反応 適中度 (%)
初回	168,370	20.6	13,654	8.1	584	0.35	4.28
毎回	292,086	35.7	18,956	6.5	312	0.11	1.65
1年前	262,638	32.1	17,472	6.7	333	0.13	1.91
2年前	63,010	7.7	4,831	7.7	117	0.19	2.42
3年前	21,915	2.7	1,798	8.2	53	0.24	2.95
4年前	11,045	1.3	878	7.9	30	0.27	3.42
合計	819,064	100.0	57,589	7.0	1,429	0.17	2.48

考察

カットオフ値を現行の 100ng/mL から 120ng/mL に変更すると、要精検率が 7.0%から 6.3%に減少

し、「地域保健・健康増進事業報告」の全国平均値を満たすことができ、要精検者数を約 6,000 人減らすことができた。がん発見率、陽性反応適中度については、全国平均値には至らない結果であったが、がん発見率を大きく低下させることなく、陽性反応適中度を目標に近づける至適カットオフ値として妥当と考える。

大腸がんの精密検査は受診者負担が大きく、偶発症のリスクも伴うことから、受診者の利益を最善に考え、カットオフ値の変更は総合的に判断すべきと考える。

受診歴別成績を分析すると、がん発見率、陽性反応適中度が全国平均値を下回っている原因として、初回受診者が少ないことが考えられる。初回受診者で、がん発見率・陽性反応適中度の高い結果が得られていることから、その割合を増やすことで目標に近づけたいと考える。

まとめ

今回、至適カットオフ値は 120ng/mL が妥当と考えられたが、がん発見率、陽性反応適中度は「地域保健・健康増進事業報告」の全国平均に満たなかった。今後、精検受診率が低く、受診率がそもそも低い大腸がん検診の全体的な底上げはもとより、未だ大腸がん検診を受診したことのない対象者への啓蒙活動に力を入れたい。更に、大腸がんの予防・早期発見のために、まず検診を毎年受診して頂くこと、そして精密検査の場合は、必ず大腸内視鏡検査を受診して頂くことが重要であり、精密検査までを大腸がん検診として捉え、有効な検診を推進していきたい。

9. 大腸がん検診受診率向上への取り組みについて

公益財団法人茨城県総合健診協会

○高田 朋巳

寺門はつき

平間みづき

大島 啓市

飯島 栄次

藤枝 環

小滝喜久男

はじめに

近年、大腸がんの罹患率が増加している。特に女性のがんによる死亡原因は、大腸がんが第1位であり、年々増加する大腸がんを早期に発見するためには、便潜血検査が有効である。

当協会で大腸がん検診の受診率向上を目指すために取り組んでいる内容を報告する。

大腸がん検診受診状況

当協会における平成25年度から平成29年度の大腸がん検診受診者数の推移を図1に示す。

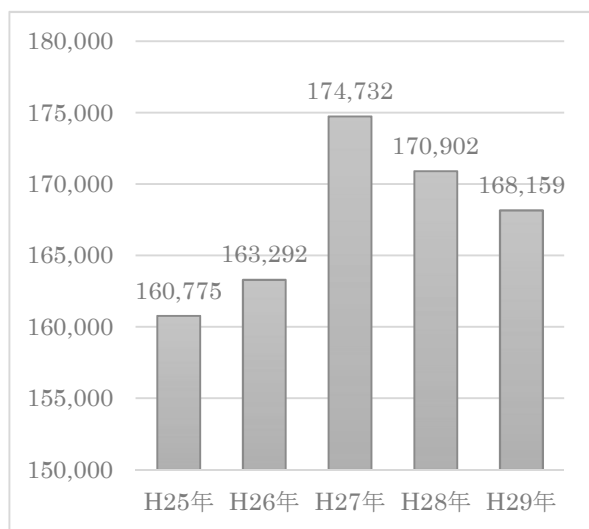


図1 受診者数推移 (件)

平成25年度から増加傾向であったが、平成27年度の174,732件を最大に平成28年度から減少傾向となり、平成29年度は168,159件とピーク時より6,573件減少した。

これを受け平成30年度は、受診率向上への取り組みを積極的に実施している。

受診率向上への取り組み

1 検査キットの事前配付

通常は、特定健診受診の際に検査キットを配付し、後日検体を回収している。本年度から一部の実施主体において、受診者サービスの向上を図るため、前年度受診歴のある受診希望者に対し事前に検査キットを郵送し、特定健診受診に併せて回収することにした。

2 茨城県がん検診受診率向上対策事業

茨城県がん検診受診率向上対策事業を活用し、がん検診リーフレットを盛り込んだ個別勧奨通知(6面圧着式)などを作成し郵送した。

3 受診機会の拡大

特定健診以外の婦人科検診・腹部超音波検診に併せ、大腸がん検診を受診できる環境を整え受診機会を拡大した。

4 企業連携プロジェクト

茨城県がん検診受診率向上企業連携プロジェクトへ参加している事業所に対し、がん検診受診勧奨リーフレットの配布を依頼した。

5 検体の有効期限の延長

緩衝液の改良によりヘモグロビン保存の安定性が向上し、夏季の陽性率低下が軽減された為、平成28年度から採便後の有効期限を4日間から7日間に延長した。

6 特定健診受診時の検査キット配付

健診受診の際に大腸がん検診を案内し、当日に検査キットを配付している。さらに健診スタッフが、当日受診していない家族分の希望も聴取し、再度受診の機会を設けている。

その他の工夫

1 検査キットの有効期限の明確化

検査キットの外袋へ年度別に色付けしたラベルを貼付したことで、検査キットの有効期限を一目で識別できるようにした。

2 提出案内の改良

以前は、案内用紙に手書きで採便可能日を記入していたが、書き違い防止のためPCを活用し、提出日に連動した採便日が印字されるように改良した。これにより、提出日や採便日の誤った案内がなくなった。また、スタッフが配付する際の説明時間短縮につながった。

結果

平成30年度と前年度の受診者数を4月から8月で比較してみると、1,432件の増加となった。(図2)

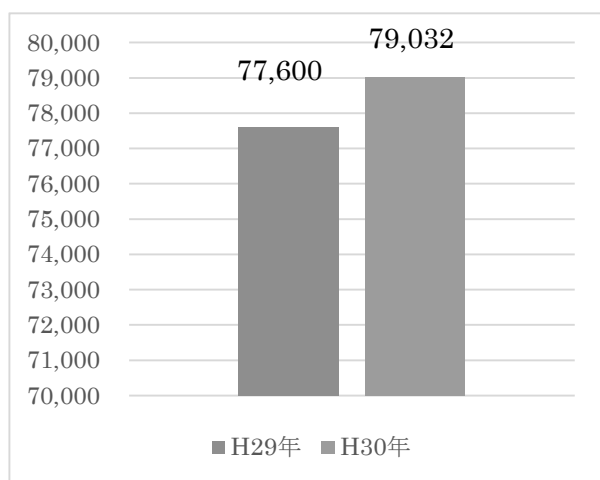


図2 前年度との比較（件）

考察

平成30年度は実施主体を交えた様々な取り組みにより、大腸がん検診の受診者数が増加した。特に婦人科検診と大腸がん検診を同時に実施したところ、8日間の稼働で401件増加した実施主体もあった。

また、採便日の有効期限が4日から7日になったことも受診率の向上に寄与していると考えられる。

私たちが健診現場で実施する工程を工夫することにより、受診する機会を増やすことが可能である。健診時に受診者から「早期でがんが見つかり助かったよ。」との声を耳にすることがある。それは受診者のみならず、働くスタッフの喜びとなり、さらには仕事に対する目的意識を高めることにつながる。

まとめ

大腸がん検診における便潜血検査法は、死亡率減少効果を示す十分な根拠があることから、対策型健診及び任意型検診において推奨されている。

今回、婦人科検診と大腸がん検診を同時に実施したところ、新規受診者を含め受診者数が増加したことから、今後も実施主体に対し複合検診の勧奨を図っていく。

今後も渉外担当者を通じ、実施主体との綿密な連携をとりながら受診率の向上を目指した取り組みを継続していきたい。

10. 胃がん検診における

技師チェック（0次読影）に関する検討

（公財）茨城県総合健診協会

○川崎 光利

嶋田 和広

岡田 利男

小松崎秀文

仲田 智彦

石川 直隆

同協会 消化器検診研究委員会

細井 董三

はじめに

厚生労働省から、「画像診断における読影の補助を行うこと」の通達をうけ、技師の読影補助が推進されている。当協会では、平成23年度完全デジタル化し、レポートシステムを用いたモニター読影を開始している。今回、技師チェック(0次読影)と読影医の読影結果を比較し当協会の技師チェックの現状と問題点を検討したので報告する。

対象

平成27・28年度の胃がん検診を実施した174,976件、うち発見された胃がん179症例で検討した。

方法

読影は茨城県胃がん検診実施指針の読影判定区分に基づき、レポートシステムに判定区分1~5を入力し、精検が必要と思われるものには部位と所見を入力している(図1)。2年間の発見胃がん症例から技師の要精検率、読影医との判定一致率、描出率について比較検討した(表1)。

表1 胃がん検診読影判定区分

判定区分	所見	指示
0	読影不能	再撮影又は精検
1	異常なし	精検不要
2	軽度の異常	精検不要(経過観察)
3	病変の存在を疑い、かつ悪性疑い	精検
4	病変確実、かつ悪性疑い	必ず精検
5	病変確実、かつ悪性確実	至急精検

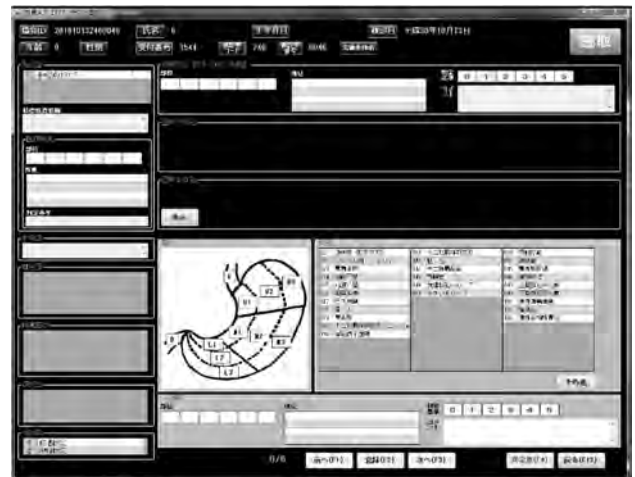


図1 当協会のレポートシステム

結果

読影医の要精検率は平成27年度8.6%、平成28年度7.7%、技師の要精検率は平成27年度5.9%、平成28年度5.3%だった。読影医との一致率は平成27年度80.1%、平成28年度81.5%であった。陽性反応適中度は、読影医が平成27年度1.19%、平成28年度1.33%、技師は平成27年度1.00%、平成28年度1.43%だった(表2)。

発見がんにおける描出率は平成27年度62.4%、平成28年度79.1%だった。描出された症例における技師のチェック率は、平成27年度87.9%、平成28年度89.7%であった。

発見がんの中で描出されなかった症例は、平成27年度35症例、平成28年度18症例であった。その中で2センチ未満の症例が43症例、2センチ以上の症例が10症例だった。

描出されている症例で技師チェックが出来なかった症例が平成27年度7症例、平成28年度7症例あった。その中で進行がんは各年度1症例ずつあった。

表 2 胃がん検診実績

	受診者数 [件]	要精検者数 [件]	要精検率 [%]	発見がん数 [件]	がん発見率 [%]	陽性反応適中度 [%]	読影医との一致率 [%]
27 年度	90,977	7,824 (5,087)	8.6 (5.9)	93	0.10	1.19 (1.00)	80.1
28 年度	83,999	6,450 (4,408)	7.7 (5.3)	86	0.10	1.33 (1.43)	81.5

() 内は技師の判定

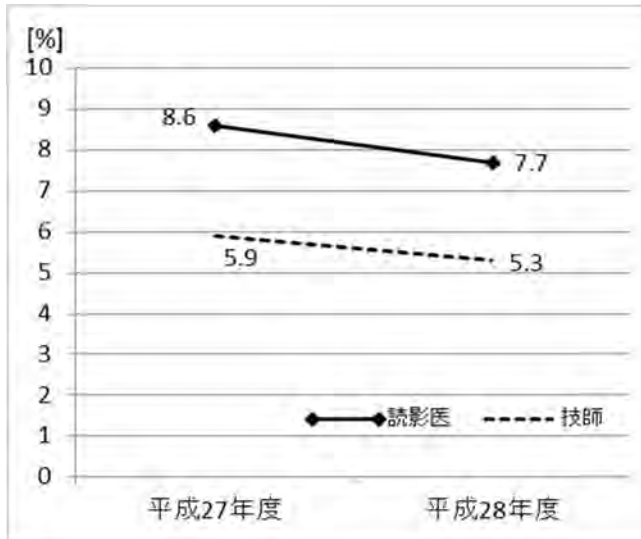


図 2 読影医との要精検率の比較

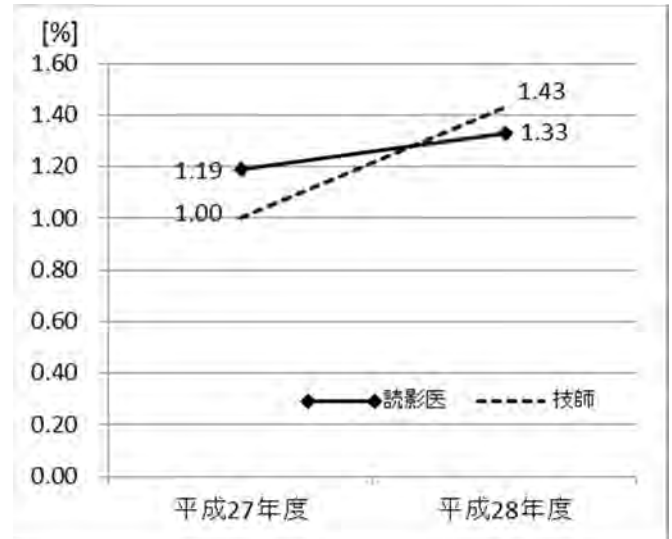


図 3 読影医との陽性反応適中度の比較

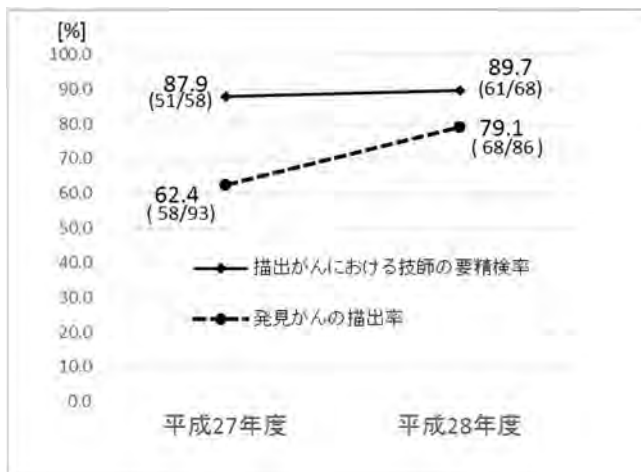


図 4 発見がんの描出率と描出がんにおける技師要精検率

まとめ

平成 27 年度と平成 28 年度を比較すると読影医・技師とも要精検率は下がり、陽性反応適中度が上昇した（図 2，3）。

また、発見がんの描出率，描出された症例における技師の要精検率も上昇した（図 4）。

これは 27 年度から、毎月 1 回の読影医との勉強会に加え、技師だけで毎月 1 回、読影医・技師の判定 4 以上の症例検討会を行い、疑問点を読影医に確認し、担当技師の読影、撮影技術の向上を図ったためと思われる。

しかし、2 年間で進行がん 2 症例のチェック漏れがあった。

今後も技師が精度の高い画像を提供し、見逃しの無い技師チェックが行えるように学会や勉強会、症例検討会に参加し、読影、撮影技術を向上させる必要があると思われる。

1 1. 茨城県におけるタンデムマス

スクリーニングの5年間の実施状況

公益財団法人茨城県総合健診協会

○小澤亜由美

澤田 博美

赤堀 聡子

小谷松 毅

筑波大学附属病院

嶋田 智博

はじめに

従来法の新生児スクリーニングは6疾患を対象としたが、タンデムマス法を導入することで、多くの疾患のスクリーニングが可能となり、平成23年3月の厚生労働省母子保健通達によって全国的に導入が加速された。茨城県では、平成25年度から県内の新生児を対象としてタンデムマス検査を事業化し、今回、開始後5年間のスクリーニング成績を報告する。

対象と方法

平成25年4月1日から平成30年3月31日の5年間に受付した新生児検体112,026件を対象とした。対象疾患は、厚生労働省母子保健通達による対象疾患(16疾患)とし、分析方法は非誘導体化法(NeoBase Kit, PerkinElmer)により測定した。質量分析装置は、TQD(Waters)を用いた。

結果

(1)5年間の検査成績は、再採血数479件(0.43%)で、即精密検査数10件(0.01%)、再検査後精密検査数16件(0.01%)、総精密検査数(以下、総精査数)26件(0.02%)であった(表1)。疾患群別の内訳について、アミノ酸代謝異常症が再採血数114件(0.10%)、総精査数14件(0.01%)、有機酸代謝異常症が再採血数314件(0.28%)、総精査数4件(0.01%)、脂肪酸代謝異常症が再採血数51件(0.05%)、総精査数8件(0.01%)であった。

また、年度別に増減をみると、最も再採血数、総精査数が少ない年度は74件(0.35%)、2件(0.01%)であり、多い年度は121件(0.52%)、7件(0.03%)であった(表2)。

(2)再採血依頼の上位検査項目は、C5(イソ吉草酸血症)157件(0.14%)とC5DC(グルタル酸血症I型)101件(0.09%)で、依頼の多くは特定の医療機関に偏っていた。

表1 5年間の実施状況

N=112,026件

疾患群	対象疾患	測定項目	再採血数	即精密検査数	再採血後 精密検査数	総精査数
アミノ酸	フェニルケトン尿症	Phe	13	1	1	2
	メーブルシロップ尿症	Leu+Ile Val	69	0	0	0
	ホモシスチン尿症	Met	18	0	8	8
	シトルリン血症I型	Cit	14	1	3	4
	アルギニノゴバク酸尿症					
	小計		114 (0.10%)	2	12	14 (0.01%)
有機酸	メチルマロン酸血症	C3 & C3/C2	55	0	3	3
	プロピオン酸血症					
	イソ吉草酸血症	C5	157 (0.14%)	0	0	0
	メチルクロトニルグリシン尿症					
	ヒドロキシメチルグルタル酸血症	C5-OH	1	0	0	0
	複合カルボキシラゼ欠損症					
	グルタル酸血症I型	C5-DC	101 (0.09%)	1	0	1
	小計		314 (0.28%)	1	3	4 (0.01%)
脂肪酸	MCAD欠損症	C8 & C8/C10	8	5	0	5
	VLCAD欠損症	C14:1&C14:1/C2	43	2	0	2
	TFP/LCHAD欠損症	C16-OH&C18:10H	0	0	0	0
	CPT-1欠損症	C0/(C16:C18)	0	0	1	1
	小計		51 (0.05%)	7	1	8 (0.01%)
	合計		479 (0.43%)	10 (0.01%)	16 (0.01%)	26 (0.02%)

単位:件(%)

(3) 精密検査となり専門医療機関を受診した 26 件のうち、10 件の患児が発見された。全体の患児発見頻度は 1 : 11,203 で、陽性適中率（＝患者数／総精査数）は 38.5%であった。

最も総精査数が多かったホモシスチン尿症の内訳は、発見患児 1 件、その他の要因で高メチオニン血症をきたした例が 7 件あったため、陽性適中率が 12.5%と低率であった（表 3）。

表 2 年度別再採血数・総精査数

年度	受付検体数 (件)	再採血数 (件) (%)	総精査数 (件) (%)
平成 25 年度	22,770	80 (0.35)	7 (0.03)
平成 26 年度	23,239	121 (0.52)	6 (0.03)
平成 27 年度	22,878	119 (0.52)	7 (0.03)
平成 28 年度	21,937	85 (0.39)	4 (0.02)
平成 29 年度	21,202	74 (0.35)	2 (0.01)
合計	112,026	479 (0.43)	26 (0.02)

対象疾患 (項目)	対象疾患別 精査数 (件)	発見 患児数 (件)	発見頻度	陽性 適中率 (%)
フェニルケトン 尿症 (Phe)	2	2	1 : 56,013	100
ホモシスチン 尿症 (Met)	8	1	1 : 112,026	12.5
シトルリン血症 1 型 (Cit)	4	1	1 : 112,026	25.0
プロピオン酸 血症 (C3, C3/C2)	3	2	1 : 56,013	66.7
グルタル酸血症 1 型 (C5Dc)	1	1	1 : 112,026	100
MCAD 欠損症 (C8, C8/C10)	5	3	1 : 37,342	60
全体	23	10	1 : 11,203	38.5

表 3 5 年間で発見された発見患児数

考察

(1) 5 年間の再採血率は 0.35～0.52%，総精査率は 0.01～0.03%の幅で推移しており、各年度を通して、タンデムマススクリーニング普及協会が目安としている再採血率「0.1%から 0.6%」、総精査率「0.01%から 0.1%」の適正範囲内であった。

(2) 検査項目別の再採血率は、イソ吉草酸血症 (0.14%)とグルタル酸血症 I 型 (0.09%) が高く、両項目とも採血医療機関に偏りがみられた。

偽陽性の主な要因として、両項目ともピボキシル基含有抗生剤の投与、母乳推進による異化亢進の影響により、偽陽性として判定されている可能性がある。これらの対応については、県連絡協議会から抗生剤の使用有無等における適用基準の周知を徹底し、徐々に再採血率の減少に繋がっている。

(3) スクリーニング対象疾患 (16 疾患) のうち、5 年間で発見された 6 疾患の患児発見頻度は、全国調査結果より高率であったが、その他の 10 疾患については、かなり稀な疾患であることから発見には至らなかった。

発見患児の陽性適中率は平均 38.5%であり、全国実施調査報告の平均 18.45%より高率であった。発見患児のうちホモシスチン尿症は、陽性適中率が 12.5%と他疾患に比べて低率であったが、現行のスクリーニング検査の陽性判定では、陽性適中率を上げる適切なカットオフ値の設定が困難であるため、今後、有効なスクリーニング指標を用い、精度向上につなげたい。

まとめ

タンデムマス法を用いたスクリーニング検査を事業化して、5 年が経過した。その成績から再採血率、精査率は適切であり、良好な陽性適中率のもとで患児が発見されており、茨城県のタンデムマススクリーニング事業が有効に行われてきた。

新生児マススクリーニングは、単に検査機関が検査結果を専門医療機関に報告して終わるものではなく、患児とその家族のフォローアップを重視した茨城県システムの更なる充実が不可欠であり、検査機関・専門医療機関（小児科医、産婦人科医）・コンサルタント医師・自治体子ども政策局少子化対策課等が、相互に綿密な連携を取ることが重要であると考ええる。

引き続き、日々の精度管理、一定期間毎の再採血率、精査率及びヒストグラム分布の確認、定期的な外部精度管理への参加を通して、適正な検査精度の維持向上に努めていきたい。

12. A市における子宮頸がん HPV 併用検診 1 年目の実績について

公益財団法人茨城県総合健診協会

○田尻 涼 長峯 則夫 千葉 幸子 飯村 由美子

田家 真奈 芥川 悦子 加瀬 香 小谷松 毅

青木医院

青木 雅弘

石渡産婦人科病院

石渡 勇

はじめに

子宮頸がん検診では、子宮頸部細胞診検査が精度の高い検診とされているが、近年、HPV-DNA 検査を併用することで前がん病変の発見率が大きく向上することがわかってきた。

A 市では、受診者の利益・利便性や検診精度の向上を目的に、県に先駆けて、平成 29 年度から子宮頸がん HPV 併用検診（以下 HPV 併用検診）を開始した。

今回、HPV 併用検診 1 年目の成績の検討結果と共に今後の課題について報告する。

対象

平成 29 年度に HPV 併用検診を受診した 4,588 人（標本不適正は除く）を対象とした。

方法

細胞診検査は、SurePath による液状検体法で実施し、細胞判定をベセスダシステムで行なった。その後、同一の液状検体を利用し、ハイブリッドキャプチャー法により HPV-DNA 検査を実施した。

HPV 併用検診の判定は、日本産婦人科医学会のリコメンデーションを一部変更して行なった。

結果

(1) 検診成績

HPV 併用検診 1 年目の成績は、受診者数 4,588 人、要精検者数 128 人、要精検率 2.8%であった。HPV 陽性者数 218 人、HPV 陽性率は 4.8%であった。受診者数は、HPV 併用検診と細胞診単独検診で変化は見られなかった。

細胞診のみの判定基準で比較すると、HPV 併

用検診の要精検率は 2.9% (132 人) から 3.2% (146 人) であった。細胞診判定では、ASC-US の割合が 1.6% (72 人) から 1.4% (63 人) と 0.2 ポイント減少し、LSIL 以上の割合は 1.3% (60 人) から 1.8% (83 人) と 0.5 ポイント増加した。(表 1)

表 1 子宮頸がん HPV 併用検診実績

			HPV 併用 (平成 29 年度)		細胞診単独 (平成 25～28 年度平均)	
受診者数			4,588		4,580	
異常認めず			4,340 (94.6%)		4,442 (96.8%)	
要指導	細胞診陰性	HPV 陽性	102 (2.2%)	120 (2.6%)	4,448 (97.1%)	
	細胞診 ASC-US	HPV 陰性	18 (0.4%)	146 (3.2%)		
要精密	細胞診 ASC-US	HPV 陽性	45 (1.0%)	128 (2.8%)	ASC-US 72 (1.6%)	132 (2.9%)
	細胞診陽性	HPV 陽性 or 陰性	83 (1.8%)		細胞診陽性 60 (1.3%)	

HPV 併用検診の判定結果は、「異常認めず：次回検診 2 年後」が 94.6% (4,340 人)、「要指導：次回検診 1 年後」が 2.6% (120 人)、「要精密」が 2.8% (128 人) であった。(図 1)

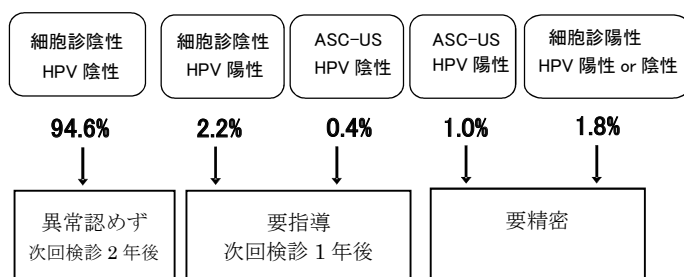


図 1 HPV 併用検診の判定結果と運用

(2) 細胞診ベセスダクラス別 HPV 陽性率

HPV 陽性率は、ASC-US 判定、扁平上皮系病変を疑う ASC-H から SCC 判定、腺系病変を疑う AGC・AIS 判定が、それぞれ 71.4%, 98.6%, 15.4% であった。

(3) 年齢階級別受診者数と HPV 陽性率

20 歳代の受診者割合が全体の 3.6%（166 人）と少ないが、HPV 陽性率は 12.0% で最も高かった。また、30 歳代の HPV 陽性率は全体の平均を上回っていた。一方、40 歳代以降の HPV 陽性率は、年齢が上がるにつれて、平均より低くなる傾向であった。（図 2）

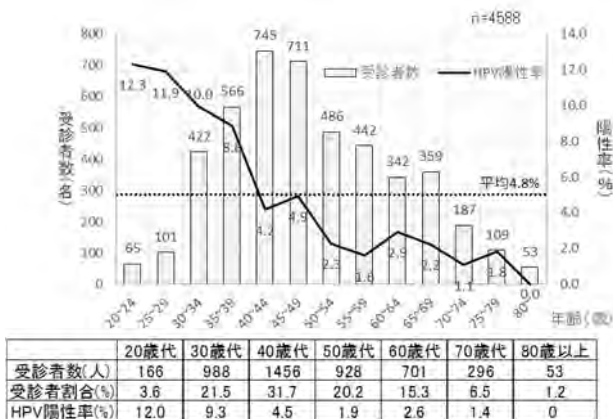


図 2 年齢階級別受診者数・HPV 陽性率

(4) 精密検査結果

要精密判定の 128 人のうち、105 人（82.0%）が精密検査を受診した。精密検査の結果、CIN53 人、扁平上皮癌 1 人、内膜増殖症等の腺系病変 2 人が確定した。

CIN 発見率は、1.2% で細胞診単独検診と比較して有意差は認められなかった。（表 2）

表 2 精密検査結果

精検結果	HPV併用 平成29年	細胞診単独 平成25～28年平均
異常なし・良性疾患	45	55.75
CIN	53	47.25
*CIN 発見率	1.2%	1.0%
扁平上皮癌	1	0.75
頸部腺癌	0	0.75
内膜増殖症等	2	0.75
体部腺癌	0	0.75
未確定	4	11.5
小計	105	117.5
未回収	23	14.5
合計	128	132

平成30年9月30日現在

(人)

CIN 以上の病変が確定した精検結果の年齢階級別では、受診者数が少なかった 20 歳代からは CIN1 のみが発見され、30 歳代以上には CIN1 から扁平上皮癌までの病変が発見された。（図 3）

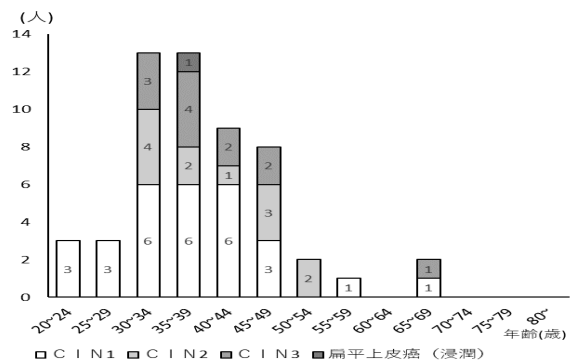


図 3 年齢階級別精密検査結果（CIN1 以上）

考察

HPV 併用検診開始による受診者の増加を期待していたが、細胞診単独検診と比較して有意な増加は認められなかった。

ASC-US 判定の HPV 陽性率が、71.4% と比較的高かったことや、細胞鏡検時に HPV 検査結果を参照したことで、細胞診の陽性率が増加した可能性があり、ASC-US かつ HPV 陰性例は要指導判定に変更されたが、要精検率の有意な減少に繋がらなかったと思われる。

特に、ベセスダ判定の扁平上皮系細胞異常例で HPV 陽性率が高いことから、ASC-US 判定に係る HPV 検査がより重要となり、細胞診陰性かつ HPV 陽性例の場合は、HPV の持続感染に対する受診後の指導・管理が大切と考える。

今回、CIN 発見率の有意な上昇は認められなかったが、更にデータを蓄積して HPV 併用検診の有用性について検証し、更に一過性の HPV 感染が多いとは言え、20 歳代から CIN が発見され、30 歳代でも扁平上皮癌が発見されていることから、若年層の受診者を増やすことが今後の課題と考えられる。

まとめ

県内で初めてとなる全受診者を対象とした HPV 併用検診が A 市で開始され、1 年が経過し検診成績を検討した。

今後、定められた検診間隔で確実に次回受診をするように管理していくことや、検診未受診者に対して HPV 併用検診の有用性を啓発し、受診率の向上に繋げることが重要と考える。

1 3. リアルタイム PCR 法を用いた HPV 簡易ジェノタイプ検査の検討結果について

公益財団法人茨城県総合健診協会

○加藤 伸江 長峯 則夫 宮岡 典子 武石 充弘
芥川 悦子 齋藤 由美 加瀬 香 小谷松 毅

はじめに

当協会では、平成 25 年度から自動検体前処理装置「BD トータリスマルチプロセッサー」を導入し、SurePath による液状検体法（以下、LBC）の運用を開始した。同時に、ハイブリッドキャプチャー法（以下、HC II 法）による HPV-DNA 同定検査を外部委託し、一部市町村でハイリスク HPV 検査を開始した。

自動検体前処理装置「BD トータリスマルチプロセッサー」を使用した自施設でのハイリスク HPV 検査実施に向けて、新たに国内で発売された、BD 社におけるリアルタイム PCR 法を原理とした HPV 簡易ジェノタイプ検査「BD オンクラリティー HPV キット」（以下、リアルタイム PCR 法）の検討する機会を得たので報告する。

検査試薬・検査機器

(1) 検査試薬

BD オンクラリティー HPV キット（図 1）

(2) 検査機器

BD バイパー™LT システム（図 2）



図 1 BD オンクラリティー HPV キット



図 2 BD バイパー™LT システム

対象

H30 年 6 月から 7 月までに、当協会の子宮頸がん検診を受診した HPV 検査希望者 353 名と細胞診検査 ASC-US 以上の 49 名を対象とした。

検討方法

(1) 比較試験

① 同日の比較試験

細胞診検査 ASC-US 以上のうち 20 検体を用いて、同一検体から HPV 用チューブを 3 本作成し、測定前に熱処理を加え、同日同時測定を行い、判定一致率を算出した。

② 日間の比較試験

細胞診検査 ASC-US 以上から 7 検体ずつ用いて、以下に示す方法で測定し、判定一致率を算出した。

- ① 同一検体で、HPV 用チューブを 3 本作成し、測定直前に熱処理を加え、3 日間連続で測定した。
- ② 熱処理を加えた同一検体で、HPV 用チューブを 3 本作成し、3 日間連続で測定した。

(2) 相関

① 機器自動分注と用手法分注の相関

HPV 検査希望者のうち 120 検体を用いて、同一検体で BD トータリスマルチプロセッサーによる自動分注と用手法による分注を行い、同日同時測定し、測定結果を比較した。

② HC II 法とリアルタイム PCR 法の相関

全対象者 402 検体を用いて、同一検体で HC II 法とリアルタイム PCR 法の測定結果を比較した。

結果

(1) 比較試験

① 同日の比較試験

同日に、3回同時測定した結果、判定一致率は100%であった。

② 日間の比較試験

④ 同一検体から HPV 用チューブ 3 本を作成し、測定前に熱処理を行い、3日間連続で測定した。その結果、判定一致率は100%であった。

⑤ 熱処理を加えた同一検体から HPV 用チューブを3本作成し、3日間連続で測定した。その結果、判定一致率は100%であった。

(2) 相関

① 機器自動分注と用手法分注の相関(表 1)

HPV 陽性一致率 100%, HPV 陰性一致率 100%, 判定一致率は 100%であった。

② HC II 法とリアルタイム PCR 法の相関(表 2)

HPV 陽性一致率 89.2%, HPV 陰性一致率 97.9%, 判定一致率は 96.3%であった。

表 1 機器自動分注と用手法分注の相関

		機器自動分注		
		陽性	陰性	合計
用手法 分注	陽性	16 (100)	0 (0)	16
	陰性	0 (0)	104 (100)	104
	合計	16	104	120

件(%)

表 2 HC II 法とリアルタイム PCR 法の相関

		HC II 法		
		陽性	陰性	合計
リアルタイム PCR 法	陽性	66 (89.2)	7 (2.1)	73
	陰性	8 (10.8)	321 (97.9)	329
	合計	74	328	402

件(%)

考察

比較試験においては、判定一致率が 100%と再現性は良好で、日間の比較試験で3日間の測定結果が安定していることから、検査工程の柔軟性や、休日を挟む検査が可能となり、日常検査に有用であると考えられた。

相関においては、機器自動分注と用手法分注の判定一致率が 100%であったことから、現在導入されている自動検体前処理装置内で、分注の効率化が図れる。

HC II 法とリアルタイム PCR 法の相関では、判定一致が 96.3%と高い一致率を示していることから、現行法である HC II 法と同等のハイリスク HPV の検出が期待できる。不一致例については、検査原理の違いや HC II 法が HPV14 種類以外のジェノタイプを検出していることなどを推察したが、検討期間が短いため、検証はしていない。

まとめ

今回の検討では、「BD オンクラリティー HPV キット」によるリアルタイム PCR 法の基礎検討結果は良好であり、日常検査への円滑な導入は可能である。

HPV 簡易ジェノタイプ検査は、子宮がん検診において日本で確立されておらず、発見された前癌病変の治療方針決定に活用されているのが現状だが、HPV 検査における研究や運用は、今後さらに進展していくと思われる。

今回、「BD オンクラリティー HPV キット」を使用した「BD バイパー™LT システム」は、HPV ハイリスク一括判定と HPV ジェノタイプ判定を選択できるため、今後の HPV 検査の進展に対応可能であると思われた。

子宮頸がん検診に、HPV 簡易ジェノタイプ検査をどう取り入れていくか動向を注視し、今後も子宮がん検診の向上に努めていきたい。

1 4. ラテックス免疫比濁法による

ペプシノゲン検査試薬の検討

公益財団法人茨城県総合健診協会 ○小池 佑樹 川澄 幸一 赤堀 聡子 小谷松 毅

はじめに

ペプシノゲン(以下 PG)検査法は、化学発光酵素免疫測定法(以下 CLEIA 法)やラテックス凝集免疫比濁法(以下 LIA 法)などが広く用いられているが、汎用自動分析装置で測定でき、多検体処理が可能である LIA 法を導入する施設が増えている。

今回、胃がんリスク検診の増加に伴い、迅速な検体処理が求められていることから、LIA 法を原理とする PG 試薬の比較検討を行ったので報告する。

対象

平成 30 年 7 月~10 月に、当協会の地域健診で胃がんリスク検診を受診した男性 273 名(平均年齢 60.4 歳)、女性 214 名(平均年齢 66.0 歳)の合計 487 名を対象とした。

測定機器及び試薬

(1) LIA 法

機器 : JCA-BM8060G(日本電子)

検討試薬① : LT オートワコー ペプシノゲン I, II(富士フイルム和光純薬)

検討試薬② : LZ テスト'栄研'ペプシノゲン I, II(栄研化学)

検討試薬③ : LASAY オート ペプシノゲン I, II(デンカ生研)

(2) CLEIA 法

機器 : ルミパルス G1200(富士レビオ)

対照試薬 : ルミパルス ペプシノゲン I, II(富士レビオ)

方法

(1) 同時再現性

各試薬メーカーの低濃度(以下 low)および高

濃度(以下 high)コントロールを用いて 20 回の連続測定を行い、同時再現性を評価した。

(2) 日差再現性

各試薬メーカーの low および high コントロールを用いて 15 日測定を行い、日差再現性を評価した。

(3) 希釈直線性

各試薬の high キャリブレーションを生理食塩水で 0 倍から 10 倍まで 11 段階希釈し、希釈系列の測定を行った。

(4) 共存物質の影響

アスコルビン酸(0~50mg/dL)、ヘモグロビン(0~480mg/dL)、抱合型ビリルビン(0~20.7mg/dL)、遊離型ビリルビン(0~18.8mg/dL)、乳ビ(0~1620FTU)溶液をそれぞれ添加した検体を、5 段階の濃度で各 2 回測定を行った。

(5) CLEIA 法との比較

各検討試薬との相関を調べた。また、陽性判定基準を $PG\ I \leq 70ng/mL$ かつ $PG\ I/II \leq 3.0$ とし、判定一致率を求めた。

結果

(1) 同時再現性

各検討試薬の測定結果は、富士フイルム和光純薬(以下和光)の PG I は low が CV1.68%, high が CV1.07%, PG II は low が CV1.18%, high が CV0.84%, 栄研化学(以下栄研)の PG I は low が CV2.07%, high が CV0.94%, PG II は low が CV2.95%, high が CV1.02%, デンカ生研(以下生研)の PG I は low が CV2.06%, high が CV2.10%, PG II は low が CV1.85%, high が CV1.56%であり、3 試薬ともメーカー性能 CV10%以下を満たしていた。

(2) 日差再現性

各検討試薬の測定結果は、和光の PG I は low が CV1.86%, high が CV1.62%, PG II は low が CV2.18%, high が CV1.43%, 栄研の PG I は low が CV1.55%, high が CV1.20%, PG II は low が CV3.35%, high が CV1.20%, 生研の PG I は low が CV1.72%, high が CV1.43%, PG II は low が CV2.01%, high が CV1.67%であり、3 試薬とも良好な結果であった。

(3) 希釈直線性

和光および栄研の希釈直線性は PG I が 200ng/ml まで、PG II が 100ng/ml まで直線性を認めた。生研の希釈直線性は、PG I が 270ng/ml まで、PG II が 120ng/ml まで直線性を認めた。

(4) 共存物質の影響

全ての検討試薬で PG I, PG II 共に添加濃度に依存した測定値の変化は見られなかった。

(5) CLEIA 法との比較

和光の PG I の相関係数は 0.987, PG II は 0.989, 栄研の PG I の相関係数は 0.988, PG II は 0.958, 生研の PG I の相関係数は 0.990, PG II が 0.991 であり、3 試薬とも良好な相関結果が得られた。3 試薬の測定値平均も PG I, PG II 共にほぼ同等の結果が得られたが、CLEIA 法の平均値と比較すると和光の PG I が 30.9%, PG II が 10.9%, 栄研の PG I が 25.5%, PG II が 5.1%, 生研の PG I が 29.6%, PG II が 7.2%高値であった(表 1)。

判定一致率は、和光が 90.3%, 栄研が 91.8%, 生研が 90.6%で、3 試薬とも 90%を超える一致率が得られた(表 2~4)。

表 1 各検討試薬と CLEIA 法の相関

N=487

項目	X 軸	平均 (ng/ml)	傾き	切片	相関係数
PG I	和光	67.9	0.804	-2.727	0.987
	栄研	65.1	0.821	-1.575	0.988
	生研	67.2	0.779	-0.481	0.990
PG II	和光	15.4	0.912	-0.162	0.989
	栄研	14.6	0.855	1.405	0.958
	生研	14.9	0.999	-0.998	0.991

※CLEIA 法: PG I 平均 51.8ng/ml, PG II 平均 13.9ng/ml

表 2 和光 LIA 法と CLEIA 法の判定比較

PG 判定結果		和光		
		－	＋	計
CLEIA 法	－	383 件	0 件	383 件
	＋	47 件	57 件	104 件
	計	430 件	57 件	487 件

判定一致率 90.3%

表 3 栄研 LIA 法と CLEIA 法の判定比較

PG 判定結果		栄研		
		－	＋	計
CLEIA 法	－	383 件	0 件	383 件
	＋	40 件	64 件	104 件
	計	423 件	64 件	487 件

判定一致率 91.8%

表 4 生研 LIA 法と CLEIA 法の判定比較

PG 判定結果		生研		
		－	＋	計
CLEIA 法	－	382 件	1 件	383 件
	＋	45 件	59 件	104 件
	計	427 件	60 件	487 件

判定一致率 90.6%

考察

今回検討を行った LIA 法試薬は、基礎検討及び CLEIA 法との相関において、すべて良好な結果が確認され、日常検査法として優れていると考えられる。検討した 3 試薬の性能はほぼ同等であり、CLEIA 法との判定一致率も 90%を超えていた。しかし測定値は CLEIA 法と比較して高値であったことから、測定値の差による陽性率の違いの検討を胃の画像診断等と比較することが必要と思われる。

まとめ

今回検討を行った LIA 法試薬は、基礎検討及び CLEIA 法との相関において、すべて良好な結果が確認された。日常検査法としての条件を満たし、汎用性が高く短時間に多数の検体処理が可能な有用な検査法である。また、胃がんリスク検診においては、ヘリコバクター・ピロリ抗体と同時測定することができ、大幅な効率化に繋がる。今後は、陽性率等についても慎重に検討し、LIA 法への変更を考えていきたい。

15. 繰り返し検診で発見された乳がん2症例

公益財団法人茨城県総合健診協会

同協会乳がん検診研究委員会

○龍崎登世子 平野 恵美 山田 典子

関 喜美子 菅谷 晴美 根本ひろみ

梅本 剛

はじめに

当協会では、平成 13 年度より県の実施指針に基づき、乳がん検診に乳房超音波検査(US)を導入している。

今回は繰り返し検診の比較読影にて、早期乳がんと診断できた2症例を報告する。

症例1 40代 女性(閉経前) 無自覚症状

【既往歴】特記事項なし

【家族歴】乳がん・卵巣がん なし

【乳がん検診受診歴・臨床経過】

当協会にて、平成 21 年度より繰り返し検診を受診していた。平成 22 年度、右乳房 10 時方向 Middle(M)領域に限局性の低エコー域を認め、カテゴリー2 と判定した。同所見は、平成 23 年度、平成 24 年度と不変であった。

平成 25 年度の US では、比較読影にて同所見に増大を認め、カテゴリー3 と判定し要精密検査とした。精密医療機関(精査機関)では、視触診および US が施行され、良性所見の診断であった(病理組織学的検査は施行されず)。平成 26 年度、同所見は不変であり、カテゴリー2 と判定した。

平成 27 年度の US では、明らかな増大を認め、カテゴリー4 と判定し再度の要精密検査とした。(図 1)

精査機関では、針生検(CNB)が施行され、乳がんと診断された。

【超音波所見(平成 27 年度)】(図 1)

右乳房 10 時方向 M 領域に、限局性の低エコー域を認め、その後方エコーは不変であった。病変の範囲は 31.5 mm であり、随伴所見として、石灰化を示唆する点状高エコーおよび構築の乱れを認めた。

【病理組織診断(手術検体)】

乳管内成分優位の浸潤性乳管癌

背景に放射状硬化性病変(RSL)を伴う

病理学的病期：pT1aN0 stage □

ER・PgR：陽性 HER2：陰性

症例2 40代 女性(閉経前) 無自覚症状

【既往歴】特記事項なし

【家族歴】乳がん・卵巣がん なし

【乳がん検診受診歴・臨床経過】

当協会にて、平成 20 年度より繰り返し検診を受診していた。平成 20 年度、左乳房 2 時方向 M 領域に境界明瞭な腫瘤を認め、カテゴリー2 と判定した。

平成 24 年度の US では、比較読影にて腫瘤径の増大と形状の不整を認め、カテゴリー3 と判定し要精密検査とした。精査機関では、US および穿刺吸引細胞診(FNAC)が施行され、良性所見の診断であり、その後2年間の経過観察がなされていた。平成 27 年度、同所見は増大が疑われたが、カテゴリー2 と判定した。

平成 29 年度の US では、明らかな増大を認め、カテゴリー3 と判定し再度の要精密検査とした。(図 2)

精査機関では、CNB が施行され、乳がんと診断された。

【超音波所見(平成 29 年度)】(図 2)

左乳房 2 時方向 M 領域に、形状は楕円形～分葉形、境界明瞭粗ざの腫瘤を認めた。大きさは 5.7 × 11.5 mm (縦横比：0.5) であり、腫瘤の内部エコーはやや不均質であり、後方エコーは不変であった。

【病理組織診断(手術検体)】

浸潤性乳管癌(充実腺管癌)

病理学的病期：pT1bN0 stage □

ER・PgR：陽性 HER2：陰性 Ki-67：25%

考察

症例1は、閉経前の繰り返し検診の症例である。平成25年度の比較読影にて所見の増大を認め、カテゴリー3と判定し、初回の要精密検査とした。精査機関では、US所見にて良性と診断されていた。平成27年度の比較読影では、所見に明らかな増大を認め、より悪性が疑われた。前回精査時に病理組織学的検査が施行されていなかったことを考慮し、精査機関に対してより詳細な検査を依頼する必要があると考え、カテゴリー4と判定し、再度の精密検査を依頼した。

USで認める乳腺内の低エコー域は、所見の大きさの記載が難しく、このため実画像で直接対比することが重要である。本症例では、US所見の変化だけでなく、前回精査機関で実施された検査内容やその結果までをふまえ、カテゴリー判定を行っていた。

病理組織学的には乳管内成分優位の浸潤性乳管癌であり、リンパ節転移を認めず早期がんの診断であった(pT1aN0)。また、その背景にはRSLを伴っていた。RSLは画像診断上あるいは病理組織学的にも癌との鑑別が難しいことがある病変とされ、また乳癌発生のリスク病変とも報告されている。このようなリスク病変の所見を比較検討し、その経時的変化を追跡することにより、早期がんの発見に結びつけることができた症例であった。

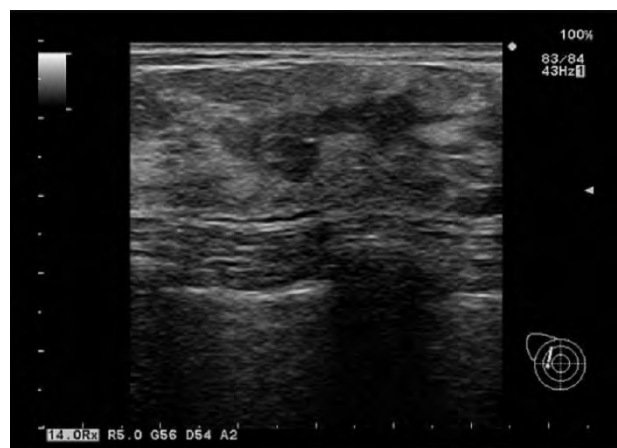
症例2は、繰り返し検診にて小さな腫瘍の経過を追跡できた症例である。平成24年度の精密検査にて、精査機関ではFNACのち2年間の経過観察がなされ、良性と診断されていた。この経過をふまえ、平成27年度はカテゴリー2と判定したが、平成29年度では、腫瘍の増大や形状の不整が明らかとなり、やはり悪性を否定できなかった。このためカテゴリー3と判定し、再度の精密検査を依頼した。精査機関ではCNBが施行されており、早期がんの発見につながったと考えられた。

病理組織学的には、ER・PgR：陽性、HER2：

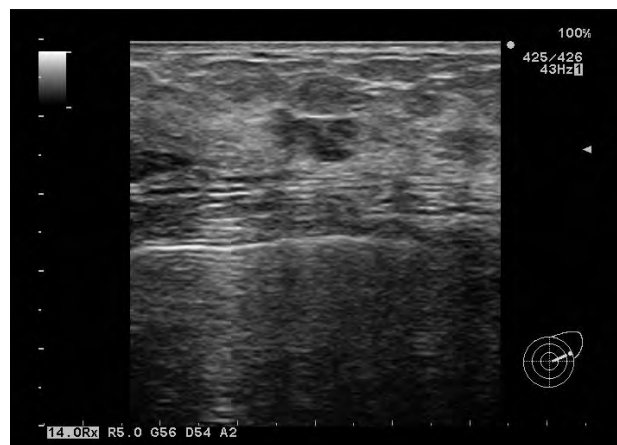
陰性のルミナル型乳癌であった(pT1bN0)。Ki-67が25%であり、増殖能が高めの浸潤癌であったが、繰り返し検診の比較読影にて、リンパ節転移のない状態で発見できた症例であった。

まとめ

今回繰り返し検診の比較読影が有用と考えられた2症例を提示した。過去のレポート内容の比較だけでなく、所見の変化を実画像で直接対比し、精査内容も踏まえて判定することで、早期がんの発見につながった。繰り返し検診にて得られた情報を十分に活用・判定し、技師から読影判定医へ、検診施設から精査機関へ伝える。そして再び技師に一環した情報の共有が大切である。



(図1) 症例1 平成27年度



(図2) 症例2 平成29年度

16. 特定保健指導6か月間プログラムの 違いによる効果の比較検討

公益財団法人茨城県総合健診協会

○舟橋 美香 田澤 布美 柿元 まゆみ

はじめに

平成20年度より個別支援による特定保健指導を実施し、個別面接を初回と実績評価時（6か月後）に実施する積極的支援プログラムを8年間A事業所にて実施してきた。そのなかで、支援効果を高めるために早い時期に面接を設定し、計画実施状況の正確な把握・目標変更の必要性の有無等をアセスメントすることが必要ではないかと考えた。そこで平成28年度から実績評価時に行っていた個別面接を中間評価時（3か月後）に変更した。今回、プログラムの違いによる効果を調査したので報告する。

対象

平成20年度から平成29年7月の期間、A事業所における積極的支援の実施者（849名）のうち、実績評価ができた者800名（94.2%）を分析対象とし、途中脱落者は49名（5.8%）であった。面接を実績評価時に実施した者625名（78.1% 男女比13:1）と中間評価時に面接を実施した者175名（21.9% 男女比28:1）を比較した。初回面接時の平均年齢は 53.9 ± 6.7 歳であった。

実績評価時と中間評価時に面接を実施したプログラム内容は、表1に示すとおりである。

方法

1 実績評価時に個別面接を実施した群（以下、「6か月」と中間評価時に個別面接を実施した群（以下、「3か月」）の2つに分けて、中間評価時および実績評価時の腹囲、体重の平均値の増減を比較した。

2 実績評価ができた者800名を初回面接時の行動変容ステージ（図1）別に分け、腹囲と体重の平均値の増減との関連について調査した。

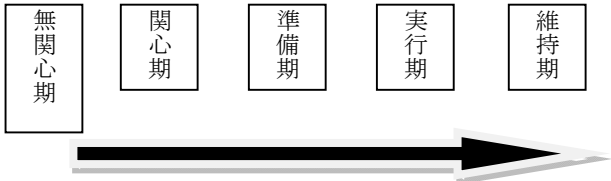


図1 行動変容ステージ

結果

- 1 腹囲及び体重の変化
- （1）腹囲について、中間評価時の変化の平均値は、「6か月」 -1.2 ± 2.4 cm、「3か月」 -1.6 ± 2.6 cm、実績評価時では、「6か月」 -2.4 ± 2.9 cm、「3か月」 -2.0 ± 3.6 cmであった。（図2）
- （2）体重について、中間評価時の変化の平均値は、「6か月」 -1.9 ± 2.1 kg、「3か月」 -1.6 ± 2.7 kg、実績評価時では、「6か月」 -2.2 ± 2.9 kg、「3か月」 -2.2 ± 3.0 kgであった。（図3）

表1 積極的支援プログラムの変更内容

	初回	2週間	1か月	2か月	3か月 中間評価	4か月	5か月	6か月 実績評価	ポイント 合計
H20~H27	個別面接	通信 A	通信 A	電話 B	通信 A	通信 A		個別面接	300
H28~	個別面接	通信 A	通信 A	通信 A	個別面接	通信 A	電話 B		

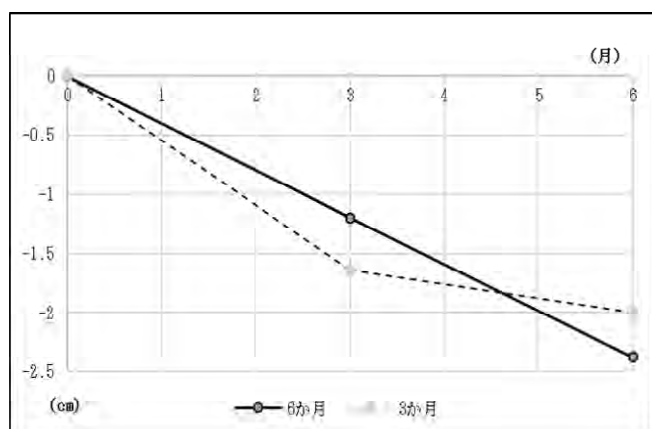


図2 腹囲の平均減少量

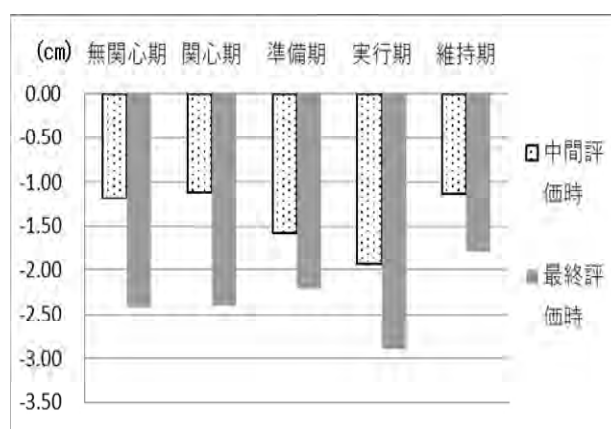


図4 ステージ別腹囲の減少量

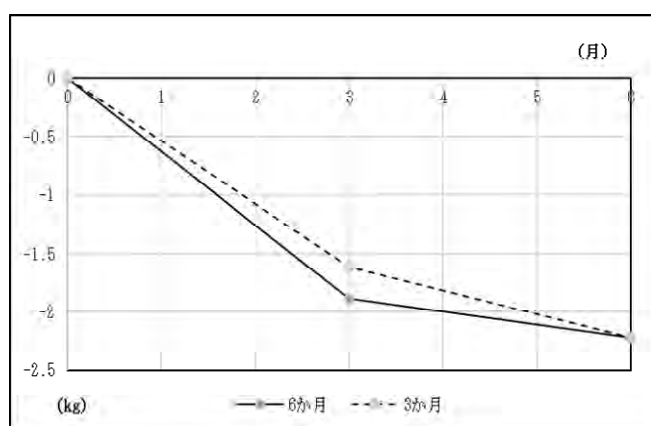


図3 体重の平均減少量

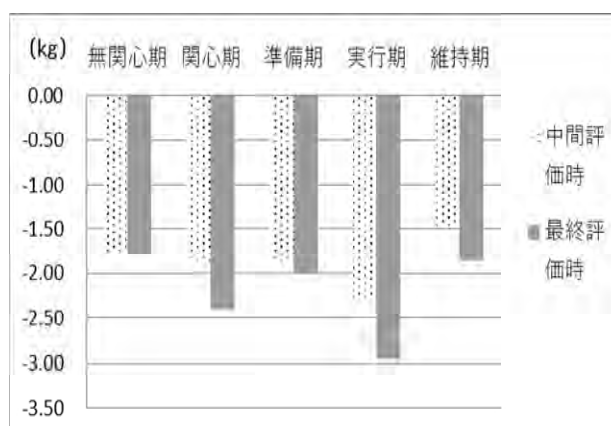


図5 ステージ別体重の減少量

(1)、(2) のことから、腹囲、体重とも「6 か月」「3 か月」の群に有意差はみられなかった。

2 行動変容ステージ別における腹囲と体重の変化

行動変容ステージ別にみると、腹囲、体重ともに全ステージにおいて減少していた。

実行期においては腹囲 (図 4)、体重 (図 5) とともに最も減少していた。

考察・まとめ

実績評価時「6 か月」と中間評価時「3 か月」に、保健指導実績評価の差はみられなかったことから、初回支援の内容が実績評価に大きく影響を与えていると考える。

また、行動変容の無関心期や関心期、準備期において、腹囲や体重とも一律の減少をみせており、特に実行期においては、腹囲、体重とも最も減少している。このことから、対象者の意識に応じた

支援がより効果が高いと考える。無関心期、関心期、準備期においては主に生活習慣の変容を促す支援を行い、実行期や維持期においては生活習慣変容の持続の支援といったアプローチである。

また、A 事業所の保険者は、対象者の保健指導受診勧奨や途中脱落の可能性が高い者への働きかけが熱心であることから、A 事業所の見守り体制が動機づけの一因となっていると推測される。

以上のことから、初回面接の場における利用者の行動変容ステージに合わせた支援、保健指導を展開する職場の理解やサポート体制に沿った関わりが重要であると考えられる。

17. 受診者アンケートによる業務改善の取り組み

公益財団法人茨城県総合健診協会

○飯塚いずみ

小野 正憲

星野 智美

中居 益美

杉山 守

箱石あすか

馬場 綾香

吉江 主視

はじめに

受診者満足度の高い健診を提供するためには、健診サービスに関する要望を的確に把握する必要がある。そのため、当協会では健診会場で受診者を対象にアンケート調査を実施することで業務改善に取り組んでいる。

今回は、アンケート調査による回答を分析し、業務改善に向けた取り組みの中から数例報告する。

アンケート調査方法

当協会(県西センター地区)で住民健診および事業所健診を実施している 11 市町において平成 27 年度から平成 29 年度の 3 年間に回収したアンケート(表 1)について、アンケートに記入された具体的コメントを

- 1.待ち時間
- 2.プライバシーへの配慮
- 3.接遇
- 4.会場・案内誘導
- 5.その他

の 5 項目に分類し、好意的意見および改善を求める意見に分け集計した。(図 1・2)

アンケート実施状況および集計結果

表 1 アンケート実施総数

	受診者数	回収数	回収率
平成 27 年度	53,833	16,543	31.3%
平成 28 年度	58,546	19,129	32.7%
平成 29 年度	56,910	20,542	36.1%
計	168,289	56,214	33.4%

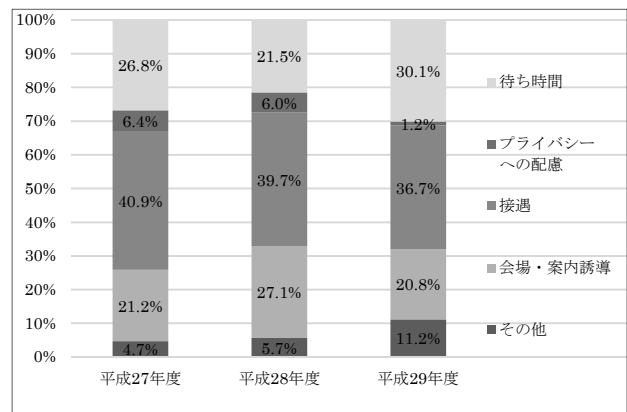


図 1 各コメント内容の割合

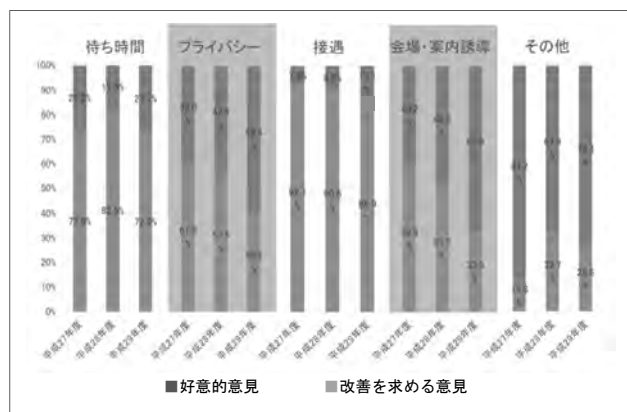


図 2 各年度での項目別比較

結果

集計結果からコメント内容の割合をみると、待ち時間、接遇、会場・案内誘導の 3 項目に対するものが約 9 割を占める。

また、好意的意見と改善を求める意見の項目別比較では、プライバシー配慮に関して、平成 27 年度から平成 29 年度にかけて好意的意見の割合が 61.0%から 40.6%と減少し、改善を求める意見が増加している。これは、ある程度プライバシー保護は保たれているが、より高い配慮が求められていると考えられる。

接遇については、高い水準で推移しており良好な状態を保っている。

しかし、全体的に好意的意見が多い中、会場・案内誘導については改善を求める意見が多数見られた。これは、健診会場の集約化等により、会場まで遠くなったことや、狭い会場での設営に限界があることで、複雑な流れになったことが要因と考えられる。

業務改善の取り組み

1.健診会場のゆとり改善

1) 待ち椅子間の移動スペースの確保

「多くの人の前を通るのに抵抗がある」との意見から、椅子を一行分あけ出入りしやすい配置とした。(図3)

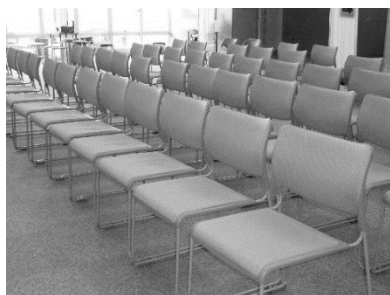


図3 椅子間スペースの確保

2) ゆずり合い席案内看板

和室等で待合に椅子を十分置けない場合、正座ができない受診者のために、優先的に座れるようゆずり合い席を設置した。(図4)



図4 ゆずり合い席案内看板

2.プライバシー配慮に対する改善

1) 心電図ベッド間の中仕切りとカーテン

従来はベッド間の中仕切りの衝立は2枚であったが、受診者が起き上がった際、隣のベッドの受診者が見えるとの意見から、衝立を3枚とし隙間を塞ぐカーテンを掛けることとした。

2) 会計テーブル前の足形看板および衝立

会計の際、次の受診者が近づきすぎて「健診票の内容や現金が覗かれているようで不安だ」との意見から、近づきすぎを防止する為、足形看板を床に設置した。また、健診票が直接見えないようにテーブルに衝立を設置した。

3.やさしさへの配慮

1) 胃部X線バス撮影台マットの採用

検査時「背中が痛い、腕がこすれる」などの意見から、撮影台にマットを取り付けた。これにより、逆傾斜(頭低位)時の受診者への負担も減らすことができた。

2) 靴の脱ぎ履き用椅子の設置

胸部検診車には靴を脱いで乗降していただいているため、足の不自由な方がゆっくりと脱ぎ履きできるための椅子を設置した。

まとめ

今回は、改善を求める意見の割合が最も多い「会場・案内誘導」に対する不満の改善事項の一部を紹介した。アンケート調査を実施することで実際に健診を受ける側になってみないと気付かない貴重な意見を知ることができた。

すべての意見に応えることは困難であるが、限られた環境の中で可能な限り受診者の要望に応えることで、「今日は受けて良かった」「来年も必ず受けよう」と思ってもらえるよう努力していきたい。

今後においては、

- ①待ち時間の短縮に向けた更なる工夫
- ②プライバシーに配慮した会場づくりの推進
- ③接遇研修等を活用し安心して受診していただけるための努力

を課題とし、受診者満足度の高い健診を提供することにより、受診率の向上に繋げて行きたい。

18. 小児生活習慣病予防健診 10 年間の動向

公益財団法人茨城県総合健診協会

○永田 真己子 櫻井 くるみ 石井 美智子
大畑 紋美 吉江 主視

はじめに

当協会では、平成 2 年度から小児生活習慣病予防健診を実施している。

今回は、平成 19 年度から平成 28 年度の 10 年間で実施した小児生活習慣病予防健診の検査結果を集計し総合判定をもとに、結果説明会対象者の検査項目別有所見者内訳を比較したので、ここに報告する。

対象及び方法

＜対象＞

平成 19 年度から 28 年度までの 10 年間で、実施した計 135,689 名。又、経過観察をおこなった、2 市町の小学 5・6 年生、中学 2・3 年生の計 518 名を対象とした。

＜方法＞

当協会では毎年発行している事業年報のデータをもとに、受診者数・結果説明会対象者数・検査項目別有所見者内訳を集計した。

結果説明会対象者とは、健診結果項目を判定評価内容（表 1）に区分し、その結果を組み合わせ、総合判定（表 2）を 5 段階評価し表している。そのうちⅠ～Ⅲが対象となる。

表 1 判定評価内容

- | |
|-----------------------------|
| a：病的状態である可能性があるもの |
| b：状態が進行すると病的状態に至る危険性があるもの |
| c：指導によって正常化する可能性が高いもの |
| d：基準をやや超えているものの正常範囲と考えられるもの |
| n：基準域内にあるもの |

表 2 総合判定内容

- | |
|---------------------|
| Ⅰ：医学的管理が必要 |
| Ⅱ：定期的経過観察が必要 |
| Ⅲ：食事運動を中心とした生活指導が必要 |
| Ⅳ：管理不用 |
| N：正常 |

結果

1. 受診者数と結果説明会対象者数の年度別推移を図 1 に示す。

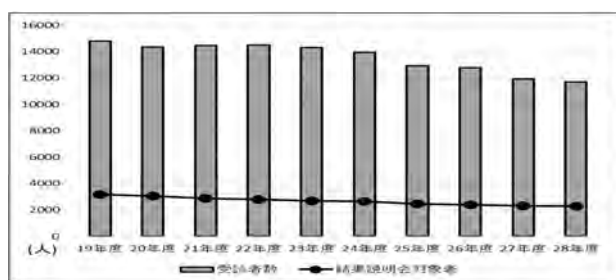


図 1 受診者数と結果説明会対象者数の年度別推移

受診者数は、平成 19 年度の 14,793 名から平成 28 年度の 11,690 名と 3,103 名が減少している。結果説明会対象者は、平成 19 年度は、3,182 名で受診者数の 21.5%であったが、平成 28 年度は 2,276 名の 19.5%と有意な差はなかった。

2. 結果説明会対象者の割合を小中学生男女別に区分し図 2 に示す。

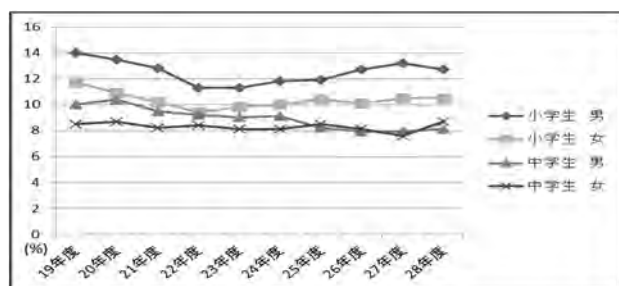


図2 小中学生男女別 結果説明会対象者割合

小学生男子11.3%～14%、女子9.42%～11.7%、中学生男子7.9%～10.4%、女子7.6%～8.7%、で、男女共小学生の結果説明会対象者割合が高値であった。

3. 検査項目別有所見者内訳の年度別推移を図3に示す。

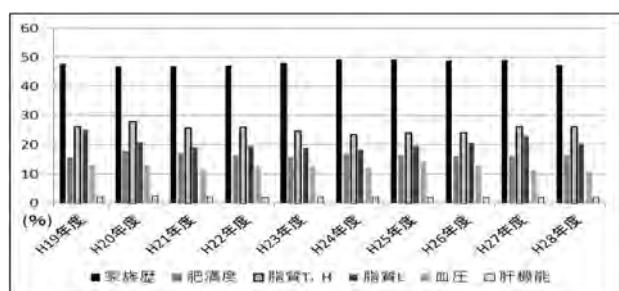


図3 検査項目別有所見者内訳の年度別推移

家族歴46.9%～49.4%、肥満度15.5%～17.7%、脂質(TC・HDL-C)23.4%～27.8%、脂質(LDL-C)18.3%～25.1%、血圧10.7%～14.5%、肝機能検査1.9%～2.4%であった。

4. 経過観察者と結果説明会対象者数の推移を図4に示す

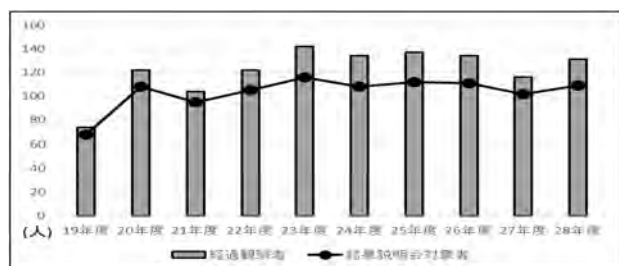


図4 経過観察者数と結果説明会対象者数の推移

経過観察者は、教育委員会独自の選定基準により受診者を選別し、10年間で518名実施した。その中で、結果説明会対象者は80%～91%である。

5. 経過観察者の検査項目別有所見者内訳の年度別推移を図5に示す。

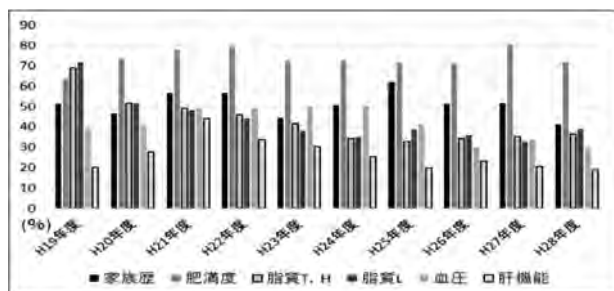


図5 経過観察者の検査項目別有所見者内訳の年度別推移

経過観察者の項目別有所見者は家族歴41.2%～56.7%、肥満度63.5%～80.1%、脂質(TC・HDL-C)32.8%～68.9%、脂質(LDL-C)32.7%～71.6%、血圧29.7%～49.1%、肝機能検査19.0%～44.2%であった。

考察

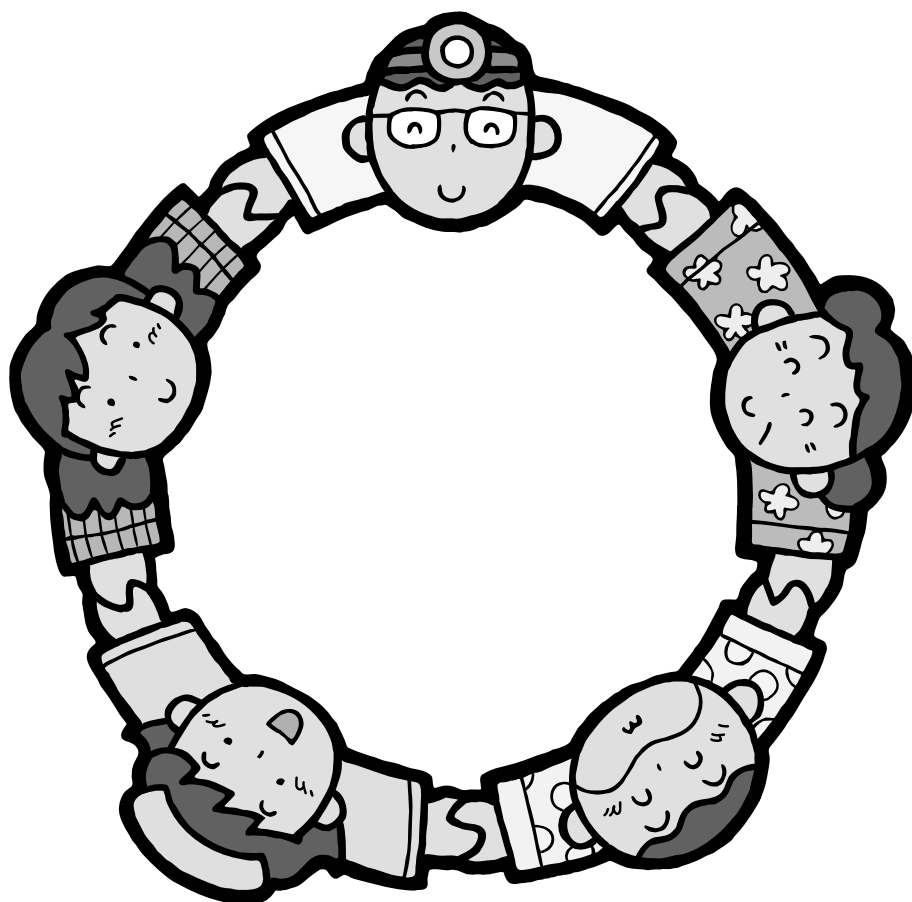
今回は当協会では保有している10年間のデータをもとに、小児生活習慣病予防健診の結果説明会対象者の検査項目別有所見者内訳を比較したものにと留まった。

この10年間で、健診結果には大きな変化が無いことが現状である。受診者は少子化に伴い減少しているが結果説明会対象となる児童・生徒数の割合に急激な変化は見られなかった。検査項目別有所見者内訳では、肥満度が最も多いと思われたが家族歴と脂質異常が小学生、中学生とも高値となった。

まとめ

児童・生徒がより良い生活習慣を自身で身に付ける10歳以降の大事な時期に、この小児生活習慣病予防健診を実施することは大変有意義である。

8 普及啓発事業



8-1 普及啓発活動

予防医学運動の一環として、各関係機関の協力のもと、結核、がん、循環器の疾病予防に対する正しい知識の普及啓発や広報活動を次のとおり実施した。

1 健康づくり推進事業功労者の表彰

本県の健康づくり事業の推進に功労のあった個人、団体を表彰する「県民健康づくり表彰式」を県と共催し、特に当協会の事業推進に貢献のあった個人及び団体を表彰（協会長賞）した。

（期 日） 平成 31 年 2 月 19 日（火）

（場 所） 県庁舎 9 階講堂

（表彰者） 個人 5 名、2 団体

2 結核予防の推進

(1) 結核予防週間（毎年 9 月 24 日～30 日）の取組み

結核に関する正しい知識の普及と予防意識の啓発を図るため、県保健所及び県健康をまもる女性団体連絡会と協力し、県内全域で以下の取組みを実施した。

① 街頭キャンペーン

県内 3 か所の商業施設等において、結核予防についてのパンフレット等を配付し、普及啓発活動を行った。

- 9 月 25 日（火）イオンモール水戸内原（水戸市）
- 9 月 26 日（水）道の駅いたこ（潮来市）
- 9 月 28 日（金）イーアスつくば（つくば市）

② 広報

県内全域で、結核予防週間ポスターを掲示するとともに、パンフレットを配付した。



ポスター「結核予防週間」



パンフレット「結核の常識 2018」

(2) 複十字シール運動

結核予防会本部が行う、結核や肺がんなどの胸部疾患撲滅に向けた募金活動に支部として参加し

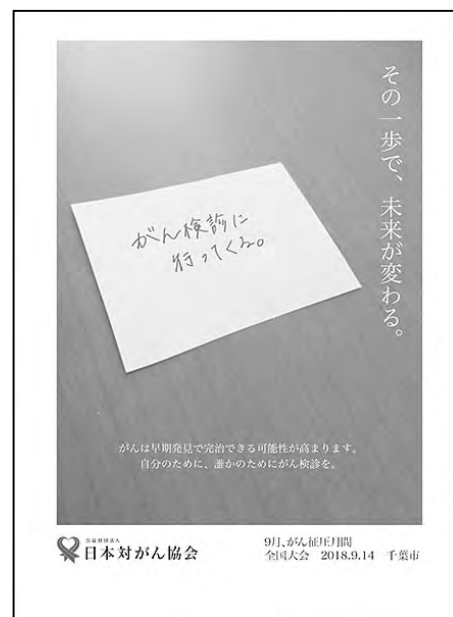
た。多くの個人や団体から募金を受け、結核・肺がん等の調査研究、開発途上国への結核対策支援、胸部検診車等の整備に役立てることができた。

3 がん征圧月間（毎年9月）の取り組み

県医師会と共催し、県内全域にがん予防ポスターを掲示するとともに、事務所がある水戸本部及び各センター並びに水戸駅南口ペデストリアンデッキに横断幕を掲げた。併せて、検診車や新聞広告を活用し、がん征圧月間を広く周知した。



検診車を活用した広告



日本対がん協会がん予防ポスター

4 各地域における行事への参加

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 茨城（日本対がん協会）の後援及び協賛
（5月19日（土）～5月20日（日））

- (1) リレーウォークへの参加
- (2) がん予防パネル及び骨粗鬆症検診の無料体験ブースの設置



5 広報・健康教育活動

- (1) 広報紙「けんこうリンク」を年4回、延べ16,000部発行し、県内全域へ配布した。また、上部団体機関誌「複十字」、「対がん協会報」、「予防医学ジャーナル」、「健康の輪」を県、保健所、市町村等へ配布した。
- (2) がん予防や生活習慣病予防に関する、パネル、症例モデル等視聴覚教材の無料貸出を行った。
- (3) 世界禁煙デー（毎年5/31）に合せ、禁煙ポスターを県内全域（保健所、市町村保健センター等）へ配布し、禁煙啓発活動を行った。

6 教育支援を目的とした視察研修の実施

市町村長が委嘱している「保健推進員」や「健康づくり推進員」の視察研修を受け入れ、受講者が適確かつ効果的に健康推進活動に取り組んでいけるための教育支援を行った。

7 地域における社会貢献活動

中学生及び高校生の職場体験の受け入れを行い、社会への関心を高めることや、職業観・勤労観を養うことを支援した。

8 講師派遣

生活習慣病及びがん予防に関する知識の啓発及び健診の受診勧奨を図るため、県・市町村等主催の研修会へ講師を派遣した。

9 協 会 案 内



けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会

9-1 各種研究委員会

9-1-1 平成30年度研究委員会開催事項

皆様に信頼される健診結果をお届けするため、各種検診・検査ごとに研究委員会を設け、判定技術の向上に努めています。研究委員会は、筑波大学等公的医療機関の専門医を代表世話人に、県内外の優れた医師により組織しており、主に前年度の症例検討、専門医師等講演会を開催し、判定基準の策定、診断結果のフィードバック、医療・検査・健診情報の提供、実績報告などを行っています。

研究委員会	開催内容	開催日・代表世話人・参加人数
第1回乳がん検診研究委員会 (乳房超音波)	- 平成29年度乳がん検診実績について（中間報告） - 要精検者追跡結果について - 平成29年度（10～3月）要精検者症例（64症例）	平成30年9月19日 植野 映 参加者45名
消化器検診研究委員会	- 平成29年度胃がん検診実績について - 平成29年度大腸がん検診実績について - 平成29年度発見癌患者の症例検討（12症例）	平成31年1月25日 細井 董三 兵頭 一之介 参加者44名
先天性代謝異常等検査研究委員会	- 平成29年度先天性代謝異常等検査実績報告 - 平成29年度外部精度管理結果について - 検査済み紙二次使用状況について - CPT2欠損症の基準値検証について	平成31年1月21日 嶋田 知博 参加者19名
細胞検査診断委員会 (子宮がん)	- 平成29年度子宮がん細胞診実績報告 - 平成29年度細胞診断・組織診断不一致例および要追跡例における二次追跡結果について	平成31年3月14日 沖 明典 渡辺 宏 参加者45名
細胞検査診断委員会 (肺がん検診喀痰細胞診検査)	- 平成29年度肺がん検診喀痰細胞診検査実績について - 平成29年度精密検査結果について	平成31年3月6日 赤荻 栄一 金敷 真紀 参加者25名
肺がん検診研究委員会	- 平成29年度肺がん検診実績について - 平成29年度発見癌患者の症例検討（5例） - 特別講演「ベトナムの保健医療事情と同国における保健医療分野における日本の協力」	平成31年2月27日 鬼塚 正孝 鏑木 孝之 金敷 真紀 参加者61名
乳がん検診研究委員会 (乳房X線)	- 平成29年度乳がん検診実績について（確定） - 要精検者追跡結果について - 平成29年度乳房X線検査における発見がん一覧 - 平成30年度（4～9月）要精検者症例（59症例）	平成31年3月22日 植木 浜一 参加者23名
第2回乳がん検診研究委員会 (乳房超音波)	- 平成29年度乳がん検診実績について（確定） - 要精検者追跡結果について - 平成30年度（4～9月）要精検者症例（51症例）	平成31年3月8日 植野 映 参加者41名
前立腺がん検診研究委員会	- 平成29年度前立腺がん検診実績について - 年齢階層別カットオフ値の変更に伴う要精検率等の変化	平成31年3月5日 西山 博之 参加者12名
腹部超音波検診研究委員会	- 平成29年度腹部超音波検診実績について - 平成29年度確定癌症例（8症例）	平成31年3月20日 田中 直見 参加者27名
心電図検査研究委員会	- 平成29年度及び30年度心電図検査実績について - 緊急心電図の取扱いについて - 平成30年度心電図検査症例（14症例）	平成31年3月12日 田口 修一 山口 巖 参加者51名

肺がん検診研究委員会

青 木 弘 道	あおき内科クリニック
○ 赤 荻 栄 一	古河市古河福祉の森診療所
阿 野 哲 士	国立病院機構 霞ヶ浦医療センター
○ 雨 宮 隆 太	雪谷大塚クリニック
飯 島 弘 晃	筑波メディカルセンター病院
飯 田 英 次	飯田英次事務所
飯 塚 尚 志	志村大宮病院
石 井 幸 雄	筑波大学
石 川 成 美	国際医療福祉大学病院 呼吸器センター
石 川 博 一	筑波メディカルセンター病院
石 川 昌 英	さくら内科・呼吸器内科クリニック
石 橋 敦	水戸協同病院
稲 垣 雅 春	土浦協同病院
稲 毛 芳 永	国立病院機構 水戸医療センター
井 上 雅 樹	みなのかリニック内科呼吸器科
内 海 啓 子	石岡第一病院
遠 藤 健 夫	国立病院機構 水戸医療センター
大 瀬 寛 高	茨城県立医療大学付属病院
大 塚 眞 人	きぬ医師会病院
大 塚 盛 男	筑波記念病院
小 川 功	茨城西南医療センター病院
奥 村 敏 之	筑波大学(陽子線医学利用研究センター)
◎ 鬼 塚 正 孝	筑波大学
籠 橋 克 紀	筑波大学
◎ 金 敷 真 紀	茨城県総合健診協会
金 本 幸 司	筑波メディカルセンター病院
◎ 鐺 木 孝 之	茨城県立中央病院
蒲 原 一 之	国立スポーツ科学センター
菊 池 教 大	国立病院機構 霞ヶ浦医療センター
清 嶋 護 之	茨城県立中央病院
○ 佐 藤 浩 昭	筑波大学
佐 藤 幸 夫	筑波大学
塩 山 靖 和	獨協医科大学病院
芝 田 佳 三	芝田クリニック
司 馬 清 輝	むすび葉クリニック渋谷
島 田 梨 紗	ホームオンクリニックつくば
鈴 木 久 史	筑波大学(茨城県立中央病院)
角 昌 晃	みなのかリニック内科呼吸器科
陶 山 時 彦	みなのかリニック内科呼吸器科
富 岡 真一郎	水戸赤十字病院
内 藤 隆 志	つくば総合健診センター
中 島 禎 一	多摩健康管理センター

○	西	村	嘉	裕	いばらき診療所みと
	橋	本	幾	太	茨城県立中央病院
	橋	本	俊	夫	水府病院
	塙		充	弘	塙内科呼吸器科医院
	濱	田	雅	史	いちはら病院
	原	口	典	博	つくばセントラル病院
	檜	澤	伸	之	筑波大学
	福	田		潔	県南病院
	舩	山	康	則	筑波学園病院
	古	川	欣	也	東京医科大学茨城医療センター
	湊		孝	治	
	望	月	美	恵	筑波大学 保健管理センター
	柳	生	久	永	みなクリニック内科呼吸器科
	山	口	昭三	郎	茨城県立中央病院
	吉	田		進	筑波記念病院
	和	田	光	功	茨城西南医療センター病院
	渡	邊		治	水府病院
	渡	部	厚	一	筑波大学

*◎は代表世話人, ○は世話人

消化器検診研究委員会

	石	川	演	美	シニア健康センターしおさい
	生	方	英	幸	東京医科大学茨城医療センター
	海老原		次	男	龍ヶ崎済生会病院
	太田代		安	律	おおたしろクリニック
	影	山	隆	久	宗仁会病院
	檜	村	博	正	檜村内科消化器科クリニック
	金	原	章	郎	日鉦記念病院
	川	西	宣	裕	筑波学園病院
	黒	羽	昭	夫	黒羽内科医院
○	佐久間		正	祥	水戸赤十字病院
	柴	原		健	柴原医院
	菅	野	千	秋	日立製作所 ひたちなか総合病院
	鈴	木	考	治	水戸赤十字病院
○	田	澤	潤	一	土浦協同病院
	対	馬	健	祐	きぬ医師会病院
	富	田	慎	二	坂本内科医院
	中	島	禎	一	多摩健康管理センター
	中	原		朗	筑波記念病院
	中	村	光	男	水戸済生会総合病院
	西	川	貴	之	らいおんクリニック押切
	仁	平		武	水戸済生会総合病院
○	平	井	信	二	日立製作所 日立総合病院
	藤	枝	邦	昭	石本病院
◎	細	井	董	三	東京都がん検診センター

松 本 尚 志	松本クリニック
○ 溝 上 裕 士	筑波大学
三 代 寧	三代内科クリニック
山 口 高 史	国立病院機構 水戸医療センター
和 田 光 功	茨城西南医療センター病院

*◎は代表世話人, ○は世話人

細胞検査診断(喀痰細胞診)研究委員会

◎ 赤 荻 栄 一	古河市古河福祉の森診療所
飯 嶋 達 生	茨城県立中央病院地域がんセンター
稲 毛 芳 永	国立病院機構 水戸医療センター
稲 留 征 典	国立病院機構 水戸医療センター
小 川 功	茨城西南医療センター病院
◎ 金 敷 真 紀	茨城県総合健診協会
後 藤 行 延	筑波大学
鈴 木 恵 子	筑波学園病院
高屋敷 典 生	筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター
野 口 雅 之	筑波大学
古 川 欣 也	東京医科大学茨城医療センター
南 優 子	国立病院機構 茨城東病院
森 下 由紀雄	東京医科大学茨城医療センター
淀 縄 聡	淀縄医院

*◎は代表世話人

細胞検査診断(子宮細胞診)研究委員会

青 木 雅 弘	青木医院
秋 山 梓	筑波大学
新 井 ゆう子	国立病院機構 霞ヶ浦医療センター
飯 嶋 達 生	茨城県立中央病院 地域がんセンター
石 渡 勇	石渡産婦人科病院
石 渡 巖	石渡産婦人科病院
稲 留 征 典	国立病院機構 水戸医療センター
江 幡 秀 光	江幡産婦人科病院
岡 田 智 志	山王病院
◎ 沖 明 典	筑波大学(茨城県立中央病院)
越 智 寛 幸	筑波大学
小 貫 麻美子	昭和大学病院
河 野 圭 子	
櫻 井 学	植野産婦人科医院
佐 藤 豊 実	筑波大学
佐 藤 有 希	筑波記念病院
椎 名 美 博	椎名産婦人科
鈴 木 恵 子	筑波学園病院
鈴 村 博 一	鈴村医院

高 野 克 己	茨城県立中央病院 地域がんセンター
高屋敷 典 生	筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター
角 田 肇	日立総合病院
手 島 研 作	ひたちなか母と子の病院
中 尾 砂 理	筑波大学
中 村 優 子	筑波大学
西 田 正 人	国立病院機構 霞ヶ浦医療センター
西 出 健	筑波メディカルセンター病院
野 末 彰 子	筑波メディカルセンター病院
藤 村 正 樹	東京医科大学茨城医療センター
堀 眞佐男	水戸赤十字病院
松 本 光 司	昭和大学病院
森 下 由紀雄	東京医科大学茨城医療センター
◎ 渡 辺 宏	茨城県総合健診協会

*◎は代表世話人

乳がん検診(乳房X線)研究委員会

井 口 研 子	筑波大学
池 田 達 彦	社会福祉法人 三井記念病院
市 岡 恵美香	筑波大学
伊 藤 吾 子	日立製作所 日立総合病院
◎ 植 木 浜 一	茨城県メディカルセンター
梅 本 剛	医療法人慶友会 守谷慶友病院
太田代 紀 子	おおたしろクリニック
大 槻 紀 子	白十字総合病院
岡 崎 舞	筑波大学
加 藤 修 志	水戸済生会病院
清 松 裕 子	筑波大学
鯨 岡 結 賀	筑波記念病院
越 川 佳代子	つくば総合健診センター
佐 藤 宏 喜	水戸赤十字病院
島 正太郎	国立病院機構 水戸医療センター
田 枝 督 教	水府病院
角 田 博 子	聖路加国際病院
東 野 英利子	つくば国際ブレストクリニック
畠 雅 弘	水府病院
坂 東 裕 子	筑波大学
平 野 稔	旭中央病院
福 田 禎 治	水戸ブレストクリニック
森 千 子	国立病院機構 水戸医療センター
森 島 勇	筑波メディカルセンター病院
渡 辺 宏	茨城県総合健診協会

*◎は代表世話人

乳がん検診(超音波)研究委員会

井 口 研 子	筑波大学
伊 藤 吾 子	日立製作所 日立総合病院
◎ 植 野 映	つくば国際プレストクリニック
梅 本 剛	医療法人慶友会 守谷慶友病院
太田代 紀 子	おおたしろクリニック
東 野 英利子	つくば国際プレストクリニック
坂 東 裕 子	筑波大学
平 野 稔	旭中央病院
福 田 禎 治	水戸プレストクリニック
森 島 勇	筑波メディカルセンター病院
渡 辺 宏	茨城県総合健診協会

*◎は代表世話人

眼底検査研究委員会

○ 糸 賀 ひでみ	水戸赤十字病院
岡 本 史 樹	筑波大学附属病院
◎ 勝 又 俊 二	勝又眼科クリニック
○ 木 内 貴 博	筑波学園病院
○ 坂 西 良 彦	坂西眼科医院
佐 藤 正 樹	サトウ眼科
品 川 樹 美	日立製作所 ひたちなか総合病院
島 昇	
坪 井 一 穂	日立製作所 土浦診療健診センタ
寺 内 将 人	茨城県立中央病院
長 澤 徳 子	長沢眼科医院
○ 野々山 智 仁	ののやま眼科
長 谷 紫 織	はせ眼科
平 岡 孝 浩	筑波大学附属病院
山 本 享 宏	品川近視クリニック

*◎は代表世話人, ○は世話人

腹部超音波検診研究委員会

石 田 博 保	国立病院機構 水戸医療センター
◎ 田 中 直 見	小山記念病院
富 沢 巧 治	茨城県総合健診協会
富 田 慎 二	坂本内科医院
○ 仁 平 武	水戸済生会総合病院
○ 松 本 尚 志	松本クリニック

*◎は代表世話人, ○は世話人

肝臓病検診研究委員会

○ 岡 裕 爾	日立製作所 日立総合病院
田 澤 潤 一	土浦協同病院
◎ 田 中 直 見	小山記念病院
土 井 幹 雄	水戸保健所(日立保健所)
仁 平 武	水戸済生会総合病院
松 本 尚 志	松本クリニック
山 口 高 史	国立病院機構 水戸医療センター
渡 辺 宏	茨城県総合健診協会

*◎は代表世話人, ○は世話人

前立腺がん検診研究委員会

赤 座 英 之	東京大学大学院 情報学環
大 谷 幹 伸	茨城県古河保健所
河 合 弘 二	国際医療福祉大学成田病院
島 居 徹	茨城県立中央病院
富 沢 巧 治	茨城県総合健診協会
◎ 西 山 博 之	筑波大学

*◎は代表世話人

先天性代謝異常検査等研究委員会

泉 維 昌	茨城県立こども病院
◎ 鴨 田 知 博	筑波大学(茨城県立中央病院)

*◎は代表世話人

心電図検査研究委員会

石 光 敏 行	茨城県メディカルセンター
悦 喜 豊	日立製作所 日立総合病院
江 田 一 彦	米盛病院
遠 藤 優 枝	総合守谷第一病院
瀬 口 秀 孝	桜町病院
◎ 田 口 修 一	鉾田病院
○ 富 沢 巧 治	茨城県総合健診協会
新 堀 耕 基	志村大宮病院
◎ 山 口 巖	茨城県総合健診協会
山 内 孝 義	日立製作所 ひたちなか総合病院

*◎は代表世話人, ○は世話人

9-2 平成30年度 各種研修会・講習会・学会参加状況

協会職員の技術の取得や、資質の向上を計るため、各種研修会、講習会、学会への参加を積極的に行っている。

■各種学会，研修会等	開催日・開催地	主催団体・参加人数
心電図ファーストステップセミナー	H30. 4. 1 東京都	アスリード株式会社 参加者1名
第74回総会学術大会	H30. 4. 13～15 神奈川県	日本放射線技術学会 参加者1名
第59回日本臨床細胞学会総会春期大会	H30. 6. 2～3 北海道	日本臨床細胞学会 参加者2名
第91回日本超音波医学会学術集会	H30. 6. 7～10 兵庫県	日本超音波医学会 参加者1名
新生児スクリーニング事業基礎研修会	H30. 6. 22 東京都	恩賜財団母子愛育会 参加者1名
心電図ステップアップセミナー	H30. 6. 24 東京都	アスリード株式会社 参加者3名
第61回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会	H30. 6. 24 東京都	日本乳がん検診精度管理中央機構 参加者1名
心電図判読塾	H30. 7. 29 東京都	アスリード株式会社 参加者3名
第45回日本マスキング学会学術集会	H30. 8. 17～18 埼玉県	日本マスキング学会 参加者1名
第75回細胞検査士教育セミナー	H30. 8. 25～26 神奈川県	日本臨床細胞学会教育委員会 参加者4名
第59回日本人間ドック学会学術大会	H30. 8. 30～31 新潟県	日本人間ドック学会 参加者1名
会	H30. 9. 2 栃木県	日本消化器がん検診学会 参加者1名
第27回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会	H30. 9. 8～9 東京都	日本婦人科がん検診学会 参加者2名
第32回関東臨床細胞学会学術集会	H30. 9. 21～22 新潟県	関東臨床細胞学会 参加者1名
全衛連選別聴力検査研修会 I	H30. 9. 21 東京都	全国労働衛生団体連合会 参加者1名
腹部超音波検査研修会（中級コース）	H30. 9. 29 東京都	全国労働衛生団体連合会 参加者1名
腹部エコー未経験者スクール	H30. 9. 30 東京都	アスリード株式会社 参加者1名
第3回胃がん検診専門技師研修会	H30. 10. 6 東京都	日本消化器がん検診学会 参加者1名
第41回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	H30. 10. 7～8 大阪府	日本乳腺甲状腺超音波医学会 参加者2名
第50回日本臨床検査自動化学会学術集会	H30. 10. 11～13 兵庫県	日本臨床検査自動化学会 参加者2名
日本マスキング学会検査技術者専門研修会	H30. 11. 16～17 東京都	日本マスキング学会 参加者1名
第57回日本臨床細胞学会秋期大会	H30. 11. 17～18 神奈川県	日本臨床細胞学会 参加者2名
第28回日本乳癌検診学会学術総会	H30. 11. 23～24 大阪府	日本乳癌検診学会 参加者3名
QIAGEN END TB シンポジウム2018	H30. 12. 6 東京都	株式会社キアゲン 参加者2名
胸部画像精度管理研究会	H30. 12. 20～21 東京都	結核予防会 参加者1名
生理機能検査研修会	H31. 1. 31～2. 1 東京都	全国労働衛生団体連合会 参加者2名

第26回日本CT検診学会学術集会	H31. 2. 8～9 茨城県	日本CT検診学会	参加者1名
全衛連選別聴力検査研修会	H31. 2. 19 東京都	全国労働衛生団体連合会	参加者3名
胸部エックス線検査研修会 (医師・診療放射線部専門コース)	H31. 2. 15～16 東京都	全国労働衛生団体連合会	参加者1名
第156回マンモグラフィ技術更新講習会	H31. 2. 16 東京都	日本乳がん検診精度管理中央機構	参加者2名
特殊健康診断研修会	H31. 2. 18 東京都	全国労働衛生団体連合会	参加者3名
第50回放射線研修委員会学術集会	H31. 2. 23 東京都	日本消化器がん検診学会	参加者2名
臨床検査精度管理調査報告会	H31. 3. 8 東京都	日本医師会	参加者1名

■ 上部団体等主催の大会・会議等	開催日・開催地	主催団体・参加人数	
平成30年度第1回全国運営会議	H30. 7. 12 東京都	予防医学事業中央会	参加者2名
2018年度がん征圧全国大会	H30. 9. 13～14 千葉県	日本対がん協会	参加者5名
平成30年度日本対がん協会関東甲信越支部連絡協議会	H30. 10. 19～20 新潟県	日本対がん協会	参加者4名
第63回予防医学事業推進全国大会及び関連会議	H30. 10. 24～26 新潟県	予防医学事業中央会	参加者7名
平成30年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議	H30. 11. 21～22 東京都	予防医学事業中央会	参加者7名
平成30年度結核予防会関東甲信越支部ブロック会議	H30. 11. 9 栃木県	結核予防会	参加者4名
平成30年度結核予防会事業協議会及び 全国支部事務局長研修会	H31. 1. 31～2. 1 東京都	結核予防会	参加者1名
第53回予防医学技術研究会議及び関連会議	H31. 2. 7～8 茨城県	予防医学事業中央会・茨城県総合健診協会	
第70回結核予防全国大会	H31. 2. 27～28 東京都	結核予防会	参加者6名
平成30年度医師協議会	H31. 3. 7～9 福井県	予防医学事業中央会	参加者3名

■ 渉外業務研修会等	開催日・開催地	主催団体・参加人数	
平成30年度全国業務研修会	H31. 2. 27～3. 1 島根県	予防医学事業中央会	参加者4名

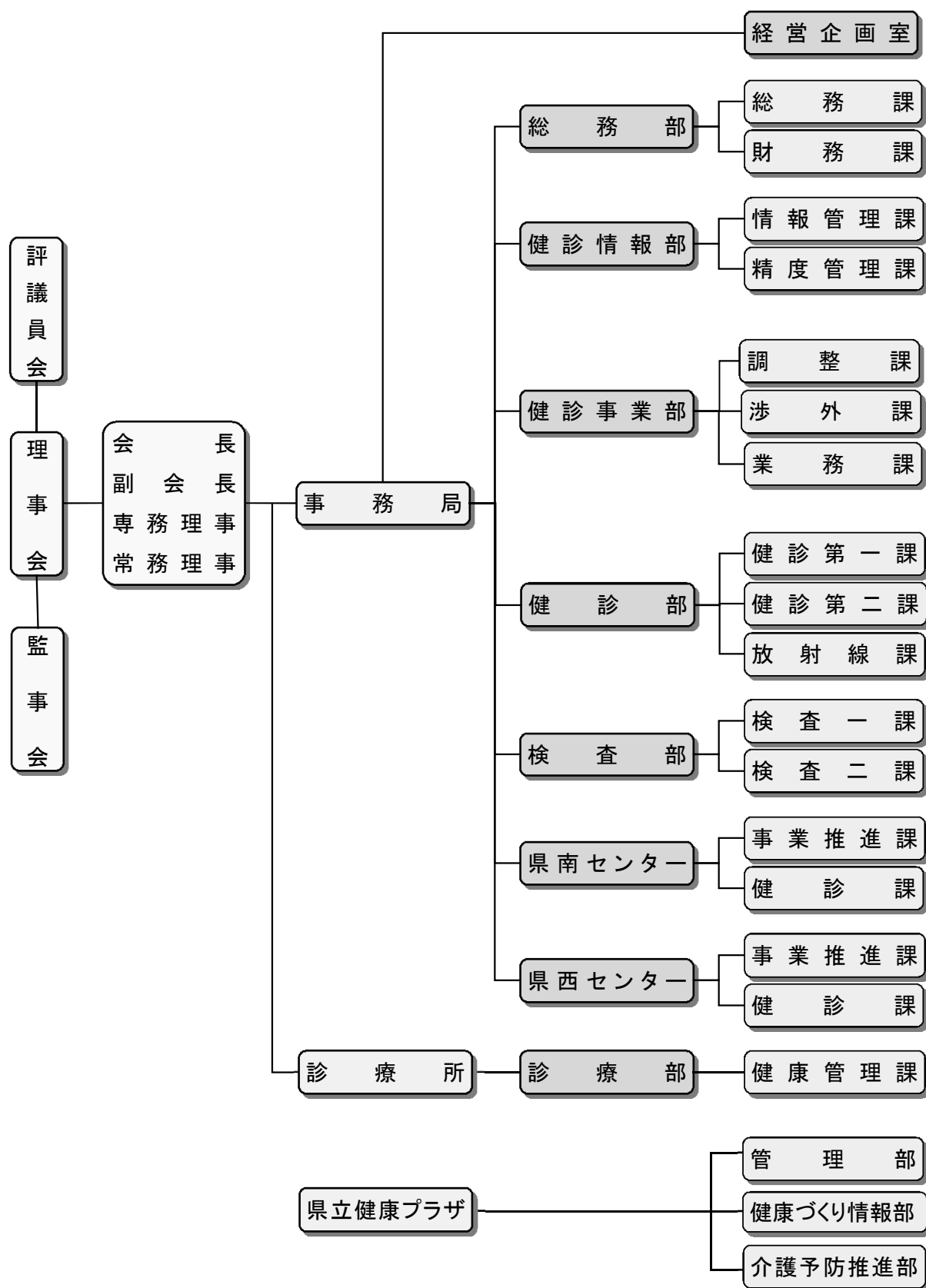
■ 情報処理業務研修会等	開催日・開催地	主催団体・参加人数	
第36回全国情報統計研修会	H30. 8. 30～31 東京都	予防医学事業中央会	参加者3名
平成30年度 I T 関連講座	H30. 11. 30 茨城県	茨城県高度情報化推進協議会	参加者1名
平成30年度 I T 関連講座	H31. 1. 16 茨城県	茨城県高度情報化推進協議会	参加者1名
平成30年度 I T 関連講座	H31. 1. 28 茨城県	茨城県高度情報化推進協議会	参加者1名

■ 総務部関連研修会等	開催日・開催地	主催団体・参加人数	
公益法人会計セミナー	H30. 4. 12 東京都	満喜株式会社	参加者1名

平成30年度応接職員研修	H30. 5. 22～23 茨城県	茨城県公社等連絡協議会	参加者6名
公益・一般法人「会計セミナー入門編」	H30. 6. 25～26 神奈川県	(公財)公益法人協会	参加者1名
平成30年度職員研修〔第1部課程研修〕	H30. 7. 4～5 茨城県	茨城県公社等連絡協議会	参加者5名
公益・一般法人夏期特別講習会	H30. 7. 13 東京都	(公財)公益法人協会	参加者1名
公益・一般法人「会計セミナー基礎編」	H30. 8. 7～8 神奈川県	(公財)公益法人協会	参加者1名
平成30年度職員研修〔特別研修〕 (企画書をA4 1枚にまとめる技術)	H30. 8. 10 茨城県	茨城県公社等連絡協議会	参加者4名
平成30年度職員研修〔第2部課程研修〕	H30. 9. 6～7 茨城県	茨城県公社等連絡協議会	参加者5名
管理者のための立ち入り検査のポイントと対策セミナー	H30. 9. 10 東京都	(公財)公益法人協会	参加者2名
平成30年度職員研修〔第3部課程研修〕	H30. 9. 27～28 茨城県	茨城県公社等連絡協議会	参加者2名
平成30年度職員研修〔第4部課程研修〕	H30. 10. 18～19 茨城県	茨城県公社等連絡協議会	参加者3名
いばらき健康経営推進事業研修会	H30. 10. 19 茨城県	茨城県・全国健康保険協会茨城支部	参加者2名
平成30年度職員研修〔第5部課程研修〕	H30. 11. 14～15 茨城県	茨城県公社等連絡協議会	参加者3名
茨城県公社等連絡協議会 特別研修	H31. 1. 24 茨城県	茨城県公社等連絡協議会	参加者4名
平成30年度公益法人会計研修会	H31. 2. 14 茨城県	茨城県	参加者2名

9－3 組織図

令和2年9月1日現在



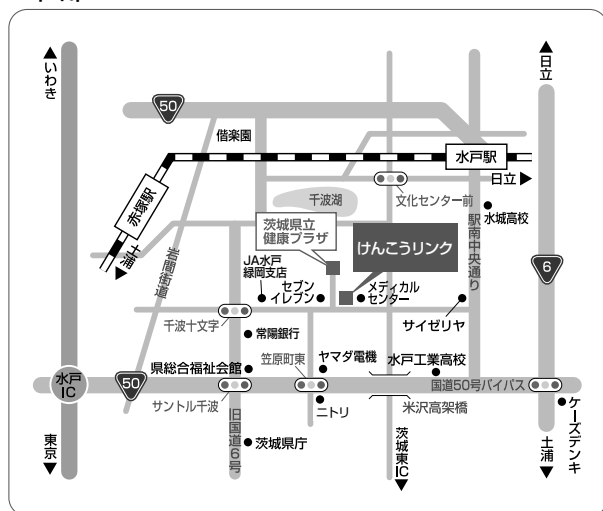
9-4 案内図

＜所在地＞

協会本部は、県都水戸市の医療ゾーンにあります。ここ医療ゾーンには、水戸保健所、衛生研究所、水戸市保健センターなどの公的機関や茨城県医師会などがあります。

また、茨城県内の各市町村との連携強化及び地域の皆様への利便性を図るため、県内2箇所に地区センターを設置していますとともに、県民の健康づくりの中核施設として、茨城県立健康プラザを茨城県の委託を受けて運営しています。

■ 本部



〒310-8501 茨城県水戸市笠原町489-5

TEL:029-241-0011(代) FAX:029-241-0332

調整課	TEL:029-241-0044	(検体(腸内細菌・尿・血液等)回収)
渉外課	TEL:029-241-0542	(巡回健診・検査のお申込み)
精度管理課	TEL:029-241-0267	(がん検診要精密検査者追跡調査事業)
情報管理課	TEL:029-241-0569	(健診・検査の結果)
情報管理課(電算室)	TEL:029-241-0593	(健診データの媒体交換)
検査一課	TEL:029-241-0547	(血液、腸内細菌、先天性代謝異常等検査)
健康管理課	TEL:029-241-0053	(職場・個人の健康診断、人間ドック等)

○交通のご案内

●バスをご利用の場合

水戸駅北口8番のりばから、関東鉄道バスまたは茨城交通バスで「本郷経由笠原行き」または「払沢経由笠原行き」で約15分、メディカルセンター前下車、徒歩約3分
(所要時間:約18分)

●タクシーをご利用の場合

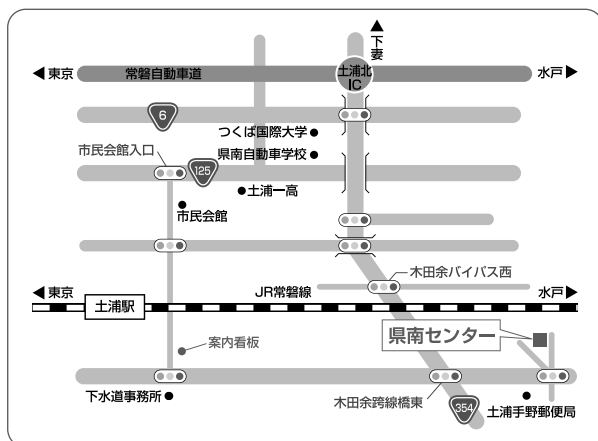
JR水戸駅北口または南口タクシーのりばから
(所要時間:約10分)

■ 茨城県立健康プラザ

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町993-2 いばらき予防医学プラザ内

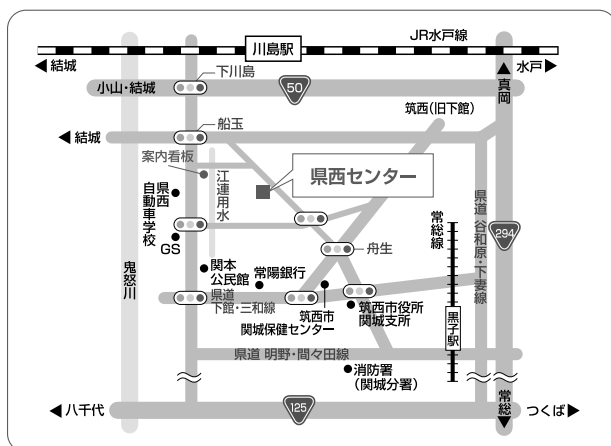
TEL:029-243-4171 FAX:029-243-9785

■ 県南センター



〒300-0025 茨城県土浦市手野町1-1
TEL:029-830-3355 FAX:029-828-0985

■ 県西センター



〒308-0125 茨城県筑西市関本分中37-1
TEL:0296-20-3480 FAX:0296-20-3482

事業年報

平成30年度

発行日 令和2年11月
発行所 公益財団法人 茨城県総合健診協会
〒310-8501 水戸市笠原町489-5
TEL (029)241-0011(代)
編集発行人 事務局長 加藤 勝義
印刷 有限会社 吉田印刷



けんこうりぞく

(公財)茨城県総合健診協会

水戸市笠原町489-5

TEL 029(241)0011(代)

URL <http://www.ibasouken.org/>